

平成31年度入学生用

履 修 要 項

(*syllabus*)

生活科学科

生活福祉専攻
食物栄養専攻

鹿児島女子短期大学
Kagoshima Women's College

目 次

1年次 一般教養科目

(生活福祉専攻・食物栄養学専攻)……………9頁～

2年次 一般教養科目

(生活福祉専攻・食物栄養学専攻)……………43頁～

1年次 専門科目(生活福祉専攻)……………53頁～

2年次 専門科目(生活福祉専攻)……………89頁～

1年次 専門科目(食物栄養学専攻)……………121頁～

2年次 専門科目(食物栄養学専攻)……………155頁～

令和元年度(H31)入学生 教育課程

別表 生活科学科(一般教養科目)教育課程表

区分	授業科目	授業形態	履修方法		科目ナンバー 数字の箇所が開講学期 生活福祉専攻				科目ナンバー 数字の箇所が開講学期 食物栄養学専攻				
			卒業履修 単位数	必修	選択	1前	1後	2前	2後	1前	1後	2前	2後
一 般 教 養 科 目	わたしを知る・わたしを創る												
	心と思想の探求(人間の心に迫り人間を知る)												
	日本語表現の基礎	講義		2	1				1				
	倫理学★	講義		2	2				2				
	文学	講義		2	3	前期:吉村 後期:藤川			3	前期:吉村 後期:藤川			
	心理学	講義		2	4				4				
	健康の探求(健康な心と体をつくる)												
	体育講義	講義		1								101-2	
	体育実技	実技		1								102-2	
	社会を知る・社会につながる												
	社会の探求(社会に目を向ける)												
	社会学	講義		2	5				5				
	国際化と経済	講義		2	6				6				
	日本国憲法★	講義		2	7				7				
	歴史学	講義		2	8				8				
	WE LOVE 鹿児島!	演習	1									103-2	
	キャリアの探求(職業を考え人生を設計する)												
	インターンシップ	演習		2	9				9				
	キャリアガイダンスⅠ	演習	1						19				
	キャリアガイダンスⅡ	演習	1					104-1				104-2	
	世界を知る・世界を広げる												
	異文化の探求(海外に目を向ける)												
	海外事情	演習		2		20				20			
	英語演習Ⅰ	演習	2		10				10				
	フランス語演習Ⅰ	演習		11				11					
	中国語演習Ⅰ	演習		12				12					
	韓国語演習Ⅰ	演習		13				13					
	日本語演習Ⅰ	演習		14				14					
	英語演習Ⅱ	演習	2			21				21			
	フランス語演習Ⅱ	演習				22				22			
	中国語演習Ⅱ	演習				23				23			
韓国語演習Ⅱ	演習				24				24				
日本語演習Ⅱ	演習				25				25				
自然界の探求(いろいろな世界に目を向ける)													
数学基礎★	講義		2	15				15					
理科基礎	講義		2	16				16					
分子からみた生物	講義		2	17				17					
人間と環境★	講義		2	18				18					
最低修得単位数			7	7									
卒業最低修得単位数			14										

注: ★の科目から6単位以上選択必修「人間と社会領域」

別表 第2 生活科学科 生活福祉専攻教育課程表

区分	授業科目	授業形態	履修方法				科目ナンバー 数字の箇所が開講学期				備考
			卒業履修 単位数		介護福祉士 履修単位数		1前	1後	2前	2後	
			必修	選択	必修	選択					
専 門 科 目	【人間と社会】										
	人間の尊厳と自立◆	講義	2		2		41				
	人間関係とコミュニケーション▲	講義		2	2					105	医療実務士選択必修
	社会学概論	講義	2		2		26				
	社会と制度の理解◆	講義	2		2		27				
	社会保障論	講義	2		2			42			
	住環境と福祉★	講義		2		2				106	介護福祉士選択必修(人間と社会領域)
	レクリエーション概論★	講義		1		1	28				レクリエーションインストラクター資格必修
	【介護】										
	介護の基本Ⅰ◆	講義	2		2		29				
	介護の基本Ⅱ◆	演習	1		1		30				
	介護の基本Ⅲ◆	講義	2		2			43			
	介護の基本Ⅳ	講義	2		2					107	医療秘書/介護保険実務士選択科目
	社会福祉援助技術▲	講義		2	2					108	
	リハビリテーション論	講義		2	2					109	
	コミュニケーションの基礎▲◆	講義	2		2			44			
	コミュニケーション演習	演習		1	1					110	
	生活支援技術A◆	演習	2		2		31				
	生活支援技術B	演習		2	2			45			
	生活支援技術C	演習		2	2					111	
	生活支援技術D	演習		1	1					112	
	生活支援技術(住)	講義		2	2		32				
	生活支援技術(食・衣)	演習		2	2					113	
	介護過程Ⅰ	講義		2	2		33				
	介護過程Ⅱ	講義		2	2			46			
	介護過程Ⅲ	演習		1	1					114	
	介護過程Ⅳ	演習		1	1					115	
	ケアマネジメント	演習		1	1					116	
	介護総合演習Ⅰ・Ⅱ	演習		1	1		34				
	介護総合演習Ⅲ	演習		1	1					117	
	介護総合演習Ⅳ	演習		1	1					118	介護保険実務士2科目選択必修
	事例研究(ゼミナール)	演習		1	1					119	
介護実習Ⅰ	実習		3	3			47				
介護実習Ⅱ	実習		2	2			48				
介護実習Ⅲ	実習		2	2					120		
介護実習Ⅳ	実習		3	3					121		

注: ★の科目から6単位以上選択必修「人間と社会領域」
▲印=ピアヘルパー認定試験受験資格2科目4単位選択必修
◆印は介護職員初任者研修読み替え可能科目

区分	授業科目	授業形態	履修方法				科目ナンバー				備考
			卒業履修		介護福祉士		数字の箇所が開講学期				
			単位数	必修	単位数	選択	1前	1後	2前	2後	
専 門 科 目	【こころとからだのしくみ】										
	発達と老化の理解 ▲◆	講義	2		2		35				
	高齢者の介護 ◆	演習	1		1			49			
	認知症の理解	講義	2		2			50			
	認知症者の介護	演習		1	1					122	
	障害の理解Ⅰ◆	講義	2		2			51			
	障害の理解Ⅱ	講義		2	2					123	
	こころとからだのしくみⅠ(医学一般)◆	講義	2		2			52			
	こころとからだのしくみⅡ(精神)▲	講義		2	2					124	
	介護技術の基礎◆	講義	2		2			36			
	ターミナルケア	講義		2	2					125	
	【医療的ケア】										
	医療的ケア	講義		2	2			37			
	経管栄養	講義		2	2				53		
	喀痰吸引	講義		2	2					126	
	経管栄養演習	演習		2	2					127	
	喀痰吸引演習	演習		2	2					128	
	医療秘書実務士										
	基礎医学関連科目										
	解剖生理学	講義		2		2			54		
	薬理の基礎	講義		2		2			55		
	人類学	講義		2		2				129	
	医療秘書・実務関係科目										
	秘書実務	演習		2		2		38			
	医療秘書実務実習	実習		1		1				130	
	医療事務総論(医療秘書実務含む)	講義		2		2			56		
	医療事務演習	演習		2		2			57		
	介護保険実務士										
	介護事務総論	講義		2		2				131	
	介護事務演習	演習		1		1				132	
	関連科目										
	情報処理	演習		1		1			58		
レクリエーション活動援助法Ⅰ	演習		1		1		39				
レクリエーション活動援助法Ⅱ	演習		1		1			59			
レクリエーションワーク	演習		1		1				133		
聴覚障害者の生活支援	演習		1		1				134		
最低修得単位数			28	20	84						
卒業最低修得単位数			必修 28	選択 20	合計 48						
最低修得単位数総計			卒業 62	[介護福祉士 98]							

注: ▲印=ピアヘルパー認定試験受験資格2科目4単位選択必修

◆印は介護職員初任者研修読み替え可能科目

別表 第2の2 [介護保険実務士] 養成科目

(○印は専門科目と重なる)

授 業 科 目	授 業 形 態	履修方法		科目ナンバー 数字の箇所が開講学期				備 考
		履 修 単 位 数	必修 選択	1前	1後	2前	2後	
○社会と制度の理解	講 義	2		(27)				2科目 選択必修
○介護の基本Ⅰ	講 義	2		(29)				
○介護の基本Ⅱ	演 習			(30)				
○介護の基本Ⅲ	講 義				(43)			
○介護の基本Ⅳ	講 義						(107)	
○こころとからだのしくみⅠ(医学一般)	講 義	2			(52)			
○こころとからだのしくみⅡ(精神)	講 義						(124)	
○発達と老化の理解	講 義	2		(35)				
○生活支援技術A	演 習	1		(31)				
○生活支援技術B	演 習				(45)			
○生活支援技術C	演 習					(111)		
○生活支援技術D	演 習						(112)	
○情報処理	演 習	1			(58)			
○介護実習Ⅰ	実 習		2		(47)			
○ケアマネジメント	演 習						(116)	
○介護総合演習Ⅰ・Ⅱ	演 習			(34)				
○介護事務総論	講 義	2				(131)		
○介護事務演習	演 習	1					(132)	
最低単位修得数総計 [15]		13	2					

別表 第2の3 [医療秘書実務士] 養成科目

(○印は専門科目と重なる)

授 業 科 目	授 業 形 態	履修方法		科目ナンバー 数字の箇所が開講学期				備 考	
		履 修 単 位 数	必修 選択	1前	1後	2前	2後		
基礎医学関係科目									
○解剖生理学	講 義	2			(54)			学外実習	
○薬理の基礎	講 義	2			(55)				
○人類学	講 義	2					(129)		
医療秘書・実務関係科目									
○秘書実務	演 習	2		(38)					
○医療秘書実務実習	実 習	1				(130)			
○医療事務総論(医療秘書実務含む)	講 義	2			(56)				
○医療事務演習	演 習	2			(57)				
○情報処理	演 習	1			(58)				
福祉関係科目									
○社会と制度の理解	講 義	2		(27)					
その他関連選択科目									
○人間関係とコミュニケーション	講 義	4					(105)		
○こころとからだのしくみⅠ(医学一般)	講 義				(52)				
○介護の基本Ⅰ	講 義				(29)				
○介護の基本Ⅱ	講 義				(30)				
○介護の基本Ⅲ	講 義					(43)			
○介護の基本Ⅳ	講 義						(107)		
最低修得単位数 [20]		20							

別表 第2の4 レクリエーション・インストラクター養成科目

(○印は専門科目と重なる)

授業科目	授業形態	履修方法		科目ナンバー 数字の箇所が開講学期				備考
		履修単位数		1前	1後	2前	2後	
		必修	選択					
○レクリエーション概論	講義	1		(28)				
○レクリエーション活動援助法Ⅰ	演習	1		(39)				
○レクリエーション活動援助法Ⅱ	演習	1			(59)			
現場実習(学外)	実習	(1)			(1)			2日間(9時間以上)
最低単位修得数総計 [3 + (1)]								

別表 第2の5 [福祉メイクセラピスト] 養成科目

(○印は専門科目と重なる)

授業科目	授業形態	履修方法		科目ナンバー 数字の箇所が開講学期				備考
		履修単位数		1前	1後	2前	2後	
		必修	選択					
福祉メイクセラピー	演習	1		40				※集中講義
最低修得単位数総計 [1]		1		/	/	/	/	

※介護職員初任者研修の修得方法については、学生便覧にて別に定める。
(春季・夏季集中講義計画:130時間以上)

区分	授業科目	授業形態	履修方法						科目ナンバー 数字の箇所が開講学期				備考	
			卒業履修 単位数		栄養士履修 単位数		栄養教免修得 単位数		1前	1後	2前	2後		
			必修	選択	必修	選択	必修	選択						
専 門 科 目	給食の運営												*学外実習(保育所、施設、給食センター) 栄養士・栄養教免選択必修 *学外実習(保育所、施設、病院)	
	給食管理	講義	2		2		2		52					
	給食実務演習Ⅰ	演習		1	1		1				112			
	給食実務演習Ⅱ	演習		1	1		1					113		
	給食管理実習Ⅰ	実習		1	1		1				114			
	給食管理実習Ⅱ・Ⅲ指導	演習		1	1		1				115			
	給食管理実習Ⅱ	実習		2			2				116			
	給食管理実習Ⅲ	実習		2			2				117			
	給食管理実習Ⅳ	実習		1	1		1					118		
	調理学	講義	2		2		2		32					
	調理学実習基礎	実験・実習		1	1		1		33					
	調理学実習Ⅰ	実習		1	1		1		53					
	調理学実習Ⅱ	実習		1	1		1				119			
	調理学実習Ⅲ	実習		1	1		1					120		
	関連科目													
	化学	講義		2		2		2	34					
	学校栄養教育論	講義		2		2	2		35					
	食品評価・鑑別実験	実験		1		1						121		
	食品加工学実習☆	実習		1		1						122		栄養士・栄養教免選択必修(☆)
	食料経済☆	講義		1		1		1				123		栄養士・栄養教免選択必修(☆)
	消費経済論	講義		1		1						124		
	フードスペシャリスト論	講義		2		2						125		
	フードコーディネータ論	講義		2		2						126		
フードコーディネータ演習	演習		1		1						127			
くらしとお茶A	講義		2		2			36				日本茶アドバイザー資格選択必修		
くらしとお茶B	講義		2		2					128				
教育心理学▲	講義		2		2	2		54						
教職概論	講義		2		2	2		37						
教育相談▲	講義		2		2	2					129			
情報機器演習	演習		2		2	2		38						
最低修得単位数			20	28	55	1	65	1						
卒業最低修得単位数			必修 20		選択 28		合計		48					
最低修得単位数総計			卒業 62		[栄養士 70]									

注：▲印=ピアヘルパー認定試験受験資格2科目4単位必修

☆の科目から1単位以上選択必修(栄養士・栄養教免)

別表 第3の2 栄養教諭関連科目（栄養に係る教育に関する科目及び教職に関する科目）
 （○印は専門科目と重なる）

授 業 科 目	授 業 形 態	履修方法		科目ナンバー 数字の箇所が開講学期				備 考
		履 修 単 位 数	必修 選択	1前	1後	2前	2後	
○学校栄養教育論	講 義	2		(35)				学外実習
教育原理	講 義	2		39				
○教職概論	講 義	2		(37)				
教育制度論	講 義	2		40				
○教育心理学▲	講 義	2			(54)			
特別支援教育	講 義	2			55			
教育課程	講 義	1				130		
道德教育の指導法	講 義	1					131	
総合的な学習の時間の指導法	講 義	2					132	
特別活動の指導法	講 義	1					133	
教育の方法・技術	講 義	1			56			
生徒指導	講 義	1			57			
○情報機器演習	演 習	2		(38)				
○教育相談▲	講 義	2					(129)	
栄養教育実習指導	講 義	1				134		
栄養教育実習	実 習	1				135		
教職実践演習(栄養教諭)	演 習	2					136	
最低修得単位数		27						
最低修得単位数総計 [栄教免 97]								

注：▲印＝ピアヘルパー認定試験受験資格2科目4単位必修

別表 第3の3 フードスペシャリスト養成科目（○印は専門科目と重なる）

授 業 科 目	授 業 形 態	履修方法		科目ナンバー 数字の箇所が開講学期				備 考
		履 修 単 位 数	必修 選択	1前	1後	2前	2後	
○食品学総論	講 義	2		(28)				食品加工学を含む — 講義15時間を含む
○食品学各論	講 義	2			(44)			
○食品学実験	実 験	1		(29)				
○食品衛生学	講 義	2		(30)				
○栄養学総論	講 義	2			(46)			
○調 理 学	講 義	2		(32)				
○調理学実習Ⅰ	実 習	1			(53)			
○調理学実習Ⅱ	実 習	1				(119)		
○食品評価・鑑別実験	実 験	1					(121)	
○食品加工学実習	実 習	1				(122)		
○食 料 経 済	講 義	1					(123)	
○消 費 経 済 論	講 義	1					(124)	
○フードスペシャリスト論	講 義	2					(125)	
○フードコーディネータ論	講 義	2					(126)	
○フードコーディネータ演習	演 習	1					(127)	
最低修得単位数		22						
最低修得単位数総計 [フードスペシャリスト 22単位 (+専26+一般14=卒業)]								

1 年 次

一般教養科目

生活福祉専攻

食物栄養学専攻

科目名	日本語表現の基礎		
担当者	藤川 和也		
授業形式	講義	科目ナンバー	1
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期・後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	漢字や語彙、丁寧な字の書き方、敬語、手紙文のきまりなどの社会生活を送る上で必須の書く力の育成と、縮約、情報の正確な読み取り、レポートのきまりなどの学生生活を送る上で必要となる書く力の育成を目指す。		
授業の到達目標	1. 基礎的な語彙力・漢字力を身につける 2. 失礼のない形式の整った手紙文を作成できる 3. 根拠を明確にした説得力のあるレポートを作成できる		
授業計画		担当者	
第1回	ガイダンス 自己紹介文の作成と交流	藤川	
第2回	字の丁寧な書き方	藤川	
第3回	語彙と文法	藤川	
第4回	手紙文(御礼状・案内文)の書き方	藤川	
第5回	敬語の基礎(尊敬語・謙譲語・丁寧語)	藤川	
第6回	小レポート①(語彙、敬語、手紙文の復習)	藤川	
第7回	縮約の作り方	藤川	
第8回	縮約の作成	藤川	
第9回	グラフ資料についての理解	藤川	
第10回	グラフ資料の分析	藤川	
第11回	小レポート②(縮約と資料の分析)	藤川	
第12回	意見文の書き方	藤川	
第13回	意見文の吟味と分かりやすい文の書き方	藤川	
第14回	意見文の吟味と完成	藤川	
第15回	総括(最終レポートの作成)	藤川	
事前・事後学習	新聞、雑誌、ネット記事などで、自分の興味関心に沿う情報を集めておく。		
課題に対するフィードバックの方法	課した課題について、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	講義終了後及びオフィスアワー等で対応する		
オフィスアワー	水曜日 10:40～12:30(西館405)		
テキスト	プリントを適宜配布します。		
参考文献等	『大学生のためのレポート・論文術』 小笠原善康 講談社 2009 ￥740 (ISBN-10: 4062880210)		
成績評価基準	最終レポートにおいて、根拠を明確にした説得力のあるレポート、失礼のない形式の整った手紙文を作成できること。		
成績評価の方法	課題ミニレポート(20%)、小レポート①、②(30%)、最終レポート(50%)		
GPA基準			
備考	40名までの受講制限を設けます。 学内他学科・他専攻開設科目		

科目名	倫理学		
担当者	村若 修		
授業形式	講義	科目ナンバー	2
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期・後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択必修:介護福祉士(★6単位)		
授業の概要	「倫理学」とは、人の生き方や人と人との関係のあり方、社会のあり方について、善/悪、正/不正という視点で考えていく学問です。「道徳」ないし「倫理」はすでに皆さんに身につけているものですが、それについて倫理学は反省を加え、吟味する学問だと考えてください。本講義では「生命倫理」と呼ばれる領域の諸問題、主として医療に関する倫理問題について考えていきます。		
授業の到達目標	1. 倫理的な思考を身につける 2. 「生命倫理」の基礎を理解する 3. 身近な生命倫理の問題を知り、それについて自分の考えを表現できる		
授業計画		担当者	
第1回	倫理学と「生命倫理」	村若	
第2回	生命倫理の成立(1)患者の権利	村若	
第3回	生命倫理の成立(2)インフォームド・コンセントの歴史	村若	
第4回	生命倫理の成立(3)生命倫理の基本原則	村若	
第5回	尊厳死(1)日本及び世界の状況	村若	
第6回	尊厳死(2)倫理的考察	村若	
第7回	安楽死(1)日本及び世界の状況	村若	
第8回	安楽死(2)倫理的考察	村若	
第9回	人工妊娠中絶	村若	
第10回	生殖補助医療技術の利用(1)日本及び世界の状況	村若	
第11回	生殖補助医療技術の利用(2)倫理的考察	村若	
第12回	出生前診断(1)日本及び世界の状況	村若	
第13回	出生前診断(2)倫理的考察	村若	
第14回	脳死と臓器移植(1)日本及び世界の状況	村若	
第15回	脳死と臓器移植(2)倫理的考察	村若	
事前・事後学習	配付資料を事前によく読んでくること。また、映像教材について感想文を課すことがある。		
課題に対するフィードバックの方法	ミニツツペーパーや課題については、提出した次の授業で要点に触れ、フィードバックする。個別にコメントすることもある。		
質問・相談方法	次のいずれかの方法による。(1)授業時のミニツツペーパーに質問事項を記入する。(2)授業後に質問をする。(3)オフィスアワーを利用する。		
オフィスアワー	火曜日15:00~17:00 研究室(西館410号室)		
テキスト	適宜資料を配付する。		
参考文献等	『現代世界の思想的課題』中山愈編 弘文堂 1998年 (ISBN4-335-15041-5) 『はじめて出会う生命倫理』玉井真理子・大谷いづみ編 有斐閣アルマ 2011年 (ISBN978-4-641-12420-2)		
成績評価基準	到達目標が十分に達成されること		
成績評価の方法	期末試験(80%)、授業内容に関する小レポート・感想文(20%)		
GPA基準			
備考			

科目名	文学		
担当者	吉村 圭		
授業形式	講義	科目ナンバー	3
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	文学作品の深い理解のためには、作家自身と歴史的背景の理解が不可欠である。そこで代表的なイギリス文学の作家・作品を、イギリスの歴史をたどる形で講義を行う。そして英文学史を概観した上で、各時代の文学作品に関する講義を行う。作品鑑賞を行う際には、学生同士の意見交換を実施する。この講義では文学というものを広義にとらえ、ポピュラーミュージック等にも言及する。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英文学に関する講義を聞き自分の意見を述べることができる 2. 英文学作品について自ら調査し考えを述べるができる 3. 鑑賞した作品について学生同士で意見交換ができる 		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション	吉村	
第2回	16世紀： 英国国教会の成立	吉村	
第3回	エリザベス女王と大衆演劇の流行	吉村	
第4回	シェイクスピア 『ハムレット』鑑賞	吉村	
第5回	『ハムレット』に描かれた「女性」(意見交換)	吉村	
第6回	17～18世紀： 革命の時代	吉村	
第7回	18世紀： 名誉革命とイギリス小説の誕生	吉村	
第8回	ジョナサン・スウィフト 『ガリヴァー旅行記』	吉村	
第9回	19世紀： 産業革命とロマン派詩	吉村	
第10回	20世紀：世界大戦の時代	吉村	
第11回	A. A. ミルンの生涯と作品	吉村	
第12回	『くまのプーさん』に見る作者の平和思想	吉村	
第13回	ディズニー版映画『くまのプーさん』との比較	吉村	
第14回	『くまのプーさん』に見るフェミニズムの問題	吉村	
第15回	『くまのプーさん』にみるキリスト教聖書の影響	吉村	
事前・事後学習	講義の際紹介された文学作品及び洋楽の歌詞を実際に読む。その際、時代背景や作者について書籍等で情報収集すると、より深く作品を理解できる。		
課題に対するフィードバックの方法	授業前後、およびオフィスアワーに対応する。		
質問・相談方法	授業前後、およびオフィスアワーに対応する。		
オフィスアワー	金曜日 12:05～12:50 吉村研究室(西館309号)		
テキスト	特になし		
参考文献等	『はじめて学ぶイギリス文学史』(ミネルヴァ書房)、『たのしく読めるイギリス文学』(ミネルヴァ書房)		
成績評価基準	感想カード(50%) 小テスト・レポート(授業時、期末、計50%)による総合評価		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文学作品について自分で調査し、考えを述べられること。 ・ 各回の講義に対して自分の意見を述べられること。 		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	文学		
担当者	藤川 和也		
授業形式	講義	科目ナンバー	3
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	小学校から高等学校までで扱われている国語教科書教材を10編ほど取り上げて読み直し、作品の感想を交流していきます。かつて読んだときの作品の印象との違いや、新たに生まれた作品の感想を交流することで文学作品の持つ価値と「読む」行為を楽しむことを目指します。また、教科書に取り上げられている郷土の作家、作品についての理解を深めるために、かごしま近代文学館への見学も行います。		
授業の到達目標	1. 各作品の大略を理解し、説明することができる 2. 他者の視点を意識して、作品を多面的に鑑賞することができる 3. 「読む」行為を通して、自身の視野を広げ、深めることができる		
授業計画		担当者	
第1回	ガイダンス 教科書教材を振り返る	藤川	
第2回	文学作品を読む(「読む」行為)の意義	藤川	
第3回	あまんきみこ「白いぼうし」を読む	藤川	
第4回	小林豊「世界一美しいぼくの村」を読む	藤川	
第5回	宮沢賢治「注文の多い料理店」を読む	藤川	
第6回	太宰治「走れメロス」を読む	藤川	
第7回	芥川龍之介「羅生門」を読む	藤川	
第8回	梶井基次郎「檸檬」を読む	藤川	
第9回	兼好法師「徒然草」(仁和寺にある法師など)を読む	藤川	
第10回	『宇治拾遺物語』(絵仏師良秀)を読む	藤川	
第11回	椋鳩十「大造じいさんとガン」を読む	藤川	
第12回	向田邦子「字のない葉書」を読む	藤川	
第13回	体験学習(かごしま近代文学館の見学)	藤川	
第14回	体験学習(かごしま近代文学館の見学)の振り返り	藤川	
第15回	総括(各作品の振り返りと再読の意義を考える)	藤川	
事前・事後学習	事前学習:取り扱う作品を読んでおくこと。 事後学習:講義を振り返り、感想をまとめること。		
課題に対するフィードバックの方法	課した課題について、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	講義終了後及びオフィスアワー等に対応する		
オフィスアワー	水曜日 13:00～14:25(西館405)		
テキスト	プリントを適宜配布します。		
参考文献等	『もう一度読みたい 教科書の泣ける名作』学研教育出版編 学研教育出版 2013 ¥800 (ISBN-10: 4054057896) 『もう一度読みたい 教科書の泣ける名作再び』学研教育出版編 学研教育出版 2014 ¥800 (ISBN-10: 4054061915)		
成績評価基準	作品を再読する意義について、作品の感想に触れつつまとめられること。		
成績評価の方法	授業レポート(50%)、体験学習レポート(20%)、最終レポート(30%)		
GPA基準			
備考	授業計画13、14の体験学習と振り返りは、日程調整をして土曜日の2～3時間を使い実施します。(300円程度の費用がかかります。) 学内他学科・他専攻開設科目		

科目名	心理学		
担当者	園田 美保		
授業形式	講義	科目ナンバー	4
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期・後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	心理学の主な領域を網羅する。より深い人間理解のために心理学のキーワードと考え方を紹介する。ここでの人間とは、受講者自身を含み、その点では受講者にとって自己を探る手がかりを提供する。また同時に、身近な他者を理解する手がかりやきっかけとなるよう、受講者が心理学の各領域や方法に触れ、学びながら、考える力も身に付けられるよう、授業を構成する。講義形式だが、受講者には、積極的に自らの日常生活や身近な他者を想定し、内容の理解を行い、自らの考えを表現してもらうため、各回の内容に即したレポートを毎回求める。		
授業の到達目標	1.人間の心理と行動との関係を理解する 2.自己理解のために心理学の考え方を当てはめ、説明できる 3.他者理解のために心理学の考え方を当てはめ、理解できる		
授業計画		担当者	
第1回	「心理学」オリエンテーション 授業の形式、内容と計画、心理学イントロ「心理学とは？」		園田
第2回	心理学の歴史と多様な考え方 心理学の始まり、当初からあって今でも影響力の強い考え方3種		園田
第3回	心理学の研究方法与領域 心理学の方法論と人が人を見るまなざし、心理学の領域いろいろ		園田
第4回	動機づけ 動機づけ説の各種紹介、動機のヒエラルキー、動機づけを高める方法		園田
第5回	情動 情動の発達、感情の種類、感情と表出、表情コントロール、気分障害		園田
第6回	認知 私たちは環境をどのように知るのか？ 感覚、知覚、認知の特性		園田
第7回	学習 人間の行動が作られるしくみとは？ 試行錯誤と洞察、条件づけによる学習		園田
第8回	知能 知能の構造、知能の発達曲線、遺伝か環境か？、創造性を発揮する思考法		園田
第9回	パーソナリティ 特徴の捉え方：類型論と特性論、人格の形成要因、性格の測定法		園田
第10回	適応 人間を環境との関わりで考えてみると？ 不適応反応、ストレス、防衛機制		園田
第11回	社会と人間1 集団とは、集団から個人への影響		園田
第12回	社会と人間2 個人や少数者が集団に与える影響：少数意見が通る時／リーダーシップ論		園田
第13回	臨床の心理学1 心理的問題、心の傷と心の病、5つのレベルの異常反応の症状理解		園田
第14回	臨床の心理学2 心理療法のアプローチ四者四様：精神分析/行動療法/クライアント中心療法/家族療法		園田
第15回	総括・補足、振り返り 「心理学」全体の振り返り		園田
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> 各回の授業からキーワードになる言葉や概念を5語程ピックアップし、説明できる程度に理解を深める 身近な例を取り上げ、それらを上記のキーワードを使用して説明する 今後の日常生活にどのように授業内容を活かせるか、考える 		
課題に対するフィードバックの方法	毎回の授業の最初に、前回の小レポートから複数例紹介し、解説を加える。また、Moodleを使ったフィードバック機能も用いる予定。		
質問・相談方法	各回の授業後、もしくは小レポートで受け付ける。授業後やメールで時間調整できた場合も対応可能。		
オフィスアワー	水曜日 16:30～17:30 研究室(西館310号室) 金曜以外で事前調整できた日時にも対応可能。		
テキスト	特になし。毎回、資料を配布する。		
参考文献等	『心理学 新版 (New Liberal Arts Selection)』 無藤隆ら(編著) 有斐閣 2018年 4200円(税抜き) ISBN-10: 9784641053861 『誠信 心理学辞典[新版]』 下山晴彦ら(編著) 誠信書房 2014年 5800円(税抜き) ISBN-10: 4414305071 他、各回ごとに配布資料で提示		
成績評価基準	心理学の領域ごとに、各回のキーワードと内容を理解し、自分や他者、日常生活と関連させ考えられるものを合格とする。		
成績評価の方法	毎回の小レポートと受講態度(70%)と最終レポート(30%)で評価する。		
GPA基準			
備考	前期のみ、生活科学科・教養学科合わせて80名の受講制限を設ける。(受講登録者が80名を超えた場合は、抽選を行う。)後期は受講希望者全員を受け入れる。15回目の授業にはそれまでの配布資料・自筆ノートを全て持参すること。2回目以降は少なくとも前回の資料は持参すること。		

科目名	社会学		
担当者	倉重 加代		
授業形式	講義	科目ナンバー	5
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期・後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	自分の視点から離れて世の中を見ることや想像力を働かせることを意識しながら、日常生活の何気ない行為や社会で起こっている出来事を題材に、日常生活や社会の仕組みを説明する。まず、自分自身のことや自分と直接接する他者との関係を題材に身近な人間関係の間で繰り上げられる行為を、その後、扱う題材の範囲を広げ社会の大きな変化と個々人の行為の関係について学ぶ。		
授業の到達目標	1.人々の行為や社会で起こっている出来事を、自分から離れて見る視点を身につける 2.自分の関心事と社会で起こっている出来事を結びつける能力を身につける 3.人びとの間に(社会的に)共有される意味や形式の相対性について理解を深める		
授業計画			担当者
第1回	「社会学すること」の視点を理解する		倉重
第2回	人々をつなぐ言葉の特徴を学ぶ		倉重
第3回	行為の意味を学ぶ		倉重
第4回	自分探しについて考える		倉重
第5回	アイデンティティの確立を社会的に捉える		倉重
第6回	主体的に生きることと自由について考える		倉重
第7回	社会と個人の関係について議論する		倉重
第8回	健康と病気の境界は？——物事の相対性について学ぶ		倉重
第9回	正常と異常を判断する背景について学ぶ		倉重
第10回	社会構築主義の視点を学ぶ		倉重
第11回	水俣病をめぐる社会関係について学ぶ		倉重
第12回	共同体(1)家族とは何かを考える		倉重
第13回	共同体(2)地域社会の性質とその変容について学ぶ		倉重
第14回	共同体(3)今日の人々の関係性について学ぶ		倉重
第15回	授業のまとめ		倉重
事前・事後学習	事前学習…新聞を読んだりニュースを見たりして、世の中の出来事に関心を持つ。また、自分が生活してきた地域社会の状況を把握しておく。 事後学習…定期試験のために授業内容の復習をしておくこと。		
課題に対するフィードバックの方法	求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	火曜日16:30～18:30 研究室(西館312号室)		
テキスト	『社会学のエッセンス——世の中のしくみを見ぬく』 友枝敏雄・竹沢尚一郎・正村俊之・坂本佳鶴恵著 2017年 2,000円 (ISBN 978-4-641-22098-0)		
参考文献等	『自由からの逃走』フロム, E.著 日高六郎訳 1966年 東京創元社 『友だち幻想——人と人の〈つながり〉を考える』 菅野仁著 ちくまプリマー新書 2008年 『〈子供〉の誕生』 アリエス, P.著 杉山光信・杉山恵美子訳 みすず書房 1980年 総務省統計局ホームページ ほか授業中に紹介		
成績評価基準	到達目標の1.～3.は相互に関連し、1.や2.を身につけることにより、3.に掲げている事項の理解を深めることができることから、到達目標の3.「人々の間に共有される意味や形式の相対性」を理解することを成績評価基準とする。		
成績評価の方法	期末試験(90%)と毎時間のコメントシート(10%)で評価する。		
GPA基準			
備考			

科目名	国際化と経済		
担当者	担当者未定		
授業形式	講義	科目ナンバー	6
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期・後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	<p>経済環境の複雑化とグローバル化が進み、社会人・企業人として要求される経済・金融に関する知識も高度なものが要求されるようになってきた。本科目では産業と経済・金融の基本的なしくみを学び、且つグローバル社会を理解するため国際経済の現状に触れ、日本・地域経済の課題について考える。また講義を通じて地域経済の国際化について実際に地場企業や金融機関の活動を紹介しながら、グローバル人材育成に関する課題や展望を考える。</p>		
授業の到達目標	<p>1. 基本的な日本経済・国際経済の仕組みが理解できる 2. グローバル化の進む地域経済で何が今問題でどう自分は行動すべきかを主体的に判断できる</p>		
授業計画		担当者	
第1回	「経済」とは何か・・・経済学的考え方について		
第2回	GDP で考える物価と経済成長		
第3回	金融のしくみと経済		
第4回	貿易取引と決済のしくみ		
第5回	国際通貨制度の現状と		
第6回	企業のグローバル化(多国籍化の現状)		
第7回	地域経済統合(FTA/EPA)の歩み		
第8回	グローバル・イシュー I (開発と貧困)		
第9回	グローバル・イシュー II (環境・エネルギー・食料)		
第10回	各国・地域事情ーグローバル化と日本		
第11回	各国・地域事情ーアジア・ASEAN		
第12回	各国・地域事情ーアメリカ		
第13回	各国・地域事情ーヨーロッパ・ロシア		
第14回	鹿児島県経済とグローバル化		
第15回	講義の総括		
事前・事後学習	<p>事前学習・・・各授業のテーマの中から自分の最も関心のある経済分野での事柄についてサマリーを作成。そのサマリーに基づきグループで討論し、問題点をまとめ次回授業で質問する。 事後学習・・・授業で出て来た専門用語や関係する経済指標などの動向を、ウェブ検索等を行い実態経済での関連性を確認する。また授業で理解できなかった部分については次の講義等で質問する準備を行う。</p>		
課題に対するフィードバックの方法	<p>講義内容に沿って、授業中での口頭質問や小レポートを課す。その結果理解が不十分な場合、個別または全体に対し更に指導をおこなう。</p>		
質問・相談方法	<p>授業の前後やオフィスアワー等で対応する。</p>		
オフィスアワー	<p>火曜日～金曜日 16:30～17:30 研究室(西館404号室) ※要事前連絡</p>		
テキスト	<p>講師作成プリント</p>		
参考文献等	<p>『グローバル・エコノミー(新版)』,岩本武和,有斐閣アルマ, 2007年,2,400円, ISBN978-4-641-12461-5</p>		
成績評価基準	<p>授業中の口頭質問・小レポート・定期試験結果の内容でシラバスに示す到達目標が理解されたものは合格とする</p>		
成績評価の方法	<p>授業取組姿勢(10%) 定期試験90分(90%)</p>		
GPA基準			
備考	<p>単位互換[KRICE]提供科目</p>		

科目名	日本国憲法		
担当者	池田 哲之		
授業形式	講義	科目ナンバー	7
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期・後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択必修:介護福祉士(★6単位) 必修:栄教免		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「統治機構」、「人権」という憲法学の2大領域における須要事項を、日本国憲法を基底に解説してゆく。 ・日本国憲法の各条項が、わたしたちの日々の暮らしにどのように関わり合っているのかを重要判例をと おし考察する。 		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法に関する基本知識を身につけている。 ・立憲主義理念に依拠する現代憲法の意義・役割を日々の生活との関連において説明できる。 ・社会における諸課題解決のための方策を、憲法を軸に構想することができる。 		
授業計画			担当者
第1回	鷗州憲政史にみる自由権の確立		池田
第2回	人権の諸相－自由権・社会権・参政権・請求権－		池田
第3回	日本国憲法の構造		池田
第4回	立法府(国会)の権能		池田
第5回	行政府(内閣)の権能と内閣総理大臣の権限		池田
第6回	司法府(裁判所)の権能と違憲立法審査制		池田
第7回	中間まとめ		池田
第8回	人権の享有主体		池田
第9回	私人間における憲法効－3つの判例より－		池田
第10回	精神的自由権－表現の自由・信教の自由－		池田哲之
第11回	幸福追求権－憲法13条の可能性－		池田
第12回	経済的自由権とその規制法理		池田
第13回	生存権と生活保護法		池田
第14回	子どもの発達と教育権		池田
第15回	憲法改正の論点		池田
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの授業予定箇所を読み込み、不明部分は資料等を検索し調べておくこと。 ・授業中・後に提示された課題研究に取り組むこと。 		
課題に対するフィードバックの方法	課題にたいする参考答案例の配布または解説をとおし、知識・理解の整理を図る。		
質問・相談方法	原則として授業時間の前後またはオフィスアワーに受付ける。		
オフィスアワー	月曜16:30～17:30(研究室414)		
テキスト	『図録 日本国憲法』弘文堂 2018年 (ISBN978-4-335-35761-9)		
参考文献等	『公務員試験 スピード解説 憲法』実務教育出版 2015年		
成績評価基準	立憲主義と憲法の関係性を踏まえ、日本国憲法の重要条文の内容・意義を理解している。		
成績評価の方法	定期試験(90%)、受講意欲・態度等(10%)。なお再試は1回にかぎり実施する。		
GPA基準			
備考	上記記載の各内容は、受講生数・受講生の理解度により変更となる場合があります。学生証不携帯による出席確認未了者は欠席扱いとします。		

科目名	歴史学		
担当者	松崎 康弘		
授業形式	講義	科目ナンバー	8
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期・後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	<p>いわゆる「自分たちからは遠い存在の出来事の暗記」ではない、本来の歴史学の在り方を具体的な事例に基づいて学ぶ。民俗学や地理学などとの連携を視野に、柔軟で多角的な歴史の見方を学ぶ。</p> <p>また、現在そして未来の人の生き方や社会の在り方を考えるために歴史研究がどのように生かせるかについても学ぶ。「自分たちの身近に展開した歴史」という視点から、具体的には「地名」「妖怪」「人生儀礼」などのテーマを取り上げる。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 民俗学等との連携も視野に、歴史学の方法を理解する 2. 過去の人々の生き方から自分の生き方を見つめなおす 3. 歴史学の成果を参照しながら、社会の在り方を考える 		
授業計画			担当者
第1回	地名研究と歴史①(地名研究の動向)		松崎
第2回	地名研究と歴史②(鹿児島における地名と歴史)		松崎
第3回	地名研究と歴史③(沖縄等における地名と歴史)		松崎
第4回	歌から読み取る地域の歴史		松崎
第5回	テレビ番組から読み取る地域の歴史		松崎
第6回	妖怪研究と歴史①(研究の視点)		松崎
第7回	妖怪研究と歴史②(映画から読み取る歴史)		松崎
第8回	妖怪研究と歴史③(妖怪から読み取る社会史)		松崎
第9回	妖怪研究と歴史④(妖怪研究とこれからの社会)		松崎
第10回	生活研究と歴史①(死をめぐる文化①:葬儀の文化)		松崎
第11回	生活研究と歴史②(死をめぐる文化②:「メント・モリ」)		松崎
第12回	生活研究と歴史③(恋愛・結婚をめぐる文化)		松崎
第13回	生活研究と歴史④(伝統芸能)		松崎
第14回	生活研究と歴史⑤(食の歴史)		松崎
第15回	まとめ(自らの生活と結びつく歴史)		松崎
事前・事後学習	<p>事前学習: (持っていれば中学校・高校の歴史・日本史教科書を使って) 基礎的な日本史の知識を確認しておく。</p> <p>事後学習: 定期試験のために復習するとともに、授業で紹介した以外の(自分の居住地域に即した)素材を探す。</p>		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	火曜日 14:20~16:30 研究室(西館411号室)		
テキスト	特になし		
参考文献等	『地名の魅力』谷川彰英(白水社)、『妖怪文化入門』小松和彦(せりか書房)ほか		
成績評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容に即して歴史学の方法を理解していること。 ・授業をもとに自己や社会の在り方を自分なりに考えていること。 		
成績評価の方法	定期試験100%(レポートで代替する場合があります)		
GPA基準			
備考			

科目名	インターンシップ		
担当者	石田 もとな		
授業形式	演習	科目ナンバー	9
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	本科目の目的は、今後参画して行く「地域社会」を実践的に体験する機会を与え、これまで得てきた知識やスキルがどの様な関連しているかを、地元企業での職業体験を通して考える機会とする。事前研修として、研修先企業研究、地域貢献、職業意識・ビジネスマナー研修等の指導が、本学教員と2～3名の学外講師で実施する。講義後、夏季休業中に1～2週間インターンシップを体験。事後研修として報告書の作成に基づき体験発表会を行い職業体験の共有を図る。		
授業の到達目標	1. 地元企業体験を短大での学習にフィードバックさせ、以後の学生生活に役立て、社会人としての自覚を持つ 2. 職業に関する興味、関心、適性がどこにあるかを自ら考えられる		
授業計画		担当者	
第1回	ガイダンスーインターンシップとは何か	石田	
第2回	研修先地元企業概要・エントリーシート登録方法説明	石田	
第3回	エントリーシート・自己PRの書き方	石田	
第4回	一次マッチング説明・仕事の基本的心得	石田	
第5回	県内雇用環境の説明・働く意義	石田	
第6回	研修企業の研修内容説明	石田	
第7回	来客対応の基本・二次マッチング参加登録	石田	
第8回	職場の人間関係・二次マッチング調整	石田	
第9回	職場のマナー研修	石田・A	
第10回	企業のしくみとコンプライアンス	石田	
第11回	インターンシップ地元企業の業界研究・地域貢献活動	石田	
第12回	外部講師講演(県内企業の現状と課題等)	石田・B	
第13回	お礼状の書き方	石田	
第14回	インターンシップによる職業体験(1～2週間程度)	石田	
第15回	研修日誌・研修報告書等作成・提出	石田	
事前・事後学習	事前学習・・・関心ある企業について企業研究・調査を行う 事後学習・・・インターンシップ後、得られた成果を自分の進路決定に活かせるように努める		
課題に対するフィードバックの方法	個別業界研究・企業研究など課題を課す場合、口頭もしくは文書でその報告を求めるなど個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	火曜日～金曜日 16:30～17:30 研究室(西館404号室) ※要事前連絡		
テキスト	特になし		
参考文献等	1. 講師作成プリント 2. 『インターンシップーキャリア教育としての就業体験』、古閑博美、学文社、2011年1,800円、ISBN978-4-7620-2139-8		
成績評価基準	インターンシップ参加の報告書・プレゼンテーションの内容でシラバスに示す到達目標が理解されたものは合格とする。		
成績評価の方法	研修報告書等提出物(70%) 参加報告プレゼンテーション(30%)で総合的に判断する。		
GPA基準			
備考	学内講師:A 有馬(恵) 外部講師:B 理事長 COC関連科目 「一般教養科目『インターンシップ』実施要領」(学生便覧参照)によりインターンシップ参加要件あり		

科目名	英語演習 I		
担当者	生田 和也		
授業形式	演習	科目ナンバー	10
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	クラス分け
免許・資格情報			
授業の概要	<p>ニューヨークを舞台とした英語の短い動画を用いながら、英語を聞く、話す、読む基本的な能力を養う。短い場面を自分たちで英語を用いて再現したり、スキットを作成することで、日常的な英語でのコミュニケーション能力を向上する。また高校までの英文法の復習をし、定着を目指す。基礎的な発音・文法の確認やコミュニケーション能力の向上のために、英語の歌やアクティビティも授業に適時取り入れる。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語による簡潔な日常的コミュニケーション能力を習得する。 2. 高校まで学んできた英文法を復習し、定着させる。 3. 動画や歌などを通して正確な英語の発音や聞き取り能力を向上させる。 		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション: 語学を学ぶに当たって	生田	
第2回	Unit 1 It's So Nice to Meet You! リスニングと会話	生田	
第3回	Unit 1 It's So Nice to Meet You! 文法と読解	生田	
第4回	Unit 2 Is He a Popular Professor? リスニングと会話	生田	
第5回	Unit 2 Is He a Popular Professor? 文法と読解	生田	
第6回	Unit 4 For Here or To Go? リスニングと会話	生田	
第7回	Unit 4 For Here or To Go? 文法と読解	生田	
第8回	Unit 5 She Is So Beautiful リスニングと会話	生田	
第9回	Unit 5 She Is So Beautiful 文法と読解	生田	
第10回	Unit 6 Catching a Cab リスニングと会話	生田	
第11回	Unit 6 Catching a Cab 文法と読解	生田	
第12回	Unit 12 The Fourth of July Is Coming Up リスニングと会話	生田	
第13回	Unit 12 The Fourth of July Is Coming Up 文法と読解	生田	
第14回	Unit 7 How Romantic! リスニングと会話	生田	
第15回	Unit 7 How Romantic! 文法と読解	生田	
事前・事後学習	<p>授業には予習が課され、予習範囲から出題される小テストの結果が成績に反映される。また英語力定着のため学習内容の復習が求められる。</p>		
課題に対するフィードバックの方法	<p>小テストやコメントシートへのフィードバックを授業中に適時行う。</p>		
質問・相談方法	<p>授業前後の教室、あるいはオフィスアワーに研究室にて質問・相談に応じる。また事前に希望があればオフィスアワー以外にも対応する。</p>		
オフィスアワー	<p>金曜 14:40～16:10 研究室(西館408号室)</p>		
テキスト	<p>『Hello New York: Learning Basic English with Aya in 15 Episodes』 Tekehisa Tsuchiya, Yoshihiko Honda, Braven Smillie. Kinseido. 2017. 2500円. 978-4-7647-4011-2</p>		
参考文献等	<p>英語辞書</p>		
成績評価基準	<p>英語による簡潔な日常的コミュニケーション能力を習得し、英文法を定着させると共に、発音や聞き取り能力を向上させる手法を理解する。</p>		
成績評価の方法	<p>小テストや提出物(50%)、定期試験(50%)</p>		
GPA基準			
備考			

科目名	英語演習 I		
担当者	吉村 圭		
授業形式	演習	科目ナンバー	10
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	クラス分け
免許・資格情報			
授業の概要	会話や作文に最低限必要な英文法について授業を行う。テキストを通し、文法事項の解説を行った上で、リーディング、ライティング、リスニングを行う。その際、補助教材として海外の映画や英語版のマンガを用いる。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英文の基礎的なルールを理解し、簡単な英作文、聞き取り、読解ができる。 2. グループのメンバーで協力し、英訳等のクイズに取り組むことができる。 3. 自分がしたことやこれからの目標を英語で表現できる。 		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション:語学を学ぶに当たって		吉村
第2回	英語の語順の確認		吉村
第3回	英語の語順の確認(動詞の使いわけ)		吉村
第4回	一般動詞、過去形 規則変化		吉村
第5回	一般動詞、過去形 不規則変化 基本事項		吉村
第6回	進行形 基本事項		吉村
第7回	進行形 否定形、尋ね方		吉村
第8回	未来形 基本事項		吉村
第9回	未来形 否定形、尋ね方		吉村
第10回	助動詞 基本事項		吉村
第11回	助動詞 否定形、尋ね方		吉村
第12回	特殊な形の文 命令文		吉村
第13回	特殊な形の文 There is/are構文		吉村
第14回	Itの特殊な使われ方		吉村
第15回	Itの特殊な使われ方(It~to構文)		吉村
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時に配布したプリントを用い、日本語訳や英訳の作業を行う。 ・授業時に紹介した映画を視聴し、会話表現の聞き取りを行う(英語字幕に切り替えると便利)。 		
課題に対するフィードバックの方法	回収した課題は添削して返却する。		
質問・相談方法	授業の前後、またはオフィスアワーに対応する。		
オフィスアワー	金曜日 12:05~12:50 吉村研究室(西館309号室)		
テキスト	『Everyday English Grammar<Theird Edition>』 水島孝司著 南雲堂 2018年 2000円(税抜き)(ISBN: 9784523178620)		
参考文献等	『英単語ターゲット1400』等単語帳		
成績評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の基礎的なルールを理解し、簡単な英作文、聞き取り、読解ができること。 ・自分がしたことやこれからの目標を英語で表現できること。 		
成績評価の方法	定期試験(60%)、小テスト・提出物(10%)、グループ活動参加(30%)□		
GPA基準			
備考			

科目名	フランス語演習 I		
担当者	杉山 朱実		
授業形式	演習	科目ナンバー	11
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	各課は、「挨拶する」「紹介する」「尋ねる」といった、現実のコミュニケーションの場で体験するテーマに沿った短い会話文が中心となる。これら各課のテーマを表現するのに必要な文法事項も学び、フランス語表現の習得と共に、聞く・書く・読むといった、総合的なフランス語の運用能力を習得していく。		
授業の到達目標	1.現実のコミュニケーションの場で使える生きたフランス語の習得を目指す 2.一回の授業の中で、毎回受講生が、必ず、フランス語で会話ができることを目標とする 3.アクティブラーニングの実施をめざす		
授業計画			担当者
第1回	フランスとフランス語に親しむ		杉山
第2回	フランス語のアルファベットに親しむ		杉山
第3回	フランス語で挨拶をする		杉山
第4回	フランス語で名前を言う		杉山
第5回	フランス語で国籍を言う		杉山
第6回	フランス語で職業を言う		杉山
第7回	フランス語で年齢を言う		杉山
第8回	フランス語で家族を語る		杉山
第9回	フランス語で好きなものを言う		杉山
第10回	フランス語で友達について話す		杉山
第11回	フランス語で持ち物をいう		杉山
第12回	フランス語で尋ねてみる		杉山
第13回	フランス語で近い未来、近い過去を言う		杉山
第14回	フランス語で時間を言う		杉山
第15回	フランス語で天気を言う		杉山
事前・事後学習	事前学習…意味のわからない用語は辞書等で調べておくこと。 事後学習…小テストでロールプレイ等をして復習する。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、毎回チェックのうえ返却し、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	月曜日 10:25～10:35、12:05～12:15（講義室）		
テキスト	『パリのクール・ジャパン』、藤田裕二、朝日出版社、2018.1.30、2500円、ISBN978-4-255-35211-4		
参考文献等	辞書の説明など、講義の中で説明していく。		
成績評価基準	聞く・書く・読むといった運用能力を習得し、フランス語で会話ができること。		
成績評価の方法	各講義中の毎回の小テスト(50%)、授業中の平常点(50%)での総合評価		
GPA基準			
備考			

科目名	中国語演習 I		
担当者	黒川 太郎		
授業形式	演習	科目ナンバー	12
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	中国語初学者対象の授業です。簡単な挨拶表現、基本的な発音および文型を中心に教えます。日常生活に必要な語彙を身に付けることを目的に会話を中心とした授業を行います。毎回の授業では日本語との発音の違いに注意し、正確な発音の練習に時間を割き、授業の終わりには、受講者が中国語で自己紹介できることを目標とします。		
授業の到達目標	1.中国語の発音に慣れ、ローマ字ピンインで書ける。 2.中国語で自己紹介し、1～10の数を正確に言える。 3.簡単な挨拶表現ができる。		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション:語学を学ぶにあたって		黒川
第2回	第1課 挨拶(1)発音(声調・短母音)・ピンイン表記「こんにちは」		黒川
第3回	第2課 挨拶(2)発音(子音・複合母音・鼻母音)「お変わりありませんか」		黒川
第4回	第3課 挨拶(3)発音と簡単な挨拶表現「お仕事は忙しいですか」		黒川
第5回	発音の矯正 自分の名前の中国語音の確認		黒川
第6回	第4課 初めて会う(1)疑問文「お名前はなんとおっしゃいますか」		黒川
第7回	第5課 初めて会う(2)動詞述語文「ちょっとご紹介します」		黒川
第8回	第1課～第5課復習(自己紹介)		黒川
第9回	第6課 尋ねる(1)名詞述語文「誕生日は何月何日ですか」		黒川
第10回	第7課 尋ねる(2)「有」文「ご家族は何人ですか」		黒川
第11回	第8課 尋ねる(3)時間の読み方「今何時ですか」		黒川
第12回	発音の矯正 疑問文の作り方		黒川
第13回	第9課 尋ねる(4)連動文「お住まいはどちらですか」		黒川
第14回	第10課 尋ねる(5)方位詞「郵便局はどこですか」		黒川
第15回	第6課～第10課復習(数を表す表現)		黒川
事前・事後学習	・教科書付属のCDを聞き、中国語独特の発音とリズムを習得する。 ・授業前後に新出単語の学習をする。		
課題に対するフィードバックの方法	希望があれば個別に対応する。また、授業内で言及する場合もある。		
質問・相談方法	オフィスアワー内で対応		
オフィスアワー	月曜日 13:00～17:00 黒川研究室(西館307号室)		
テキスト	「新訳第3版 中国語会話301(上)」康玉華・来思平 語文研究社 2006年 1300円(税抜き)(ISBN-10:493131550X)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	ローマ字ピンインを正確に発音できること。自己紹介・簡単な挨拶表現ができること。		
成績評価の方法	定期試験(50%)、受講態度を総合的に評価(30%)、授業内で行う会話試験(20%)		
GPA基準			
備考			

科目名	韓国語演習 I		
担当者	李 賢雄		
授業形式	演習	科目ナンバー	13
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	クラス分け
免許・資格情報			
授業の概要	韓国語の文字(ハングル)の読み書きを身につけ、簡単な挨拶表現及び基礎文法を説明した後、音読練習、作文練習、対話練習を通じて、授業の最後に目標会話を暗記し発表や小テスト時間を設けることにより学習内容を授業時にしっかり身につけることを目指す。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 韓国語の文字(ハングル)と発音を表すことができる。 2. 自己紹介や簡単な日常会話ができる。 3. 言語を通じて韓国への理解を深めることができる。 		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション: 語学を学ぶに当たって		李(イ)
第2回	韓国語の文字(ハングル)と発音1(母音)		李(イ)
第3回	韓国語の文字(ハングル)と発音2(子音)		李(イ)
第4回	韓国語の文字(ハングル)と発音3(パッチム)		李(イ)
第5回	日本語のハングル表記方法		李(イ)
第6回	物事の名称についての表現1(文法)		李(イ)
第7回	物事の名称についての表現2(応用)		李(イ)
第8回	出身地について尋ねる1(文法)		李(イ)
第9回	出身地について尋ねる2(応用)		李(イ)
第10回	家族の呼び名及び紹介1(文法)		李(イ)
第11回	家族の呼び名及び紹介2(応用)		李(イ)
第12回	存在の有無を表す1(文法)		李(イ)
第13回	存在の有無を表す2(応用)		李(イ)
第14回	場所を尋ねる表現1(漢数字1/文法)		李(イ)
第15回	場所を尋ねる表現2(漢数字2/応用)		李(イ)
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを事前に読んでおくこと。 ・各課に出てくる新しい単語や用語は辞書等で調べておくこと。 ・5回おきに小テストを行うので復習をすること。 		
課題に対するフィードバックの方法	課題を果たした場合求めに応じて個別に指導、授業内で提出された課題の要点に触れる。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	月曜日8:40~8:50、10:20~10:30(講義室)		
テキスト	『これで話せる韓国語STEP1』、入佐信宏・金孝珍 共著、白帝社、2015年、2,300円(税抜き)、ISBN978-4-86398-181-2C3087		
参考文献等	「あいうえお」から始める書き込み式ハングルBOOK、栗原景 著、成美堂出版、2012年、1,000円(税抜き)、ISBN978-4-415-03030-2		
成績評価基準	ハングルの母音と子音を正確に区別でき、決まり文句としての挨拶や簡単な質問ができ、またそういった質問に答えることができたものは合格とする。		
成績評価の方法	定期試験(50%)、小テスト(30%)、課題(20%)		
GPA基準			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・受講希望者が5名以下の場合開講されません。 ・韓国語を初めて学習する人が望ましい。 		

科目名	韓国語演習 I		
担当者	姜 美貞		
授業形式	演習	科目ナンバー	13
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	クラス分け
免許・資格情報			
授業の概要	韓国語の文字(ハングル)の読み書きを身につけ、簡単な挨拶表現及び基礎文法を説明した後、音読練習、作文練習、対話練習を通じて、授業の最後に目標会話を暗記し発表や小テスト時間を設けることにより学習内容を授業時にしっかり身につけることを目指す。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 韓国語の文字(ハングル)と発音を表すことができる。 2. 自己紹介や簡単な日常会話ができる。 3. 言語を通じて韓国への理解を深めることができる。 		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション: 語学を学ぶに当たって		姜
第2回	韓国語の文字(ハングル)と発音1(母音)		姜
第3回	韓国語の文字(ハングル)と発音2(子音)		姜
第4回	韓国語の文字(ハングル)と発音3(パッチム)		姜
第5回	日本語のハングル表記方法		姜
第6回	物事の名称についての表現1(文法)		姜
第7回	物事の名称についての表現2(応用)		姜
第8回	出身地について尋ねる1(文法)		姜
第9回	出身地について尋ねる2(応用)		姜
第10回	家族の呼び名及び紹介1(文法)		姜
第11回	家族の呼び名及び紹介2(応用)		姜
第12回	存在の有無を表す1(文法)		姜
第13回	存在の有無を表す2(応用)		姜
第14回	場所を尋ねる表現1(漢数字1/文法)		姜
第15回	場所を尋ねる表現2(漢数字2/応用)		姜
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを事前に読んでおくこと。 ・各課に出てくる新しい単語や用語は辞書等で調べておくこと。 ・5回おきに小テストを行うので復習をすること。 		
課題に対するフィードバックの方法	課題を果たした場合求めに応じて個別に指導、授業内で提出された課題の要点に触れる。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	月曜日8:40~8:50、10:20~10:30(講義室)		
テキスト	『これで話せる韓国語STEP1』、入佐信宏・金孝珍 共著、白帝社、2015年、2,300円(税抜き)、ISBN978-4-86398-181-2C3087		
参考文献等	「あいうえお」から始める書き込み式ハングルBOOK、栗原景 著、成美堂出版、2012年、1,000円(税抜き)、ISBN978-4-415-03030-2		
成績評価基準	ハングルの母音と子音を正確に区別でき、決まり文句としての挨拶や簡単な質問ができ、またそういった質問に答えることができたものは合格とする。		
成績評価の方法	定期試験(50%)、小テスト(30%)、課題(20%)		
GPA基準			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・受講希望者が5名以下の場合開講されません。 ・韓国語を初めて学習する人が望ましい。 		

科目名	日本語演習 I		
担当者	岩切 朋彦		
授業形式	演習	科目ナンバー	14
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	この授業では、日本語学校で勉強したN2レベルの日本語の文型をもう一度勉強し、しっかり使えるようにします。そのあと、N1レベルの文型も勉強します。短期大学の授業では、日本語学校で習ったことがない語いもたくさん覚えなければなりません。ですから、語いの勉強もします。また、漢字は書くことより読むことの方が大切ですから、読める漢字の量をふやします。		
授業の到達目標	1、JLPTのN1～N2レベルの日本語の文型をおぼえ、使えるようになる 2、短期大学の授業で使われる語いをおぼえ、理解できるようになる 3、読める漢字の量をふやす		
授業計画			担当者
第1回	テストをして、みなさんの日本語の能力を調べます		岩切
第2回	行為の対象 文型：～にこたえて・～をめぐる・～にかかわる 語いと漢字①		岩切
第3回	目的・手段・媒介 文型：～上で・～べく・～をもって 語いと漢字②		岩切
第4回	起点・終点・限界・範囲 文型：～をはじめ・～からして・～を限りに 語いと漢字③		岩切
第5回	時間的同時性・時間的前後関係 文型：～とともに・～と思ったら・～次第 語いと漢字④		岩切
第6回	進行・相関関係 文型：～つつある・～ようとしている・～ばかりだ 語いと漢字⑤		岩切
第7回	付帯・非付帯 文型：～つつ・～ぬきで・～をぬきにして 語いと漢字⑥		岩切
第8回	中間テスト		岩切
第9回	限定 文型：～に限り・～かぎり(は)・～かぎりでは・ただ～のみ 語いと漢字⑦		岩切
第10回	非限定・付加 文型：～に限らず・～のみならず・～にとどまらず 語いと漢字⑧		岩切
第11回	比較・程度・対比 文型：～くらいなら・～にもまして・～ないまでも 語いと漢字⑨		岩切
第12回	基準 文型：～に沿って・～に基づいて・～を踏まえて 語いと漢字⑩		岩切
第13回	関連・対応 文型：～次第では・～に応じて・～を契機に(して) 語いと漢字⑪		岩切
第14回	無関係・無視・例外 文型：～にかかわらず・～はともかく・～いかんによらず 語いと漢字⑫		岩切
第15回	日本の映画を見て「日本文化」について考えます		岩切
事前・事後学習	授業で教わったことを、その日に家でもう一度勉強してください		
課題に対するフィードバックの方法	中間テストなどで確認します		
質問・相談方法	授業中に質問してもいいですし、オフィスアワーの時間に研究室(西館407)に来てもいいです		
オフィスアワー	金曜日 10:35～12:05 研究室(西館407号室)		
テキスト	特になし(プリントを配ります)		
参考文献等	『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』友松悦子ほか著 株式会社アルク 2013年 2500円		
成績評価基準	勉強した文型や語いが使えようになったかどうかを評価の基準にします		
成績評価の方法	授業態度(20%)、 中間テスト(40%)、 課題レポート(40%)		
GPA基準			
備考	受講対象者 留学生のみ		

科目名	数学基礎		
担当者	内田 豊海		
授業形式	講義	科目ナンバー	15
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期・後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択必修:介護福祉士(★6単位)		
授業の概要	<p>数学は、昔から様々な文化で多くの人々が創造してきた知の体系です。本講義では、多様な単元を取り扱い、問題解決を通して、「数学すること」の楽しさを実感することを目的としています。また、先人の知に触れることで、文化としての数学を継承するとともに、数学的な考え方のよさも体験し、自ら創意工夫し、問題解決を試みようという態度を培っていきます。</p>		
授業の到達目標	<p>1. 数学的活動の楽しさを知り、問題解決をしようとする態度を培う 2. 数学の有用性を認識する 3. 習得した技能を日常に応用することができる</p>		
授業計画		担当者	
第1回	数の歴史 いろいろな文化にある様々な数学	内田	
第2回	不思議な数のパターン	内田	
第3回	微分と積分 イメージすると計算できる	内田	
第4回	迷路 出口を見つけるためにはどうしたらいいだろう	内田	
第5回	グラフを読む 鹿児島の人人口変動を探ろう	内田	
第6回	数値を読み解く オリンピック選手を選んでみよう	内田	
第7回	タングラム 図形を組み合わせてみると	内田	
第8回	面積 一つの知識でどれだけのが考えられるか	内田	
第9回	確率 好きな人の隣に座れる確率は	内田	
第10回	フィボナッチ数 美しいデザインの中にある秘密	内田	
第11回	価値観 数を選ぶことで、自分の価値を知る	内田	
第12回	関数 変化する先の予測	内田	
第13回	証明 どうしたら人に説明できるだろう	内田	
第14回	ベクトル 力を図示するとわかること	内田	
第15回	不完全性定理 数学はどこまで正しいのだろうか	内田	
事前・事後学習	授業内容に即した発展的問題を課題として提示する		
課題に対するフィードバックの方法	提出された課題の添削および返却		
質問・相談方法	授業後およびオフィスアワーに直接尋ねる		
オフィスアワー	月曜日 13:00～16:00(西館412号室)		
テキスト	特になし		
参考文献等	『偏愛的数学 驚異の数』ポザマンティエ著 岩波書店 (ISBN-978-4000059817) 2200円		
成績評価基準	各単元の数学的知識の理解および問題解決力の有無		
成績評価の方法	定期試験(70%) 授業態度(30%)		
GPA基準			
備考			

科目名	理科基礎		
担当者	内田 豊海		
授業形式	講義	科目ナンバー	16
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期・後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	身近なものや出来事でも、よく考えてみると、不思議なことばかり。この授業では、様々な「なぜ？」から出発して、その？を解き明かすことで、科学の楽しさを実感するとともに、科学的な考え方も身につけていくことを目標としています。取り扱う内容は、広い科学の分野から、できるだけ多くの単元を選出しており、結果として、たくさんの方に興味・関心をもち、最終的には、自分で科学についてももっと知りたい、考えたいと思えるような授業構成にしています。		
授業の到達目標	1.理科・科学の楽しさを実感する 2.様々なものごとに、興味関心をもつ視点を養う 3.疑問や問題に、自分なりの考えをもてる科学的思考力を習得する”		
授業計画			担当者
第1回	ロウソクの観察を通し、科学的な考え方を知ろう	内田	
第2回	五感で感じられることは何？ 視覚・聴覚・触覚	内田	
第3回	五感で感じられることは何？ 嗅覚・味覚	内田	
第4回	最先端の科学事情 今科学でできること	内田	
第5回	宇宙の誕生と今、そして未来	内田	
第6回	星座物語と地球誕生	内田	
第7回	生物 その進化と多様性	内田	
第8回	遺伝するもの、しないもの	内田	
第9回	病気ってなんだろう？	内田	
第10回	燃えるもの、燃えないもの	内田	
第11回	化学反応式はすごい こんなことまで説明できる	内田	
第12回	電化製品はどんな仕組み？ イヤホンを作ってみよう	内田	
第13回	炎色反応 金属を使って花火を作ろう	内田	
第14回	時間の流れは同じではない？ 相対性理論と量子力学	内田	
第15回	科学的ってなんだろう？ 科学と疑似科学	内田	
事前・事後学習	日常で不思議に思ったことをメモし、自分なりにその答えを考えるとともに、授業の前後で教員と話をしながら、その背景を探る		
課題に対するフィードバックの方法	講義において教室全体に対してのコメントとしてフィードバックしていく		
質問・相談方法	授業後およびオフィスアワーに直接尋ねる		
オフィスアワー	月曜日 13:00～16:00(西館412号室)		
テキスト	特になし 授業中に適宜資料を配布する		
参考文献等	科学雑誌『ニュートン』		
成績評価基準	基礎的な知識だけでなく、科学的思考力の定着度合い、さらに理科への興味関心の具合を基準とする		
成績評価の方法	定期試験(70%) 授業態度(30%)		
GPA基準			
備考			

科目名	分子からみた生物		
担当者	横峯 孝昭		
授業形式	講義	科目ナンバー	17
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期・後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	生物とは何か、このことについて一般常識としての生物と、最近の生物に関する知見について学び、自分のこととして考えられる教養を身につける。		
授業の到達目標	1. 生物について基礎的な知識を習得する 2. 最近の生物における知見を学ぶ		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション	横峯	
第2回	生物と細胞	横峯	
第3回	生物の体を作っているもの(異化)	横峯	
第4回	生物の体を作っているもの(同化)	横峯	
第5回	細胞の増え方、精子と卵のでき方	横峯	
第6回	メンデルの遺伝(優性の法則、分離の法則について)	横峯	
第7回	血液型で遺伝を知ろう	横峯	
第8回	男の子、女の子の生まれる確率(伴性遺伝)	横峯	
第9回	遺伝疾患の分類	横峯	
第10回	クローン動物	横峯	
第11回	臓器移植	横峯	
第12回	生物の進化と地球環境①(生命の誕生)	横峯	
第13回	生物の進化と地球環境②(全球凍結と生命)	横峯	
第14回	生命の進化と地球環境③(大海からの離脱)	横峯	
第15回	生物の進化と地球環境④(大量絶滅)	横峯	
事前・事後学習	自ら作成した板書ノートを読み直し、次の講義へ備える		
課題に対するフィードバックの方法	課題に対しては求めに応じて個別に対応する		
質問・相談方法	講義の前後、オフィスアワーで対応する		
オフィスアワー	金曜日 16:30~18:00 研究室(西館401号室)		
テキスト	特になし		
参考文献等	休みの時間の生物学 朝倉幹晴 講談社サイエンティフィック 2376円 (ISBN978-4061557017)		
成績評価基準	本講義内において紹介・説明した生物学の一般常識を理解し、自分の言葉で説明できること		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
GPA基準			
備考			

科目名	人間と環境		
担当者	岩切 朋彦		
授業形式	講義	科目ナンバー	18
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期・後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択必修:介護福祉士(★6単位)		
授業の概要	人間は、地球上のあらゆる場所にいます。長い歴史の中で、様々な自然環境に適応してきたのが人間です。その適応は、牙を伸ばしたり毛を増やしたりといった身体的変化ではなく、自然環境に合わせて独自の社会環境・技術環境・精神的環境を生み出すことによって行われてきました。人類学の一領域である環境人類学は、人間と環境とのこうしたかわりについて、多角的な視点から研究を行ってきた学問です。この講義では、環境人類学の基本的な理論を通して、人間と環境の様々な相互関係について概説していきます。		
授業の到達目標	1、環境人類学の基本的な理論について学び、理解する 2、人間と環境の複雑な相互関係について学び、理解する 3、自分の日常的な環境について、学んだ理論を用いて説明することができる		
授業計画			担当者
第1回	文化人類学と環境人類学に居ついて—イントロダクションとして		岩切
第2回	人間は「文化」によって環境に適応する—人間と環境との生態学的関係		岩切
第3回	飢えないために人間が編み出してきたこと—環境と生業経済		岩切
第4回	住居も「道具」のひとつである—諸民族の住居と自然環境への適応		岩切
第5回	人間は「進化」しているのか—文化生態学と多系進化論		岩切
第6回	環境は言語によって創造される—民族生態学とタクソミー研究		岩切
第7回	シンボルによって織りなされた豊かな環境観—構造主義と「野生の思考」		岩切
第8回	宗教は生態系に影響を与える—ホメオスタシスとしての儀礼		岩切
第9回	文化によってモノはさまざまな意味をおびる—モノの意味と交換		岩切
第10回	国家もまた「環境」のひとつである—複合社会の生態学		岩切
第11回	金属は役には立つが悩みも多い—鉱物開発に伴う種々の問題		岩切
第12回	「3.11」以降の日本と原子力発電—ハザードとリスク		岩切
第13回	「人口爆発」と環境破壊—地球人口の増加と環境への影響		岩切
第14回	環境破壊によって生み出される新たな病—環境と健康		岩切
第15回	グローバル化時代における人間と環境—まとめとして		岩切
事前・事後学習	その日の授業で学んだ内容について、自分の生活環境と関連付けながら考え、復習すること。また、テレビや新聞、インターネットなどで、環境問題についてのニュースがないかチェックしておくこと。		
課題に対するフィードバックの方法	感想シートによる理解度チェックを行う		
質問・相談方法	授業中の質問、研究室(西館407)での対応		
オフィスアワー	金曜日 10:35~12:05 研究室(西館407号室)		
テキスト	特になし(プリント配布)		
参考文献等	『環境人類学を学ぶ人のために』パトリシア・K・タウンゼンド著 世界思想社 2004年 1700円 『最新研究で読む地球環境と人類史』石弘之著 洋泉社 2016年 2200円		
成績評価基準	①理論の理解度 ②人間と環境を巡る問題に対して自らの意見を言えるかどうか ③受講態度		
成績評価の方法	定期試験(80%) 受講態度(20%)		
GPA基準			
備考			

科目名	キャリアガイダンス I (生活福祉専攻)		
担当者	谷川 知士		
授業形式	講義	科目ナンバー	19
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	1	担当形態	複数
免許・資格情報			
授業の概要	有意義な短大生活を過ごすために、卒業後の進路に関して多方面から学び、自己理解を深め、自分がどのような生き方をしたいのかを考える。		
授業の到達目標	1. 自己理解を深める 2. 自分の生き方を考える		
授業計画		担当者	
第1回	キャリアデザインに必要な基礎的知識を学び、理解する	B	
第2回	短大生活の送り方を考える	A	
第3回	社会人として働く意味と職業観を学ぶ	B	
第4回	多彩な職種や業種を系統的に学ぶ	C	
第5回	社会人として必要なマナーを学ぶ	A	
第6回	コミュニケーション能力を身に付ける	A	
第7回	会社組織や関係法などから自分の立場を理解する	C	
第8回	キャリアデザインの構築(進路を考える)	B	
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	事前学習・・・キャリアセンター等で求人情報等の見方を調べておく。 事後学習・・・自分に適した就職先について調べる。		
課題に対するフィードバックの方法	自分の長所と短所について、理解しながらアピールシート等にかかせる。		
質問・相談方法	アピールシートなどを参考に、最適な書き方についてのやり取りを行う。		
オフィスアワー	第1・第3水曜日 14:40～17:55 谷川研究室(西館316号室)		
テキスト	特になし		
参考文献等	「ビジネスマナーの基本講座」ANA ラーニング 成美堂出版 2011年 1,000円)税別)		
成績評価基準	到達目標に掲げた項目をおおよそ理解すること。		
成績評価の方法	授業への参加態度(60%)とレポート等(40%)で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	COC科目 A:生活福祉専攻教員(谷川・竹中・浜崎・福永) B:就職ガイダンス(学生支援課職員) C:外部講師等(福祉施設関係者や生活福祉の卒業生等)		

科目名	キャリアガイダンス I (食物栄養学専攻)		
担当者	山崎 歌織		
授業形式	演習	科目ナンバー	19
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	必修
単位数	1	担当形態	複数
免許・資格情報			
授業の概要	有意義な短大生活を過ごすための指導や講話を行う。また、卒業後の進路に関して多方面から学び、自己理解を深め、自分がどのような生き方をしたいのかを考える機会とする。そのために、学外研修による生産者との交流や各種プロジェクト活動への参加により学習を深めさせる。		
授業の到達目標	1. 自己理解を深める 2. 自分の生き方を考える		
授業計画		担当者	
第1回	短大生活の送り方	A・B	
第2回	情報の取り扱い方	渡邊	
第3回	コミュニケーションを学ぶ	松元	
第4回	多彩な職種や業種を系統的に学ぶ	外部講師	
第5回	社会人として必要なマナーを学ぶ	有馬(恵)	
第6回	会社組織の仕組みと自分の立場を理解する	外部講師	
第7回	地産地消と地域の活性化について考える	外部講師	
第8回	心身の発達と仕組みを理解する	外部講師	
第9回	地域との関わりについて考える	外部講師・A	
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	事前: 日常的に求人情報を把握し企業研究を行う 事前: 進学希望者は進学先の研究を行う 事後: プロジェクト活動を通して地域との関わりを持つ		
課題に対するフィードバックの方法	レポート等の課題に対する質問があった場合、オフィスアワーを活用し個別に対応する		
質問・相談方法	オフィスアワーを活用し、個別に対応する		
オフィスアワー	木曜日 14:40～16:20 各講義室		
テキスト	特になし		
参考文献等	「ビジネスマナーの基本講座」ANAラーニング 成実堂出版 1,000円		
成績評価基準	各講義に出席し、自己理解を深め、自分の生き方について考えることができた場合に合格とする。		
成績評価の方法	受講態度(60%)、レポート等の提出状況(40%)により、総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	A: 専攻教員(山崎、住澤、山元、寺師、千葉、改元、安達)、B: 学生支援課		

科目名	海外事情		
担当者	黒川 太郎、内田 豊海		
授業形式	演習	科目ナンバー	20
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	複数
免許・資格情報			
授業の概要	本授業は、異文化体験を通し、国際理解を深め、国際感覚を養おうというものである事前指導で研修国の文化や歴史、民族性を学習したのち、協定校である台湾高雄にある樹人医護管理専科学校を拠点に、履修学生が所属する学科の特性に見合った研修を行う。		
授業の到達目標	1. 異文化に接し、異文化への理解を深める 2. 体験的に国際感覚を養う 3. 自らの専門分野について国際比較の観点から理解を深める		
授業計画		担当者	
第1回	事前説明 台湾研修の流れと台湾の国情(5月・6月)	黒川	
第2回	事前指導 中国語授業:簡単な挨拶と自己紹介(7月)	黒川	
第3回	1日目:台湾への移動と現地学生との交流	引率教員	
第4回	2日目:樹人医護管理専科学校の学内散策	引率教員	
第5回	3日目:台湾語の学習	引率教員	
第6回	3日目:日本文化の紹介	引率教員	
第7回	4日目:文化村訪問	引率教員	
第8回	4日目:伝統工芸体験	引率教員	
第9回	5日目:幼稚園・保育所訪問	引率教員	
第10回	5日目:台湾の教育事情	引率教員	
第11回	6日目:パイナップルケーキ調理実習	引率教員	
第12回	6日目:台湾の食事情	引率教員	
第13回	7日目:研修活動の合同発表	引率教員	
第14回	8日目:台北散策	引率教員	
第15回	研修成果の発表	黒川	
事前・事後学習	インターネットやニュース、書籍を通し、台湾に関する情報を収集し、文化や人に対する関心を深める		
課題に対するフィードバックの方法	適宜、個人個人に直接コメントしてフィードバックする		
質問・相談方法	オフィスアワーに研究室にて対応		
オフィスアワー	木曜日 10:35~12:05 西館307号室		
テキスト	特になし		
参考文献等	「地球の歩き方 ガイドブック D10 台湾 2019年~2020年版」ダイヤモンド社 2019年 1700円(税抜)ISBN:978-4-478-82314-9		
成績評価基準	国際交流に関する視野の広がり 国際理解に関する知見		
成績評価の方法	研修中の活動(60%) 研修の発表(20%) レポート(20%)		
GPA基準			
備考	1. 参加学生数や台湾の情勢により、本授業が開講されない可能性もある2. 本科目に興味を持つ学生は、初回の履修登録時に履修登録をする(後日取消可能)3. 初回の履修登録期間中に登録しない者は、原則として追加登録を認めない4. 説明会2回(5・6月)および中国語講座(7月)、事前説明会(8月)を実施予定5. 参加学生は後日研修成果を発表		

科目名	英語演習Ⅱ		
担当者	吉村 圭		
授業形式	演習	科目ナンバー	21
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	クラス分け
免許・資格情報			
授業の概要	この授業では前期に引き続き、会話や英作文に最低限必要な英文法の理解を目標とする。後期の授業では特に品詞に着目し、名詞や形容詞、副詞などを正しく使い分け、文章を正しく理解することを目指す。その際、補助教材として海外の映画や英語版のマンガを用い、英語の理解を深める。		
授業の到達目標	1. 英文の基礎的なルールを理解し、簡単な英作文、聞き取り、読解ができる。 2. グループのメンバーで協力し、英訳等のクイズに取り組むことができる。 3. 自分がしたことやこれからの目標を英語で表現できる。		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション、英語の語順確認	吉村	
第2回	名詞 基本事項	吉村	
第3回	名詞 主語、目的語、補語	吉村	
第4回	代名詞 人称代名詞	吉村	
第5回	代名詞 注意が必要な代名詞 (other等)	吉村	
第6回	前置詞 基本事項	吉村	
第7回	前置詞 注意が必要な前置詞 (in, on, atの使い分け等)	吉村	
第8回	形容詞 基本事項	吉村	
第9回	形容詞 注意が必要な形容詞 (数量形容詞等)	吉村	
第10回	副詞 基本事項	吉村	
第11回	副詞 注意が必要な副詞 (強調語)	吉村	
第12回	副詞 注意が必要な副詞 (準否定語)	吉村	
第13回	接続詞 等位接続詞 (and, orの使い分け等)	吉村	
第14回	接続詞 従属接続詞 (that+文)	吉村	
第15回	接続詞 従属接続詞 (when, while, though等)	吉村	
事前・事後学習	・授業時に配布したプリントを用い、日本語訳や英訳の作業を行う。 ・授業時に紹介した映画を視聴し、会話表現の聞き取りを行う(英語字幕に切り替えると便利)。		
課題に対するフィードバックの方法	回収した課題は添削して返却する。		
質問・相談方法	授業の前後、またはオフィスアワーに対応する。		
オフィスアワー	金曜日 12:05～12:50 吉村研究室(西館309号室)		
テキスト	『Everyday English Grammar<Third Edition>』 水島孝司著 南雲堂 2018年 2000円(税抜き)(ISBN: 9784523178620)		
参考文献等	『英単語ターゲット1400』等単語帳		
成績評価基準	・英文の基礎的なルールを理解し、簡単な英作文、聞き取り、読解ができること。 ・自分がしたことやこれからの目標を英語で表現できること。		
成績評価の方法	定期試験(60%)、小テスト・提出物(10%)、グループ活動参加(30%)		
GPA基準			
備考			

科目名	英語演習Ⅱ		
担当者	生田 和也		
授業形式	演習	科目ナンバー	21
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	クラス分け
免許・資格情報			
授業の概要	ニューヨークを舞台とした英語の短い動画を用いながら、英語を聞く、話す、読む基本的な能力を養う。短い場面を自分たちで英語を用いて再現したり、スキットを作成することで、日常的な英語でのコミュニケーション能力を向上する。また高校までの英文法の復習をし、定着を目指す。基礎的な発音・文法の確認やコミュニケーション能力の向上のために、英語の歌やアクティビティも授業に適時取り入れる。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語による簡潔な日常的コミュニケーション能力を習得する。 2. 高校まで学んできた英文法を復習し、定着させる。 3. 動画や歌などを通して正確な英語の発音や聞き取り能力を向上させる。 		
授業計画		担当者	
第1回	Introduction	生田	
第2回	Unit 8 I'm Not Feeling Well リスニングと会話	生田	
第3回	Unit 8 I'm Not Feeling Well 文法と読解	生田	
第4回	Unit 9 Tickets for a Yankees Game リスニングと会話	生田	
第5回	Unit 9 Tickets for a Yankees Game 文法と読解	生田	
第6回	Unit 10 What's on the Shopping List? リスニングと会話	生田	
第7回	Unit 10 What's on the Shopping list? 文法と読解	生田	
第8回	Unit 11 MoMA is Fun! リスニングと会話	生田	
第9回	Unit 11 MoMA is Fun! 文法と読解	生田	
第10回	Unit 13 Who Is That Guy? リスニングと会話	生田	
第11回	Unit 13 Who Is That Guy? 文法と読解	生田	
第12回	Unit 14 You're My Best Friend リスニングと会話	生田	
第13回	Unit 14 You're My Best Friend 文法と読解	生田	
第14回	Unit 15 We're Going to Be Late! リスニングと会話	生田	
第15回	Unit 15 We're Going to Be Late 文法と読解	生田	
事前・事後学習	授業には予習が課され、予習範囲から出題される小テストの結果が成績に反映される。また英語力定着のため学習内容の復習が求められる。		
課題に対するフィードバックの方法	小テストやコメントシートへのフィードバックを授業中に適時行う。		
質問・相談方法	授業前後の教室、あるいはオフィスアワーに研究室にて質問・相談に応じる。また事前に希望があればオフィスアワー以外にも対応する。		
オフィスアワー	金曜日 14:40～16:10 研究室(西館408)		
テキスト	『Hello New York: Learning Basic English with Aya in 15 Episodes』 Tekehisa Tsuchiya, Yoshihiko Honda, Braven Smillie. Kinseido. 2017. 2500円 978-4-7647-4011-2		
参考文献等	英語辞書		
成績評価基準	英語による簡潔な日常的コミュニケーション能力を習得し、英文法を定着させると共に、発音や聞き取り能力を向上させる手法を理解する。		
成績評価の方法	小テストや提出物(50%)、定期試験(50%)		
GPA基準			
備考			

科目名	フランス語演習Ⅱ		
担当者	杉山 朱実		
授業形式	演習	科目ナンバー	22
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	文化(フランスの映画や歌)や、フランス人の一日の行動等も含め、より多彩なフランス語表現を学んでいく。文法的に、少し難しく思えても、フランス人が日常会話の中で、使っている表現なので、毎回の授業の中で繰り返すことで、習得していただけるので、継続した授業参加を希望する。		
授業の到達目標	1.フランス語演習Ⅱに引き続き、現実のコミュニケーションの場で体験するテーマに沿った短い会話文を学んでいく 2.特にフランス語演習Ⅱでは、話すためのきく能力、フランス語を理解できる力を受講生が、習得していくことを目指していく 3.アクティヴラーニングの実施を目指す		
授業計画			担当者
第1回	フランス人の食事について考察してみる		杉山
第2回	数量表現(フランス語で独特な表現方法を知る)		杉山
第3回	紹介する(フランス語で友達・家族等)		杉山
第4回	一日を語る(フランス語動詞の代名動詞を使う)		杉山
第5回	頼む・命令する(フランス語にある3つの命令法の会話での使い分けを知る)		杉山
第6回	未来のことを語る(前期での近接未来との言い方の違いにより、語尾活用の未来形を知る)		杉山
第7回	過去のことを語るⅠ(過去に完了した行為の表現を複合過去から学ぶ)		杉山
第8回	過去のことを語るⅡ(過去の状態や習慣を半過去の表現から学ぶ)		杉山
第9回	関係代名詞を使った言い方を学び、フランス語表現での会話力を増す		杉山
第10回	強調構文や対立構文を学ぶ(買い物等で、どちらにするか迷った時に使える会話文となる)		杉山
第11回	比較級を学ぶ(買い物や、人物比較等で、使えるフランス語表現の比較級を知る)		杉山
第12回	最上級を学ぶ(フランス語会話表現の中で「もっとも。。。だ。」といった表現を学ぶ)		杉山
第13回	受け身表現・ジェロンディフの表現を学び、フランス語表現の同時性・対立・条件を学ぶ		杉山
第14回	仮定表現を学ぶ(現実には不可能な願望を仮定する表現方法がフランス語にあるのを知る)		杉山
第15回	感情を表現する(感情・願望・義務等のフランス独特の表現方法を学ぶ)		杉山
事前・事後学習	事前学習…意味のわからない用語は辞書等で調べておくこと。 事後学習…小テストでロールプレイ等をして復習する。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、毎回チェックのうえ返却し、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	月曜日 14:30~14:40、16:10~16:20 (講義室)		
テキスト	『パリのクール・ジャパン』、藤田裕二、朝日出版社、2018.1.30、2500円、ISBN978-4-255-35211-4		
参考文献等	辞書の説明など、講義の中で説明していく。		
成績評価基準	話すためのきく能力を習得し、フランス語で会話ができること。		
成績評価の方法	各講義中の毎回の小テスト(50%)、授業中の平常点(50%)での総合評価		
GPA基準			
備考			

科目名	中国語演習Ⅱ		
担当者	黒川 太郎		
授業形式	演習	科目ナンバー	23
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	中国語演習Ⅰの履修者が受講する科目です。演習Ⅰと同じの教科書を用い、新しい表現と文法を学び、引き続き正確な発音練習を授業内で行います。また、日常生活や旅行で役立つような簡単な表現を中心に教えると同時に配布資料を通じて新たな語彙の習得を目指します。この授業の終わりには、受講者が中国語母語者を相手に簡単な受け答えができるようになることを目標としています。		
授業の到達目標	1.本文を正確に読むことできる。 2.基本的な文型を使った表現ができる。 3.日常会話で必要な単語を覚え、正確に発音できる。		
授業計画			担当者
第1回	前期の復習(1課～10課)		黒川
第2回	第11課 必要(1)語気助詞「了」「みかんを買いたいです」		黒川
第3回	第12課 必要(2)主述述語文 「セーターを買いたいです」		黒川
第4回	第13課 必要(3)能願助詞「会」「乗り換えが必要です」		黒川
第5回	旅行時の会話表現		黒川
第6回	第14課 必要(4)兼語文「両替に行きたいです」		黒川
第7回	第15課 必要(5)「是」文「写真を撮りたいです」		黒川
第8回	復習第11課～第15課		黒川
第9回	第16課 約束(1)動態助詞「?」「京劇を見たことがありますか」		黒川
第10回	第17課 約束(2)選択疑問文「動物園に行きます」		黒川
第11回	買い物での表現、お金の言い方		黒川
第12回	第18課 迎える(1)文型「要～了」「道中お疲れさまでした」		黒川
第13回	第19課 迎える(2)動量補語「歓迎いたします」		黒川
第14回	第20課 程度補語「私たちの友情のために乾杯」		黒川
第15回	復習第16課～第20課		黒川
事前・事後学習	・教科書付属のCDを聞いて声調等の発音を身につける・教科書の本文とローマ字ピンインを書き写し、覚える		
課題に対するフィードバックの方法	希望があれば個別に対応する。また、授業内で言及する場合もある。		
質問・相談方法	オフィスアワー内で対応。		
オフィスアワー	水曜日 10:35～12:05 黒川研究室(西館307号室)		
テキスト	「新訳第3版 中国語会話301(上)」 康玉華・来思平 語文研究社 2006年 1300円(税抜き)(ISBN-10: 493131550X)		
参考文献等			
成績評価基準	教科書内の文章を正確に読むことできる。基本的な文型を応用した表現ができる。		
成績評価の方法	定期試験(50%)、受講態度を総合的に評価(30%)、授業内で行う会話試験(20%)		
GPA基準			
備考			

科目名	韓国語演習Ⅱ		
担当者	李 賢雄		
授業形式	演習	科目ナンバー	24
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	クラス分け
免許・資格情報			
授業の概要	韓国語演習Ⅰに引き続き、より発展した表現を学習し会話能力を高めていく。各課の本文の基本文法を説明した後、音読練習、作文練習、対話練習をする。授業の最後に目標会話を暗記し発表や小テスト時間を設けることにより学習内容を授業時にしっかり身につけることを目指す。		
授業の到達目標	1. 韓国語の基礎文法を応用することができる。 2. 日常会話のより発展した表現を話すことができる。 3. 会話練習を通じてコミュニケーション能力を高めることができる。		
授業計画		担当者	
第1回	習慣について尋ねる(動詞編1/文法)	李(イ)	
第2回	習慣について尋ねる(動詞編2/応用)	李(イ)	
第3回	予定について尋ねる(動詞編3/文法)	李(イ)	
第4回	予定について尋ねる(動詞編4/応用)	李(イ)	
第5回	時間を表す(固有数字)	李(イ)	
第6回	位置を表す(方向)	李(イ)	
第7回	過去の行動について表す(動詞の過去形1/文法)	李(イ)	
第8回	過去の行動について表す(動詞の過去形2/応用)	李(イ)	
第9回	電話番号を尋ねる	李(イ)	
第10回	状態や気持ちを表す(形容詞編1)	李(イ)	
第11回	相手の気持ちを尋ねる(形容詞編2)	李(イ)	
第12回	不規則形容詞と否定形(形容詞編3)	李(イ)	
第13回	過去に感じたことについて表現(形容詞の過去形1/文法)	李(イ)	
第14回	過去に感じたことについて表現(形容詞の過去形2/応用)	李(イ)	
第15回	過去に感じたことについて表現(形容詞の過去形3/練習)	李(イ)	
事前・事後学習	・テキストを事前に読んでおくこと。・各課に出てくる新しい単語や用語は辞書等で調べておくこと。 ・5回おきに小テストを行うので復習をすること。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を果たした場合求めに応じて個別に指導、授業内で提出された課題の要点に触れる。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	月曜日14:30~14:40、16:10~16:20(講義室)		
テキスト	『これで話せる韓国語STEP1』、入佐信宏・金孝珍 共著、白帝社、2015年、2,300円(税抜き)、ISBN978-4-86398-181-2C3087		
参考文献等	改訂版ハングル能力検定試験5級合格をめざして、李昌烈 著、白帝社、2012年、ISBN978-4-89174-812-8		
成績評価基準	自分や家族の名前、物事の特徴や好き嫌いなどの私的な話題、日課や予定、食べ物などの身近なことについて表現することができたものは合格とする。		
成績評価の方法	定期試験(50%)、小テスト(30%)、課題(20%)		
GPA基準			
備考	「韓国語演習Ⅰ」の単位を修得しておくことが望ましい。		

科目名	韓国語演習Ⅱ		
担当者	姜 美貞		
授業形式	演習	科目ナンバー	24
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	クラス分け
免許・資格情報			
授業の概要	韓国語演習Ⅰに引き続き、より発展した表現を学習し会話能力を高めていく。各課の本文の基本文法を説明した後、音読練習、作文練習、対話練習をする。授業の最後に目標会話を暗記し発表や小テスト時間を設けることにより学習内容を授業時にしっかり身につけることを目指す。		
授業の到達目標	1. 韓国語の基礎文法を応用することができる。 2. 日常会話のより発展した表現を話すことができる。 3. 会話練習を通じてコミュニケーション能力を高めることができる。		
授業計画			担当者
第1回	習慣について尋ねる(動詞編1/文法)		姜
第2回	習慣について尋ねる(動詞編2/応用)		姜
第3回	予定について尋ねる(動詞編3/文法)		姜
第4回	予定について尋ねる(動詞編4/応用)		姜
第5回	時間を表す(固有数字)		姜
第6回	位置を表す(方向)		姜
第7回	過去の行動について表す(動詞の過去形1/文法)		姜
第8回	過去の行動について表す(動詞の過去形2/応用)		姜
第9回	電話番号を尋ねる		姜
第10回	状態や気持ちを表す(形容詞編1)		姜
第11回	相手の気持ちを尋ねる(形容詞編2)		姜
第12回	不規則形容詞と否定形(形容詞編3)		姜
第13回	過去に感じたことについて表現(形容詞の過去形1/文法)		姜
第14回	過去に感じたことについて表現(形容詞の過去形2/応用)		姜
第15回	過去に感じたことについて表現(形容詞の過去形3/練習)		姜
事前・事後学習	・テキストを事前に読んでおくこと。・各課に出てくる新しい単語や用語は辞書等で調べておくこと。 ・5回おきに小テストを行うので復習をすること。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を果たした場合求めに応じて個別に指導、授業内で提出された課題の要点に触れる。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	月曜日14:30~14:40、16:10~16:20(講義室)		
テキスト	『これで話せる韓国語STEP1』、入佐信宏・金孝珍 共著、白帝社、2015年、2,300円(税抜き)、ISBN978-4-86398-181-2C3087		
参考文献等	改訂版ハングル能力検定試験5級合格をめざして、李昌烈 著、白帝社、2012年、ISBN978-4-89174-812-8		
成績評価基準	自分や家族の名前、物事の特徴や好き嫌いなどの私的な話題、日課や予定、食べ物などの身近なことについて表現することができたものは合格とする。		
成績評価の方法	定期試験(50%)、小テスト(30%)、課題(20%)		
GPA基準			
備考	「韓国語演習Ⅰ」の単位を修得しておくことが望ましい。		

科目名	日本語演習Ⅱ		
担当者	岩切 朋彦		
授業形式	演習	科目ナンバー	25
配当年次	1	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	この授業では、前期の「日本語演習Ⅰ」で勉強した文型よりも、少し難しい文型を勉強します。N1レベルの文型もたくさん勉強します。また、それぞれの学科に必要な語いに分けて勉強します。漢字もさらにたくさん読めるようにします。		
授業の到達目標	1、N1～N2レベルの日本語の文型をさらに勉強し、使えるようになる 2、短期大学の授業で使われる語いをさらにおぼえ、理解できるようになる 3、読める漢字の量をさらにふやす		
授業計画			担当者
第1回	夏休みにしたことについて、発表します		岩切
第2回	例示 文型：～といった・～にせよ～にせよ～であれ～であれ 語いと漢字①		岩切
第3回	程度の強調 文型：～てこそ・～までして・～すら・～極まる 語いと漢字②		岩切
第4回	話題 文型：～といえよ・～といったら・～のこととなると 語いと漢字③		岩切
第5回	逆接・譲歩 文型：～つつも・～にもかかわらず・～にせよ・～とはいえ 語いと漢字④		岩切
第6回	原因・理由 文型：～ものだから・～ばかりに・～につき 語いと漢字⑤		岩切
第7回	仮定条件・確定条件 文型：～ないことには・～ないかぎり・～なくして(は) 語いと漢字⑥		岩切
第8回	中間テスト		岩切
第9回	逆接仮定条件 文型：～にしても・～にせよ・～であろうと・～ようが～まいが 語いと漢字⑦		岩切
第10回	不可能・可能・困難・容易 文型：～がたい・～かねる・～にたえる・～にたえない 語いと漢字⑧		岩切
第11回	傾向・状態・様子 文型：～っぽい・～気味・～きらいがある・～まみれ 語いと漢字⑨		岩切
第12回	経過・結末 文型：～あげく・～末(に)・～に至って(は) 語いと漢字⑩		岩切
第13回	否定・部分否定 文型：～ことなく・～ことなしに・～までもなく 語いと漢字⑪		岩切
第14回	伝聞・推量 文型：～ということだ・～とのことだ・～とか 語いと漢字⑫		岩切
第15回	日本の映画を見て「日本文化」について考えます		岩切
事前・事後学習	・勉強した表現を、ほかの授業でたくさん使ってください ・アルバイトなど、学校の時間じゃないときにも、よく漢字を読んでください		
課題に対するフィードバックの方法	中間テストなどで確認します		
質問・相談方法	授業中に質問してもいいですし、オフィスアワーの時間に研究室(西館407)に来てもいいです		
オフィスアワー	金曜日 10:35～12:05 研究室(西館407号室)		
テキスト	特になし(プリントを配ります)		
参考文献等	『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』友松悦子ほか著 株式会社アルク 2013年 2500円		
成績評価基準	勉強した文型や語いのが使えるようになったかどうかを評価の基準にします		
成績評価の方法	授業態度(20%)、 中間テスト(40%)、 課題レポート(40%)		
GPA基準			
備考	受講対象者 留学生のみ		

2 年 次

一般教養科目

生活福祉専攻

食物栄養学専攻

科目名	体育講義（生活福祉専攻）		
担当者	黒原 貴仁		
授業形式	講義	科目ナンバー	101-1
配当年次	2	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	短大生活において充実した生活を送り、さらに生涯に渡って豊かな人生を送るために、心身の健全な育成と健康の増進が不可欠である。本講義ではスポーツ及び健康についての意義や役割を多角的な視点から概説し、現代社会における健康増進やスポーツの社会的発展に寄与・貢献できる基礎的な理解を深める。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツについての基礎的な理解を深めることができる 2. 健康についての基礎的な理解を深めることができる 3. スポーツと健康における相互関係の理解を深めることができる 		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション（スポーツ及び健康についての概念）	黒原	
第2回	スポーツと国際理解	黒原	
第3回	運動と健康を考える①（有酸素運動と筋力トレーニング）	黒原	
第4回	運動と健康を考える②（運動処方と生活習慣病）	黒原	
第5回	運動と栄養を考える①（運動習慣と効果的なダイエット法）	黒原	
第6回	運動と栄養を考える②（運動種目とスポーツ栄養学）	黒原	
第7回	スポーツをめぐる現状と今日的課題	黒原	
第8回	総括・まとめ	黒原	
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	参考資料等を熟読する 講義内容を振り返る		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合（定期試験を含む）求めに応じて個別に対応する		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応		
オフィスアワー	水曜日 10:35~12:55 研究室（体育館202号室）		
テキスト	適宜資料を配布する		
参考文献等	『これからの健康とスポーツ科学第4版』 KSスポーツ医科学書		
成績評価基準	健康に関する理解と積極的に健康管理に関われるようにする		
成績評価の方法	定期試験（70%）、受講態度（30%）		
GPA基準			
備考			

科目名	体育講義（食物栄養学専攻）		
担当者	大村 一光		
授業形式	講義	科目ナンバー	101-2
配当年次	2	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養教諭		
授業の概要	<p>からだを動かすことの少なくなった現代社会においては、各自が意図的に日常生活のなかに運動を取り入れ、それを積極的に実践していく必要がある。本講義では、各ライフステージ別にみられる今日的課題について解説し、選考に関係する栄養との視点にも着目しながら、その考え方など理解を深める</p>		
授業の到達目標	<p>1. 健康に関する理解 2. 積極的に健康管理に関われるようにする</p>		
授業計画		担当者	
第1回	各ライフステージの理解		大村
第2回	乳幼児期の課題と運動		大村
第3回	乳幼児期の発達と栄養		大村
第4回	青年期の課題と運動		大村
第5回	高齢期の課題（本県の特徴）		大村
第6回	高齢期の身体的特徴と運動		大村
第7回	高齢期の栄養		大村
第8回	スポーツの運動と栄養		大村
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	日常生活において、身体運動やスポーツを実施できるようにする 理論に基づく、身体活動やスポーツが実施できるようにする		
課題に対するフィードバックの方法	授業終了時などにおいて対応する		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する		
オフィスアワー	水曜日～金曜日 12:10～12:55 研究室（体育館101号室）		
テキスト	特になし		
参考文献等	授業計画に示す用語についてWEB上で検索し、理解を深める		
成績評価基準	健康に関する理解と積極的に健康管理に関われるようにする		
成績評価の方法	定期試験（70%）、受講態度（30%）		
GPA基準			
備考			

科目名	体育実技（生活福祉専攻）		
担当者	大村 一光		
授業形式	実技	科目ナンバー	102-1
配当年次	2	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報			
授業の概要	身体を動かす機会の少なくなった今日、余暇時間等におけるスポーツ・レクリエーション活動の必要性が高まってきている。そこで、生涯スポーツとして人気の高い種目を履修することにより各自が生涯にわたり、積極的にスポーツ・レクリエーション活動に参加（関わり）し、健康・体力の保持・増進ができるようにする。		
授業の到達目標	1. スポーツ活動の楽しさを理解する 2. 積極的に健康管理に関われるようにする		
授業計画			担当者
第1回	前半活動オリエンテーション、活動種目（バドミントン、バレーボール、卓球）の決定	大村	
第2回	種目別活動I ルール説明、簡易ゲーム	大村	
第3回	種目別活動II ルール説明、基礎練習、ゲーム	大村	
第4回	種目別活動III ダブルス戦等（チーム内ゲーム）	大村	
第5回	種目別活動IV ダブルス戦等（対抗戦）	大村	
第6回	種目別活動V ダブルス戦等（対抗戦 2回戦）	大村	
第7回	種目別活動VI シングル戦等（チーム内ゲーム）	大村	
第8回	種目別活動VII 団体戦等	大村	
第9回	後半活動オリエンテーション、活動種目（バドミントン、バレーボール、卓球）の決定、活動	大村	
第10回	種目別活動II ルール説明、基礎練習、ゲーム	大村	
第11回	種目別活動III ダブルス戦等（チーム内ゲーム）	大村	
第12回	種目別活動IV ダブルス戦等（対抗戦）	大村	
第13回	種目別活動V シングル戦等（チーム内ゲーム）	大村	
第14回	種目別活動VI シングル戦等（入れ替え戦）	大村	
第15回	種目別活動VII 団体戦等	大村	
事前・事後学習	日常生活において、身体運動やスポーツを実施できるようにする ルール等を理解して身体運動やスポーツを実施できるようにする		
課題に対するフィードバックの方法	授業時などにおいて適宜対応する		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する		
オフィスアワー	水曜日～金曜日 12:10～12:55 研究室（体育館101号室）		
テキスト	特になし		
参考文献等	実施する種目についてWeb上で検索し、ルール等の事前事後学習として利用すること		
成績評価基準	スポーツ活動の楽しさを理解するとともに、積極的に健康管理に関われるようにする		
成績評価の方法	受講態度等（60%） 技術・技能点（40%）		
GPA基準			
備考			

科目名	体育実技（食物栄養学専攻）		
担当者	黒原 貴仁		
授業形式	実技	科目ナンバー	102-2
配当年次	2	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養教諭		
授業の概要	身体を動かす機会の少なくなった今日、余暇時間等におけるスポーツ・レクリエーション活動の必要性が高まっている。本授業では、生涯スポーツとして人気の高い種目を履修することにより各自が生涯にわたり、積極的にスポーツ・レクリエーション活動に参加（関わり）し、健康・体力の保持・増進ができるようにする。		
授業の到達目標	1. スポーツ活動の楽しさを理解することができる 2. 積極的に健康管理に関わることができる		
授業計画			担当者
第1回	前半活動オリエンテーション、活動種目（バドミントン、バレーボール、バスケットボール、卓球）の決定	黒原	
第2回	種目別活動Ⅰ ルール説明、簡易ゲーム	黒原	
第3回	種目別活動Ⅱ ルール説明、基本練習、ゲーム	黒原	
第4回	種目別活動Ⅲ ダブルス戦等（チーム内ゲーム）	黒原	
第5回	種目別活動Ⅳ ダブルス戦等（対抗戦）	黒原	
第6回	種目別活動Ⅴ ダブルス戦等（対抗戦、2回戦）	黒原	
第7回	種目別活動Ⅵ シングルス戦等（チーム内ゲーム）	黒原	
第8回	種目別活動Ⅶ 団体戦等	黒原	
第9回	後半活動オリエンテーション、活動種目（バドミントン、バレーボール、バスケットボール、卓球）の決定、活動Ⅰ	黒原	
第10回	種目別活動Ⅱ ルール説明、基礎練習、ゲーム	黒原	
第11回	種目活動Ⅲ ダブルス戦等（チーム内ゲーム）	黒原	
第12回	種目別活動Ⅳ ダブルス戦等（対抗戦）	黒原	
第13回	種目別活動Ⅴ ダブルス戦等（対抗戦、2回戦）	黒原	
第14回	種目別活動Ⅵ シングルス戦等（チーム内ゲーム）	黒原	
第15回	種目別活動Ⅶ 団体戦等	黒原	
事前・事後学習	実施する種目について、ルール等の事前事後学習を行う。 参考文献等をもとにスポーツについての理解を深める。		
課題に対するフィードバックの方法	授業時などにおいて適宜対応する		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応		
オフィスアワー	水曜日 10:35~12:55 研究室（体育館202号室）		
テキスト	適宜資料を配布する		
参考文献等	観るまえに読む 大修館 スポーツルール2019（大修館書店）		
成績評価基準	スポーツ活動の楽しさを理解するとともに、積極的に健康管理に関われるようにする		
成績評価の方法	受講態度等（60%） 技術・技能点（40%）		
GPA基準			
備考			

科目名	WE LOVE 鹿児島！（生活福祉）		
担当者	浜崎 眞美		
授業形式	演習	科目ナンバー	103-1
配当年次	2	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	1	担当形態	
免許・資格情報			
授業の概要	<p>地域の中で自分自身を位置づける「ローカルアイデンティティ」を「生きる力」とし、「地域活性化の担い手」となることを目指す。鹿児島は、過去の歴史を振り返っても、多くの様々な自然災害に見舞われている一方、たくさんの自然の恩恵にもあずかっている。そこで、防災や食を主とした地域の課題を探り、その内容の理解を深める。意欲的な地域課題への取り組みを通して、地域の担い手としての意識を高め、地域に貢献するための実践的な能力を身につけさせる。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鹿児島における地域の課題や問題点を理解できる 2. 地域課題への取り組みを通して実践する力を身につける 3. 地域の担い手としての意識を高める 		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション	A	
第2回	地域防災と災害時の対応について	A・B	
第3回	災害時の介護	C	
第4回	災害時の対応について（炊き出し）	A・B	
第5回	災害時の対応について（包帯法）	A・B	
第6回	災害時の食について	A・B	
第7回	災害時の心のケア	D	
第8回	鹿児島の地域福祉を体験する（介護の日活動）①	A	
第9回	鹿児島の地域福祉を体験する（介護の日活動）②	A	
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	<p>関連する身の回りの地域課題を考える レポートをまとめ提出する</p>		
課題に対するフィードバックの方法	オフィスアワーを活用し対応する		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	金曜日 17:55~18:15（講義室）		
テキスト	特になし		
参考文献等	<p>植村健一著『桜島大噴火』春苑堂出版 石川秀雄著『桜島：噴火と災害の歴史』共立出版 かごしま文庫編集部編『手記'93風水害の中で』春苑堂出版 雑誌論文、新聞の活用など</p>		
成績評価基準	鹿児島における地域の課題や問題点を理解し、地域の担い手としての意識を高め実践する力が身についたものを合格とする。		
成績評価の方法	レポートの内容と提出状況（100%）		
GPA基準			
備考	<p>COC科目 A：谷川・竹中・福永・浜崎 B：外部講師 C：福永 D：松元</p>		

科目名	WE LOVE 鹿児島！（食物栄養学）		
担当者	山崎 歌織		
授業形式	演習	科目ナンバー	103-2
配当年次	2	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	1	担当形態	
免許・資格情報			
授業の概要	<p>地域の中で自分自身を位置づける「ローカルアイデンティティ」を「生きる力」とし、「地域活性化の担い手」となることを目指す。鹿児島は、過去の歴史を振り返っても、多くの様々な自然災害に見舞われている一方、たくさんの自然の恩恵にもあずかっている。そこで、防災や食を主とした地域の課題を探り、その内容の理解を深める。意欲的な地域課題への取り組みを通して、地域の担い手としての意識を高め、地域に貢献するための実践的な能力を身につけさせる。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鹿児島における地域の課題や問題点を理解できる 2. 地域課題への取り組みを通して実践する力を身につける 3. 地域の担い手としての意識を高める 		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション	A	
第2回	地域防災と災害時の対応について	A・B・C	
第3回	災害時の栄養について	D	
第4回	災害時の対応について（炊き出し）	A・B・C	
第5回	災害時の対応について（包帯法）	A・B・C	
第6回	災害時の食について	A・B・C	
第7回	テーブルマナー講座	A	
第8回	鹿児島の食を学ぶ①	A・C	
第9回	鹿児島の食を学ぶ②	A・C	
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	<p>関連する身の回りの地域課題を考える レポートをまとめて提出する</p>		
課題に対するフィードバックの方法	<p>オフィスアワーを活用し対応する</p>		
質問・相談方法	<p>授業の前後やオフィスアワー等で対応する。</p>		
オフィスアワー	<p>金曜日 17:55～18:15 （講義室）</p>		
テキスト	<p>特になし</p>		
参考文献等	<p>植村健一著『桜島大噴火』春苑堂出版 石川秀雄著『桜島：噴火と災害の歴史』共立出版 かごしま文庫編集部編『手記'93風水害の中で』春苑堂出版 雑誌論文、新聞の活用など</p>		
成績評価基準	<p>鹿児島における地域の課題や問題点を理解し、地域の担い手としての意識を高め実践する力が身についたものを合格とする。</p>		
成績評価の方法	<p>レポートの内容と提出状況（100%）</p>		
GPA基準			
備考	<p>COC科目 A：山崎・住澤・山元・寺師・改元・安達・千葉 B：谷川・竹中・浜崎・福永 C：外部講師 D：改元</p>		

科目名	キャリアガイダンスⅡ（生活福祉専攻）		
担当者	浜崎 眞美		
授業形式	演習	科目ナンバー	104-1
配当年次	2	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	必修
単位数	1	担当形態	複数
免許・資格情報			
授業の概要	1年次のキャリアガイダンスを基に、働くことの社会的意義及び個人的意義を考える。また、卒業生を始めとした外部講師の講和等も参考に、進路のイメージを具体化し、実際の就職活動につなげる。		
授業の到達目標	1. 働くことの意義を考える 2. 社会に関心を持ち、自己実現を目指し、行動する		
授業計画			担当者
第1回	到達目標を設定し、自己啓発を行う		A
第2回	キャリアデザインの構築（進路を具体化する）		A
第3回	就職活動の実践的な進め方を学ぶ		B
第4回	職場の基本ルールを学ぶ		B
第5回	キャリアデザインに応じた働き方を理解する		C
第6回	就職活動の方法を深く理解する		B
第7回	将来設計ができるよう、労働法規などから仕事の取り組み方を学ぶ		C
第8回	お礼状の書き方等を学ぶ		B
第9回	レポート等の提出		
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	キャリアセンター等で求人情報等を収集しておく 他施設で開催されるキャリアガイダンス等に参加する		
課題に対するフィードバックの方法	履歴書などの記入方法を身に付け、実際に書いてみる。		
質問・相談方法	授業の前後に質問の時間を設定する。		
オフィスアワー	第1・第3水曜日 14:40～17:55 谷川研究室（西館316号室）		
テキスト	特になし		
参考文献等	『ビジネスマナーの基本講座』 ANA ラーニング 成美堂出版 2011年 1,000円（税抜き） （ISBN-13: 978-4415035734）		
成績評価基準	到達目標に掲げた項目をおおよそ理解すること。		
成績評価の方法	授業への参加態度（60%）とレポート等（40%）で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	COC科目 A：生活福祉専攻教員（谷川・竹中・浜崎・福永） B：就職ガイダンス（学生支援課職員） C：外部講師等（福祉施設関係者や生活福祉の卒業生等）		

科目名	キャリアガイダンスⅡ（食物栄養学専攻）		
担当者	山崎 歌織		
授業形式	演習	科目ナンバー	104-2
配当年次	2	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	1	担当形態	複数
免許・資格情報			
授業の概要	講話や研修等の活動を通して自分の生き方を考え、人生の目標を掲げることを目的とする。同時に、地域が抱える様々な課題に積極的に取り組むことで地域の中で働くことの社会的および個人的意義を考えさせる。また、社会人としての仕事への取り組みや必要なマナーなど外部講師の講話等も参考に将来のキャリア形成につなげる。		
授業の到達目標	1. 課題に取り組み、解決できる能力を身につける 2. 社会に関心を持ち、自己実現を目指し行動する実践力を身につける		
授業計画		担当者	
第1回	自分自身をみつめ将来を考える（自己分析・業界・職種分析）	A	
第2回	社会人としての身だしなみについて、模擬面接をしてみよう	A・C	
第3回	キャリアガイダンス（就職活動全般の指導）	A・B	
第4回	就職活動の基本について（DVDから学ぶ）	A	
第5回	キャリアガイダンス（就職活動指導：内定後の諸注意など）	A・B	
第6回	実際に働く事について知る：企業説明会・卒業生の話し	A・C	
第7回	キャリアガイダンス：労働法について（働く際の法律・制度）	A・C	
第8回	志望動機の書き方	A・B	
第9回	1・2年生の交流、就職体験報告会	A	
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	地域が抱える課題について考える 課題に対し何が出来るか考える 授業後にレポート等にまとめる		
課題に対するフィードバックの方法	レポート等の課題に対する質問があった場合、オフィスアワーを活用し個別に対応する		
質問・相談方法	オフィスアワーを活用し、個別に対応する		
オフィスアワー	木曜日 14:40～16:20（各講義室）		
テキスト	特になし		
参考文献等	『ビジネスマナーの基本講座』 ANA ラーニング 成美堂出版 2011年 1,000円（税抜き） （ISBN-13: 978-4415035734）		
成績評価基準	各講義または活動に出席し、地域が抱える課題に向き合いその課題に対し改善策を考え、レポート等にまとめ提出した者を合格とする。		
成績評価の方法	レポート等の提出状況と内容（100%）により評価する。		
GPA基準			
備考	A：専攻教員（山崎、住澤、山元、寺師、改元、安達、千葉） B：キャリアセンター C：外部講師		

1 年 次

専 門 科 目

生 活 福 祉 専 攻

科目名	社会学概論		
担当者	倉重 加代		
授業形式	講義	科目ナンバー	26
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士		
授業の概要	人を理解するためにはその人の生活を理解することが出発点になる。本授業では、生活支援や福祉の体系が理解できるようになるために、生活の機能やライフスタイルの変化、家族や組織、地域社会の機能と役割について学ぶ。		
授業の到達目標	1.生活の機能やライフスタイルの変化について理解する 2.家族の機能と役割について理解する 3.地域社会の機能と役割について理解する		
授業計画			担当者
第1回	生活とは(1)「生活」を捉える視点を学ぶ		倉重
第2回	生活とは(2)生活を捉える学説を理解する		倉重
第3回	生活の基本機能(1)生活の多様性を捉える視点を学ぶ		倉重
第4回	生活の基本機能(2)家族と家庭の違いを理解する		倉重
第5回	ライフスタイルの変化(1)働き方の変化を理解する		倉重
第6回	ライフスタイルの変化(2)少子高齢化と健康寿命について理解する		倉重
第7回	家族の機能と役割(1)家族の概念や構造について理解する		倉重
第8回	家族の機能と役割(2)家族の機能と変化、多様化について理解する		倉重
第9回	社会・組織の機能と役割(1)組織の機能を学ぶ		倉重
第10回	社会・組織の機能と役割(2)グループ・組織の役割を学ぶ		倉重
第11回	地域・地域社会(1)地域の概念と、地域の変化について学ぶ		倉重
第12回	地域・地域社会(2)自助・互助・共助・公助について学ぶ		倉重
第13回	地域社会における生活支援(1)地域社会の変化について理解する		倉重
第14回	地域社会における生活支援(2)地域における生活支援組織を学ぶ		倉重
第15回	授業の総括、質疑		倉重
事前・事後学習	事前学習…新聞を読んだりニュースを見たりして、世の中の出来事を知ること。 事後学習…定期試験のために授業内容の復習をしておくこと。		
課題に対するフィードバックの方法	求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	火曜日16:30～18:30 研究室(西館312号室)		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 社会の理解』介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2,200円 (ISBN978-4-8058-5762-5)		
参考文献等	総務省統計局ホームページ ほか授業中に紹介		
成績評価基準	到達目標1.～3.に記載してある事項(生活の機能やライフスタイルの変化、家族の機能と役割、地域社会の機能と役割)を理解していること。		
成績評価の方法	期末試験(70%)、提出物(20%)、毎時間のコメントシート(10%)で評価する。		
GPA基準			
備考	学内他学科・他専攻開放科目		

科目名	社会と制度の理解		
担当者	谷川 知士		
授業形式	講義	科目ナンバー	27
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士 必修:介護保険実務士		
授業の概要	個人が自立した生活を営むということを理解するため、個人、家族、近隣、地域、社会の単位で人間を捉える視点を養い、人間の生活と社会の関わりや、自助から公助に至る過程について理解をすすめる。変化の大きい介護保険制度と障害者総合支援法について、介護実践に必要な観点から基礎的知識を習得させる。		
授業の到達目標	1. 現代社会の変化と生活構造を理解する 2. 介護保険制度と介護福祉士の役割を理解する 3. 介護実践に係わる権利擁護制度を理解する		
授業計画			担当者
第1回	私たちの生活と福祉について学ぶ		谷川
第2回	生活の支援と福祉の体系について学ぶ		谷川
第3回	介護保険制度の背景と目的について学ぶ		谷川
第4回	介護保険の仕組みについて学ぶ		谷川
第5回	介護認定制度にかかわる組織と役割について学ぶ		谷川
第6回	介護保険制度の課題と問題点について学ぶ		谷川
第7回	高齢者の自立支援と権利擁護について学ぶ		谷川
第8回	障害者福祉施策の動向について学ぶ		谷川
第9回	障害者総合支援法の背景と目的について学ぶ		谷川
第10回	障害者総合支援法の仕組みと対象者について学ぶ		谷川
第11回	障害者支援区分について学ぶ		谷川
第12回	障害者の自立支援と権利擁護について学ぶ		谷川
第13回	保健医療にかかわる諸施策について学ぶ		谷川
第14回	介護実践にかかわる諸制度と課題について学ぶ		谷川
第15回	身近な福祉制度の課題等について学ぶ		谷川
事前・事後学習	事前学習・・・教科書の指定されたページまでを熟読し、分からない用語は辞書等で調べておくこと。 事後学習・・・毎回の小まとめ用紙を半期(7回)終了後に持ち帰らせ、振り返りの時間を持たせ、最終日には全まとめを持ち帰らせて定期試験に臨む。		
課題に対するフィードバックの方法	授業終了時に毎回提出する授業のまとめ用紙に課題等の回答を促し、次回の授業で回答する。		
質問・相談方法	授業中での質問時間を設定する。また気軽に質問し易いように、毎回提出する授業のまとめ用紙に質問事項を自由に記入させ、コメントを添えて次回の授業始めに返却する。		
オフィスアワー	第1・第3水曜日 14:40～17:55 谷川研究室(西館316号室)		
テキスト	「新・介護福祉士養成講座」2 社会の理解 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2,200円(税別) ISBN 978-4-8058-5762-5 「介護用語辞典」中央法規出版編集部編 中央法規出版 2018年 2,600円(税別) ISBN 978-4-8058-5094-7		
参考文献等	「社会福祉六法」ミネルヴァ書房 2019年 1,600円		
成績評価基準	到達目標に掲げた項目をおおよそ理解すること。		
成績評価の方法	授業への参加態度(20%)と期末試験(80%)で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	単位互換[KRICE]提供科目		

科目名	レクリエーション概論		
担当者	大村 一光		
授業形式	講義	科目ナンバー	28
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	選択必修:介護福祉士(★6単位) 必修:レクリエーション・インストラクター		
授業の概要	レクリエーションに関する基礎理論や支援の方法などを学ぶことで、レクリエーションインストラクターとしての基本的な理論と実践力を獲得し、職場や地域社会の活動に対して積極的に取り組んでいけるようにする。		
授業の到達目標	1 レクリエーションインストラクターの理解 2 基本的手法の理解と獲得をめざす 3 福祉への応用力をつける		
授業計画		担当者	
第1回	楽しさを通じた心の元気づくりと対象者の元気	大村	
第2回	心の元気と地域のきずな	大村	
第3回	コミュニケーションと信頼関係づくり	大村	
第4回	信頼関係づくりの方法(ホスピタリティ)	大村	
第5回	良好な集団づくりの理論	大村	
第6回	良好な集団づくりの方法(アイスブレイキング)	大村	
第7回	自主的、主体的に楽しむ力を高める方法	大村	
第8回	安全管理の方法	大村	
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	現場での実習として2年間で2回のボランティア活動などを行い、各自の支援力の確認を行う		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、必要に応じて個別に対応する		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する		
オフィスアワー	水曜日～金曜日 12:10～12:55 研究室(体育館101号室)		
テキスト	特になし(毎回、自作資料を配布する)		
参考文献等	『楽しさをとおした心の元気づくり』、日本レクリエーション協会、2017年		
成績評価基準	レクリエーションインストラクターの理解と基本的手法の理解と獲得		
成績評価の方法	定期試験(70%)、受講態度(30%)		
GPA基準			
備考			

科目名	介護の基本 I		
担当者	福永 宏子		
授業形式	講義	科目ナンバー	29
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士 選択必修:介護保険実務士、医療秘書実務士		
授業の概要	1.「尊厳の保持」「自立支援」の介護の考え方を生活の視点から捉え、在宅や施設での生活者および生活環境を観察、考察することにより、他の専門科目を学ぶ上で基本的な知識・視点を講義する。2.介護の考え方を具体的に実践することができるように、「その人らしさ」「生活支援」について考え、自分たちを取り巻く環境と、介護を必要とする人の生活について自分で考え、介護福祉職としての自覚や意識を持つことができるような講義とする。		
授業の到達目標	1.介護の場面を生活の視点から観察し、考え理解することができる。 2.「尊厳の保持」と「自立支援」とは何か説明することができる。		
授業計画			担当者
第1回	授業内容の進め方、本科の位置づけや意義、目的		福永
第2回	介護の概念・定義		福永
第3回	介護の成り立ち		福永
第4回	「介護」の見方、考え方の変化 介護福祉の歴史的理解		福永
第5回	生活の理解 生活とは何か		福永
第6回	生活ニーズの把握		福永
第7回	「介護」と「生活支援」		福永
第8回	介護を必要とする人の理解(生活の多様性の理解)		福永
第9回	介護を必要とする人の理解(人間の多様性の理解)		福永
第10回	「その人らしさ」とは何か		福永
第11回	「尊厳」とは何か		福永
第12回	「尊厳」を支える介護とは		福永
第13回	「自立支援」とは何か		福永
第14回	「自立支援」を支える介護とは		福永
第15回	「その人らしさ」を大切にす介護とは 科目まとめ		福永
事前・事後学習	・事前学習:授業の予習(テキストを読む。わからない語句を調べておく)。 ・事後学習:学習内容を振り返りをする。わからない部分については、調べる・質問をする等で理解する。		
課題に対するフィードバックの方法	・前回の学習内容についての小テストの実施。課題は、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業中、オフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	水曜日 10:20~12:40 研修室		
テキスト	『最新介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年 (ISBN 978-4-8058-5763-2) 2,200円 『最新介護福祉士養成講座4「介護の基本 II」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年 (ISBN 978-4-8058-5764-9) 2,200円		
参考文献等	『七訂 介護福祉用語辞典』中央法規出版編集部編集 中央法規 2015年 (ISBN 978-4-8058-5094-7) 2,600円(税別)		
成績評価基準	介護福祉専門職としての役割・資質を理解すること。介護の場面を生活の視点から理解すること。		
成績評価の方法	定期試験(80%)、小テストと課題(20%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	介護の基本Ⅱ		
担当者	福永 宏子		
授業形式	演習	科目ナンバー	30
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	必修
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士 選択必修:介護保険実務士、医療秘書実務士		
授業の概要	1.介護福祉士が活動する介護サービス提供場面の見学や、視聴覚教材を活用し、ロールプレイなどの演習で体験することで、介護サービスの特性、活躍する場について説明する。 2.介護福祉士の役割と特徴について、歴史的変遷も踏まえ概説し、介護福祉士に求められている社会的役割、専門職としての資質について講義する。		
授業の到達目標	1.介護サービスの特性と働く場について理解できる。 2.介護福祉士の役割について理解できる。		
授業計画			担当者
第1回	授業の進め方 本科目の意義と目的		福永
第2回	介護サービスと介護福祉士の働く場		福永
第3回	学外研修についての説明		福永
第4回	学外研修(県内の施設見学)		福永
第5回	学外研修(県内の施設の入所者との交流)		福永
第6回	学外研修の事後指導(介護を必要とする人の理解)		福永
第7回	介護サービスの特性(介護保険法)		福永
第8回	介護サービスの特性(障害者総合支援法)		福永
第9回	介護従事者の役割と仕事(介護福祉を取り巻く状況)		福永
第10回	介護福祉の定義と対象 社会福祉士および介護福祉士法		福永
第11回	介護福祉士の職業倫理 求められる介護福祉士像		福永
第12回	介護サービスの場の特性(高齢者 居宅系サービス)		福永
第13回	介護サービスの特性(高齢者 入所系サービス)		福永
第14回	介護サービスの特性(障がい者居宅系サービス)		福永
第15回	介護サービスの特性(障がい者入所系サービス) 科目のまとめ		福永
事前・事後学習	・事前学習:授業の予習(テキストを読む.わからない語句を調べておく)。学外研修時は、研修施設の概要、特徴、地域について調べておくこと。 ・事後学習:学習内容の復習をする。わからないところは、調べる。質問をする。レポートを2題課す。		
課題に対するフィードバックの方法	・前回の学習内容についての小テストの実施。・課題レポートについては、個別に対応する。		
質問・相談方法	授業中、オフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	水曜日 10:20~12:40 研修室		
テキスト	『最新介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年 (ISBN 978-4-8058-5763-2) 2,200円 『最新介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年 (ISBN 978-4-8058-5764-9) 2,200円		
参考文献等	『七訂介護福祉用語辞典』中央法規出版編集部編集 中央法規 2015年 (ISBN 978-4-8058-5094-7) 2,600円		
成績評価基準	・介護サービスの特性を理解している。 ・介護福祉士としての役割、特徴を理解している。		
成績評価の方法	定期試験(70%)、小テストと課題・レポート(30%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考	COC関連科目		

科目名	生活支援技術A		
担当者	田中 安平		
授業形式	演習	科目ナンバー	31
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士 選択必修:介護保険実務士		
授業の概要	どのような心身状態であっても、尊厳保持の観点からその人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出すための介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識を深めていける講義をする。そのためには、「なぜ」そのような援助をするのかという根拠が大切であるので、具体的に説明する。演習内容としては、「身支度の介護」「移動の介護」「食事の介護」「睡眠の介護」を中心にそれぞれの介護における意義や目的などについて教授する。		
授業の到達目標	1 利用者の心身の状況に応じた身支度の介護ができる 2 自立に向けた移乗・移動の援助が適切に実践できる 4 睡眠が生活に及ぼす影響を理解し、安眠できる環境状況に配慮できる		
授業計画			担当者
第1回	アセスメントとは何か。介護福祉士に求められる専門性		田中
第2回	身支度の意義と目的。自立支援を支える整容の介護の実際		田中
第3回	口腔ケアの目的と効果。口腔ケアの介助における状態別介助の視点		田中
第4回	衣服の種類による着脱介助		田中
第5回	着脱の介助:座位・ベッド上での着脱		田中
第6回	移動の意義と目的:移動に関するアセスメント		田中
第7回	介護の原則とボディメカニクス。移動の介護:車いすの基礎構造、車いす介助の留意点		田中
第8回	移動の介護:ベッド→車いす、車いす→ベッドへの移乗		田中
第9回	車いすでの外出の介護:不整地、段差昇降、スロープ		田中
第10回	歩行の介助:平地・階段		田中
第11回	食事の意義と目的:食事に関するアセスメント		田中
第12回	自立を支える食事介助:座位、仰臥位		田中
第13回	睡眠の意義と目的:衛生管理、ベッドメイキング		田中
第14回	睡眠の介護における状態別介助の視点。他職種の役割と連携		田中
第15回	総括(個別実技評価)		田中
事前・事後学習	・授業の予習としてはテキストを読み、手技をイメージしておくこと。 ・実技に関しては、繰り返し練習すること。レポート作成。		
課題に対するフィードバックの方法	介護技術は単独で実践されるものではないので、演習(それぞれの課題)のつど、フィードバックをしながら演習(技術修得)を進めていく。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーなどで対応する。		
オフィスアワー	水曜日 講義終了後12:05~12:30 講義室		
テキスト	『生活支援技術Ⅱ―第3版―』介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規出版 2017 2200円 (ISBN978-4-8058-3941-6) 参考資料:配布プリント		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	実技試験で6割を超え、定期試験(レポートを含む)で6割を超えることを評価の基準とする。		
成績評価の方法	定期試験(レポート)の成績(80%)と実技試験(20%)の成績を総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	教育効果向上のため、2コマ(180分)×15回で実施する。		

科目名	生活支援技術(住)		
担当者	古川 恵子		
授業形式	講義	科目ナンバー	32
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士		
授業の概要	鹿児島県は、高齢化率と高齢者の独居率が高い県である。過疎化の進展の中、在宅介護の施策を住環境でどのように支えるか、また、住宅での介護予防策と地域での居住の継続の方策について講義する。		
授業の到達目標	1. 鹿児島県の高齢者の住宅事情について学び、住宅の課題を理解する。 2. 生活行動と生活空間の関係について学び、住宅における介護予防と住宅改修の要点を理解する。 3. 介護保険における住宅改修の要点について理解する。		
授業計画		担当者	
第1回	鹿児島県の伝統的な住まいと高齢者	古川	
第2回	限界集落と高齢過疎地域の今後	古川	
第3回	住居の役割と機能—シェルター、生活の伝承	古川	
第4回	ライフサイクルと住居、生活時間と住行為、住要求	古川	
第5回	近隣との交流、まちづくり、バリアフリーの環境	古川	
第6回	ADLへの対応、バリアフリー、ユニバーサルデザイン	古川	
第7回	モジュール、身体の変化と空間、起居様式	古川	
第8回	空間の配列とゾーニング、ライフスタイルと間取り	古川	
第9回	集合住宅の計画、近隣との空間的つながり	古川	
第10回	空気環境の調節、光の調節、温湿度の調節、音の調整	古川	
第11回	住宅の性能:安全性、快適性、防犯性等	古川	
第12回	住居の維持管理、衛生管理	古川	
第13回	介護保険と住宅改修	古川	
第14回	住居と施設	古川	
第15回	認知症高齢者への環境支援指針	古川	
事前・事後学習	事前学習:意味のわからない用語は調べておくこと。 事後学習:レポートを課す。中間試験(小テスト)を行う。 期末試験のために総復習をすること。		
課題に対するフィードバックの方法	個別指導を行う。講義で課題の要点を解説する。		
質問・相談方法	授業の前後で対応する。		
オフィスアワー	授業終了後、その場で対応する。		
テキスト	『生活支援技術 I』、介護福祉士養成講座編集委員会編、中央法規出版、2019年、2200円、(ISBN 978-4-8058-5766-3)		
参考文献等	『大往生の島』、佐野真一、文藝春秋、1997年 『クリッパンの老人たち—スウェーデンの高齢者ケア』、外山義、ドメス出版、1990年		
成績評価基準	生活行動と生活空間の関係を理解し、住宅における介護予防策を理解する。また、介護保険における住宅改修の要点について理解すること。		
成績評価の方法	小テスト(20%)、期末試験(60%)、レポート(20%)を総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	介護過程 I		
担当者	福永 宏子		
授業形式	講義	科目ナンバー	33
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士		
授業の概要	<p>・介護福祉士として介護を提供するには、専門的な思考を展開する必要がある。他の科目で学習した知識や技術を統合して、「尊厳の保持」「自立支援」を生活の視点から捉え専門的な思考展開を身に付けるための基礎的知識を講義する。・介護実習での課題に効果的に取り組むために、利用者の観察や情報収集に必要な知識や方法を講義する。</p>		
授業の到達目標	<p>1.介護過程とは何か理解することができる。 2.介護過程の必要性を理解し、介護実習等の実践に活かすことができる。 3.ICFの視点に基づく生活機能の観察や情報収集、記録ができる。</p>		
授業計画			担当者
第1回	本科目の意義と目的		福永
第2回	介護過程とは何か		福永
第3回	生活を理解する ICFと生活機能		福永
第4回	ICFの視点で生活をみる		福永
第5回	介護過程の展開 介護過程の方法 介護実習との関係		福永
第6回	介護過程の展開 アセスメント		福永
第7回	介護過程の展開 計画の立案		福永
第8回	介護過程の展開 実施 記録の重要性		福永
第9回	介護過程の展開 評価 介護実習の心構え		福永
第10回	介護過程とケアマネジメントの関係		福永
第11回	介護過程とケアマネジメントの関係 記録・報告の方法とカンファレンス		福永
第12回	介護過程の実際 介護実習との関連(進め方)		福永
第13回	介護過程の実際 使用する書式と記入方法		福永
第14回	介護過程の実際 観察の視点 毎日の観察と評価		福永
第15回	家で生活する高齢者の介護過程の展開 科目まとめ		福永
事前・事後学習	<p>・事前学習:授業の予習(テキストを読む、わからない語句を調べておく) ・事後学習:内容の復習、授業や介護実習で記載した書類の訂正等を行う。</p>		
課題に対するフィードバックの方法	<p>・前回の内容についての小テストを行う。・授業終了時に記録方法を活用した練習を行う。 ・求めに応じて個別に対応する。</p>		
質問・相談方法	授業中、オフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	金曜日 12:10~16:10 研究室		
テキスト	『最新介護福祉士養成講座9「介護過程」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年(ISBN 978-4-8058-5769-4) 2,200円		
参考文献等	『「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用』大川弥生著 中央法規出版 2009年(ISBN 978-4-8058-3206-6) 1,944円(税込み)		
成績評価基準	<p>・介護過程を理解し説明できる。 ・ICFの視点に基づく記録や観察ができる。</p>		
成績評価の方法	定期試験(80%)、小テストと提出物(20%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	介護総合演習Ⅰ・Ⅱ		
担当者	浜崎 眞美、有馬 恵子、谷川 知士、宮園 真紀、松下 みゆき		
授業形式	演習	科目ナンバー	34
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	通年	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	オムニバス
免許・資格情報	必修:介護福祉士 選択必修:介護保険実務士		
授業の概要	介護総合演習は、実習と組み合わせての学習とする。介護実習前の介護技術の確認や施設等の理解及びオリエンテーション、実習後の反省会等を通じて、介護福祉士に必要な知識や技術、介護過程の展開能力等を学内での学びと実習での学びとを総合することで深めることができるように授業を進める。また、学生個人の学習到達状況に応じた学習の機会であるように工夫する。前期に1回～9回、後期10回～15回の授業内容を実施する。		
授業の到達目標	1. 介護実習の目的を理解し、実習に必要な事前準備ができる。 2. 実習後の振り返りを通じて、実習での学びをまとめることができる。 3. 様々な生活の場における個別ケアを理解できる。		
授業計画			担当者
第1回	介護総合演習の目的、実習の意義・目的・目標について		浜崎
第2回	介護実習の種類、実習前後の学びの活かし方		浜崎
第3回	事前学習の内容と方法、実習記録について		浜崎
第4回	実習の心得、実習期間終了時の注意点、事前訪問について		谷川
第5回	実習先の特徴と学ぶポイント(訪問介護・通所介護・介護老人福祉施設)		松下
第6回	家族・近隣・地域に目を向ける介護実習		松下
第7回	実習先の特徴と学ぶポイント(介護老人保健施設・グループホーム・ケアハウス)		宮園
第8回	地域生活を支援するとは、実習の心得		宮園
第9回	実習反省会		谷川・浜崎
第10回	働くことの意識、心構え		有馬
第11回	社会に求められる資質及び能力		有馬
第12回	第一印象について		有馬
第13回	挨拶、話し方、言葉づかい、敬語について		有馬
第14回	介護実習Ⅰ-②における情報交換		谷川
第15回	介護実習の目標について(介護実習Ⅱ)		谷川
事前・事後学習	・テキストを用いた予習、これまでの事前訪問記録の確認をすること。・実習で学んだことを自身でまとめ、反省会に向けた準備をすること。・テキストやこれまでの配布資料を基に復習をすること。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーに対応する。		
オフィスアワー	谷川:第1・第3水曜日 14:40～17:55 研究室(西館316号室) 浜崎:金曜日 13:00～16:20 研究室(西館314号室) 有馬(恵):火曜日 16:20～17:30 研究室(西館413号室) 松下・宮園(非常勤):金曜日 17:55～18:15 講義室		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 介護総合演習・介護実習』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円 (ISBN978-4-8058-5770-0)		
参考文献等	・介護実習要項 ・『介護福祉士選書 介護福祉実習指導』 建帛社 2015年 ・『新生活教養—社会人としての基本マナー』 近喰晴子他 2015年		
成績評価基準	・介護実習の目的を理解し、実習に必要な事前準備の必要性が理解できること。 ・実習後の振り返りにより、実習での学びをまとめることができること。		
成績評価の方法	谷川・浜崎:期末試験(40%) 有馬・松下・宮園:講義内容に関連したレポート(各20%ずつとし、合計60%)		
GPA基準			
備考			

科目名	発達と老化の理解		
担当者	宮里 新之介		
授業形式	講義	科目ナンバー	35
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士、介護保険実務士 選択必修:ピアヘルパー		
授業の概要	この科目は、被介護者に対するより良い介護を提供するための基礎的知識として、「発達」及び「老化」について講義をする。老化による心理や身体機能の変化といった基本的な知識を説明し、人が「老化」に適応していくことを如何に支援していくかということについて概説する。		
授業の到達目標	1.発達という概念を理解し、他者に説明できる 2.老化による心理・身体機能の変化について理解し、他者に説明できる 3.高齢期の発達を支える援助について考えることができる		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション／発達とは何か		宮里
第2回	発達段階と発達課題		宮里
第3回	発達と個人差		宮里
第4回	老化とは		宮里
第5回	老年期の発達課題の留意点		宮里
第6回	サクセスフルエイジングと老年期		宮里
第7回	老化が及ぼす心理的影響		宮里
第8回	老いの価値観・受容		宮里
第9回	老化に伴う身体的機能の変化と日常生活への影響		宮里
第10回	動機づけに基づく理解と支援		宮里
第11回	高齢者のこころの問題と精神障害		宮里
第12回	認知症高齢者の基礎的理解①(アルツハイマー型)		宮里
第13回	認知症高齢者の基礎的理解②(脳血管型、ピック病)		宮里
第14回	高齢者とのコミュニケーション		宮里
第15回	総括		宮里
事前・事後学習	事前学習…意味のわからない用語は辞書等で調べておくこと。 事後学習…前授業の理解度を測るためミニテストを実施する場合があるので、復習を行って授業に臨むこと。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合(定期試験を含む)求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	金曜日 10:35～12:05 研究室(本館312号室)		
テキスト	『発達と老化の理解』 介護福祉士養成講座編集委員会(編集) 中央法規 2019年 2200円(税別) (ISBN978-4-8058-5772-4)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	発達という概念及び老化による心理・身体機能の変化について理解し、高齢期の発達を支える援助について考えることができること。		
成績評価の方法	定期試験(80%)、講義時の受講態度及びミニテスト(20%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考	単位互換[KRICE]提供科目、他学科開放科目		

科目名	介護技術の基礎		
担当者	浜崎 眞美		
授業形式	講義	科目ナンバー	36
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士		
授業の概要	介護技術の根拠となる人体の構造や機能、介護サービスの提供における安全への留意点や心身の状況に応じた介護について理解できるように講義する。		
授業の到達目標	1. 介護技術の根拠となることとからだのしくみについて理解できる 2. ターミナルケアについて理解できる		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション／身じたくの意義・目的とからだのしくみ		浜崎
第2回	身じたくに関連した口腔の清潔のしくみ		浜崎
第3回	心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響と変化への気づき		浜崎
第4回	移動の意義・目的と移動に関するからだのしくみ		浜崎
第5回	移動のしくみ(立ち上がりと歩行、車いす移動)		浜崎
第6回	心身の機能低下が移動に及ぼす影響と変化への気づき		浜崎
第7回	食事のしくみ(意義・目的、心身のメカニズム)		浜崎
第8回	心身の機能低下が食事に及ぼす影響と変化への気づき		浜崎
第9回	入浴・清潔保持のしくみ(意義・目的、心身のメカニズム)		浜崎
第10回	心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響と変化への気づき		浜崎
第11回	排泄のしくみ(意義・目的、心身のメカニズム)		浜崎
第12回	心身の機能低下が排泄に及ぼす影響と変化への気づき		浜崎
第13回	睡眠に関連したこととからだのしくみ		浜崎
第14回	死を理解する、こころの理解		浜崎
第15回	終末期から死までの特徴、医療職との連携について		浜崎
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・講義予定範囲の内容について、テキストを中心に予習すること ・授業内容について、不明な点は調べ、必要に応じて質問をすること 		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	水曜日 8:30～12:30 研究室(西館314号室)		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2600円 (ISBN978-4-8058-5771-7) 『七訂 介護福祉用語辞典』 中央法規出版編集部編 中央法規 2015年 2600円 (ISBN978-4-8058-5094-7)		
参考文献等	『こころとからだのしくみ』 メヂカルフレンド社 2009年		
成績評価基準	介護技術の根拠となることとからだのしくみ、支援の際の安全への留意点を理解すること。		
成績評価の方法	レポート課題(10%)、期末試験(90%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	医療的ケア		
担当者	池田 加奈子		
授業形式	講義	科目ナンバー	37
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士		
授業の概要	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得できるように講義する。具体的には、医療的ケアの位置づけ、医療行為とは何かを理解し、医療行為を行うために知っておくべき医学上の倫理、基礎知識や技術などについて学習する。その後、実際の医療的ケアについて学習し、経管栄養と喀痰吸引について理解を深めることができるように進めていく。また、医療の現場では利用者あるいは患者の状態が急変することが起こり得るため、救急蘇生についても学習する。さらに、チーム医療と介護職員との連携についても学習する。		
授業の到達目標	1. 医の倫理について説明ができる 2. 保健医療システムと介護職との連携について説明ができる 3. 医療的ケアの安全な実施について説明ができる		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション／医療的ケアの位置づけ	池田	
第2回	保健医療に関する制度、医行為に関連する法律	池田	
第3回	チーム医療と介護職員との連携、医療の倫理	池田	
第4回	個人の尊厳と自立、利用者や家族の気持ちへの理解	池田	
第5回	感染予防、職員の感染予防、療養環境の清潔、消毒法	池田	
第6回	滅菌と消毒について	池田	
第7回	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施1 喀痰吸引について	池田	
第8回	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施2 経管栄養について	池田	
第9回	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施3 まとめ	池田	
第10回	救急蘇生法について	池田	
第11回	心肺蘇生法の実習	池田	
第12回	身体・精神の健康(平常状態について)	池田	
第13回	健康状態を知る① 健康状態について	池田	
第14回	健康状態を知る② バイタルサインについて	池田	
第15回	急変状態について	池田	
事前・事後学習	・授業で学習した内容について、テキストや関連資料で復習をする。 ・次回の授業範囲をテキストを中心に予習する。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後で対応する。		
オフィスアワー	木曜日 10:20～10:35 講義室		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 医療的ケア』介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2600円 (ISBN978-4-8058-5775-5)		
参考文献等	『介護職員のための今すぐ知りたい医療行為実技ガイド』ひかりのくに		
成績評価基準	医療的ケアに関する背景を理解し、安全な実施につながる基本的なことを理解すること。		
成績評価の方法	途中の小テスト(20%)、期末試験(80%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考	医療的ケアに関する科目は、基本的に、「医療的ケア」「経管栄養」「喀痰吸引」を履修し単位を修得した上でなければ、演習科目である「経管栄養演習」及び「喀痰吸引演習」を履修することはできない。		

科目名	秘書実務		
担当者	有馬 恵子		
授業形式	演習	科目ナンバー	38
配当年次	1	科目群	専門科目(医療秘書実務士)
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:医療秘書実務士 選択:介護福祉士		
授業の概要	社会人に求められる基本的な実務能力を身につけられるよう、社会人としての基本心得、職場環境の整備、接遇などの対人コミュニケーションなどについて概説する。また実社会に通用する実践力を養うことを目的に、教材による演習や事務機器等を使用した演習、実習を行う。		
授業の到達目標	1. 秘書業務に関する基礎知識と専門知識について理解する 2. 対人コミュニケーションの技術を身につける 3. 臨機応変に対応できる実務能力を身につける		
授業計画		担当者	
第1回	働くことの意識、心構え	有馬	
第2回	秘書に求められる資質、能力	有馬	
第3回	第一印象について	有馬	
第4回	挨拶、話し方、言葉づかい	有馬	
第5回	敬語について	有馬	
第6回	仕事の進め方	有馬	
第7回	総務業務(環境整備、スケジュールリング)	有馬	
第8回	接遇(訪問)	有馬	
第9回	接遇(来客対応、受付業務)	有馬	
第10回	接遇(電話対応)	有馬	
第11回	文書(公的手紙文)	有馬	
第12回	文書(ビジネス文書)	有馬	
第13回	情報(収集、整理、活用)	有馬	
第14回	慶弔のマナー	有馬	
第15回	国際マナー	有馬	
事前・事後学習	事前:授業内容に関する資料に目を通しておくこと。 事後:授業中に指示された課題に取り組むこと。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合は、その後の授業の中で解説し、質問等に対応する。		
質問・相談方法	授業後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	火曜日 16:20~17:00 有馬(恵)研究室(西館413号室)		
テキスト	特になし		
参考文献等	『新しい時代の秘書ビジネス実務』全国大学実務教育協会編著 紀伊国屋書店 2009 1600円 ISBN978-4-314-10182-0		
成績評価基準	・秘書業務について理解を深め、実務能力を身につけること。 ・実務能力については、秘書技能検定2級程度の理解を合格基準とする。		
成績評価の方法	受講態度(40%)演習テスト(30%)課題レポート(30%)		
GPA基準			
備考			

科目名	レクリエーション活動援助法 I		
担当者	福満 博隆		
授業形式	演習	科目ナンバー	39
配当年次	1	科目群	専門科目(関連科目)
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:レクリエーションインストラクター 選択:介護福祉士		
授業の概要	レクリエーション活動の社会的意義や活動援助者としての役割、またレクリエーション種目(ニュースポーツ)の特性と指導法を学び、レクリエーション活動における企画や運営の演習を通して、活動援助能力の習得向上を図る。1.レクリエーション種目(ニュースポーツを中心に)の理論と実践 2.レクリエーション種目イベントの企画と運営演習①活動領域(地域社会,学校教育,職場,社会福祉分野等)を考慮した立案とその運営方法を学ぶ。②企画立案と運営における役割分担とグループワークを学ぶ。3.企画と運営演習の振り返りと評価。		
授業の到達目標	1.レクリエーション活動の社会的意義と役割について理解する 2.レクリエーション種目(ニュースポーツ)の特性と指導法を理解する 3.スポーツ大会の企画と運営方法について実践的に学ぶ		
授業計画			担当者
第1回	授業の進め方とレクリエーション活動の社会的意義について		福満
第2回	レクリエーション種目としてのニュースポーツの意義について		福満
第3回	ニュースポーツ種目の分類とゲームの特性について		福満
第4回	ニュースポーツ種目の指導法と留意点について		福満
第5回	地域におけるニュースポーツ大会の実践例と社会的意義について		福満
第6回	地域におけるニュースポーツ大会の企画・運営の方法について		福満
第7回	地域におけるニュースポーツ大会の企画づくりの演習		福満
第8回	レクリエーション種目A(ソフトバレー)を題材に生涯スポーツ大会の運営演習と評価		福満
第9回	レクリエーション種目B(スポレック)を題材に生涯スポーツ大会の運営演習と評価		福満
第10回	レクリエーション種目C(ユニホック)を題材に生涯スポーツ大会の運営演習と評価		福満
第11回	レクリエーション種目D(ティーボール)を題材に生涯スポーツ大会の運営演習と評価		福満
第12回	楽しいスポーツ・ゲームの実践と指導法について		福満
第13回	チャレンジ・ザ・ゲームの実践と指導法について		福満
第14回	楽しい健康づくり体操の実践と指導法について		福満
第15回	企画と運営の演習に対する振り返りとまとめ		福満
事前・事後学習	・企画立案および運営演習のための打ち合わせや準備等の課題をグループで取り組む		
課題に対するフィードバックの方法	求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	月曜日 12:05～12:55[講義前] (体育館)		
テキスト	特になし		
参考文献等	レクリエーション活動援助法(介護福祉士養成講座6)		
成績評価基準	レクリエーション活動の社会的意義と役割及びレクリエーション種目(ニュースポーツ)の特性と指導法を理解できること		
成績評価の方法	授業態度(20%) レクリエーション活動の社会的意義と役割についての理解度(20%) レクリエーション種目(ニュースポーツ)の特性と指導法の理解度(20%) イベント企画内容と運営実践能力(20%) レポートの評価(20%)		
GPA基準			
備考			

科目名	福祉メイクセラピー		
担当者	葉月 えみ		
授業形式	演習	科目ナンバー	40
配当年次	1	科目群	資格養成科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:福祉メイクセラピー		
授業の概要	福祉に携わる精神と日常生活の支援活動との融合の中で、高齢者や障がい者のQOLに合わせた外見表現をメイク指導を通じて向上させる。結果、日常生活の生活の質向上及び自らができる自分を綺麗にするこの喜びを提供できる技術を習得する。		
授業の到達目標	1. 福祉メイクセラピストとは何かを理解できる 2. 対象者に応じたメイク技術をおこなうことができる 3. 基礎的なメイクを理解することが出来る		
授業計画			担当者
第1回	概論:福祉メイクセラピストとは(福祉とは、メイクセラピストの役目とは) 実習:挨拶の方法と立ち位置		葉月
第2回	実習:印象を変えるポイント:眉毛の書き方(基本と応用 ペンシルとシャドーの使い方)		葉月
第3回	理論:色は、無意識層に話しかける。カラーによるメイクセラピー 実習:アイメイクとリップメイク&チークメイク		葉月
第4回	理論:傾聴の注意と実践 実習:スキンケアとハンドマッサージ		葉月
第5回	理論:見かけ問題について考える 実習:ファンデーションの基礎		葉月
第6回	実習:印象分析と眉毛の書き分け方とリップカラーの選び方		葉月
第7回	実習:印象分析と眉毛の書き分け方とチークとアイシャドウカラーの組み合わせ		葉月
第8回	福祉施設(高齢者・障がい者の対応の違いと注目点の見方)		葉月
第9回	利用者・当事者の気持ちを理解する、体験と現場を作る上でのシステム構造的思考		葉月
第10回	実習:印象分析の伝え方と利用者・当事者主体の眉毛の書き方指導法		葉月
第11回	実習:現場の組み立て方(喜ばれるプラン作りと話題の作り方)		葉月
第12回	実習:動作確認と利用者と当事者立場からの動作確認		葉月
第13回	実習:実際に初対面の人にメイクを施しセッションしてみる		葉月
第14回	実習:実際に初対面の人にハンドマッサージを施しセッションしてみる		葉月
第15回	実習:福祉メイクのマナー(誰の為に何をするのかサポートとは何かを理解する)振り返り		葉月
事前・事後学習	推薦図書を読む メイクセラピー基本のき アピアグループ 他		
課題に対するフィードバックの方法	求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前・後に対応する。		
オフィスアワー	集中講義期間中 12:05~12:55(講義室) メール:hazuki.emi@gmail.com		
テキスト	福祉メイクセラピー 葉月えみ 著 1000円 美容魔術 羽月朔夜 著 1000円 基礎からわかる!メイクアップのすべて 小林照子 著		
参考文献等	顔にあざのある女性たち―「問題経験の語り」の社会学 西倉 実季 著		
成績評価基準	実技(25点) :時間内に想定メイクを終わらせることができる(10点)モデルが不快な気持ちなくメイクをさせてもらうことができる(3点)自分の想定メイクをすることができる(3点)第三者からみて不快な気持ちを持たせることのないメイクができる(3点)バランスの取れたメイクが出来ている(3点)色バランスの良いメイクが出来ている(3点) 定期試験(55点) :基礎的な皮膚学の知識が身についた(20点)基礎的な福祉の知識が身についた(10点)基礎的なメイクの知識が身についた(20点)基礎的なメイクセラピーセッションの設置について理解できている(5点) 小テスト2回(10点) レポート(10点) 積極的な活動を行ったものに関しては、加算点がある		
成績評価の方法	実技:20分以内(25%) 定期試験(55%) レポート(20%)		
備考			

科目名	人間の尊厳と自立		
担当者	谷川 知士		
授業形式	講義	科目ナンバー	41
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士		
授業の概要	「人間」の理解を基礎として、人間の尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応できるための基礎となる能力を養うことを目標とする。このために、本講義では「人間の尊厳と自立」に焦点をあて、介護における尊厳の保持・自立支援の在り方について理解を深める。		
授業の到達目標	1. 人間の尊厳とは何か、人権宣言等を学び理解する 2. 介護における尊厳の保持・自律支援の在り方を理解する 3. 人間の尊厳を支える権利擁護制度を理解する		
授業計画			担当者
第1回	人間の尊厳を、福祉のもつ意義から考察して行く		谷川
第2回	生活場面から尊厳や自立の基本的な考え方を学ぶ		谷川
第3回	人間の尊厳と自立が、幸せに深く関わることを学ぶ		谷川
第4回	生命の畏敬について考える		谷川
第5回	各種の人権宣言、権利条約について学ぶ		谷川
第6回	地域福祉権利擁護事業について学ぶ		谷川
第7回	成年後見制度について学ぶ		谷川
第8回	介護における尊厳の保持と自立について学ぶ		谷川
第9回	介護における自立支援の実践について学ぶ		谷川
第10回	要支援者の自立と自律について考える		谷川
第11回	苦情解決制度に関する実態を学ぶ		谷川
第12回	人間の発達と周りとの関係性について学ぶ		谷川
第13回	集団力学から見た人間関係について学ぶ		谷川
第14回	職場での人間関係から、援助者支援について学ぶ		谷川
第15回	これまでの自分の人生を振り返る		谷川
事前・事後学習	事前学習・・・教科書の指定されたページまでを熟読し、分からない用語は辞書等で調べておくこと。 事後学習・・・毎回の小まとめ用紙を半期(7回)終了後に持ち帰らせ、振り返りの時間を持たせ、最終日には全まとめを持ち帰らせて定期試験に臨む。		
課題に対するフィードバックの方法	授業終了時に毎回提出する授業のまとめ用紙に課題等の回答を促し、次回の授業で回答する。		
質問・相談方法	授業中での質問時間を設定する。また気軽に質問し易いように、毎回提出する授業のまとめ用紙に質問事項を自由に記入させ、コメントを添えて次回の授業始めに返却する。		
オフィスアワー	第1・第3水曜日 14:40～17:55 谷川研究室(西館316号室)		
テキスト	「最新・介護福祉士養成講座」1 人間の理解 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2,200円(税別) ISBN 978-4-8058-5761-8 「介護用語辞典」中央法規出版編集部編 中央法規出版 2018年 2,600円(税別) ISBN 978-4-8058-5094-7		
参考文献等	特になし		
	到達目標に掲げた項目を理解すること。		
成績評価の方法	授業への参加態度(20%)とレポート2回(80%)で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	単位互換[KRICE]提供科目		

科目名	社会保障論		
担当者	谷川 知士		
授業形式	講義	科目ナンバー	42
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士		
授業の概要	我が国の社会保障の基本的な考え方、歴史と変遷、しくみについて理解をさせる。特に少子高齢化時代を迎え、地方経済や国の財政問題も考慮し、持続可能な社会保障制度の仕組みについても議論を重ね、福祉の専門家としての基礎知識を身に付けて欲しい。		
授業の到達目標	1. 社会保障の歴史と理念を理解する 2. 所得補償制度と関連性を理解する 3. 医療及び障害者支援制度の知識を身に付けて理解する		
授業計画			担当者
第1回	社会保障の基本的な考え方について学ぶ		谷川
第2回	社会保障の概念と範囲について学ぶ		谷川
第3回	社会保障の歴史と理念について学ぶ		谷川
第4回	日本国憲法における社会保障との関係について学ぶ		谷川
第5回	日本の社会保障の基本的な考え方について学ぶ		谷川
第6回	福祉六法の時代背景と成立の意義について学ぶ		谷川
第7回	各種保険の仕組みと皆年金について学ぶ		谷川
第8回	地方分権と基礎構造改革について学ぶ		谷川
第9回	介護保険と福祉の考え方の変化について学ぶ		谷川
第10回	各種社会扶助の概要について学ぶ		谷川
第11回	高齢者医療の在り方について学ぶ		谷川
第12回	少子高齢化の進行と社会保障のあり方について学ぶ		谷川
第13回	財政問題と社会保障について学ぶ		谷川
第14回	社会保障における給付と負担の関係について学ぶ		谷川
第15回	持続可能な社会保障制度への道について考える		谷川
事前・事後学習	事前学習・・・教科書の指定されたページまでを熟読し、分からない用語は辞書等で調べておくこと。 事後学習・・・毎回の小まとめ用紙を半期(7回)終了後に持ち帰らせ、振り返りの時間を持たせ、最終日には全まとめを持ち帰らせて定期試験に臨む。		
課題に対するフィードバックの方法	授業終了時に毎回提出する授業のまとめ用紙に課題等の回答を促し、次回の授業で回答する。		
質問・相談方法	授業中での質問時間を設定する。また気軽に質問し易いように、毎回提出する授業のまとめ用紙に質問事項を自由に記入させ、コメントを添えて次回の授業始めに返却する。		
オフィスアワー	第1・第3水曜日 14:40～17:55 谷川研究室(西館316号室)		
テキスト	「新・介護福祉士養成講座」2 社会の理解 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2,200円(税別) ISBN 978-4-8058-5762-5		
参考文献等	「社会福祉小六法」ミネルヴァ書房 2019年 1,600円(税別) ISBN 978-4-623-08149-3		
成績評価基準	到達目標に掲げた項目をおおよそ理解すること。		
成績評価の方法	授業への参加態度(20%)と期末試験(80%)で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	単位互換[KRICE]提供科目		

科目名	介護の基本Ⅲ		
担当者	福永 宏子		
授業形式	講義	科目ナンバー	43
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士 選択必修:介護保険実務士、医療秘書実務士		
授業の概要	介護の基本Ⅰ、Ⅱの内容を踏まえ、高齢者や障がい者の心身の状況に応じた生活のあり方や工夫を事例や教材を基に演習を交えながら講義を進める。・介護の提供時に起こる、リスクについて予防方法や対策方法について講義する。		
授業の到達目標	1.生活支援の内容と意義が理解できる。 2.介護における安全の確保とリスクマネジメントが理解できる。		
授業計画			担当者
第1回	本科目の意義と目的 生活ニーズと生活環境の重要性		福永
第2回	さまざまな生活支援 ICFの視点から生活支援を考える		福永
第3回	介護福祉職が行う生活支援とは		福永
第4回	生活支援の意義と実際 身体介護		福永
第5回	生活支援の意義と実際 生活援助		福永
第6回	QOLを高める生活支援の方法		福永
第7回	余暇活動や楽しみを取り入れた生活支援		福永
第8回	介護とリハビリテーションの考え方 生活能力の維持・拡大への効果		福永
第9回	生活支援ニーズを把握する 相談援助の意義		福永
第10回	利用者とその家族に対する精神的支援の意義		福永
第11回	生活機能と自立支援の実際 事例で考える		福永
第12回	介護における安全の確保 安全の重要性とリスクマネジメント		福永
第13回	介護における安全の確保 事故防止と安全対策		福永
第14回	介護における安全の確保 感染対策とリスクマネジメント		福永
第15回	介護福祉職と生活支援 科目まとめ		福永
事前・事後学習	・事前学習:授業の予習(テキストを読む、わからない語句を調べておく) ・事後学習:学習内容を振り返りをする。わからなかった部分は、調べる。質問を行い解決する。		
課題に対するフィードバックの方法	・前回の学習内容についての小テストの実施。 ・必要に応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業中、オフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	水曜日 12:20~14:20 研究室		
テキスト	『最新介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年 (ISBN 978-4-8085-5763-2) 2,200円 『最新介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年 (ISBN 978-4-8085-5764-9) 2,200円		
参考文献等	『七訂介護福祉用語辞典』中央法規出版編集部編集 中央法規 2015年 (ISBN 978-4-8058-5094-7) 2,600円		
成績評価基準	・高齢者、障がい者の生活について理解し考えを述べるができること。 ・介護におけるリスクマネジメントについて理解すること。		
成績評価の方法	定期試験(80%)、小テスト(20%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	コミュニケーションの基礎		
担当者	宮里 新之介		
授業形式	講義	科目ナンバー	44
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士 選択必修:ピアヘルパー		
授業の概要	本科目では、介護現場におけるコミュニケーションの知識・技術・態度に関する基礎的知識を学ぶため、言語コミュニケーションや非言語コミュニケーション等、コミュニケーションに関する講義を行う。		
授業の到達目標	1. コミュニケーションという概念について理解する 2. 自分のコミュニケーションパターンを認識し分析できる 3. 利用者とのコミュニケーションの意義を理解する		
授業計画			担当者
第1回	コミュニケーションとは何か		宮里
第2回	リレーション作りについて		宮里
第3回	自己開示について		宮里
第4回	言語コミュニケーション①(受容、繰返し、明確化)		宮里
第5回	言語コミュニケーション②(支持、質問)		宮里
第6回	非言語コミュニケーション①(視線、表情など)		宮里
第7回	非言語コミュニケーション②(姿勢、動作など)		宮里
第8回	コミュニケーション上の諸問題(抵抗、沈黙など)		宮里
第9回	介護におけるコミュニケーションとは		宮里
第10回	介護におけるコミュニケーションの役割		宮里
第11回	介護における生活支援とコミュニケーション		宮里
第12回	話を聴く技法		宮里
第13回	利用者の感情表現を察する技法		宮里
第14回	利用者の納得と同意を得る技法		宮里
第15回	総括		宮里
事前・事後学習	事前学習…意味のわからない用語は辞書等で調べておくこと。 事後学習…前回の授業の理解度をチェックするためのミニテストを実施することがあるので、授業の復習を行うこと。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合(定期試験を含む)求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	木曜日 10:35~12:05 研究室(本館312号室)		
テキスト	『コミュニケーション技術』 介護福祉士養成講座編集委員会(編集) 中央法規出版 2019年 2200円(税別) (ISBN978-4-8058-5765-6)		
参考文献等	『ピアヘルパーハンドブック』 日本教育カウンセラー協会(編) 図書文化 2001年 1500円(税別) (ISBN978-4-8100-1343-6)		
成績評価基準	コミュニケーションという概念について理解し、自己理解を深めながら、被介護者とのコミュニケーションの意義を理解できること。		
成績評価の方法	定期試験(80%)、講義時の受講態度及びミニテスト(20%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	生活支援技術B		
担当者	浜崎 眞美、福永 宏子		
授業形式	演習	科目ナンバー	45
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	オムニバス
免許・資格情報	必修:介護福祉士 選択必修:介護保険実務士		
授業の概要	尊厳の保持の観点から、どのような状態であってもその人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、見守ることも含めた介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について明らかにする。生活支援技術Bでは、入浴・清潔保持の介護、身支度の介護、バイタルサインの測定が主な内容となる。効果的な演習となるために、お互いに介護者役、利用者役を担いながら進める。心身の状況に応じた介護が実践できるために、「介護技術の基礎」で学んだことを深めることができるようにする。		
授業の到達目標	1. 入浴・清潔保持の介護及び身支度の介護について具体的援助を実践できる。 2. バイタルサインの意味を理解し、正確な測定ができる。		
授業計画		担当者	
第1回	入浴の意義・目的、利用者のアセスメントについて	福永	
第2回	安全・的確な入浴介助技法	福永	
第3回	安全・的確な入浴介助時の移動の技法	福永	
第4回	入浴介助技法(一部介助の入浴技法)	福永	
第5回	入浴介助技法(シャワー浴、家庭浴槽・一般浴槽)	福永	
第6回	入浴介助技法(全介助の入浴技法)	福永	
第7回	入浴介助技法(特殊浴槽)	福永	
第8回	安全・的確な入浴介助技法(実施後の評価・考察)	福永	
第9回	生命徴候としての体温・呼吸・脈拍・血圧について	浜崎	
第10回	身支度の介護(洗面・整容・ひげの手入れ・化粧)	浜崎	
第11回	身支度の介護(爪・軟膏塗布・湿布の貼付・点眼等)	浜崎	
第12回	安全・的確な清潔保持技法(全身清拭・部分清拭)	浜崎	
第13回	安全・的確な清潔保持技法(陰部洗浄)	浜崎	
第14回	安全・的確な清潔保持技法(足浴・手浴)	浜崎	
第15回	安全・的確な清潔保持技法(洗髪)	浜崎	
事前・事後学習	・「介護技術の基礎」で学んだことを復習し、不明な点は質問すること。 ・実施した演習内容について、繰り返し練習を行うこと。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	福永:水曜日 12:10~14:00 研究室(西館315号室) 浜崎:水曜日 12:10~14:30 研究室(西館314号室)		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅰ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円 (ISBN978-4-8058-5766-3) 『最新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅱ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円 (ISBN978-4-8058-5767-0) 『最新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅲ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円 (ISBN978-4-8058-5768-7) 『最新・介護福祉士養成講座 医療的ケア』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2600円 (ISBN978-8058-5775-5)		
参考文献等	『最新・介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2600円 『七訂 介護福祉用語辞典』 中央法規出版部編 中央法規 2015年 2600円		
成績評価基準	入浴・清潔保持の介護及び身支度の介護について、利用者の心身の状況に応じた具体的援助内容を理解すること。		
成績評価の方法	実技試験とレポート(20%)、期末試験(80%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	介護過程Ⅱ		
担当者	福永 宏子		
授業形式	講義	科目ナンバー	46
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士		
授業の概要	介護過程Ⅰ学習した知識や技術を、実際に活用できるように演習やグループワークを通して身に付け、更に、介護の根拠に基づいて提供できるように講義する。・介護実習において介護過程の展開ができるように、根拠の理解と必要な知識、技術を講義する。		
授業の到達目標	1.介護過程の展開について説明できる。 2.根拠に基づいた介護を提供するための情報を収集でき記録することができる。 3.介護過程のアセスメントについて理解することができる。		
授業計画			担当者
第1回	本科目の意義と目的 在宅で生活する利用者の介護過程の展開		福永
第2回	生活の工夫と介護サービス		福永
第3回	生活を支援するために必要な視点 ICFの理解		福永
第4回	介護過程の展開 アセスメント 情報を収集する 介護実習の目標		福永
第5回	介護過程の展開 観察 アセスメント表1		福永
第6回	介護過程の展開 観察 ICFの視点		福永
第7回	介護過程の展開 情報を整理する「観察をして情報を得る」記入方法		福永
第8回	介護過程の展開 アセスメント表2		福永
第9回	介護過程の展開 アセスメント表 課題の明確化 介護実習で使用する書式の確認・準備		福永
第10回	介護過程の展開 アセスメント表1, 2と記録の方法(個人指導)		福永
第11回	介護実習での観察と気づき 実習反省会		福永
第12回	介護過程の展開 施設で生活することの理解		福永
第13回	介護過程の展開 事例演習 アセスメント表1 情報の整理		福永
第14回	介護過程の展開 事例演習 アセスメント表2「情報の解釈 関連付け」担当希望利用		福永
第15回	科目まとめ 介護実習の事前準備		福永
事前・事後学習	事前学習:授業の予習(テキストを読む、わからない語句を調べておく) 事後学習:内容の復習、授業や介護実習で記載した書類の訂正等を行う。課題事例を仕上げる。		
課題に対するフィードバックの方法	・前回の内容の小テストを実施する。・使用した課題事例は完成をする。指導については、個別指導を行う。		
質問・相談方法	授業中、オフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	金曜日 10:20~12:40 研究室(西館315号室)		
テキスト	『最新介護福祉士養成講座9「介護過程」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年(ISBN 978-4-8058-5769-4) 2,200円		
参考文献等	介護実習要項		
成績評価基準	・介護過程の展開について理解している。・ICFの視点に基づいた記録ができています。・アセスメントについて理解し展開ができる。		
成績評価の方法	定期試験(70%)、課題事例(30%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	介護実習 I		
担当者	谷川 知士、浜崎 眞美、福永 宏子		
授業形式	実習	科目ナンバー	47
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	3	担当形態	複数
免許・資格情報	必修:介護福祉士 選択必修:介護保険実務士		
授業の概要	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から、様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について学ばせる。介護実習 I では、鹿児島県内の居宅系事業所(通所介護事業所・通所リハビリテーション・訪問介護事業所・グループホーム等)にて実習し、介護実習 I - ①では1週間、介護実習 I - ②は2週間をかけて学んで欲しい。		
授業の到達目標	1.多様な事業所の概要や役割を理解し、利用者の生活を知る 2.生活支援技術を用いて介護を行い、利用者特性を把握できる 3.個々の生活リズムや個性に応じた生活支援の在り方を知る		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション1(自己紹介、施設の概要について)		実習指導者
第2回	オリエンテーション2(一日の流れ・週間予定・年間予定について)		実習指導者
第3回	オリエンテーション3(感染予防に関すること、その他について)		実習指導者
第4回	オリエンテーション4(オリエンテーションの情報を記録する)		実習指導者
第5回	日課表沿った業務の進め方・内容を把握する		実習指導者
第6回	利用者の特性を知る		実習指導者
第7回	指導者の助言のもと生活支援技術を用いながらの実習		実習指導者
第8回	実習記録1(実習目標及び計画を記録する)		実習指導者
第9回	実習記録2(一日の目標と計画を指導者に報告し助言を受ける)		実習指導者
第10回	実習記録3(実習内容及び評価・考察についてまとめ記録する)		実習指導者
第11回	観察して情報を得る1(受け持ちの利用者について生活リズムを観察する)		実習指導者
第12回	観察して情報を得る2(受け持ちの利用者の個別ケアについて観察)		実習指導者
第13回	観察して情報を得る3(観察で得た情報を記録する)		実習指導者
第14回	観察して情報を得る(多職種協働・関係機関との連携の在り方について)		実習指導者
第15回	総括(実習の振り返り)		実習指導者
事前・事後学習	事前・・・施設でのオリエンテーションを受ける前に、施設の概要を調査し、用紙にまとめる。 事後・・・実習後に全員で反省会を開催し、意見交換で出てきた内容を代表者がまとめて各自に配布する。		
課題に対するフィードバックの方法	実習で発見した課題については、次回の実習に行かせるよう全体の反省会時にフィードバックする。		
質問・相談方法	実習期間中は施設職員に尋ね、教員の巡回指導時にも質問できるようにしている。		
オフィスアワー	第1・第3水曜日 14:40～17:55 谷川研究室(西館316号室) 月曜日、水曜日～金曜日 8:30～17:00 浜崎研究室(西館315号室) ※火曜は除く		
テキスト	「新・介護福祉士養成講座」10 介護総合演習・介護実習 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2,200円(税別) ISBN 978-4-8058-5770-0		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	到達目標に掲げた項目に達すること。		
成績評価の方法	実習中の提出物や実習態度及び施設からの実習評価(100%)により総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	COC関連科目		

科目名	介護実習Ⅱ		
担当者	谷川 知士、浜崎 眞美、福永 宏子		
授業形式	実習	科目ナンバー	48
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	複数
免許・資格情報	必修:介護福祉士		
授業の概要	個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を統合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。介護実習Ⅱでは、鹿児島県内の入所施設(介護老人福祉施設・介護老人保健施設・障害者支援施設のいずれか)にて実習し、2週間をかけて学ぶ。		
授業の到達目標	1.施設の概要や役割を理解し、利用者の生活・障害像を理解できる 2.生活支援技術を用いて介護を行い、個別支援の在り方を知る 3.利用者の特性と現状を把握することができる		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション1(自己紹介、施設の概要について)		実習指導者
第2回	オリエンテーション2(一日の流れ・週間予定・年間予定について)		実習指導者
第3回	オリエンテーション3(感染予防に関すること、その他について)		実習指導者
第4回	オリエンテーション4(オリエンテーションの情報を記録する)		実習指導者
第5回	日課表沿った業務の進め方・内容を把握する		実習指導者
第6回	利用者の特性を知る(受け持ちの利用者について特性と現在の情報を把握する)		実習指導者
第7回	利用者ごとの介護計画を作成する(情報の解釈・関連づけ・統合化及び課題の明確化)		実習指導者
第8回	指導者の助言のもと生活支援技術を用いながらの実習する		実習指導者
第9回	実習記録1(実習目標及び計画を記録する)		実習指導者
第10回	実習記録2(一日の目標と計画を指導者に報告し助言を受ける)		実習指導者
第11回	実習記録3(実習内容及び評価・考察についてまとめ記録する)		実習指導者
第12回	実習記録4(施設の住設備機器や福祉用具の名称と使用方法についてまとめ記録する)		実習指導者
第13回	利用者の特性を知る「フェイスシート」		実習指導者
第14回	利用者の状況を理解する「アセスメント表(1)(2)」		実習指導者
第15回	総括(実習の振り返り)		実習指導者
事前・事後学習	事前…施設でのオリエンテーションを受ける前に、施設の概要を調査し、用紙にまとめる。 事後…実習後に全員で反省会を開催し、意見交換で出てきた内容を代表者がまとめて各自に配布する。		
課題に対するフィードバックの方法	実習で発見した課題については、次回の実習に行かせるよう全体の反省会時にフィードバックする。		
質問・相談方法	実習期間中は施設職員に尋ね、教員が実習訪問したときにも質問できるようにしている。		
オフィスアワー	第1・第3水曜日 14:40～17:55 谷川研究室(西館316号室) 月曜日、水曜日～金曜日 8:30～17:00 浜崎研究室(西館315号室) ※火曜は除く		
テキスト	「新・介護福祉士養成講座」10 介護総合演習・介護実習 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2018年 2,200円(税別) ISBN 978-4-8058-5113-5		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	到達目標に掲げた項目に達すること。		
成績評価の方法	実習中の提出物や実習態度及び施設からの実習評価(100%)により総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	COC関連科目		

科目名	高齢者の介護		
担当者	田中 士朗		
授業形式	演習	科目ナンバー	49
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士		
授業の概要	老化を理解し、老化に伴う心理的变化や、身体機能の変化及びその特徴に関する基礎的知識を習得する。老化に伴う心理的、身体的変化と日常生活への影響を踏まえたうえで、残存機能を活用した介護と、利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション技術も深めていく。		
授業の到達目標	1.老化に伴う身体的変化と特徴を理解し、実践に備える 2.老化に伴う心理的变化と、日常生活への影響を理解する 3.高齢者の多い疾病と、介護の留意点を習得する		
授業計画		担当者	
第1回	老化に伴う心身の変化の特徴	田中	
第2回	視覚障害に応じた介護	田中	
第3回	聴覚・言語障害に応じた介護	田中	
第4回	内部障害(心臓機能障害)に応じた介護	田中	
第5回	内部障害(呼吸器障害)に応じた介護	田中	
第6回	内部障害(腎臓・膀胱機能障害)に応じた介護	田中	
第7回	免疫機能と感覚機能	田中	
第8回	咀嚼機能、嚥下機能の変化	田中	
第9回	運動中枢神経、骨・関節の変化	田中	
第10回	高次脳機能障害に応じた介護	田中	
第11回	心の問題と精神障害	田中	
第12回	老化に伴う知的機能の変化。知的障害に応じた介護	田中	
第13回	生活習慣病	田中	
第14回	高齢者に多い疾病	田中	
第15回	認知症の人への介護	田中	
事前・事後学習	・授業の予習(不明な点について、質問する) ・授業の復習(授業中のポイントの書き取り)		
課題に対するフィードバックの方法	求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	金曜日 講義終了後 12:05～12:15 (講義室)		
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会編集「発達と老化の理解」、2015、2,200円 介護福祉士養成講座編集委員会編集「生活支援技術Ⅲ」、2014、2,200円		
参考文献等	「介護福祉用語辞典」、中央法規出版、2017、2,600円		
成績評価基準	老化を理解し、老化に伴う心理的变化や身体機能の変化及びその特徴に関する基礎的知識を習得できること		
成績評価の方法	定期試験※60分(90%) レポート提出(10%)		
GPA基準			
備考			

科目名	認知症の理解		
担当者	林田 貴久		
授業形式	講義	科目ナンバー	50
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士		
授業の概要	認知症の人に対して適切なケアを行うにはその医学的知識, 介護知識が必要である。本講では介護福祉士の視点から認知症の医学的知識及び認知症の人とその家族の介護支援のあり方や地域での認知症支援システムについても解説する。		
授業の到達目標	1.認知症の医学的知識についても理解を深めることができる 2.認知症介護を理解し家族支援のあり方を考えることができる		
授業計画			担当者
第1回	認知症ケアの歴史	林田	
第2回	認知症の心理症状	林田	
第3回	認知症高齢者専門病院の紹介	林田	
第4回	脳のしくみと老化	林田	
第5回	認知症の原因と検査・診断	林田	
第6回	アルツハイマー型認知症	林田	
第7回	脳血管性認知症	林田	
第8回	レビー小体型認知症	林田	
第9回	前頭側頭型認知症	林田	
第10回	若年性認知症・MCI	林田	
第11回	治療薬アリセプト	林田	
第12回	認知症の予防	林田	
第13回	認知症の人の理解	林田	
第14回	環境の力	林田	
第15回	認知症の人に対する介護	林田	
事前・事後学習	・授業の予習(不明な点について、質問する) ・授業の復習(授業中のポイントの書き取り)		
課題に対するフィードバックの方法	求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	火曜日 講義終了後 12:05~12:15 (講義室)		
テキスト	『「認知症の理解」新介護福祉士養成講座』中央法規, 2,200円(税抜き)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	筆記試験にて60%以上		
成績評価の方法	定期試験(90%) 受講態度(10%)		
GPA基準			
備考			

科目名	障害の理解 I		
担当者	福留 弘		
授業形式	講義	科目ナンバー	51
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士		
授業の概要	障害者の思いや生活実態を踏まえながら、障害の概念及び障害者の福祉の基本理念について解説する。また、身体面に障害のある人の医学的・心理的特徴と生活支援(生活の理解・介護上の留意点)について解説する。		
授業の到達目標	1. 障害者支援に求められる基本的な考え方・概念を説明することができる。 2. 身体面に障害のある人の特徴を理解し、適切な生活支援の在り方を考えることができる。		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション(科目の意義と目的・ねらい)		福留
第2回	障害の概念と障害者の実態		福留
第3回	障害者福祉の基本理念(自立と自律・ノーマライゼーション・リハビリテーション・インクルージョン)		福留
第4回	視覚障害のある人の生活:視覚障害者の特徴		福留
第5回	視覚障害のある人の生活:視覚障害者の生活支援		福留
第6回	聴覚・言語障害のある人の生活:聴覚・言語障害の特徴		福留
第7回	聴覚・言語障害のある人の生活:聴覚・言語障害者の生活支援		福留
第8回	肢体不自由(運動機能障害)のある人の生活:肢体不自由(運動機能障害)の特徴		福留
第9回	肢体不自由(運動機能障害)のある人の生活:肢体不自由者(運動機能障害)の生活支援		福留
第10回	身体面に障害のある人の生活:手引き歩行の介護(演習)		福留
第11回	内部障害のある人の生活:心臓機能障害の特徴と生活支援		福留
第12回	内部障害のある人の生活:呼吸機能障害の特徴と生活支援		福留
第13回	内部障害のある人の生活:腎臓機能障害、膀胱・直腸機能障害の特徴と生活支援		福留
第14回	内部障害のある人の生活:HIV・免疫機能障害、肝臓機能障害の特徴と生活支援		福留
第15回	授業のまとめ:身体面に障害のある人の生活支援のあり方について考える		福留
事前・事後学習	・授業の予習及び復習(教科書における該当ページの読み込みと整理) ・講義で学んだ障害について、メディア等を用いて情報整理する。		
課題に対するフィードバックの方法	講義で用いた資料、教科書の該当ページの読み込み		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に口頭・質問票(書式なし)により対応		
オフィスアワー	月曜日 10:20~10:30(講義室)		
テキスト	『「障害の理解」新介護福祉士養成講座』中央法規 2015年 2200円 『「生活支援技術Ⅲ」新介護福祉士養成講座』中央法規 2014年 2200円		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	100点満点中60点以上で合格		
成績評価の方法	定期試験(80%) 受講態度(20%)		
GPA基準			
備考			

科目名	こころとからだのしくみⅠ(医学一般)		
担当者	河野 史代、中野 静雄、竹中 正巳		
授業形式	講義	科目ナンバー	52
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	オムニバス
免許・資格情報	必修:介護福祉士 選択必修:医療秘書実務士		
授業の概要	こころとからだのしくみや疾患について学び、サービス提供上の安全や尊厳の保持について明らかにする。		
授業の到達目標	1.基本的なからだのしくみを理解できる 2.高齢者のこころとからだの状態を理解できる 3.サービス提供上重要な疾患についての知識を習得することができる		
授業計画			担当者
第1回	からだのしくみの理解(恒常性 細胞 遺伝 など)	河野	
第2回	からだのしくみの理解(脳神経系 感覚器 運動器など)	河野	
第3回	からだのしくみの理解(呼吸器 循環器 など)	河野	
第4回	からだのしくみの理解(消化器 泌尿器 生殖器など)	中野	
第5回	からだのしくみの理解(内分泌器など)	中野	
第6回	生活習慣病について学ぶ	河野	
第7回	脳血管疾患について学ぶ	河野	
第8回	心疾患について学ぶ	河野	
第9回	悪性新生物について学ぶ	河野	
第10回	消化器、泌尿器、内分泌疾患について学ぶ	中野	
第11回	呼吸器疾患について学ぶ	河野	
第12回	口腔衛生について学ぶ	竹中	
第13回	歯科、口腔疾患について学ぶ	竹中	
第14回	整形外科疾患について学ぶ	河野	
第15回	高齢者の健康について学ぶ	河野	
事前・事後学習	・テキストによる予習(タイトルなどから、関連のある介護場面について考える) ・テキスト、配布資料による復習(重要ポイントを再確認し、曖昧な点について調べる)		
課題に対するフィードバックの方法	試験結果について個別に指導。クイズ形式で理解度を確認する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	河野:火曜日 16:10~16:20 (西館203号室) 竹中:木曜日 12:10~12:50 (本館502号室) 中野:木曜日 17:55~18:05 (西館203号室)		
テキスト	『新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規出版 2019年 2,600円 9784805839430 『新・介護福祉士養成講座〈12〉発達と老化の理解』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規出版 2019年 2,200円 9784805851142		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	筆記試験にて60%以上		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
GPA基準			
備考			

科目名	経管栄養		
担当者	浜崎 眞美		
授業形式	講義	科目ナンバー	53
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護福祉士		
授業の概要	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得できるように講義する。この科目では医療的ケアの中の経管栄養を中心とし、消化器系の理解や経管栄養のしくみ、必要な援助方法、報告・記録の必要性等を説明できることを目指し進める。医療的ケアに関する科目は、「医療的ケア」「経管栄養」「喀痰吸引」を履修し単位を修得することで、演習科目である「経管栄養演習」及び「喀痰吸引演習」を履修することを基本とし進めていく。		
授業の到達目標	1. 消化器系の役割・機能について説明ができる 2. 経管栄養のしくみ、注入内容、安全な実施に関する説明ができる 3. 説明と同意の必要性、報告・記録の重要性について説明ができる		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション／消化器系のしくみとはたらき	浜崎	
第2回	消化と吸収とよくある消化器の症状	浜崎	
第3回	経管栄養とは何か	浜崎	
第4回	注入する内容に関する知識	浜崎	
第5回	経管栄養実施上の留意点	浜崎	
第6回	子供の経管栄養について	浜崎	
第7回	経管栄養に関係する感染と予防、手洗いの実施	浜崎	
第8回	経管栄養を受ける際の説明と同意、危険・安全管理について	浜崎	
第9回	急変・事故発生時の対応と事前対策	浜崎	
第10回	器具器材のしくみ、清潔保持、物品の準備や設備について	浜崎	
第11回	利用者の状態観察と留意点、実施前の利用者の準備	浜崎	
第12回	実施手順と留意点、実施中の身体変化の確認及び報告	浜崎	
第13回	実施後の手順と留意点、変化の確認及び報告、片付け	浜崎	
第14回	経管栄養に必要なケア	浜崎	
第15回	報告及び記録について	浜崎	
事前・事後学習	・各回の授業内容について、次回までの間に復習し不明な点は調べること。 ・授業中に実施する小テストの内容は、分かるまで調べること。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する		
オフィスアワー	木曜日 12:10～14:30 研究室(西館314号室)		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 医療的ケア』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2600円 (ISBN978-4-8058-5775-5)		
参考文献等	『医療的ケア』 メディカルフレンド社 平成26年度 『介護職員のための今すぐ知りたい医療行為実技ガイド』 ひかりのくに 2011年		
成績評価基準	経管栄養のしくみが分かり、安全な実施について理解すること。		
成績評価の方法	途中の小テスト(20%)と期末試験(80%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	解剖生理学		
担当者	竹中 正巳		
授業形式	講義	科目ナンバー	54
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:医療秘書実務士 選択:介護福祉士		
授業の概要	講義は器官相互の位置関係も重視し、人体構造が立体的にとらえられるようにする。疾病と関連させて人体の構造と機能を解説することにより、日常生活に役立つ内容にする。また、全身の諸組織・諸臓器の機能とその役割についても十分に解説する。		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人体構造の仕組みと働きを理解する。 ・器官相互の有機的関連を考え、その根底にある人体の原理を知る。 ・人体の構造と機能を多面的にとらえられるようになる。 		
授業計画			担当者
第1回	細胞・組織・外皮・中枢神経・末梢神経の構造と機能		竹中
第2回	消化吸収(消化管の構造と機能)		竹中
第3回	消化吸収(栄養素の消化吸収のしくみ)		竹中
第4回	消化吸収(膵臓、肝臓、胆嚢の構造と機能)		竹中
第5回	呼吸器の構造と機能		竹中
第6回	心臓・血管(心臓、動脈、静脈の形態と機能)		竹中
第7回	血管・リンパ管(血液の組成と機能、血圧とその調節、リンパ管の構造と機能)		竹中
第8回	泌尿器(腎臓の構造と機能、尿、排泄路の構造と機能)		竹中
第9回	自律神経と内分泌(視床下部、下垂体、甲状腺、上皮小体、膵臓の各ホルモンの作用と分泌調節)		竹中
第10回	内分泌(副腎、性腺の各ホルモンの作用と分泌調節)		竹中
第11回	骨格・関節の構造と機能		竹中
第12回	筋肉の構造と機能		竹中
第13回	感覚器(眼・耳・舌・鼻の構造と機能)		竹中
第14回	生殖器(男女生殖器、精巣・卵巣の構造と機能)、人体の発生(受精と胎児の発生)		竹中
第15回	ヒトの成長と老化		竹中
事前・事後学習	事前学習:テキストをよく読んで講義に臨むこと 事後学習:講義後はテキストの各章末にあるゼミナール問題を解いて、理解度を確かめること		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、受講者の求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応する。		
オフィスアワー	木曜日 12:10~12:50 研究室(本館502号室)		
テキスト	「系統看護学講座1 解剖生理学」坂井建雄・岡田隆夫 医学書院 2018年 3,800円(税抜き)(ISBN 978-4-260-03171-4) 「看護師国家試験 解剖生理学クリアブッケー第2版ー」日本生理学会教育委員会編 医学書院 2018年 2,000円(税抜き)(ISBN 978-4-260-02442-6)		
参考文献等	「カラー人体解剖学ー構造と機能:マクロからマイクロまで」井上貴央監訳 西村書店 2003年 7,800円(税抜き)(ISBN 978-4-890-13305-5)		
成績評価基準	到達目標を踏まえて、解剖生理学の概要が理解できたと確認できた場合、合格とする。		
成績評価の方法	毎授業ごとの小テストの結果(100%)を合算して評価する。		
GPA基準			
備考			

科目名	薬理の基礎		
担当者	栗原 崇		
授業形式	講義	科目ナンバー	55
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:医療秘書実務士 選択:介護福祉士		
授業の概要	薬理学とは、生体と外界の物質(薬物および毒物)の相互作用の結果、生じる現象(薬理作用)を研究する学問体系です。医療に携わる人は、基本的な医薬品に関する知識を持っていることが求められています。薬理の基礎では、薬理作用を説明するための基礎的知識の習得に重点を置き、身近に接する薬物・毒物に関する薬理作用を解説します。		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 薬理作用の一般的概念を理解し、説明できる 薬物動態、薬物相互利用の基本的概念を理解し、説明できる 薬害・乱用薬物について学び、説明できる。 身近に接する代表的な薬について学び、その薬理作用・有害作用を説明できる 		
授業計画			担当者
第1回	薬とは何か?(薬の名前について)		栗原
第2回	薬物治療とは?(薬の作用メカニズムについて)		栗原
第3回	薬のたどる道、薬のモニタリングについて(高齢者と薬)		栗原
第4回	薬と薬の相互作用(薬の効きにくい人、効きすぎる人)		栗原
第5回	薬の有害反応「クスリはリスク」		栗原
第6回	薬害(1) サリドマイド、SMON、ソリブジン		栗原
第7回	薬害(2) 薬害エイズ、薬害C型肝炎、HPVワクチン		栗原
第8回	薬の乱用(1) 覚せい剤		栗原
第9回	薬の乱用(2) 麻薬		栗原
第10回	薬の乱用(3) 大麻、幻覚薬、危険ドラッグ		栗原
第11回	妊娠・授乳と薬		栗原
第12回	女性に多い病気(1) ホルモン関連薬		栗原
第13回	女性に多い病気(2) 膠原病治療薬		栗原
第14回	認知症		栗原
第15回	薬の開発・薬の選択・薬と上手につきあう		栗原
事前・事後学習	事前学習 毎回担当者を指名し、重要な薬物を調べる(パワーポイントスライド5~6枚にまとめる)課題を出す が、各自も事前に調べておくこと。 事後学習 教科書・副読本(第1回講義で紹介する)を通読・学習する。		
課題に対するフィードバックの方法	事前学習課題に関する解説は、担当者発表後に行います。		
質問・相談方法	平日は他大学での勤務のため、e-mailでも質問を受け付けます。		
オフィスアワー	木曜日 10:20~10:35 非常勤講師室(本館104号)/講義室。		
テキスト	「患者さんと医療系学生のための臨床薬理学入門」笹栗俊之(著)九州大学出版会 2016年 (ISBN-10: 4798501867, ISBN-13: 978-4798501864) 定価2,000円(税別)		
参考文献等	<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しい薬理学-セレネ化ペー」岡部 進 著 南山堂 2001年 (ISBN 4-525-72031-X)3000円 ・「くすりの発明・発見史」岡部 進 著 南山堂 2007年 (ISBN978-4-525-72131-2) 2800円 ・「ジキル博士の変身薬」岡部 進 金芳堂 2010年 (ISBN978-4-7653-1421-3) 2000円 ・「世界史を変えた薬」佐藤健太郎著 講談社現代新書 2015年 (ISBN978-4-06-288338-2)740円 ・「医薬品とノーベル賞 がん治療薬は受賞できるのか?」佐藤健太郎 著 角川新書 2016年 (ISBN978-4-04-731647-8) 800円 ・「新薬に挑んだ日本人科学者たち-世界の患者を救った創薬の物語」塚崎朝子著 講談社ブルーバックス 2013年 (ISBN978-4-06-257831-8) 900円 ・「世界を救った日本の薬-画期的新薬はいかにして生まれたのか?」塚崎朝子著 講談社ブルーバックス 2018年 (ISBN978-4-06-502050-0) 1080円 ・「薬の散歩道 薬理学入門」仁木一郎 著 メディカルサイエンス・インターナショナル 2010年 (ISBN978-4-89592-646-1) 2200円 		
成績評価基準	総合評価100点満点中、60点以上で合格とする。		
成績評価の方法	定期試験(70%)、発表形式の宿題(30%)で総合的に評価する。		
備考			

科目名	医療事務総論		
担当者	児玉 利大		
授業形式	講義	科目ナンバー	56
配当年次	1	科目群	専門科目(医療秘書実務士)
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:医療秘書実務士 選択:介護福祉士		
授業の概要	<p>少子、高齢化社会へ急速に移行しているわが国において、医療を取り巻く社会環境の変革を求められる現在、患者のためのより良い医療提供と医師本来の社会的責務が達成できるよう、補佐業務を身につけ医療秘書実務士の資格を取得する。</p>		
授業の到達目標	<p>1.医療の基本的な理解を医療事務全般にわたる基礎知識を学習する 2.医療事務に関する諸規則についての知識を習得する 3.医療知識を身につけ、診療録及び病院の業務の流れを理解する</p>		
授業計画			担当者
第1回	医療事務総論の必要性と医療事務の特性		児玉
第2回	病院医療の概要		児玉
第3回	医療事務の仕事		児玉
第4回	医療秘書の役割と業務		児玉
第5回	社会保障制度		児玉
第6回	医療保険制度の概要		児玉
第7回	医事関係法規		児玉
第8回	医療施設の概要		児玉
第9回	保険請求業務		児玉
第10回	医事業務		児玉
第11回	外来、入退院業務		児玉
第12回	料金徴収業務、統計業務		児玉
第13回	介護保険制度		児玉
第14回	医療秘書としての人間関係と接遇		児玉
第15回	医療事務総論の総括		児玉
事前・事後学習	前もって教科書に目を通しておくこと。意味の分からない用語は事前に調べておくこと。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合(定期試験を含む)求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応する。		
オフィスアワー	水曜日 16:10～16:30 非常勤講師室(本館104号)		
テキスト	『病院事務のための医療事務総論/医療秘書実務』 日本医療福祉実務教育協会監修 建帛社 2017年 3200円(税抜き) (978-7679-3226-7)		
参考文献等	日本医療福祉実務教育協会監修『医療秘書実務士選書 医療事務総論』建帛社 社会保険研究所 新訂『医療事務の手引』		
成績評価基準			
成績評価の方法	受講態度(20%) 定期試験(80%)		
GPA基準			
備考			

科目名	医療事務演習		
担当者	児玉 利大		
授業形式	演習	科目ナンバー	57
配当年次	1	科目群	専門科目(医療秘書実務士)
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:医療秘書実務士 選択:介護福祉士		
授業の概要	医療秘書実務士養成の趣旨に沿って、医療事務及び診療報酬点数の基本を短時間で学べることを目的とし、医療福祉の現場で活躍することを目指している。		
授業の到達目標	1.診療行為における診療報酬算定要件を理解する 2.診療報酬明細書の作成及び請求について理解する 3.医療費の仕組みと診療報酬点数の算定を行う技術を身につける		
授業計画			担当者
第1回	診療報酬の仕組みと診療報酬明細書		児玉
第2回	診療報酬明細書の作成と提出		児玉
第3回	診療報酬明細書の記載の一般的事項		児玉
第4回	医科診療報酬点数の算定 1.基本診療料		児玉
第5回	医科診療報酬点数の算定 2.医学管理等・在宅医療料		児玉
第6回	医科診療報酬点数の算定 3.投薬料		児玉
第7回	医科診療報酬点数の算定 4.注射、処置料		児玉
第8回	医科診療報酬点数の算定 5.手術、麻酔料		児玉
第9回	医科診療報酬点数の算定 6.検査料		児玉
第10回	医科診療報酬点数の算定 7.画像診断、リハビリテーション料		児玉
第11回	医科診療報酬点数の算定 8.入院基本、特定入院料		児玉
第12回	医科診療報酬点数の算定 9.入院料の算定、レセプトの作成		児玉
第13回	診療報酬請求事務		児玉
第14回	診療報酬明細書の総括		児玉
第15回	診療報酬の総括		児玉
事前・事後学習	前もって教科書に目を通しておくこと。意味の分からない用語は事前に調べておくこと。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合(定期試験を含む)求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	水曜日 16:10~16:30 非常勤講師室(本館104号)		
テキスト	『診療報酬の請求』 杉本恵申・佐藤麻菜 医学通信社 2018年 2600円(税抜き) (978-4-87058-687-1)		
参考文献等	日本医療福祉実務教育協会監修『医療秘書実務士選書 医療事務演習』建帛社		
成績評価基準			
成績評価の方法	受講態度(20%) 定期試験(80%)		
GPA基準			
備考			

科目名	情報処理		
担当者	渡邊 光浩		
授業形式	演習	科目ナンバー	58
配当年次	1	科目群	専門科目(関連科目)
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:介護保険実務士、医療秘書実務士 選択:介護福祉士		
授業の概要	コンピュータとインターネットの役割を理解していることが当然の世の中になっている。さらに、携帯端末で音楽を楽しんだり、写真を撮ったり、コンピュータと連携し使用できる情報メディアも多様化し、急速に普及している。このような現在においてコンピュータを活用する基礎を固め、自信をもって情報機器を活用できる人を育てる。		
授業の到達目標	1.ICTの基本的な技術を習得する 2.インターネットを理解し活用できるようになる 3.コンピュータを生活の道具として活用できるようになる		
授業計画			担当者
第1回	情報処理, ICT活用とは		渡邊
第2回	キーボード練習		渡邊
第3回	コンピュータ・インターネットの歴史		渡邊
第4回	ブラウザを使おう		渡邊
第5回	電子メールを使おう		渡邊
第6回	Word1 テンプレート利用/ファイルの保存・管理		渡邊
第7回	Word2 文字入力・写真挿入		渡邊
第8回	Word3 表・図形挿入		渡邊
第9回	Excel1 表の作成, データ入力・並び替え		渡邊
第10回	Excel2 関数, データ貼り付け		渡邊
第11回	Excel3 グラフ, 印刷		渡邊
第12回	Web記事を作成しよう		渡邊
第13回	情報セキュリティについて知ろう		渡邊
第14回	PowerPointを使おう		渡邊
第15回	最終課題レポート		渡邊
事前・事後学習	・各回の内容について、必要に応じて事前に調べておく。・理解や操作の習得が十分でなかった場合、受講者相互で教え合ったり、教員へ質問したりする。・最終課題のために総復習をする。		
課題に対するフィードバックの方法	・毎回のレポートについてのフィードバックは、次の時間に全体の場で行う。個別に対応が必要な場合、UNIVERSAL PASSPORTで連絡をしたり、オフィスアワーを利用したりする。		
質問・相談方法	・授業の前後やオフィスアワー、UNIVERSAL PASSPORTの連絡機能で対応する。		
オフィスアワー	火曜日・水曜日 16:25～17:55 研究室(西館417号室)		
テキスト	特になし		
参考文献等	『30時間でマスター Office2016』 実教出版編修部 実教出版 2016年 1000円 ISBN978-4-407-34018-1		
成績評価基準	・ICTの基本的な技術を習得すること・インターネットを理解し活用できること・コンピュータを生活の道具として活用できること		
成績評価の方法	・毎回のレポート(50%)と最終課題レポート(50%)で総合的に判断する。		
GPA基準			
備考	・レポートは、UNIVERSAL PASSPORT の課題提出を用いて提出すること		

科目名	レクリエーション活動援助法Ⅱ		
担当者	福満 博隆		
授業形式	演習	科目ナンバー	59
配当年次	1	科目群	専門科目(関連科目)
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:レクリエーションインストラクター 選択:介護福祉士		
授業の概要	レクリエーション活動の社会的意義や活動援助者としての役割について解説しながら、レクリエーション活動の体験と指導演習を通して、活動援助能力の習得向上を図る。1. コミュニケーション・ワークを体験し、その指導法を学ぶ①楽しいゲーム、ダンス、ソング、野外活動の体験をする②ゲーム、ダンス、ソングの指導法を学び実践する③課題をグループで取り組むみ、コミュニケーション能力を高める。2. 指導演習に対する振り返りとまとめを行う(評価)		
授業の到達目標	1.レクリエーション活動の社会的意義と役割について理解する 2.レクリエーション活動援助能力の習得と向上を図る 3.グループ活動を通してコミュニケーション能力を高める		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション, 野外活動についての解説		福満
第2回	野外活動体験(2泊3日の集中講義)		福満
第3回	野外活動体験(自然とのふれあいを深める)		福満
第4回	野外活動体験(仲間との協力して課題を解決する)		福満
第5回	野外活動体験(課題を成し遂げる喜びの体験)		福満
第6回	野外活動体験(自分の可能性を見つめ直す)		福満
第7回	野外活動体験(知的障害者との交流体験)		福満
第8回	アイスブレイク(つどいの演出)の体験と指導法について		福満
第9回	導入から展開へのゲーム、ダンス、ソングの指導法の練習(グループ活動)		福満
第10回	導入としてのゲーム、ダンス、ソングの指導演習と振り返り評価		福満
第11回	導入から展開へのゲーム、ダンス、ソングの指導演習と振り返り評価		福満
第12回	展開からまとめのゲーム、ダンス、ソングの指導法の練習(グループ活動)		福満
第13回	グループダイナミックな展開としてのゲーム、ダンス、ソングの指導演習と振り返り評価		福満
第14回	グループ意識を持たせるまとめとしてのゲーム、ダンス、ソングの指導演習と振り返り(評価)		福満
第15回	グループワークに重点を置いたゲームの体験と指導法について		福満
事前・事後学習	指導実践のための打ち合わせや練習等の課題をグループで取り組む		
課題に対するフィードバックの方法			
質問・相談方法			
オフィスアワー	月曜日 12:05~12:55 [講義後] (体育館)		
テキスト	特になし		
参考文献等	レクリエーション活動援助法(介護福祉士養成講座6)		
成績評価基準			
成績評価の方法	授業への参加態度・活動への取り組み姿勢(50%) ゲーム指導の実践能力(30%) レポートの評価(20%)		
GPA基準			
備考			

2 年 次

専 門 科 目

生 活 福 祉 専 攻

科目名	人間関係とコミュニケーション		
担当者	園田 美保		
授業形式	講義	科目ナンバー	105
配当年次	2	科目群	専門科目 [人間と社会]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士 選択必修：医療秘書実務士 選択必修 (▲4単位)：ピアヘルパー		
授業の概要	<p>主には社会心理学や発達心理学などでの知見をもとに、対人関係を様々な視点から見ていく。その中には、親子やきょうだい、仲間関係といった関係性から見る視点、関係づくりの中で働く心理的作用という視点、コミュニケーションをスキルでとらえる視点などが含まれる。また、人間関係が幸福感やストレスと関係することについても紹介し、よりよい人生を受講者自身で切り開くため、それらを元に改めて考える材料としてもらう。受講者には、これまでの自身のコミュニケーションや人間関係について授業に沿って考えてもらい、今後の対人関係に役立つ内容として考えたことを、授業内での小レポートで表現することを求める。</p>		
授業の到達目標	<p>1. 他者と関わり生きている自分、自分と関わる他者・社会について主に心理学の視点から理解する 2. 日常生活での自身の行動や、これからの行動を見直す</p>		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション インTRODクション, 授業計画と内容、人間関係を心理学すると?		園田
第2回	人間関係の始まり (親子関係、愛着)		園田
第3回	きょうだいや仲間関係 きょうだいの性格、きょうだいへの親の対応、仲間関係の発展		園田
第4回	対人認知 他者のパーソナリティ認知, 認知の歪み, 偏見		園田
第5回	印象形成 情報間の影響、印象形成の原理、自己呈示		園田
第6回	対人魅力 好意を高める条件		園田
第7回	非言語コミュニケーション 非言語コミュニケーションの機能や種類、社会的知能		園田
第8回	社会的スキル 人間関係のスキル, 社会的スキルの訓練法		園田
第9回	主張性 問題解決のためのアサーション		園田
第10回	友情と愛情 友人関係の意義と成立要因, 恋愛関係の類型化、恋愛のプロセスに関連する要因		園田
第11回	社会的自己 自己概念, 自己の形成プロセス, 自己評価、自己開示		園田
第12回	共感性 思いやりと共感性、共感の発達、共感的理解、共感的な接し方		園田
第13回	ストレスと人間関係 対人ストレス、ストレス緩和要因、ストレスとつきあう方法		園田
第14回	幸福感と人間関係 主観的幸福感、幸せ感と関連する要因、心理的well-being		園田
第15回	総括・振り返り 「人間関係とコミュニケーション」全体を振り返って		園田
事前・事後学習	<p>各回テーマに関して考えたり、指定された内容のインタビューを行う ・各回のキーワードを5語程ピックアップし説明できる程度に理解する ・コミュニケーション法において、自分の得意と苦手な分野をキーワードを使用し説明する ・今後の対人関係に役立てられる方法を考える</p>		
課題に対するフィードバックの方法	毎回の授業の最初に、前回の小レポートから複数例紹介し、解説を加える。また、Mooodleを使ったフィードバック機能も用いる予定。		
質問・相談方法	各回の授業後、もしくは小レポートで受け付ける。授業後やメールで時間調整できた場合も対応可能。		
オフィスアワー	水曜日 16:30~17:30 研究室(西館310号室) 金曜以外で事前調整できた日時にも対応可能。		
テキスト	特定のテキストは使用しない。毎回、資料を配布する。		
参考文献等	各回のテーマにより異なるため、配布資料で提示。下記は一部例。『大学生のためのソーシャルスキル』橋本剛 サイエンス社 2008年 1650円(税抜き) ISBN-10: 4781911838 『人間関係づくりトレーニング』星野欣生 金子書房 2002年 1800円(税抜き) ISBN-10: 4760830251		
成績評価基準	各回のキーワードと内容を理解し、自分や他者、日常生活と関連させ考えられるものを合格とする。		
成績評価の方法	毎回の小レポートと受講態度(70%)と最終レポート(30%)で評価する。		
GPA基準			
備考	15回目の授業にはそれまでの配布資料・自筆ノートを全て持参すること。2回目以降は少なくとも前回の資料は持参すること。		

科目名	住環境と福祉		
担当者	未定		
授業形式	講義	科目ナンバー	106
配当年次	2	科目群	専門科目 [人間と社会]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択必修：介護福祉士 (★6単位)		
授業の概要	介護予防・在宅介護が施策で進められる中、「住宅」の重要性は増す一方である。生活支援技術（住）をふまえ、従来の住宅の問題点を理解し、住環境への幅広い考察力を養うことを目的に講義する。介護業務において介護保険を利用した住宅改修計画に有効な福祉住環境コーディネーターの資格に関する科目でもある。国家試験対策についても講義する。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 室内環境調整の重要性や方法を学び、住宅や施設での介護に活かせるようになる。 2. 介護保険での住宅改修事例について学び、具体的要点を理解する。 3. 観光施設におけるバリアフリーの現状と課題を、グループディスカッションを通じてまとめる。 		
授業計画			担当者
第1回	介護実習Ⅲの目標の理解－実習記録より		未定
第2回	空間寸法の把握－記録用紙の提出		未定
第3回	鹿児島市の都市計画－用途地域と住宅改修		未定
第4回	観光施設におけるバリアフリー（学外研修）		未定
第5回	観光施設におけるバリアフリー（学外研修）		未定
第6回	観光施設とバリアフリーについてグループディスカッションし、まとめる		未定
第7回	環境調整－採光・照明・温湿度		未定
第8回	環境調整－通風・換気・遮音・吸音		未定
第9回	省エネ住宅		未定
第10回	木造住宅の構造・各部の名称と住宅改修		未定
第11回	アレルギー、シックハウス症候群		未定
第12回	介護保険下の住宅改修事例		未定
第13回	介護福祉士国家試験問題から－住宅改修の要点		未定
第14回	介護福祉士国家試験問題から－建築基準法との関係		未定
第15回	住宅困窮者とセーフティネット		未定
事前・事後学習	意味のわからない用語を調べておく レポートを課す		
課題に対するフィードバックの方法	個別指導を行う。講義で課題の要点を解説する。		
質問・相談方法	授業の前後で対応する。		
オフィスアワー	火曜日 10:20～10:35 講義室（本館309号室）		
テキスト	『生活支援技術Ⅰ』 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2200円 (ISBN: 978-4-8058-5766-3)		
参考文献等	『自宅でない在宅－高齢者の生活空間論』 外山義 医学書院 2003年 (ISBN: 978-4-260-33291-0)		
成績評価基準	観光施設におけるバリアフリーの現状と課題を理解し、室内環境調整の方法を理解すること。		
成績評価の方法	レポートを2回課す。「観光施設とバリアフリーについて」「環境調整について」（いずれもA4で3枚以上）。		
GPA基準			
備考			

科目名	介護の基本Ⅳ		
担当者	福永 宏子		
授業形式	講義	科目ナンバー	107
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士 選択必修：介護保険実務士・医療秘書実務士		
授業の概要	・介護福祉におけるチームケアの重要性を理解するために、様々な場面での事例を基に多職種協働や地域連携の重要性について説明やロールプレイなどの演習を取り入れて講義を行う。 ・「尊厳」を支える介護について、実習の体験や事例をもとに、介護福祉士としてどのような態度、視点が必要かを理解できるように講義する。		
授業の到達目標	1. 介護福祉の現場におけるチームケアの重要性が理解できる。 2. 尊厳を支える介護とは何が具体的に理解できる。		
授業計画			担当者
第1回	本科目の意義と目的		福永
第2回	多職種連携の意義と目的		福永
第3回	協働する職種の理解 専門職としてのそれぞれの役割		福永
第4回	利用者を取り巻く多職種連携の実際 グループワーク		福永
第5回	施設における多職種連携の実際		福永
第6回	在宅における多職種連携の実際		福永
第7回	地域連携の意義と目的		福永
第8回	地域連携にかかわる機関の理解 機関の役割		福永
第9回	地域で生活する利用者を取り巻く地域連携の実際		福永
第10回	地域で生活を開始する場合の地域連携の実際		福永
第11回	尊厳を支える介護とは		福永
第12回	尊厳を支える介護 関連法令の理解		福永
第13回	尊厳を支える介護 QOLとノーマライゼーションの実現		福永
第14回	尊厳を支える介護 介護実習の体験から考える		福永
第15回	介護の基本とは 科目まとめ		福永
事前・事後学習	授業の予習（テキストを読む。わからない語句を調べておく） 内容の復習、学習内容と介護実習での体験に基づいたレポート作成の課題を課す		
課題に対するフィードバックの方法	・内容に関連した小テストの実施。 ・課題については、個別に対応する。		
質問・相談方法	授業中、オフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	水曜日 10:20～12:40 研究室（西館315号室）		
テキスト	『最新介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年（ISBN 978-4-8058-5763-2） 2,200円 『最新介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年（ISBN 978-4-8058-5764-9） 2,200円		
参考文献等	『七訂 介護福祉用語辞典』中央法規出版編集部編集 中央法規 2015年 2,600円(税別き) (ISBN: 978-4-8058-5094-7)		
成績評価基準	・チームケアの重要性と多職種連携について理解している。 ・尊厳を支える介護とは何か説明できる。 ・関連する法律や施策について理解している。		
成績評価の方法	定期試験（70%）、小テストと課題（30%）で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考	単位互換 [KRICE] 提供科目		

科目名	社会福祉援助技術		
担当者	谷川 知士		
授業形式	講義	科目ナンバー	108
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士 選択必修（▲4単位）：ピアヘルパー		
授業の概要	社会福祉援助技術とは、現代社会における生活上に課題を抱えている人々（疾病、障害、高齢、ひとり親家庭、貧困等）のよりよく生きたいと願う個々のニーズを把握し、それぞれに合った生活スタイルを的確に選択でき、社会生活の場で解決し自立を促す福祉の専門家による援助方法のことである。この援助技術を習得し、実践に役立つ福祉の専門家を目指す。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談援助の歴史的展開と意義を理解する 2. 社会福祉援助技術の原則を理解し、実践できる 3. 個別及び集団援助技術の基本原則を理解し実践できる 		
授業計画		担当者	
第1回	社会福祉援助技術の歴史的展開と概念について学ぶ	谷川	
第2回	社会福祉援助技術の意義と基本的枠組みについて学ぶ	谷川	
第3回	社会福祉サービスとの関係について学ぶ	谷川	
第4回	社会福祉援助技術の原則について学ぶ	谷川	
第5回	社会福祉援助技術と介護福祉士の役割について学ぶ	谷川	
第6回	直接援助技術の概要について学ぶ	谷川	
第7回	間接援助技術の概要について学ぶ	谷川	
第8回	個別援助技術の意義と原則について学ぶ	谷川	
第9回	個別援助技術の過程と方法について学ぶ	谷川	
第10回	集団援助技術の意義と原則について学ぶ	谷川	
第11回	集団援助技術の過程と方法について学ぶ	谷川	
第12回	関連援助技術の概要と方法について学ぶ	谷川	
第13回	地域援助技術の概要と方法について学ぶ	谷川	
第14回	スーパービジョンの意義と方法について学ぶ	谷川	
第15回	介護現場における事例を通じた援助技術を学ぶ	谷川	
事前・事後学習	事前に配布された資料の、分からない用語は辞書等で調べておく 毎回の小まとめ用紙を半期（7回）終了後に持ち帰らせ、振り返りの時間を持たせ、最終日には全まとめを持ち帰らせて定期試験に臨む		
課題に対するフィードバックの方法	授業終了時に毎回提出する授業のまとめ用紙に課題等の回答を促し、次回の授業で回答する。		
質問・相談方法	授業中での質問時間を設定する。また気軽に質問し易いように、毎回提出する授業のまとめ用紙に質問事項を自由に記入させ、コメントを添えて次回の授業始めに返却する。		
オフィスアワー	第1・第3水曜日 14:40~17:55 研究室（西館316号室）		
テキスト	特になし		
参考文献等	社会福祉援助技術論 大島 侑 ミネルヴァ書房 2016年 2,600円（税別）		
成績評価基準	到達目標に掲げた項目をおおよそ理解すること。		
成績評価の方法	授業への参加態度（20%）と期末試験（80%）で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考			

科目名	リハビリテーション論		
担当者	丸野 里美		
授業形式	講義	科目ナンバー	109
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	リハビリテーションの理念、障害の構造、分類、さらに様々な障害の特徴を学ぶ。また発達と老化の観点を通して、予防医学を含めたリハビリテーションの重要性を考える。特に加齢と障害に主眼を置き、「介護を必要とする人」を生活の視点からとらえることについて内容を深める。講義は主にPowerPointを用いて進める。また実技を行い、身体機能についてや障害の理解を深める。理解の確認を行うために授業ごとの小テストを行う。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体機能の基本要素や老化、疾病、障害を理解する。 2. 障害が生活に及ぼす影響を理解する。 3. 自立支援について考察できる。 		
授業計画			担当者
第1回	リハビリテーションの歴史や理念、障害の概念について学ぶ		丸野
第2回	チームワークとしてのリハビリテーションについて学ぶ		丸野
第3回	ひとの身体機能、加齢と障害の基礎知識について学ぶ		丸野
第4回	廃用症候群のリハビリテーションについて学ぶ		丸野
第5回	脳血管疾患のリハビリテーションについて学ぶ		丸野
第6回	神経疾患、骨関節疾患のリハビリテーションについて学ぶ		丸野
第7回	高次脳機能障害、認知症について学ぶ		丸野
第8回	日常生活動作について学ぶ		丸野
第9回	実技1（身体機能について学ぶ）		丸野
第10回	実技2（リハビリテーション介護について学ぶ）		丸野
第11回	言語発達、失語症について学ぶ		丸野
第12回	構音障害、摂食嚥下のメカニズムについて学ぶ		丸野
第13回	介護予防、リハビリテーション専門職との連携について理解する		丸野
第14回	日常生活動作について学ぶ（グループワーク）		丸野
第15回	リスク管理について学び、発表してまとめる		丸野
事前・事後学習	<p>「日常生活の中で障害を持った方とのかかわりがあるとしたら」を意識し、疑問や、わからない用語等は辞書等で調べておく</p> <p>毎回前項目の小テストを行うため、復習をその都度行う</p>		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、課題の提出方法やフィードバックは求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	火曜日 12:50~16:20 講義室（南館301・西館203号室）		
テキスト	『介護の基本Ⅰ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円 (ISBN: 978-4-8053-5763-2)		
参考文献等	『福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト』 東京商工会議所		
成績評価基準	到達目標にあげた項目を理解すること		
成績評価の方法	定期試験（80%） 小テスト（10%） 受講態度（10%）		
GPA基準			
備考			

科目名	コミュニケーション演習		
担当者	谷川 知士、宮里 新之介		
授業形式	演習	科目ナンバー	110
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	オムニバス
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	介護を必要とする人の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解するとともに、利用者や利用者家族、あるいは他職種協働におけるコミュニケーション能力を演習を通して身につける。		
授業の到達目標	1. 利用者との様々なコミュニケーション技法を学び、障害特性に応じたコミュニケーション方法を考えることが出来る 2. 介護におけるチームのコミュニケーションの意義を理解する 3. 介護現場での様々なコミュニケーション方法を自ら考えられる		
授業計画			担当者
第1回	介護におけるコミュニケーションの基本（オリエンテーション）		宮里
第2回	質問の技法		宮里
第3回	相談・助言・指導の技法		宮里
第4回	利用者の意欲を引き出す技法		宮里
第5回	利用者と家族の意向を調整する技法		宮里
第6回	複数の利用者がある場面でのコミュニケーション技法		宮里
第7回	コミュニケーション障害の理解		宮里
第8回	コミュニケーション障害のある利用者への対応		宮里
第9回	利用者の特性に応じたコミュニケーション（高次脳機能障害、失語症、構音障害）		宮里
第10回	利用者の特性に応じたコミュニケーション（認知症、視力・聴力障害、知的障害、精神障害）		宮里
第11回	チームのコミュニケーションとは		谷川
第12回	報告・連絡・相談の技術		谷川
第13回	記録の技術		谷川
第14回	会議・議事進行・説明の技術		谷川
第15回	総括		谷川
事前・事後学習	教科書の指定されたページまでを熟読し、分からない用語は辞書等で調べておく 毎回振り返りの時間を持たせる		
課題に対するフィードバックの方法	授業終了時に毎回提出する授業のまとめ用紙に課題等の回答を促し、次回の授業で回答する。		
質問・相談方法	授業中での質問時間を設定する。また気軽に質問し易いように、毎回提出する授業のまとめ用紙に質問事項を自由に記入させ、コメントを添えて次回の授業始めに返却する。		
オフィスアワー	谷川：第1・3水曜日 14:40～17:55 研究室（西館316号室） 宮里：金曜日 10:35～12:05 研究室（本館312号室）		
テキスト	「最新・介護福祉士養成講座5 コミュニケーション技術」 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2,200円		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	到達目標に掲げた項目をおおよそ理解すること。		
成績評価の方法	授業への参加態度（20%）と期末試験（80%）で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考			

科目名	生活支援技術C		
担当者	浜崎 眞美、福永 宏子		
授業形式	演習	科目ナンバー	111
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	オムニバス
免許・資格情報	必修：介護福祉士 選択必修：介護保険実務士		
授業の概要	尊厳の保持の観点から、どのような状態であってもその人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、見守ることも含めた介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について明らかにする。生活支援技術Cでは、排泄の介護、移動・移乗の介護が主な内容となる。効果的な演習となるために、お互いに介護者役、利用者役を担いながら進める。心身の状況に応じた介護が実践できるために、介護技術の基礎で学んだことを深めることができるようにする。		
授業の到達目標	1. 排泄の介護について具体的援助を実践できる。 2. 移乗・移動の介護について具体的援助を実践できる。		
授業計画		担当者	
第1回	排泄の意義・目的、利用者の状況に応じたトイレ介助の留意点	福永	
第2回	安全・的確な排泄介助技法（トイレ）	福永	
第3回	安全・的確な排泄介助技法（ポータブルトイレ）	福永	
第4回	利用者の状況に応じた介助（失禁時の介護・留意点）	福永	
第5回	安全・的確な移動・移乗介助技法（歩行・補助具等）	福永	
第6回	安全・的確な移動・移乗介助技法（移乗の一部介助）	福永	
第7回	安全・的確な移動・移乗介助技法（移乗の全介助）	福永	
第8回	安全・的確な排泄介助技法（まとめ）	福永	
第9回	排泄の意義・目的（復習）、排泄におけるアセスメントについて	浜崎	
第10回	安全・的確な排泄介助技法（おむつ交換）基本	浜崎	
第11回	安全・的確な排泄介助技法（おむつ交換）実践	浜崎	
第12回	安全・的確な排泄介助技法（尿器・差込便器）基本	浜崎	
第13回	安全・的確な排泄介助技法（尿器・差込便器）実践	浜崎	
第14回	安全・的確な排泄介助技法（実技試験）	浜崎	
第15回	利用者の状態・状況に応じた排泄介助（導尿・浣腸等）	浜崎	
事前・事後学習	「介護技術の基礎」「生活支援技術A」で学んだことを復習し、不明な点は質問する 実施した演習内容について、繰り返し練習を行う		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	福永：金曜日 12：10～14：00 研究室（西館315号室） 浜崎：金曜日 12：10～16：00 研究室（西館314号室）		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅰ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円（ISBN：978-4-8058-5766-3） 『最新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅱ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円（ISBN：978-4-8058-5767-0） 『最新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅲ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円（ISBN：978-4-8058-5768-7）		
参考文献等	『最新・介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2600円（ISBN：978-4-8058-5771-7） 『七訂 介護福祉用語辞典』 中央法規出版編集部編 中央法規 2015年 2600円（ISBN：978-4-8058-5094-7）		
成績評価基準	排泄の介護について、利用者の心身の状況に応じた具体的援助内容を理解すること。		
成績評価の方法	実技試験とレポート（30%）、期末試験（70%）で総合的に判定する		
GPA基準			
備考			

科目名	生活支援技術D		
担当者	浜崎 眞美		
授業形式	演習	科目ナンバー	112
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	通年	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士 選択必修：介護保険実務士		
授業の概要	尊厳の保持の観点から、どのような状態であってもその人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、見守ることも含めた介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について明らかにする。生活支援技術Dでは、睡眠の介護と終末期の介護が主な内容となる。前期に睡眠の介護、後期に終末期の介護を進める。1年次で学んだ「介護技術の基礎」や「生活支援技術A」の復習ができるようにする。		
授業の到達目標	1. 睡眠及び終末期の介護について具体的援助を実践できる。		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション／睡眠の意義・目的		浜崎
第2回	睡眠における利用者のアセスメントについて		浜崎
第3回	利用者のさまざまな状況に応じた睡眠への介護とは、不眠時の対応		浜崎
第4回	安眠のための環境整備、ベッドメイキング（復習）		浜崎
第5回	ベッドメイキング（実技試験）		浜崎
第6回	睡眠の介護における多職種の役割と協働		浜崎
第7回	終末期とは、終末期ケアの意味		浜崎
第8回	終末期ケアにおける介護の役割		浜崎
第9回	終末期におけるアセスメントの視点、死に対する心理の理解		浜崎
第10回	家族・遺族へのケア		浜崎
第11回	危篤時の観察ポイントと介護の実際		浜崎
第12回	臨終期の介護		浜崎
第13回	死後のケア（確認）		浜崎
第14回	死後のケア（演習）		浜崎
第15回	週末期ケアにおける多職種の役割と協働		浜崎
事前・事後学習	介護技術の基礎及び生活支援技術Aで学んだ内容について、事前に復習をする 実施した演習内容について、繰り返し練習をする		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	前期：木曜日 10：30～13:00 研究室（西館314号室） 後期：金曜日 10：30～13:00 研究室（西館314号室）		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅱ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円（ISBN：978-4-8058-5767-0）		
参考文献等	『最新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅰ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円（ISBN：978-4-8058-5766-3） 『最新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅲ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円（ISBN：978-4-8058-5768-7） 『最新・介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2600円（ISBN：978-4-8058-5771-7）		
成績評価基準	睡眠の介護及び終末期の介護について、利用者の心身の状況に応じた具体的援助内容を理解すること。		
成績評価の方法	小テスト（10％）と実技試験（20％）、期末試験（70％）で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	生活支援技術（食・衣）		
担当者	鶴東 章子、竹原 小菊		
授業形式	演習	科目ナンバー	113
配当年次	2	科目群	専門科目〔介護〕
開講期	通年	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	オムニバス
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	尊厳の保持の観点からどのような状態であってもその人の人格を尊重し、潜在能力を引き出し、見守ることを含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について伝授する。		
授業の到達目標	<p>(食) 1. 適切な生活支援ができる基本的な食事介護の知識・技術を習得する。 2. 学習した知識・技能を生かし具体的な食事サービス提供に繋げる。</p> <p>(衣) 1. 被服のもつ多様な機能を理解しそれに応じた被服選択ができる。 2. 被服の管理に必要な知識・技術を身につける</p>		
授業計画			担当者
第1回	食事の意義、食生活の基本知識、衛生管理（食中毒予防）	竹原	
第2回	調理操作の基本理論（実習）	竹原	
第3回	高齢者の身体機能と栄養（口腔支援と水分管理）（実習）	竹原	
第4回	障害のある人の栄養と食生活（安全で的確な介護食）（実習）	竹原	
第5回	家事支援における調理支援（自立を支え楽しい食を支える）	竹原	
第6回	家事支援における調理支援（自立を支え楽しい食を支える）	竹原	
第7回	施設での調理介助（実習）	竹原	
第8回	治療食、生活習慣病の配慮	竹原	
第9回	ひとり暮らしに便利な調理法、災害時の支援食（実習）	竹原	
第10回	調理上の様々な工夫や活用（有り合わせの食材を用いての献立作成・実技）（個人実習）	竹原	
第11回	被服生活の基礎知識（被服の機能/ 素材の性能/ 安全性）	鶴東	
第12回	被服生活の基礎知識（被服と皮膚の衛生保持/ 布の吸水性）	鶴東	
第13回	家事の介助の技法（被服の種類 素材別洗濯/ しみ抜き）	鶴東	
第14回	裁縫実習（衣服の補修）	鶴東	
第15回	裁縫実習（高齢者、障害のある人の被服の工夫）	鶴東	
事前・事後学習	<p>(食) テキストによる予習。実習時にはレポート作成。日々調理に携わり、技術等の向上に努め、自身の食生活の改善にも繋げる</p> <p>(衣) テキストによる予習</p> <p>(食) テキストによる復習。実習時にはレポート作成。日々調理に携わり、技術等の向上に努め、自身の食生活の改善にも繋げる</p> <p>(衣) 毎回の講義前に実施する小テストに向けての学習実験・実習のレポート作成 ・裁縫作品の製作</p>		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、授業内で課題の要点に触れるとともに、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	鶴東：金曜日 12：55～16：10 講義室（西館107号室） 今村：金曜日 12：55～16：10 講義室（西館203号室及び調理室）		
テキスト	(食) 『生活支援技術Ⅰ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規出版 2019 2,200円（税抜き） 『新版 基礎から学ぶビジュアルクッキング』 改訂第9版 教育図書(株) 720円（税抜き） (衣) 『新・介護福祉士養成講座〈6〉生活支援技術』 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019 2,376円（ISBN：9784805854372）		
参考文献等	文部科学省「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」		
成績評価基準	(食) 基本的な食事介護の知識・技術を理解すること。		
成績評価の方法	(食) レポート(30%) 調理実習(30%) 定期試験(30%) 受講態度(10%)の総合評価 (衣) 小テスト(40%) レポート及び作品(30%) 受講態度(30%)		
GPA基準			
備考			

科目名	介護過程Ⅲ		
担当者	福永 宏子		
授業形式	演習	科目ナンバー	114
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・他の科目で学習した知識や技術を統合して、適切な介護サービスが提供できるように行う介護過程の展開を、介護実習や事例課題を個人およびグループで演習を行い作成ができるように講義を進める。 ・介護実習要項で定められた書式について、正確に理解し使用できるように講義する。 		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一連の介護過程の展開ができる。 2. 利用者の「尊厳の保持」「自立支援」を理解した、介護計画を作成することができる。 3. 定められた書式を正しく理解し、記入することができる。 		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション 介護過程の展開とは（復習）		福永
第2回	アセスメント表1 情報の整理（個人指導）		福永
第3回	アセスメントの実際（情報の収集から課題の明確化まで）		福永
第4回	アセスメント表2 課題の明確化（個人指導）		福永
第5回	計画の立案 目標の設定		福永
第6回	計画の立案 望む生活に向けた目標の設定（個人指導）		福永
第7回	計画の立案 介護内容と方法		福永
第8回	計画の立案 計画書の作成（個人指導）		福永
第9回	利用者の状態に応じた介護過程（高齢者）		福永
第10回	利用者の状態に応じた介護過程（障がい者）		福永
第11回	演習 介護過程の展開①（グループワーク）		福永
第12回	演習 介護過程の展開②（グループワークとまとめ）		福永
第13回	実習Ⅲでの介護過程の展開の方法と留意点 事前準備		福永
第14回	実習Ⅲでの事例での振り返り		福永
第15回	介護過程の展開 評価 科目まとめ		福永
事前・事後学習	授業の予習（テキストを読む。概論について理解する。プリントを整理する） 講義内容の部分のプリントの整理。加筆・修正をする		
課題に対するフィードバックの方法	・学習した内容については、必ずプリントを仕上げしておく。求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業中、オフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	水曜日 10:20~12:40 研究室（西館315号室）		
テキスト	『最新介護福祉士養成講座9「介護過程」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年 (ISBN 978-4-8058-5769-4) 2,200円		
参考文献等	介護実習要項		
成績評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1.一連の介護過程の展開を利用者主体で作成できる。 2.介護過程の意義を理解できる。 		
成績評価の方法	定期試験（70％）、事例課題（30％）で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	介護過程Ⅳ		
担当者	福永 宏子		
授業形式	演習	科目ナンバー	115
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	<p>・他の科目で学習した知識や技術を統合して、より専門的な介護過程を展開を介護実習Ⅳで取り組むことができるように、具体的な事例で繰り返し演習を中心に講義を進める。</p> <p>・介護実習において介護過程を展開し実践した結果についてまとめ、相互に発表をすることで、自分の視点の把握と知識および技術が身につくことができるように講義する。</p>		
授業の到達目標	<p>1. .計画した介護を利用者の状況に応じて適切に実施できる</p> <p>2. 介護過程において評価とは何か理解し、自身で実施した介護を適切に評価することができる</p>		
授業計画			担当者
第1回	本科目の意義と目的 介護実習Ⅲの事例の整理		福永
第2回	事例のまとめ、完成（個人指導）		福永
第3回	事例のまとめ、完成（個人指導） 担当希望利用者の状態像の把握		福永
第4回	利用者の状態に応じた介護過程の展開 課題の明確化		福永
第5回	事例演習（課題の明確化から計画作成）		福永
第6回	事例演習 個人指導		福永
第7回	介護過程の実際 介護実習Ⅳで取り組む事例の整理 書式の準備		福永
第8回	介護過程の実際 チームケアと専門職種の役割、連携の方法		福永
第9回	介護過程の展開の実際 総復習		福永
第10回	介護過程の展開における チームカンファレンスの役割		福永
第11回	介護実習Ⅳでの介護過程の整理		福永
第12回	介護実習Ⅳで取り組んだ介護過程のまとめ（発表準備）		福永
第13回	介護過程の展開の実際 発表会		福永
第14回	介護過程の展開とチームアプローチの重要性		福永
第15回	科目まとめ 介護過程と介護福祉士の役割		福永
事前・事後学習	授業の予習（テキストを読む。概論について理解する。作成しているプリントを整理する。） 講義内容の部分のプリントの整理。加筆・修正をする		
課題に対するフィードバックの方法	授業中の個別指導で対応する。必要に応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業中、オフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	金曜日 10：20～12：40 研究室（西館315号室）		
テキスト	『最新介護福祉士養成講座9「介護過程」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年（ISBN 978-4-8058-5769-4） 2,200円		
参考文献等	介護実習要項		
成績評価基準	1.利用者の状況に応じて介護計画を作成している。 2. 介護過程について理解している。		
成績評価の方法	定期試験の成績(70%)、発表と課題（30%）で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	ケアマネジメント		
担当者	谷川 知士		
授業形式	演習	科目ナンバー	116
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士 選択：介護保険実務士		
授業の概要	日常生活において、何らかの生活困難に陥っている利用者（個人やその家族）は、複数の課題を抱えている場合が多い。加齢に伴う認知症や疾病及びその後の後遺症、また様々な障壁により、色々な不自由さを強いられ、経済的にも不利益を被ることが考えられる。こうした複合的な課題を抱えた方々に対し、そのニーズを包括的に把握し、公的な社会福祉サービスや地域の社会資源を利用者のニーズに合わせて的確に結びつけられる能力を養う。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアマネジメントの意義と実践に関する基礎知識を身につける。 2. 施設サービス計画書の意義を理解し、作成方法を身につける。 3. 居宅サービス計画書の意義を理解し、作成方法を身につける。 		
授業計画		担当者	
第1回	ケアマネジメントの意義と必要性について学ぶ	谷川	
第2回	ケアマネジメントの機能と体制について学ぶ	谷川	
第3回	介護支援専門員の役割について学ぶ	谷川	
第4回	ケアプランの意義と介護過程との関連について学ぶ	谷川	
第5回	施設サービス計画の構成及び作成の手順について学ぶ	谷川	
第6回	施設サービス計画の目標の設定について学ぶ	谷川	
第7回	施設サービス計画の構成及び作成の手順について学ぶ	谷川	
第8回	居宅サービス計画の構成及び作成の手順について学ぶ	谷川	
第9回	居宅サービス計画の目標設定について学ぶ	谷川	
第10回	居宅サービス計画の総合的な援助方針を作成する	谷川	
第11回	生活全般の解決すべき課題の設定について学ぶ	谷川	
第12回	具体的な援助内容の作成について学ぶ	谷川	
第13回	サービス担当者会議の意義とその方法について学ぶ	谷川	
第14回	関係機関との連携と必要性について学ぶ	谷川	
第15回	ケアプランのプレゼンテーションについて学ぶ	谷川	
事前・事後学習	事前に出された事例を熟読し、分からない用語は辞書等で調べておく 毎回の小まとめ用紙を半期（7回）終了後に持ち帰らせ、振り返りの時間を持たせ、最終日には全まとめを持ち帰らせて定期試験に臨む		
課題に対するフィードバックの方法	授業において、ほぼ毎回提出するサービス計画書を添削し、次回の授業始めに返却する。		
質問・相談方法	授業中での質問時間を設定する。また気軽に質問し易いように、毎回提出する授業のまとめ用紙に質問事項を自由に記入させ、コメントを添えて次回の授業始めに返却する。		
オフィスアワー	第1・第3水曜日 14:40～17:55 研究室（西館316号室）		
テキスト	「最新 介護福祉士養成講座」9 介護過程 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2,200円（税別） ISBN 978-8058-5769-4		
参考文献等	厚生労働省のホームページより、各介護サービス計画書の作成手引きを参考にする。 「初めて学ぶケアマネジメント」 熊本守康著 中央法規出版 2007年 2,500円（税別）		
成績評価基準	到達目標に掲げた項目をおおよそ理解すること。		
成績評価の方法	授業への参加態度（20%）と各サービス計画書の作成（80%）で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考			

科目名	介護総合演習Ⅲ		
担当者	浜崎 眞美、谷川 知士、福永 宏子		
授業形式	演習	科目ナンバー	117
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	複数
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	介護総合演習は、実習と組み合わせての学習とする。介護実習前の介護技術の確認や施設等の理解及びオリエンテーション、実習後の反省会等を通じて、介護福祉士に必要な知識や技術、介護過程の展開能力等を学内での学びと実習での学びとを総合することで深めることができるように授業を進める。また、学生個人の学習到達状況に応じた学習の機会であるように工夫する。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の目的を理解し、実習に必要な事前準備ができる。 2. 実習後の振り返りを通じて実習での学びをまとめることができる。 3. 各種の福祉用具を知り、使用方法を理解できる。 		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション／プロセスレコードとは何か		浜崎
第2回	プロセスレコードの個人指導（展開について）		浜崎
第3回	プロセスレコードの個人指導（考察）		浜崎
第4回	施設における介護の理解と実習の心得・進め方		谷川
第5回	介護実習Ⅲの目標・方法について		谷川
第6回	実習先の概要（介護老人保健施設）、実習の心得と進め方		福永
第7回	実習先の概要（小規模多機能型・通所リハビリテーション）、実習の心得と進め方		福永
第8回	福祉用具について（福祉機器展示相談センター見学）		谷川・浜崎・福永
第9回	福祉用具について（福祉機器展示相談センター見学）		谷川・浜崎・福永
第10回	介護実習Ⅲの実習目標・方法（確認）、受け持ち利用者のこと（準備）		浜崎
第11回	介護実習Ⅲの目標・方法（確認）、事前訪問について		浜崎
第12回	介護実習Ⅲについて（自己の実習計画を立てる）		福永
第13回	介護実習Ⅲ事前準備（服装チェック、実習反省会等）		浜崎
第14回	実習反省会		谷川・浜崎・福永
第15回	介護実習Ⅲの振り返り		谷川
事前・事後学習	テキストを用いた予習、これまでの事前訪問記録の確認をする 実習で学んだことを自身でまとめ、反省会に向けた準備をする テキストやこれまでの配布資料を基に復習をする		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	谷川：第1・第3水曜日 14：40～17：55 研究室（西館316号室） 浜崎：木曜日 12：10～15：00 研究室（西館314号室） 福永：木曜日 12：10～15：00 研究室（西館315号室）		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 介護総合演習・介護実習』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円（ISBN：978-4-8058-5770-0）		
参考文献等	・実習要項 ・『最新・介護福祉士養成講座 介護過程』 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規 2019年 2200円（ISBN：978-4-8058-5769-4）		
成績評価基準	・介護実習の目的を理解し、実習に必要な事前準備の必要性が理解できること。 ・実習後の振り返りにより、実習での学びをまとめることができること。		
成績評価の方法	介護過程の展開（アセスメント～計画の立案：80%）、レポート（福祉機器について学んだこと：20%）		
GPA基準			
備考			

科目名	介護総合演習Ⅳ		
担当者	浜崎 眞美、谷川 知士、福永 宏子、福留 弘、星隈 幸子		
授業形式	演習	科目ナンバー	118
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	複数
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	介護総合演習は、実習と組み合わせての学習とする。介護実習前の介護技術の確認や施設等の理解及びオリエンテーション、実習後の反省会等を通じて、介護福祉士に必要な知識や技術、介護過程の展開能力等を学内での学びと実習での学びとを総合することで深めることができるように授業を進める。また、学生個人の学習到達状況に応じた学習の機会であるように工夫する。		
授業の到達目標	1. 実習の目的を理解し、実習に必要な事前準備ができる。 2. 実習後の振り返りを通じて実習での学びをまとめることができる。 3. 専門職としての介護福祉士の役割についてまとめることができる。		
授業計画		担当者	
第1回	介護実習Ⅳへの自己課題の明確化、実習評価の個人指導	谷川・浜崎	
第2回	介護実習Ⅳについて（目標・方法等）、実習事前検査説明、事前訪問について	浜崎	
第3回	障害者支援施設の理解と実習の心得・進め方	福留	
第4回	医療型障害児入所・療養介護施設の理解と実習の心得・進め方	福留	
第5回	多職種協働について	星隈	
第6回	家族との連携について	星隈	
第7回	介護実習Ⅳについて（夜勤や会議等への参加等）	浜崎	
第8回	介護施設見学（先駆的な取組みを理解する）	谷川・浜崎	
第9回	介護施設見学（福祉機器や用具を理解する）	谷川・浜崎	
第10回	介護実習Ⅳ事前準備（服装チェック、実習反省会等）	浜崎	
第11回	介護実習Ⅳについて（自己の実習計画を立てる）	浜崎	
第12回	実習反省会	谷川・福永・浜崎	
第13回	介護実習Ⅳにおける情報交換	福永	
第14回	介護福祉士の役割を考える（グループディスカッション）	福永	
第15回	専門職能団体の理解	福永	
事前・事後学習	テキストを用いた予習、これまでの事前訪問記録の確認をする 実習で学んだことを自身でまとめ、反省会に向けた準備をする テキストやこれまでの配布資料を基に復習をする		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	谷川：第1・第3水曜日 14：40～17：55 研究室（西館316号室） 浜崎：木曜日 12：10～15：00 研究室（西館314号室） 福永：木曜日 10：20～12：55 研究室（西館315号室） 福留・星隈（非常勤）：木曜日 10：20～10：35 講義室		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 介護総合演習・介護実習』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円 (ISBN：978-4-8058-5770-0)		
参考文献等	・介護実習要項 ・『最新 介護福祉士養成講座 介護過程』 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規 2019年 2200円 (ISBN：978-4-8058-5769-4)		
成績評価基準	・介護実習の目的を理解し、実習に必要な事前準備の必要性が理解できること。 ・実習後の振り返りにより、実習での学びをまとめることができること。		
成績評価の方法	谷川・浜崎・福永：介護過程の展開（アセスメント～実施・評価・考察）（80%） 福留・星隈：授業内容に関連したレポート（20%）		
GPA基準			
備考			

科目名	事例研究（ゼミナール）		
担当者	浜崎 眞美、竹中 正巳、谷川 知士、福永 宏子		
授業形式	演習	科目ナンバー	119
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	通年	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	複数
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	<p>介護福祉士の実践をより科学的に高めることを目的とし、事例研究を行う。</p> <p>1～4回までは全体的内容の講義を行い、5回目以降は決められたゼミの担当教員の下で取り組み、中間報告を経て事例研究をまとめさせる。</p>		
授業の到達目標	<p>1. 事例研究の目的について理解できる</p> <p>2. 事例研究の書き方を理解し、研究テーマを設定できる</p> <p>3. 事例研究をまとめることができる</p>		
授業計画		担当者	
第1回	事例研究に取り組む意義・目的・方法について	A	
第2回	事例研究のテーマについて説明、テーマの希望調査	B	
第3回	テーマの希望調査結果について、研究計画書作成について	A	
第4回	研究計画書作成について、論文の書き方について	A	
第5回	事例研究（先行研究の検索方法について）	B	
第6回	事例研究（先行研究の読み合わせ）	B	
第7回	事例研究（先行研究のまとめと研究テーマの設定）	B	
第8回	事例研究（研究テーマの設定と研究デザインの作成）	B	
第9回	事例研究（研究デザインの作成）	B	
第10回	事例研究（中間報告）	B	
第11回	事例研究（事例の概要のまとめ）	B	
第12回	事例研究（介護の展開・結果のまとめ）	B	
第13回	事例研究（介護の展開・結果のまとめと考察）	B	
第14回	事例研究（考察）	B	
第15回	事例研究（総括）	B	
事前・事後学習	<p>テキストによる予習、論文検索を含む情報収集、資料の収集</p> <p>他論文、書籍内藤との比較、考察</p>		
課題に対するフィードバックの方法	各担当教員による、添削指導		
質問・相談方法	各担当教員による、オフィスアワー等を利用した質問時間を設定		
オフィスアワー	<p>谷川：第1・第3水曜日 14:40～17:55 研究室（西館316号室）</p> <p>浜崎：月、水～金曜日 8:30～17:00 研究室（西館314号室） ※火曜は除く</p> <p>福永：火～金曜日 12:10～17:00 研究室（西館315号室）</p>		
テキスト	「ケーススタディをはじめよう！介護事例研究の手引き」 和田要・大島美登子・江原勝幸 日総研出版 2014年 2,200円（税抜き）（ISBN：4-89014-881-7）		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	到達目標に達することで評価する		
成績評価の方法	事例研究のまとめおよび発表（100%）		
GPA基準			
備考	A：浜崎 B：谷川・竹中・浜崎・福永		

科目名	介護実習Ⅲ		
担当者	谷川 知士、浜崎 眞美、福永 宏子		
授業形式	実習	科目ナンバー	120
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	複数
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	<p>個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、前回までの実習経験や他科目で学習した知識や技術を統合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。 介護実習Ⅲでは、鹿児島県内の入所系施設（介護老人福祉施設・介護老人保健施設・障害者支援施設のいずれか）にて実習し、2週間をかけて学ぶ。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一連の介護過程の展開を行うことができる 2. 各種の住設備機器や福祉用具を知り、その使用方法を理解し、活用できる 		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション1（自己紹介、施設の概要について）	実習指導者	
第2回	オリエンテーション2（一日の流れ・週間予定・年間予定について）	実習指導者	
第3回	オリエンテーション3（感染予防に関すること、その他について）	実習指導者	
第4回	オリエンテーション4（オリエンテーションの情報を記録する）	実習指導者	
第5回	日課表沿った業務の進め方・内容を把握する	実習指導者	
第6回	利用者の特性を知る（受け持ちの利用者について特性と現在の情報を把握する）	実習指導者	
第7回	利用者ごとの介護計画を作成する（情報の解釈・関連づけ・統合化及び課題の明確化、具体的な介護計画を立案する）	実習指導者	
第8回	指導者の助言のもと生活支援技術を用いながらの実習する	実習指導者	
第9回	実習記録1（実習目標及び計画を記録する）	実習指導者	
第10回	実習記録2（一日の目標と計画を指導者に報告し助言を受ける）	実習指導者	
第11回	実習記録3（実習内容及び評価・考察についてまとめ記録する）	実習指導者	
第12回	実習記録4（施設の住設備機器や福祉用具の名称と使用方法についてまとめ記録する）	実習指導者	
第13回	利用者の特性を知る 「フェイスシート」	実習指導者	
第14回	利用者の状況を理解する 「アセスメント表(1)(2)」、自己の作成した計画をより具体的に作る「個別援助計画書」	実習指導者	
第15回	総括（実習の振り返り）	実習指導者	
事前・事後学習	施設でのオリエンテーションを受ける前に、施設の概要を調査し、用紙にまとめる 実習後に全員で反省会を開催し、意見交換で出てきた内容を代表者がまとめて各自に配布する		
課題に対するフィードバックの方法	実習で発見した課題については、次回の実習に行かせるよう全体の反省会時にフィードバックする。		
質問・相談方法	実習期間中は施設職員に尋ね、教員の巡回指導時にも質問できるようにしている。		
オフィスアワー	谷川：第1・第3水曜日 14:40～17:55 研究室（西館316号室） 浜崎：月、水～金曜日 8:30～17:00 研究室（西館315号室） ※火曜は除く 福永：木曜日 10:20～12:55 研究室（西館315号室）		
テキスト	「最新・介護福祉士養成講座」 10 介護総合演習・介護実習 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2,200円（税別） ISBN 978-4-8058-57770-0		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	到達目標に掲げた項目に達すること。		
成績評価の方法	実習中の提出物や実習態度及び施設からの実習評価（100%）により総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	COC関連科目		

科目名	介護実習Ⅳ		
担当者	谷川 知士、浜崎 眞美、福永 宏子		
授業形式	実習	科目ナンバー	121
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	3	担当形態	複数
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	<p>個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、前回までの実習経験や他科目で学習した知識や技術を統合して、より具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。 介護実習Ⅳでは、鹿児島県内の入所系施設（介護老人福祉施設・介護老人保健施設・障害者支援施設のいずれか）にて実習し、3週間をかけて学ぶ。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一連の介護過程の展開を継続的に実践することができる 2. チームの一員としての役割を自覚し、総合的判断力を身につける 		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション1（自己紹介、施設の概要について）	実習指導者	
第2回	オリエンテーション2（一日の流れ・週間予定・年間予定について）	実習指導者	
第3回	オリエンテーション3（感染予防に関すること、その他について）	実習指導者	
第4回	オリエンテーション4（オリエンテーションの情報を記録する）	実習指導者	
第5回	日課表沿った業務の進め方・内容を把握する	実習指導者	
第6回	利用者の特性を知る（受け持ちの利用者について特性と現在の情報を把握する）	実習指導者	
第7回	利用者ごとの介護計画を作成する（情報の解釈・関連づけ・統合化及び課題の明確化）	実習指導者	
第8回	介護計画の実施・評価（課題の明確化、新たな介護計画の作成）	実習指導者	
第9回	介護計画の実施（利用者の変化や反応を観察）	実習指導者	
第10回	実習記録1（実習目標及び計画を記録する）	実習指導者	
第11回	実習記録2（一日の目標と計画を指導者に報告し助言を受ける）	実習指導者	
第12回	実習記録3（利用者の変化、夜間と日中の状態変化や反応を観察・考察し記録する）	実習指導者	
第13回	実習記録4（施設内の記録や申し送りの情報を記録、理解する）	実習指導者	
第14回	施設内で行われる職員会議やケースカンファレンス等、施設運営プログラムに参加する	実習指導者	
第15回	総括（実習の振り返り）	実習指導者	
事前・事後学習	施設でのオリエンテーションを受ける前に、施設の概要を調査し、用紙にまとめる 実習後に全員で反省会を開催し、意見交換で出てきた内容を代表者がまとめて各自に配布する		
課題に対するフィードバックの方法	実習で発見した課題については、次回の実習に行かせるよう全体の反省会時にフィードバックする。		
質問・相談方法	実習期間中は施設職員に尋ね、教員が実習訪問したときにも質問できるようにしている。		
オフィスアワー	谷川：第1・第3水曜日 14:40～17:55 研究室（西館316号室） 浜崎：月、水～金曜日 8:30～17:00 研究室（西館315号室） ※火曜は除く		
テキスト	「最新・介護福祉士養成講座」 10 介護総合演習・介護実習 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2,200円（税別） ISBN 978-4-8058-57770-0		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	到達目標に掲げた項目に達すること。		
成績評価の方法	実習中の提出物や実習態度及び施設からの実習評価（100%）により総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	COC関連科目		

科目名	認知症者の介護		
担当者	永峯 登美子		
授業形式	演習	科目ナンバー	122
配当年次	2	科目群	専門科目 [こころとからだのしくみ]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	認知症者の捉え方を講義する。とりまく環境や病態を説明し、認知症者の理解を深め介護支援を指導する。		
授業の到達目標	1. 認知症者の理解を深め、その人らしさを生かした介護の基本を身につけることができる 2. 家族支援と地域サポートについて学び、認知症者が安心できる生活支援を考えることができる		
授業計画			担当者
第1回	認知症とは		永峯
第2回	脳と心 (DVD)		永峯
第3回	認知症の人の心理		永峯
第4回	認知症の原因疾患の検査と診断・治療		永峯
第5回	アルツハイマー型認知症		永峯
第6回	疾患の進行に応じた介護支援 (BPSDの背景にあるもの)		永峯
第7回	若年性認知症の介護支援 (社会生活における自己決定の介護)		永峯
第8回	障害を抱えて生きることへの支援		永峯
第9回	認知症ケアの理念と視点		永峯
第10回	認知症ケアの実際 (パーソン・センタード・ケア)		永峯
第11回	認知症の人へのさまざまなアプローチ		永峯
第12回	認知症の人の終末期医療とケア		永峯
第13回	介護者支援		永峯
第14回	認知症の人の地域生活支援		永峯
第15回	多職種連携と協働		永峯
事前・事後学習	「明日の記憶」のDVDを視聴する 認知症の理解の復習 演習・実技をグループワークで発表		
課題に対するフィードバックの方法	課題についてレポート提出		
質問・相談方法	レポートにて質問を受ける		
オフィスアワー	火曜日 12:05~12:15 講義室 (西館203号室)		
テキスト	『新介護福祉養成講座8生活支援技術Ⅲ』 中央法規 2019年 3200円 (I S B N : 978-4-8058-3942-3) 『新介護福祉養成講座12認知症の理解』 中央法規 2019年 2200円 (I S B N : 978-4-8058-3142-7)		
参考文献等	『よくわかるパーソン・センタード・ケア』 鈴木みずえ 池田書店 1400円 (I S B N : 978-4-262-14588-4)		
成績評価基準	定期試験において、到達目標に掲げた項目について6割以上理解できたと確認できた場合を合格とする。		
成績評価の方法	定期試験 (45分・80%) 発表態度 (10%) レポート (10%)		
GPA基準			
備考			

科目名	障害の理解 II		
担当者	福留 弘		
授業形式	講義	科目ナンバー	123
配当年次	2	科目群	専門科目 [こころとからだのしくみ]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	身体的、知的、精神的な面に障害のある人および難病のある人の医学的・心理的特徴と生活支援（生活理解、介護上の留意点）について解説する。また、障害のある人のサポート環境について解説する。		
授業の到達目標	1. 身体的、知的、精神的な面に障害のある人および難病のある人の特徴を理解し、適切な生活支援の在り方を考えることができる。 2. 障害のある人のサポート環境について理解する。		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション（科目の意義と目的・ねらい）	福留	
第2回	重症心身障害のある人の生活：重症心身障害の特徴と生活支援	福留	
第3回	内部障害のある人の生活：心臓機能障害の特徴と生活支援	福留	
第4回	内部障害のある人の生活：呼吸器機能障害の特徴と生活支援	福留	
第5回	内部障害のある人の生活：腎臓機能障害、膀胱・直腸機能障害の特徴と生活支援	福留	
第6回	内部障害のある人の生活：HIV・免疫機能障害、肝臓機能障害の特徴と生活支援	福留	
第7回	知的障害のある人の生活：知的障害の特徴と生活支援	福留	
第8回	精神障害のある人の生活：精神障害の特徴と生活支援	福留	
第9回	高次脳機能障害のある人の生活：高次脳機能障害の特徴と生活支援	福留	
第10回	発達障害のある人の生活：発達障害の特徴と生活支援	福留	
第11回	難病のある人の生活：難病の特徴と生活支援	福留	
第12回	障害のある人に対する介護委：介護の基本的視点と基本的視点に基づいた個別支援、社会資源の開発	福留	
第13回	家族への支援：家族への支援、家族の状態の把握と介護負担の軽減	福留	
第14回	連携と協働：保健・医療・福祉・教育・労働サービスの連携、地域におけるサポート体制、総括	福留	
第15回	授業のまとめ：身体的、知的、精神的な面の障害及び難病のある人の生活支援のあり方について考える	福留	
事前・事後学習	授業の予習（教科書における該当ページの読み込みと整理） 授業の復習（教科書における該当ページの読み込みと整理） 講義で学んだ障害について、メディア等を用いて情報収集する。		
課題に対するフィードバックの方法	講義で用いた資料、教科書の該当ページの見込み		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に口頭・質問票（書式なし）により対応		
オフィスアワー	月曜日 14：25～14:35 講義室（西館203号室）		
テキスト	『障害の理解 新介護福祉士養成講座』中央法規 2015年 2200円（ISBN：978-4-8058-5115-9） 『生活支援技術Ⅲ 新介護福祉士養成講座』中央法規 2014年 2200円（ISBN：978-4-8058-3942-3）		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	定期試験において、到達目標に掲げた項目について6割以上理解できたと確認できた場合を合格とする。		
成績評価の方法	定期試験（80%） 受講態度（20%）		
GPA基準			
備考			

科目名	こころとからだのしくみⅡ（精神）		
担当者	宮里 新之介		
授業形式	講義	科目ナンバー	124
配当年次	2	科目群	専門科目 [こころとからだのしくみ]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士 選択必修：介護保険実務士 選択必修（▲4単位）：ピアヘルパ		
授業の概要	この科目では、心身の両面から被介護者の状態をアセスメントし、如何に被介護者の自立を支援するための介護方法が提供できるのかを考える力を養うことを目的に、人の精神機能及び老化に伴う身体・精神機能や心理状態の変化について講義を行う。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神・身体機能の変化に伴う心理状態について理解する 2. 被介護者の心身状態の基本的なアセスメントができる 3. 残存能力や意欲を引き出す援助の方向性を考えることができる 		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション／健康とは何か		宮里
第2回	こころのしくみの理解①（基本的欲求と高齢者のための国連原則）		宮里
第3回	こころのしくみの理解②（脳のしくみ）		宮里
第4回	こころのしくみの理解③（学習・記憶・思考のしくみ）		宮里
第5回	こころのしくみの理解④（感情・認知のしくみ）		宮里
第6回	高齢者の自己概念について		宮里
第7回	自己概念の生涯発達		宮里
第8回	身体・生理・心理機能の加齢的变化		宮里
第9回	排泄に関連したこころのしくみ		宮里
第10回	睡眠に関連したこころのしくみ		宮里
第11回	死にゆく人に関連したこころのしくみ		宮里
第12回	高齢者虐待		宮里
第13回	養護者への精神的支援		宮里
第14回	高齢者の心理的サポート（回想法、心理劇、動作法）		宮里
第15回	全授業を通しての質疑・応答		宮里
事前・事後学習	意味のわからない用語は辞書等で調べておく 前授業の理解度を測るためのミニテストを実施することがあるので、復習を行って授業に臨むこと		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合（定期試験を含む）求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー、また毎授業で実施する質問・感想記入シートへの回答で対応する。		
オフィスアワー	木曜日 10：35～12：05 研究室（本館312号室）		
テキスト	『こころとからだのしくみ』 介護福祉士養成講座編集委員会（編集） 中央法規出版 2019年 2600円（税別）（ISBN978-4-8058-5771-7）		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	精神・身体機能の変化に伴う心理について理解し、被介護者の心身状態の基本的なアセスメントに基づいて援助の方向性を考えることができる。		
成績評価の方法	定期試験（80％）、講義時の受講態度及びミニテスト（20％）で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考	単位互換 [KRICE] 提供科目		

科目名	ターミナルケア		
担当者	馬見塚 勝郎、長倉 伯博、楠本 信道		
授業形式	講義	科目ナンバー	125
配当年次	2	科目群	専門科目 [こころとからだのしくみ]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	オムニバス
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	<p>高齢化社会において加齢を背景とした慢性期疾患、その中でも癌患者の増加が想定される。今ま では緩和ケアは医療の現場で癌患者に対して必要とされる知識であった。今後の日本が迎える超高 齢者社会においては単に癌だけではなく、高齢者がかかえる治癒困難な慢性呼吸不全、心不全、腎 不全、さらにはアルツハイマー型認知症などの末期に対しても介護施設で行われる事が予想される。 当科ではこれらの対応すべく介護の現場で役にたつ人材育成を目標にする。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の身体変化を知る 2. 癌の病態変化を知る 3. 介護の現場に役に立つ緩和ケアの基本的態度を身に着ける 		
授業計画			担当者
第1回	緩和医療総論：ターミナルケアの概要		馬見塚
第2回	死にまつわる文化：医学的な死（死の三兆候）		馬見塚
第3回	介護施設におけるターミナルケア：多職種協働		馬見塚
第4回	死をめぐる倫理的課題：病状告知と自己決定		馬見塚
第5回	ターミナル期の身体的特徴：各症状のメカニズム		馬見塚
第6回	高齢者の身体的変化：加齢的な内臓機能低下		馬見塚
第7回	ターミナル期の全人的苦痛：身体、精神、社会、霊的		馬見塚
第8回	ターミナル期にある家族への配慮：大切な人を失う苦痛		馬見塚
第9回	意思決定を支える援助：治療から緩和ケアのギアチェンジ		馬見塚
第10回	エンゼルケアの実際：死後のケア		馬見塚
第11回	トータルペインについて1) 理論と意味		長倉
第12回	トータルペインについて2) 症例を通して学ぶ		長倉
第13回	トータルペインについて3) 演習		長倉
第14回	インドにおける死生観と看取り		楠本
第15回	日本における死生観と看取り		楠本
事前・事後学習	<p>祖父母の死に立ち会った経験などの思いをまとめておく 毎回の授業後にミニレポート等を持ち帰らせ自宅学習する</p>		
課題に対するフィードバックの方法	毎回の授業後に課題を提示、回答を促し次回の授業で検討する		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	木曜日 12:05～12:15 講義室（西館204号室）		
テキスト	『成人看護学 緩和・ターミナルケア看護論（第2版）』 鈴木 志津枝/内布 敦子編 ニューベルヒロカワ 2011年 2,200円（ISBN：9784861740442）		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	評価において、到達目標に掲げた項目について6割以理解できたと確認できた場合を合格とする。		
成績評価の方法	試験（80％） 記述（20％） 講義中に触れた内容を元にした、各自が考える施設でのターミナルケアの実践に関して試験・レポートを 実施する。		
GPA基準			
備考			

科目名	喀痰吸引		
担当者	浜崎 眞美		
授業形式	講義	科目ナンバー	126
配当年次	2	科目群	専門科目〔医療的ケア〕
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	<p>医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得できるように講義する。この科目では、医療的ケアの中の喀痰吸引を中心とし、呼吸器の理解や喀痰吸引のしくみ、必要な援助方法、報告・記録の必要性等を説明できることを目指し進める。医療的ケアに関する科目は、「医療的ケア」「経管栄養」「喀痰吸引」を履修し単位を修得することで、「経管栄養演習」及び「喀痰吸引演習」を履修することを基本とし、進めていく。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸器のしくみ、呼吸苦がもたらす障害について説明ができる 2. 喀痰吸引のしくみ、安全な実施に関する説明ができる 3. 説明と同意の必要性、報告・記録の重要性について説明ができる 		
授業計画		担当者	
第1回	呼吸のしくみとはたらき	浜崎	
第2回	いつもと違う呼吸状態とは	浜崎	
第3回	喀痰吸引とは、人工呼吸器と吸引	浜崎	
第4回	人工呼吸器と吸引	浜崎	
第5回	子供の吸引について、吸引を受けることの説明と同意	浜崎	
第6回	呼吸器系の感染と予防（吸引との関連）	浜崎	
第7回	実施に伴う危険・安全確認、事故発生時の対応や対策	浜崎	
第8回	事故発生時の対応と対策、連携体制の確認	浜崎	
第9回	用いる器具器材としくみ、清潔の保持について	浜崎	
第10回	必要物品の準備・設備と留意点	浜崎	
第11回	実施前の利用者の状態観察、利用者の準備と留意点	浜崎	
第12回	実施手順と留意点、実施に伴う身体変化の確認と報告	浜崎	
第13回	実施後の吸引物の確認と報告、片付け方法と留意点	浜崎	
第14回	喀痰吸引に伴うケア	浜崎	
第15回	報告及び記録について	浜崎	
事前・事後学習	<p>各回の授業内容について、次回までの間に復習し、不明な点は辞書等で調べる 授業中に実施する小テストについては、分かるまで辞書等で調べる</p>		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	月曜日 10:30~13:00 研究室（西館314号室）		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 医療的ケア』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2600円（ISBN: 978-4-8058-5775-5）		
参考文献等	『改定 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト』 一般社団法人全国訪問看護事業協会編集 中央法規 2017年 2000円（ISBN: 978-4-8058-5250-7）		
成績評価基準	特に呼吸器のしくみと安全な喀痰吸引の実施につながる手順や留意点を理解すること。		
成績評価の方法	期末試験（90%）、途中の小テスト（10%）で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考	医療的ケアに関する科目は、基本的に、「医療的ケア」「経管栄養」「喀痰吸引」を履修し単位を修得した上でなれば、演習科目である「経管栄養演習」及び「喀痰吸引演習」を履修することはできない。		

科目名	経管栄養演習		
担当者	浜崎 眞美		
授業形式	演習	科目ナンバー	127
配当年次	2	科目群	専門科目 [医療的ケア]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	<p>医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得できるようにする。この科目では、医療的ケアの中の経管栄養を中心とし、シミュレーターを用いて効果的な演習を繰り返すことで、一連の支援過程を一人で実施できるようになることを目指し進める。また、救急蘇生法も一人で実施できることを目指し進めていく。演習の評価は、各行為最低5回の実施を評価表に基づいて行うこととし、手順通りにできて合格とする。合格するまで繰り返し行うようにする。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 胃ろう・腸ろう及び経鼻における経管栄養を一人で実施できる 2. 救急蘇生法を一人で実施できる 		
授業計画			担当者
第1回	胃ろう・腸ろうにおける経管栄養（一連の支援過程の確認）		浜崎
第2回	胃ろう・腸ろうにおける経管栄養（1/5回目）		浜崎
第3回	胃ろう・腸ろうにおける経管栄養（2/5回目）		浜崎
第4回	胃ろう・腸ろうにおける経管栄養（3/5回目）、手順の確認・振り返り		浜崎
第5回	胃ろう・腸ろうにおける経管栄養（4/5回目）		浜崎
第6回	胃ろう・腸ろうにおける経管栄養（5/5回目）		浜崎
第7回	経鼻からの経管栄養（一連の支援過程の確認）		浜崎
第8回	経鼻からの経管栄養（1/5回目）		浜崎
第9回	経鼻からの経管栄養（2/5回目）		浜崎
第10回	経鼻からの経管栄養（3/5回目）、手順の確認・振り返り		浜崎
第11回	経鼻からの経管栄養（4/5回目）		浜崎
第12回	経鼻からの経管栄養（5/5回目）		浜崎
第13回	救急蘇生法（1回目）		浜崎
第14回	救急蘇生法（2回目）		浜崎
第15回	経管栄養の安全・適切な実施とは（まとめ）		浜崎
事前・事後学習	<p>「医療的ケア」「喀痰吸引」で学んだ内容を予習しておく 評価表に基づいて手順どおりに実施ができるように繰り返し練習を行う</p>		
課題に対するフィードバックの方法	演習（経管栄養）の評価に対して課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	水曜日 12:10～16:20 研究室（西館314号室）		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 医療的ケア』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2600円（ISBN：978-4-8058-5775-5）		
参考文献等	『改定 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト』 一般社団法人全国訪問看護事業協会編集 中央法規 2017年 2000円（ISBN：978-4-8058-5250-7）		
成績評価基準	胃ろう・腸ろう及び経鼻における経管栄養を、評価表に基づき手順どおりに最低5回の実施を達成したものは合格とする。		
成績評価の方法	毎回の授業で実施する実技試験の成績（80%）と期末試験（実技）の成績（20%）を総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	喀痰吸引演習		
担当者	浜崎 眞美		
授業形式	演習	科目ナンバー	128
配当年次	2	科目群	専門科目 [医療的ケア]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：介護福祉士		
授業の概要	<p>医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得できるようにする。この科目では、医療的ケアの中で喀痰吸引を中心とし、シミュレーターを用いて効果的な演習を繰り返すことで、一連の過程を一人で実施できるようになることを目指し進めていく。演習は各行為最低5回の実施を、評価表に基づいて行うこととし、手順どおりに実施できて合格とする。合格するまで繰り返し行うようにする。</p>		
授業の到達目標	1. 口腔内及び鼻腔内、気管カニューレ内部の喀痰吸引を一人で実施できる		
授業計画			担当者
第1回	口腔内吸引（一連の支援過程を確認、1/5回目）		浜崎
第2回	口腔内吸引（2/5回目）		浜崎
第3回	口腔内吸引（3/5回目）、手順の再確認・ふり返り		浜崎
第4回	口腔内吸引（4/5回目）		浜崎
第5回	口腔内吸引（5/5回目）		浜崎
第6回	鼻腔内吸引（一連の支援過程の確認、1/5回目）		浜崎
第7回	鼻腔内吸引（2/5回目）		浜崎
第8回	鼻腔内吸引（3/5回目）、手順の再確認・ふり返り		浜崎
第9回	鼻腔内吸引（4/5回目）		浜崎
第10回	鼻腔内吸引（5/5回目）、安全・適切な実施について（まとめ）		浜崎
第11回	気管カニューレ内部の吸引（一連の支援過程の確認、1/5回目）		浜崎
第12回	気管カニューレ内部の吸引（2/5回目）		浜崎
第13回	気管カニューレ内部の吸引（3/5回目）、手順の再確認・ふり返り		浜崎
第14回	気管カニューレ内部の吸引（4/5回目）		浜崎
第15回	気管カニューレ内部の吸引（5/5回目）、安全・適切な実施とは（まとめ）		浜崎
事前・事後学習	<p>「医療的ケア」「喀痰吸引」で学んだ内容を予習しておく 評価表に基づいて手順どおりに実施ができるように繰り返し練習を行う</p>		
課題に対するフィードバックの方法	演習（喀痰吸引）の評価に対して課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	月曜日 12：10～16：20 研究室（西館314号室）		
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 医療的ケア』 介護福祉士養成講座委員会編集 中央法規 2019年 2600円（ISBN：978-4-8058-5775-5）		
参考文献等	『改定 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト』 一般社団法人全国訪問看護事業協会編集 中央法規 2017年 2000円（ISBN：978-4-8058-5250-7）		
成績評価基準	口腔内及び鼻腔内の喀痰吸引と気管カニューレ内部の喀痰吸引とを、評価表に基づき手順どおりに、最低5回の実施を達成したものは合格とする。		
成績評価の方法	毎回の授業で実施する実技試験の成績（80％）と期末試験（実技）の成績（20％）を総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	人類学		
担当者	竹中 正巳		
授業形式	講義	科目ナンバー	129
配当年次	2	科目群	専門科目 [医療秘書実務士]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択：介護福祉士 必修：医療秘書実務士		
授業の概要	<p>人々が健康に生きていくためには、個人と地域社会とのかかわりや、自然環境とのかかわりが重要となる。まず、ヒトの生物学的・生態学的な特徴を理解する。次に、現在の医療、病気、疾病予防や健康状態の保健衛生統計を知る。特に日本人について、日本列島の人類史の中で、さまざまな地域環境に適応し、暮らし、時代ごと、地域ごとにどのような病気が多いかということ知った上で、人の健康を考える。また、現代日本の疾病予防や健康増進の取り組みを理解する。</p>		
授業の到達目標	<p>1. ヒトの生物学的・生態学的特徴を知り、社会生活において、疾病予防や健康増進の大切さを知る。 2. 病気の流行や社会の衛生状態の歴史の変遷の実態を知り、現代日本の健康増進・疾病予防の取組みを理解する。</p>		
授業計画		担当者	
第1回	ヒトと人社会の生物学的特徴	竹中	
第2回	ヒトの自然環境への適応	竹中	
第3回	世界各地の人々の健康、病気と医療	竹中	
第4回	現代日本の医療、病気、疾病予防や健康状態の保健衛生統計	竹中	
第5回	生物統計の基礎	竹中	
第6回	疫学研究の実際（現代）	竹中	
第7回	疫学研究の実際（先史時代から近代）	竹中	
第8回	先史時代の日本列島の病気や衛生状態の実態	竹中	
第9回	中世日本列島の病気や衛生状態の実態	竹中	
第10回	近世日本列島の病気や衛生状態の実態	竹中	
第11回	感染症（流行の歴史の実態）	竹中	
第12回	生活習慣病（出現頻度の歴史の実態）	竹中	
第13回	現代日本の健康増進活動（母子・老人保健）	竹中	
第14回	現代日本の健康増進活動（地域・学校保健）	竹中	
第15回	現代日本の医療・社会保障制度と行政	竹中	
事前・事後学習	<p>参考図書や授業で紹介する文献をよく読んで講義に臨む 参考図書や授業で紹介する文献をよく読んで理解度を確かめる</p>		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、受講者の求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	木曜日 12:10~12:50 研究室（本館502号室）		
テキスト	特になし		
参考文献等	国民衛生の動向2018/2019 雑誌 厚生指標 増刊 厚生労働統計協会 2018年 2,315円（税抜き）（ISSN 0452-6104）		
成績評価基準	到達目標を踏まえて、解剖生理学の概要が理解できたと確認できた場合、合格とする。		
成績評価の方法	レポート（100%）		
GPA基準			
備考			

科目名	医療秘書実務実習		
担当者	竹中 正巳		
授業形式	実習	科目ナンバー	130
配当年次	2	科目群	専門科目 [医療秘書実務士]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	選択：介護福祉士 必修：医療秘書実務士		
授業の概要	病院で医療事務職の実務の実際を経験し、医事部門および病院全体の機能の概要を知る。特に受付や秘書業務の実践力を身につける。また、医療職と患者とのコミュニケーターとしての医療事務職の役割も理解することを目指す。		
授業の到達目標	1. 医療秘書および医療事務に関する業務の基本を体得する 2. コミュニケーターとしての役割や行動を深く理解し実践できる		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション		実習指導者
第2回	受付事務		実習指導者
第3回	診療報酬請求事務・医事業務		実習指導者
第4回	医局・看護部門での秘書業務		実習指導者
第5回	病歴管理		実習指導者
第6回	病棟クランク		実習指導者
第7回	診療部門での医療サポーター		実習指導者
第8回	患者さんとのコミュニケーション		実習指導者
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	実習内容について、資料や図書を用いて予習する 1日の実習について実習日誌をまとめ、経験できたこと、考えたことを振り返りながら、医療事務の業務への理解を深める		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、受講者の求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	オフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	木曜日 12:10~12:50 研究室（本館502号室）		
テキスト	医療秘書実務実習実習記録（鹿児島女子短期大学）を配布する。		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	到達目標を踏まえ、現場での医療事務職の実際が理解でき、業務の基本が実践できたと確認された場合、合格とする。		
成績評価の方法	実習先からの評価（80%） 実習先訪問の際の評価（20%）		
GPA基準			
備考	実習の参加要件：「医療秘書実務実習参加資格審査会」において参加が認められた者に限る。		

科目名	介護事務総論		
担当者	片平 知博		
授業形式	講義	科目ナンバー	131
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護保険実務士]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択：介護福祉士 必修：介護保険実務士		
授業の概要	介護報酬を行ううえで必要な知識、介護保険制度の概要や医療保険（診療報酬）との関係、報酬請求までの流れを理解する。		
授業の到達目標	1. 介護保険制度の報酬請求の仕組みと、請求事務について理解できる。 2. 介護保険と医療保険との関係について理解できる。		
授業計画		担当者	
第1回	介護保険制度の成立の背景・改革の経緯について	片平	
第2回	介護保険制度の概要、運営主体（保険者）、被保険者について	片平	
第3回	要介護認定とサービスの利用手続きについて	片平	
第4回	介護サービスの種類、支給限度基準額、利用者の自己負担について	片平	
第5回	介護保険と医療保険の関係について	片平	
第6回	介護保険と公費負担医療の関係について	片平	
第7回	給付管理業務の流れ、各種帳簿の作成の仕方について	片平	
第8回	介護報酬の原則と特徴について	片平	
第9回	居宅（在宅）サービスの算定の考え方、ポイントについて	片平	
第10回	施設サービスの算定の考え方、ポイントについて	片平	
第11回	介護報酬請求の流れについて	片平	
第12回	介護給付費明細書の作成方法（訪問系サービス、通所系サービス、福祉用具貸与）	片平	
第13回	介護給付費明細書の作成方法（短期入所、短期療養）	片平	
第14回	介護給付費明細書の作成方法（施設サービス）	片平	
第15回	教科の総括	片平	
事前・事後学習	専門用語について調べ、不明な部分や疑問についてまとめておくこと 前回振り返り小テスト、期末試験のために復習すること		
課題に対するフィードバックの方法	求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業後やオフィスアワーにて対応。		
オフィスアワー	木曜日 12:05～12:15 講義室（西館204号室）		
テキスト	『介護報酬基本テキスト』 ケアアンドコミュニケーション株式会社 2018年 3000円（税抜き）		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	介護報酬の流れが理解でき、給付管理票が作成できること。 介護保険と医療保険において同じサービスがある場合、どちらが優先となるか理解できること。		
成績評価の方法	期末試験（70%） 授業参加態度（30%）		
GPA基準			
備考			

科目名	介護事務演習		
担当者	片平 知博		
授業形式	演習	科目ナンバー	132
配当年次	2	科目群	専門科目 [介護保険実務士]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	選択：介護福祉士 必修：介護保険実務士		
授業の概要	居宅介護支援事業所で必要なサービス計画作成・給付管理業務等の事務処理、介護サービス事業所で必要な介護給付費明細書の作成や請求業務等の事務処理を、実際に介護事務ソフトを使用し理解し身に着ける。		
授業の到達目標	1. 各種サービスを組み合わせた計画を作成できる。 2. 介護保険制度の報酬請求の仕組みが理解でき、請求処理ができる。		
授業計画		担当者	
第1回	介護事務ソフトの操作方法について	片平	
第2回	サービス事業所の登録方法について	片平	
第3回	利用者基本情報の登録の仕方について	片平	
第4回	週間計画表の作成・入力について	片平	
第5回	サービス利用票・別表の作成・入力について	片平	
第6回	訪問系サービス、福祉用具貸与の計画作成	片平	
第7回	通所系サービスの計画作成	片平	
第8回	短期入所生活介護・短期入所療養介護の計画作成	片平	
第9回	訪問系、通所系、短期入所を組み合わせた計画作成	片平	
第10回	請求業務の処理フロー	片平	
第11回	公費負担、自己負担の異なるケースの計画作成・請求業務について	片平	
第12回	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の計画作成・請求処理	片平	
第13回	介護老人保健施設の計画作成・請求処理	片平	
第14回	介護療養型施設（診療所型・病院療養型）の計画作成・請求処理	片平	
第15回	教科の総括	片平	
事前・事後学習	居宅・施設各サービスの違いについて把握しておくこと 作成した各サービス毎の給付管理票について見直しすること		
課題に対するフィードバックの方法	求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業後やオフィスアワーにて対応。		
オフィスアワー	木曜日 14:25～14:35 MM教室（南館401号室）		
テキスト	『介護報酬基本テキスト』 ケアアンドコミュニケーション株式会社 2018年 3,000円（税抜き） 『介護保険演習問題集』 ケアアンドコミュニケーション株式会社 2018年 3,000円（税抜き）		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	各サービスを組み合わせたサービス計画に沿ったサービス利用票を作成できること。 居宅サービス毎の請求から国保連に請求するまでの過程が理解できること。		
成績評価の方法	期末試験（70%） 授業参加態度（30%）		
GPA基準			
備考			

科目名	レクリエーションワーク		
担当者	中村 礼香、井上 周一郎、松下 茉莉香		
授業形式	演習	科目ナンバー	133
配当年次	2	科目群	専門科目〔関連科目〕
開講期	通年	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	オムニバス
免許・資格情報	選択：介護福祉士		
授業の概要	介護福祉士として、利用者の方の豊かな表現を引き出し、楽しく活動するための基本的な技術を多様な音楽活動や製作活動を通して解説する。		
授業の到達目標	1. 介護現場で簡単な音楽活動を指導できるようになる技術を習得する。 2. 様々な製作活動を通して介護現場で利用者と共に表現活動を行うための基本的な技能を習得し表現の喜びを味わう。		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション	中村	
第2回	童謡・唱歌について学ぶ	中村	
第3回	歌謡曲について学ぶ	中村	
第4回	演歌について学ぶ	中村	
第5回	郷土の民謡・わらべうた遊び・手遊びについて学ぶ	中村	
第6回	簡易楽器を用いたレクリエーション活動について学ぶ	中村	
第7回	ハンドベルを用いたレクリエーション活動についてグループワークを通して学ぶ	中村	
第8回	スライムによる感触遊びについて学ぶ	井上	
第9回	紙粘土による粘土遊びについて学ぶ	井上	
第10回	新聞紙でバッグづくりについて学ぶ	井上	
第11回	折り紙による多様な製作について学ぶ	井上	
第12回	多様な表現技法を体験し、理解する	松下	
第13回	水彩画（構図・形を捉える・着彩）について学ぶ	松下	
第14回	スチレン版画について学ぶ	松下	
第15回	色水による染め紙づくりについて学ぶ	松下	
事前・事後学習	【中村】介護施設で行われている音楽活動を調べておく。 【井上・松下】介護施設における様々な製作活動について調べておく。 【中村】実習施設で実践する。 【井上・松下】実習施設で実践する。		
課題に対するフィードバックの方法	実習を通して学んだことを授業内で共有し、解説する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応する。		
オフィスアワー	中村：水曜日 10:35～12:05 研究室（本館601号室） 井上：金曜日 16:25～17:55 研究室（本館609号室） 松下：金曜日 16:25～17:55 研究室（本館602号室）		
テキスト	中村：『童謡と唱歌 日本のこころ』 野ばら社 2010年 440円（税抜き）（ISBN978-4-88986-373-4） 井上・松下：特に指定せず、適宜資料を配布する		
参考文献等	中村：『高齢者のための元気が出る！音楽レクリエーション』 オフィスリブスタイル監修 ナツメ社 2014年 1,800円（税抜き）（ISBN978-4-8163-5717-6） 松下：『わくわくレクプログラム集』木下正明 日総研グループ 2012年 2,190円（税抜き）		
成績評価基準	中村：介護施設における音楽活動について理解する。 井上・松下：現場における製作活動について理解する。		
成績評価の方法	中村：受講態度（30%）、レポート（20%）で評価する。 井上・松下：受講態度(10%)、作品(40%)で評価する。		
GPA基準			
備考	第1回から第7回までの音楽活動は前期開講、第8回から第15回までの製作活動は後期開講		

科目名	聴覚障害者の生活支援		
担当者	下田代 修子		
授業形式	演習	科目ナンバー	134
配当年次	2	科目群	専門科目 [関連科目]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	選択：介護福祉士		
授業の概要	聴覚障害者のコミュニケーションである手話を学ぶことにより、言語が人間形成にどのような関わりを持つのかを知る。聴覚障害のある介護利用者に合わせたコミュニケーション手段で更に専門的な知識を得て、介護力を充実させる。		
授業の到達目標	1. 日常会話及び介護に関わる手話を取得できる 2. 障害程度に伴う援助の手段を理解できる		
授業計画			担当者
第1回	講義 聴覚障害について	実技一名前の表現・ものの動き	下田代
第2回	講義一聴力検査について	実技一挨拶・身振り	下田代
第3回	講義一補聴器について	実技一家族の表現	下田代
第4回	講義一聴覚障害者のコミュニケーションの保障	実技一趣味の表現	下田代
第5回	実技一聴覚障害者への支援	実技一数字の表現・伝言トレーニング(視覚的に捉える練習)	下田代
第6回	講義一重複障害 盲ろう者に応じた介護 1	実技一職業の表現	下田代
第7回	講義一重複障害 盲ろう者に応じた介護 2	実技一指文字	下田代
第8回	校外実習	実際の機材や用具施設を見学する(下田代補聴器センター)	下田代
第9回	講義一言語障害について	実技一時刻の表現 1	下田代
第10回	講義 言語障害のある人への配慮について	実技一時刻の表現 2	下田代
第11回	実際、聴覚障害者の方と手話を使い交流をする(自己紹介の実技到達確認)		下田代
第12回	実技一介護現場で使う会話用語の表現練習 1		下田代
第13回	講義一介護における移動技術の展開	実技一模擬演習	下田代
第14回	実技一実技一介護現場で使う会話用語の表現練習 2		下田代
第15回	ロールプレイ	サポート支援のあり方について検討	下田代
事前・事後学習	テレビ等の手話講座の放送を視聴し、実技を体験したり、クラブ活動で学習をする 前回習った手話の復習をする		
課題に対するフィードバックの方法	授業内での課題に際し、習得レベルに到達していない場合、個別に対応する。		
質問・相談方法	授業前後に対応する		
オフィスアワー	火曜日 8:50~10:20 講義室(西館203号室)		
テキスト	『生活支援技術Ⅲ』 介護福祉養成講座委員会 中央法規 2019 2200円(税抜き) (ISBN:978-4-8058-5768-7) 『障害の理解』 介護福祉養成講座委員会 中央法規 2019 2200円(税抜き) (ISBN:978-4-8058-5774-8) 講師持参資料		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	・授業内の演習レポート、ショートレポートの提出内容が一定の理解を評価できること ・手話取得技術が一定の基準を到達できること。		
成績評価の方法	演習レポート(25%)	ショートレポート(25%)	技術評価(25%) 受講態度(25%)
GPA基準			
備考	本授業は、受講者数が5名未満の場合、開講されません。		

1 年 次

專 門 科 目

食 物 栄 養 学 専 攻

科目名	解剖生理学 I		
担当者	河野 純		
授業形式	講義	科目ナンバー	26
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許		
授業の概要	栄養摂取を行う人体の構造と機能についての基礎知識を修得するために、人体の方向と位置を示す用語や人体の構成単位である細胞・組織・器官について説明する。細胞では、核・細胞質(細胞小器官と細胞骨格)・細胞膜について解説する。組織では、4大組織(上皮組織・結合組織・筋組織・神経組織)の特徴について説明する。この科目では器官系のうち神経系・皮膚・免疫系について講義する。神経系では、栄養摂取と関連する咀嚼筋(顎を動かす筋)の神経支配、舌の触覚や味覚、味覚の神経伝導路、嗅覚(匂いの情報)の神経伝導路、食欲の脳内機構などについて解説する。免疫系では食物アレルギーについて触れる。		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の方向と位置を示す用語を適切に用いることができる ・人体の構成単位である細胞・組織・器官について説明できる ・人体の神経系・皮膚・免疫系について説明できる 		
授業計画			担当者
第1回	人体の構造と区分、方向と位置を示す用語、人体の階層性、細胞(体液とホメオスタシス)		河野
第2回	細胞(構造と機能) その1:核・細胞質(細胞小器官と細胞骨格)・細胞膜		河野
第3回	細胞(細胞を構成する物質とエネルギーの生成)、細胞(構造と機能) その2:細胞膜の輸送体・受容体・酵素、組織(上皮組織)		河野
第4回	組織(筋組織、結合組織、神経組織)		河野
第5回	神経系の概観、頭蓋腔・脊柱管・髄膜・血管・脳室系、中枢神経系(脊髄の構造と機能)		河野
第6回	中枢神経系(脊髄と脳の構造と機能、脳の高次機能)		河野
第7回	末梢神経系(脳・脊髄神経の構造と機能、支配領域、自律神経系)、栄養摂取関連の神経系		河野
第8回	皮膚の構造と機能、免疫系(生体の防御機構)		河野
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の予習:テキストの該当ページを読んで講義に臨む ・授業の復習:授業で配布するプリントを見直し、テキストの該当ページを読む。テキストの各章末にあるゼミナール問題を解いて、理解度を確かめる 		
課題に対するフィードバックの方法	小テストでは、答案回収後、解答例を配布する。学生は、小テスト後、直ちに自己採点を行うことで、結果を知ることができる。		
質問・相談方法	授業後(オフィスアワーで)対応する。		
オフィスアワー	土曜日 12:05~12:20 授業後の講義室		
テキスト	『系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学』坂井建雄・岡田隆夫著 医学書院 2018年 3,800円(税抜き) (ISBN:978-4-260-03171-4)		
参考文献等	『カラー人体解剖学 構造と機能:ミクロからマクロまで』F.H.マティニ他著 井上貴央 監訳 西村書店 2003年 7,800円(税抜き) (ISBN:978-4-89013-305-5) 『脳入門のその前に』徳野博信著 共立出版 2013年 2,200円(税抜き) (ISBN:978-4-320-05730-2) 『脳―「かたち」と「はたらき」―』C. Watson, M. Kirkcaldie, G. Paxinos著 徳野博信訳 共立出版 2012年 5,500円(税抜き) (ISBN:978-4-320-05722-7)		
成績評価基準	成績評価で、60点以上(100点満点)が達成されたものは合格とする。		
成績評価の方法	第3回/第5回/第7回の授業で実施する小テスト(10%)と定期試験(90%)の結果を総合して評価する。		
GPA基準			
備考			

科目名	栄養生化学 I		
担当者	住澤 知之		
授業形式	講義	科目ナンバー	27
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許		
授業の概要	後期に学ぶ、栄養素の代謝や機能を理解するための基礎的な知識として、三大栄養素の化学的な構造や特徴を通し、三大栄養素とはどのような物質であるのかを解説する。また、食事を摂取する意味を理解するために、生体内での主たるエネルギー源であるATPの産生にいたる代謝の概要についても説明する。特に、代謝をつかさどる酵素とその反応の特徴と調節について詳説する。さらに、ATPと遺伝の仕組みの基礎理解のために、ヌクレオチドと核酸についても解説する。		
授業の到達目標	1. 三大栄養素や核酸について、化学構造や特徴から説明できる 2. 生体内でのエネルギー産生の流れについて説明できる		
授業計画			担当者
第1回	生化学を学ぶために必要な化学の基礎知識		住澤
第2回	細胞と生体膜		住澤
第3回	アミノ酸1(構造的特徴と分類①)		住澤
第4回	アミノ酸2(分類②と性質)		住澤
第5回	ペプチドとタンパク質、酵素1(酵素とは)		住澤
第6回	酵素2(酵素反応とその特徴及び調節)		住澤
第7回	糖質の化学1(単糖類)		住澤
第8回	糖質の化学2(二糖類と多糖類)		住澤
第9回	脂質の化学1(脂肪酸と単純脂質)		住澤
第10回	脂質の化学2(複合脂質)、生体エネルギー1(ATP)		住澤
第11回	生体エネルギー2(電子伝達系と酸化的リン酸化)		住澤
第12回	中間代謝の概要1(代謝経路、糖質代謝)		住澤
第13回	中間代謝の概要2(脂質代謝、アミノ酸代謝)		住澤
第14回	ヌクレオチド		住澤
第15回	遺伝子、核酸、染色体		住澤
事前・事後学習	事前学習・・・高校までに学ぶ基礎レベルの化学的な考え方や知識について、身につけておくこと。 事後学習・・・各回のプリントを見直して理解し、栄養士実力認定試験レベルの問題が解けるようにしておくこと。		
課題に対するフィードバックの方法	各回の授業終了時に行う問題について、その都度、個別ないしはグループごとに指導することにより、フィードバックを行う。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。		
オフィスアワー	火曜日 16:30～18:00 研究室(本館501号室)		
テキスト	毎回プリントを配布するため、テキストは使用しない。		
参考文献等	ストライヤー「基礎生化学」東京化学同人 ヴォート「基礎生化学」第5版 東京化学同人 田中越郎「生化学がわかる」技術評論社		
成績評価基準	三大栄養素について、それぞれがどのような物質であるのか、生体内でのATP産生の概要、酵素反応の特徴と調節及びヌクレオチドと核酸について説明できたものは合格とする。		
成績評価の方法	期末試験(100%)のみで評価する。		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	食品学総論		
担当者	安達 真一		
授業形式	講義	科目ナンバー	28
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許・フードスペシャリスト		
授業の概要	日本においては、現在多国籍、多種類、多形態の食品が豊富に出回り、多様な食品を口にする機会が増えている。それに伴い食品に求められる役割も、栄養性、嗜好性に加えて、生体調節性と多岐にわたっている。本講義では、健康な食生活を営むために必要な食品を正しく選択できるよう、食品成分の特徴を説明し、食品に関する基礎的知識を講義する。		
授業の到達目標	1. 食品成分の特徴を理解する 2. 食品に関する基礎的知識を身につける 3. 健康な食生活を営むために必要な食品を正しく選択できる		
授業計画			担当者
第1回	食環境(世界や日本の食料事情を学ぶ)		安達
第2回	食品成分表(食品成分表の内容構成を学ぶ)		安達
第3回	食品成分表(食品成分表の数値の意味を実際の計算で理解する)		安達
第4回	色素成分(食品本来の色や調理・加工による変色)		安達
第5回	香気成分(食品特有、加工や微生物によるにおい等)		安達
第6回	呈味成分(味の成分、種類等について学ぶ)		安達
第7回	水(食品中の水の性質を理解する)		安達
第8回	炭水化物(食品中の炭水化物の種類と変化を学ぶ)		安達
第9回	脂質(食品中の脂質の種類と性質、変化を学ぶ)		安達
第10回	タンパク質(食品中のタンパク質の種類とその変化)		安達
第11回	ビタミン(食品中に含まれるビタミンの性質と変化)		安達
第12回	無機質(食品中のミネラルの働きや摂取上の注意)		安達
第13回	機能性(食品の性質と表示について学ぶ)		安達
第14回	物性(テクスチャーの意味を理解する)		安達
第15回	官能検査(食品のおいしさを評価する方法を学ぶ)		安達
事前・事後学習	事前学習:前もってテキストに目を通す。 事後学習:不明な点について調べたり、質問する。いろいろな食品を実際に見たり、触ったりする。		
課題に対するフィードバックの方法	授業中のミニテストや計算課題に関して、解説を行う。		
質問・相談方法	授業前後、オフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	月曜日、火曜日 16:15~18:30 研究室(本館503号室)		
テキスト	『イラスト食品学総論(第7版)』種村康子他、東京教学社、2017、2,000円(税別)、(ISBN978-4-8082-6058-3)		
参考文献等	『新訂原色食品図鑑(学生版)第2版』菅原龍幸他編、建帛社、2008、2,900円(税別)(ISBN978-4-7679-6119-4)		
成績評価基準	食品成分の特徴を理解すること		
成績評価の方法	期末試験(90%)、小試験(10%)		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	食品学実験		
担当者	安達 真一		
授業形式	実験	科目ナンバー	29
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許・フードスペシャリスト		
授業の概要	後に続く各種の実験に興味を持ち、楽しく、安全かつ正確に実験できるように、実験に必要な基礎知識と基本操作を説明し、基本的実験姿勢が身につくことを目標として、実験と講義を行う。さらに、食品に対する理解が深まるよう、身の回りにある食材をサンプルとして使用する。		
授業の到達目標	1. 実験に必要な基礎知識を理解する 2. 基本操作を学び、基本的実験姿勢を身につける 3. 食品に対する理解を深める		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション(実験に必要な基礎知識と準備)		安達
第2回	水分定量(食品中の水分を測定する)		安達
第3回	pH測定(pH測定と緩衝能を理解する)		安達
第4回	水酸化ナトリウムの標定(ファクターを求める)		安達
第5回	食酢中の酢酸の定量(食酢に含まれる酢酸%を求める)		安達
第6回	デンプンの分離と検鏡(分離デンプンを顕微鏡で観察する)		安達
第7回	無機質の定性と炎色反応(無機質の性質を知る)		安達
第8回	糖の定性(化学反応で糖質の特徴を理解する)		安達
第9回	タンパク質の定性(タンパク質とアミノ酸の特徴)		安達
第10回	分光光度計の練習実験(サンプル量の求め方を知る)		安達
第11回	グルタミン酸定量(醤油中の量を測定する)		安達
第12回	アミロース含量の測定(各種デンプン中の量を測定)		安達
第13回	酵素の活性測定(アミラーゼの糖化力を測定する)		安達
第14回	酵素による褐変、非酵素的褐変(褐変の条件を調べる)		安達
第15回	総括		安達
事前・事後学習	事前学習:実験書に目を通し、実験内容を理解し、必要な準備を行う 事後学習:実験内容をまとめ、レポートとして提出する		
課題に対するフィードバックの方法	実験説明の中で、レポート内容の説明も同時に実施する。レポート内容チェック後、返却の際、解説を行う。		
質問・相談方法	実験前後、実験中、オフィスアワー等で対応する		
オフィスアワー	月曜日、火曜日 16:15 ~18:30 研究室(本館503号室)		
テキスト	配布プリント		
参考文献等	『食品学総論実験—実験で学ぶ食品学—』江角彰彦、同文書院、2018、2,400円(税別)(ISBN978-4-8103-1345-1)		
成績評価基準	実験に必要な基礎知識を理解し、基本的実験姿勢を身につけ、食品に対する理解を深めること。		
成績評価の方法	レポート・受講態度(60%)、期末試験(40%)		
GPA基準			
備考	教育効果向上のため、2コマ(180分)×15回で実施する。		

科目名	食品衛生学		
担当者	村山 恵美子		
授業形式	講義	科目ナンバー	30
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許・フードスペシャリスト		
授業の概要	様々な衛生管理が行われているにもかかわらず大規模化・劇症化する食中毒、環境汚染に由来する食品汚染、流通の発達に伴う加工食品や食品添加物摂取量の増大、頻発する食品の偽証表示、食糧自給率の低下、輸入食品の増加等の実態に目を向け、安全、安心な食生活を送るためにはどうすれば良いかを考えさせる。		
授業の到達目標	1. 食品に関する安全面での現状認識を行う 2. 食中毒予防や衛生管理法を習得する		
授業計画			担当者
第1回	食品の変質(腐敗、変敗、変質の予防法を学ぶ)	村山	
第2回	食中毒総論(食中毒の定義、種類、発生状況を学ぶ)	村山	
第3回	自然毒食中毒(きのこ、じゃがいも、青酸配糖体等)	村山	
第4回	自然毒中毒(魚類、貝類の毒性とマスターテーブル)	村山	
第5回	微生物性食中毒(感染型食中毒を学ぶ)	村山	
第6回	微生物性食中毒(毒素型食中毒を学ぶ)	村山	
第7回	食品による感染症・寄生虫症を学ぶ	村山	
第8回	食品衛生管理(日本のHACCPを理解する)	村山	
第9回	食品中の汚染物質(カビ毒等による汚染を学ぶ)	村山	
第10回	食品中の汚染物質(化学物質による汚染を学ぶ)	村山	
第11回	食品の器具と容器包装(素材と衛生・環境汚染を学ぶ)	村山	
第12回	食品添加物総論(分類、指定要件、使用・表示基準)	村山	
第13回	食品添加物各論(種類と用途を学ぶ)	村山	
第14回	有機栽培・遺伝子組み換え・放射線照射食品を学ぶ	村山	
第15回	食品衛生行政(食品安全行政/食品衛生関連法規を学ぶ)	村山	
事前・事後学習	・前もってテキストに目を通す・不明な点について調べたり、質問する・食品を購入する時は、表示を確認する		
課題に対するフィードバックの方法	課題に対して、必要に応じて個別に対応を行う。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。		
オフィスアワー	水曜日 15:00~17:00 研究室(本館505号室)		
テキスト	『食品衛生学』 田崎達明 羊土社 2017年 2800円(税抜き) (ISBN 978-4-7581-1352-6)		
参考文献等	授業での配布資料等		
成績評価基準	食品衛生に関する基礎的な知識を修得したものは合格とする。		
成績評価の方法	定期試験(70%)、小テスト・受講態度(30%)により総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	栄養指導論 I		
担当者	改元 香		
授業形式	講義	科目ナンバー	31
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許		
授業の概要	栄養指導論の具体的な教育目標は、厚生労働局長通知より「個人、集団および地域の栄養指導の基本的役割や栄養に関する各種統計について講義する。また、基本的な栄養指導の技術・方法を習得する。」と規定されている。よって、栄養指導論 I では、生活習慣病予防のために如何に食行動の変容を支援していくか、栄養士が栄養指導業務に従事するために必要な知識と技術を、理論的に学ぶことが主体となる。また、栄養指導論 II および栄養指導実習 I・II に連動するものである。		
授業の到達目標	1. 栄養指導の概念について理解し、説明できる 2. 栄養指導の歴史や法規を理解し、栄養士の役割を説明できる 3. 栄養指導の方法論を理解し、栄養指導計画を立てることができる		
授業計画			担当者
第1回	栄養指導の概念(目的と必要性)	改元	
第2回	栄養指導の概念(食生活の変遷)	改元	
第3回	栄養指導の沿革(栄養指導の歴史と現状)	改元	
第4回	栄養指導と関連法規(栄養士法、健康増進法)	改元	
第5回	栄養指導と関連法規(地域保健法、他)	改元	
第6回	栄養状態の評価と栄養調査	改元	
第7回	栄養指導の方法(行動科学理論と栄養指導)	改元	
第8回	栄養指導の方法(行動科学理論と行動変容技法)	改元	
第9回	栄養指導の方法(栄養カウンセリング)	改元	
第10回	栄養指導の方法(栄養アセスメント)	改元	
第11回	栄養指導の方法(PDCAサイクル)	改元	
第12回	日本人の食事摂取基準(総論[策定について等]の解説)	改元	
第13回	日本人の食事摂取基準(総論[策定について等]の解説、各論[エネルギー・栄養素]の解説)	改元	
第14回	日本人の食事摂取基準(各論[エネルギー・栄養素]の解説)	改元	
第15回	栄養指導の総まとめ	改元	
事前・事後学習	事前学習・・・テキストを読み、わからない語句を事前に調べておく 事後学習・・・テキストを読み直し、より詳しく知りたいところを調べ、理解できなかったところは質問する		
課題に対するフィードバックの方法	課題(定期試験を含む)を課した場合は、評価に対する改善点を個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後、およびオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	金曜日 13:00～15:00 研究室(本館 504号室)		
テキスト	『エスカパーシク 栄養指導論 第二版』古畑公・田中弘之編著 同文書院 2011年 1,905円(税抜) (ISBN978-4-8103-1460-1) 『日本人の食事摂取基準(2015年版)』菱田明・佐々木敏監修 第一出版株式会社 2014年 2,700円(税抜) (ISBN978-4-8041-1312-8)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	栄養指導の概念やそれに伴う知識や技術の理解、および習得が達成されたものは合格とする。		
成績評価の方法	定期試験の成績(95%)、受講態度(5%)で成績を評価する。		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	調理学		
担当者	山崎 歌織		
授業形式	講義	科目ナンバー	32
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許・フードスペシャリスト		
授業の概要	<p>食べることは栄養摂取のためだけでなく生活に潤いやリズムを作り、食事を共に摂ることで人間関係を良好にしたり精神的安定を得られるなど人間生活全体を豊かにするものである。また、調理は食品に調理操作を加え処理を行う最終段階を担う。よってその操作の適否が食べ物の美味しさに影響するところは極めて大きい。調理学ではその概要を知り、調理操作や食品の調理特性を中心に学ばせる。これらの理論を基に調理技術の向上や食生活の実践に役立つ理論を修得させる。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調理学の意義や役割を理解する 2. 調理操作全般について知る 3. 食品素材別の調理法について知る 		
授業計画		担当者	
第1回	調理学の基本:食文化と調理の意義	山崎	
第2回	調理操作と調理器具:非加熱調理操作	山崎	
第3回	調理操作と調理器具:非加熱調理器具	山崎	
第4回	調理操作と調理器具:加熱調理操作	山崎	
第5回	調理操作と調理器具:加熱調理器具	山崎	
第6回	調理操作と栄養:植物性食品の特性;穀類	山崎	
第7回	調理操作と栄養:植物性食品の特性;イモ類	山崎	
第8回	調理操作と栄養:植物性食品の特性;豆類	山崎	
第9回	調理操作と栄養:植物性食品の特性;野菜類	山崎	
第10回	調理操作と栄養:動物性食品の特性;食肉類	山崎	
第11回	調理操作と栄養:動物性食品の特性;魚介類	山崎	
第12回	調理操作と栄養:動物性食品の特性;卵類	山崎	
第13回	調理操作と栄養:動物性食品の特性;牛乳・乳製品	山崎	
第14回	成分抽出素材の特性;でん粉・油脂類・ゲル化素材	山崎	
第15回	総まとめ・補足説明等	山崎	
事前・事後学習	事前学習: 次回の授業範囲についてテキストを読む 事後学習: 復習として、専門用語の意味を理解する日頃から調理操作を実行する		
課題に対するフィードバックの方法	提出した課題は、次回の授業で返却し質問にはその用紙にて回答し、必要な場合は解説を行う。		
質問・相談方法	毎時授業時に質問票を配布し、その用紙に記入してもらう。相談は、オフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	水曜日 15:00~17:00 研究室(西館 308号室)		
テキスト	『調理学の基本』中嶋加代子編著 同文書院 2007年 2,400円 (ISBN978-4-8103-1482-3)『原色食品図鑑』菅原、井上編集 建帛社 1974年 2,900円 (ISBN978-4-7679-6120-0)		
参考文献等	『食品成分表』香川明夫監修 女子栄養大学出版部 1,400円 (ISBN978-4-7895-1018-9)		
成績評価基準	調理学の意義や役割を理解し、基本的な調理操作について理解できていると判断された場合は、合格とする。		
成績評価の方法	期末試験(85%)や課題レポート(10%)、受講態度(5%)により総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	調理学実習基礎		
担当者	堂園 直子		
授業形式	実習・実験	科目ナンバー	33
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許		
授業の概要	食に関する初歩的な調理操作を用いて、調理に必要な基礎知識や技術を指導する。また、調理学実験を通してテキスト等に記されている化学的データや理論が実際の調理において活用できるか検証し、今後の調理操作の技術向上に役立てることを目的とする。講義では、栄養士業務の基本となる献立作成について指導し、実際自ら献立を作成することで基本操作(食事の組み立て方・食品の選択のしかた・食品成分表の見方・栄養計算の方法など)や調理まで、一連の作業の流れを習得させる。調理実習や実験後には学習したことをレポートにまとめ、提出を求める。レポートのまとめ方を指導し、作成・提出・添削を通して書類のまとめかたの基本を身につけられるよう導く。 ※教育効果を向上させるために1回の授業を2コマ(180分)で実施する。		
授業の到達目標	1.調理学実習や実験を通して基礎となる理論や技術を学ぶ 2.作業効率を考えて調理操作を計画的に実践できる力を身につける 3.自ら献立を作成することで栄養士業務の基礎技能を習得する		
授業計画			担当者
第1回	講義(1)オリエンテーション・調理学実習とは…調理の意義と目的・献立・食品成分表など		堂園
第2回	講義(2)献立作成・食品構成・栄養計算①・課題プリント記入のしかた①		堂園
第3回	講義(3)栄養計算②・課題プリント記入のしかた②・調理学実習レポートについて		堂園
第4回	実習①基本操作の学習(計量・包丁の使い方など)クレープ・サラダ		堂園
第5回	実習②(日本料理1)白飯・味噌汁・魚の幽庵焼き・青菜のお浸し		堂園
第6回	実習③(日本料理2)芋ご飯・吉野鶏の清汁・煮魚・オレンジ羹・緑茶		堂園
第7回	実習④(西洋料理)ピラフ・鶏のクリーム煮・サラダ・ブランマンジェ・コーヒー		堂園
第8回	実習⑤(中国料理)鍋炊き白飯・八宝菜・肉団子スープ・マンゴープリン・烏龍茶		堂園
第9回	講義(4)小テスト・課題プリントの内容確認・訂正、調理学実験についての心得とレポートの書き方		堂園
第10回	実験①味の好みと適量～塩味～ 補充)えびのくず打ちとそうめんの清汁		堂園
第11回	実験②味の好みと適量～甘味～ 、小テストの解説		堂園
第12回	実験③味の好みと適量～旨味～ 補充)かき卵汁		堂園
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	事前学習については、調理実習や実験前には各料理や実験ごとのフローチャートをレポートに記入しておく。また、その流れを予習し、当日の調理実習や実験がスムーズに行えるよう予習しておく。事後学習については、調理実習や実験終了後には学習した内容をまとめ、自己学習を含めたレポートを作成する。作成したレポートは次週の授業後に必ず提出する。調理技術は授業だけでは向上しないので、各自自宅等で練習し、次回の実習に生かす。		
課題に対するフィードバックの方法	レポート課題については、添削・返却し、訂正を各自行う。(必要に応じて再提出を行う。)なお、添削内容に関して分からないことについては個別に対応する。レポート課題での不備が多い内容については、授業中にクラス全体に再指導する。プリント課題(献立作成)については、第9回(講義(4))で確認したり、個別に対応する。小テストについても理解できなかった内容については第11回(実験②)で解説し、個別に対応する。		
質問・相談方法	授業日(水曜日・金曜日)、授業開始前・終了後などで対応する。栄養士の基本となる授業ですので、分からないことはそのままにせず、気軽に質問して下さい。その他、授業の内容や学習のしかたなど不安なこと・悩みなどありましたら相談して下さい。可能な限り、オフィスアワー時間以外でも対応します。		
オフィスアワー	水曜日・金曜日 8:40～12:40 (調理学実習室・講義室)		
テキスト	調理学実習献立表プリント(毎回配布) 『七訂食品成分表2019』香川明夫監修 女子栄養大出版部 2019年 1400円税112円(ISBN13:9784789510196) 『NEW調理と理論』山崎清子ほか共著 同文書院 2011年 2600円税208円(ISBN13:9784810313956)		
参考文献等	『調理学の基本』中嶋加代子編著 同文書院 ※講義や実習・実験で配布するプリントも活用すること。		
成績評価基準	課題プリント(献立作成など)は提出され、作成内容が基準に満たしており、調理学実習5回・実験3回の計8回のレポートが全て提出済でかつ、筆記試験・実技試験の合格点に達した場合、合格とする。		
成績評価の方法	1)調理学実習・実験レポート(40%)2)筆記試験(小テスト・期末テスト:30%)3)実技試験(10%)4)講義時課題(献立作成ほか:15%)5)受講態度(身だしなみ・授業中の姿勢:5%)		
GPA基準			
備考	教育向上のため、2コマ(180分)×12回で実施する。※授業が実習や実験の場合で、台風などの自然災害や交通の影響で通学できない学生が小人数の場合、通常の班編成を一部変更して実施する。多数の場合は休講し、補講を行う。※病欠や公欠等でやむなく授業に参加できない場合でも学習内容を理解するためにレポートは必ず提出すること。		

科目名	化学		
担当者	横峯 孝昭		
授業形式	講義	科目ナンバー	34
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択: 栄養士・栄養教諭免許		
授業の概要	私たちの身の回りには多くの物質が存在している。私たちはこれらの物質を適切に用いたり、調理したりしているだろうか。そのためには、素材の成分や性質をよく知り、これにあった取り扱い方法を考えることが必要となる。そのための化学の基本を体得することが本講義の目標となる。また、生化学の高分子へその知識が接続できるようになることも目的の一つである。		
授業の到達目標	1. 原子、分子について理解する 2. 化学反応について理解する 3. 有機化合物の基礎について理解する		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション	横峯	
第2回	もしも原子が見えたなら (配布プリントp1-10)	横峯	
第3回	もしも原子が見えたなら (配布プリントp11-20)	横峯	
第4回	原子とその分類 (配布プリントp1-10)	横峯	
第5回	原子とその分類 (配布プリントp11-20)	横峯	
第6回	原子とその分類 (配布プリントp21-30)	横峯	
第7回	物質の成り立ち (原子の中身、素粒子について)	横峯	
第8回	物質の成り立ち (重さ、量についての考え方)	横峯	
第9回	原子とその結合 (イオン結合)	横峯	
第10回	原子とその結合 (共有結合)	横峯	
第11回	物質の変化 (中和反応、酸化還元反応)	横峯	
第12回	物質の状態と性質	横峯	
第13回	身近な有機化合物	横峯	
第14回	食品に見る生体物質	横峯	
第15回	総括	横峯	
事前・事後学習	単元終了時の次回の講義の初めに確認テストを行います。それに向けて各自ノート、配布資料をもとに復習を重点的に行ってください		
課題に対するフィードバックの方法	課題をクリアできなかった学生には個別に対応する		
質問・相談方法	講義の前後、オフィスアワーに対応する		
オフィスアワー	金曜日 16:30~18:00 研究室(西館401号)		
テキスト	下記授業書を講義中に随時プリントとして配布する『もしも原子が見えたなら』仮説社 『原子とその分類』仮説社		
参考文献等	中学までの価格の内容を主に網羅した参考書であれば何でも良い 少々難しいが下記の参考書等を掲載しておく『食を中心とした化学』東京化学社『これからはじめる化学』三共出版『基礎科学と生命科学』光生館		
成績評価基準	原子、分子についてのイメージが持て、かつそのイメージを持って化学反応式が説明できる。調理に必要な濃度計算ができるようになる。		
成績評価の方法	講義中に課す課題の達成(70%) 受講態度(30%)		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	学校栄養教育論		
担当者	千葉 しのぶ		
授業形式	講義	科目ナンバー	35
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択:栄養士 必修:栄養教諭免許		
授業の概要	栄養教諭の役割・職務内容や「食に関する指導」の目標・内容をふまえ、学校給食を「生きた教材」として、学校全体で「食に関する指導」に取り組む重要性を講義する。また各教科や保護者・地域における連携や調整について解説し、さらに、現代の食環境の変化や日本の食文化について説明し、栄養教諭として必要な食に関する指導および管理について総合的に理解させることを目的とする。		
授業の到達目標	1、栄養教諭の役割および職務内容について理解できる 2、児童生徒の栄養に関する諸課題および食生活に関する歴史のおよび文化的事情を把握できる 3、食に関する指導の方法を理解し実践力に繋げることができる		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション 栄養教諭の役割および職務内容		千葉
第2回	「食に関する指導」の目標と内容		千葉
第3回	学校給食の社会的意義と役割・位置付け		千葉
第4回	学校給食の歴史と変遷 子どもの心身の発達と食生活・食習慣の関連		千葉
第5回	学校給食における栄養管理		千葉
第6回	食に関する指導の全体計画の必要性と作成上の留意点 各教科における食に関する指導の展開		千葉
第7回	給食の時間における食に関する指導① 放送原稿作成		千葉
第8回	給食の時間における食に関する指導② 放送原稿発表 家庭科における食に関する指導①調理の基礎		千葉
第9回	家庭科における食に関する指導②食事の役割 栄養を考えた食事 郷土料理		千葉
第10回	体育科における食に関する指導		千葉・A
第11回	特別活動(学級活動)における食に関する指導		千葉
第12回	家庭・地域と連携した食に関する指導①食育だより作成		千葉
第13回	家庭・地域と連携した食に関する指導②食育だより発表・相互評価 食物アレルギー等食に関する個別対応の実際		千葉
第14回	現代の食環境の変化に対応した食に関する指導		千葉
第15回	日本の食文化と栄養教諭、総括「より良い栄養教諭をめざして」		千葉
事前・事後学習	観察参加実習に参加し、その後模擬授業を行う。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合は求めに応じ個別に対応し、次回授業において全員に解説する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	木曜日 12:00～15:00 研究室(南館 104号室)		
テキスト	「よくわかる栄養教諭第二版」 藤原良知他 同文書院 2016年 2100円(税抜き)(978-4-8103-1451-9)		
参考文献等	季刊「栄養教諭—食育読本—」全国学校栄養士協議会		
成績評価基準	栄養教諭の役割・職務内容、児童生徒の栄養に関する諸課題・食生活に関する歴史的・文化的事情、食に関する指導の方法を理解すること。		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
GPA基準			
備考	A:大村		

科目名	くらしとお茶A		
担当者	山崎歌織、田中敏弘、中禮雅治、松崎康弘、安藤？、住澤知之、有馬恵子		
授業形式	講義	科目ナンバー	36
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	複数
免許・資格情報	選択必修:日本茶アドバイザー、選択:栄養士		
授業の概要	茶は2千年以上にわたり、人類に好まれてきた歴史のある飲み物である。多くの研究により、茶の効能・効果が明らかになり、健康飲料として認知される一方、茶の淹れ方や文化を知らない人も増えている。この授業では、茶の歴史や栽培法、機能性、性質や利用法に関する講義や、品質検査・鑑定法、お茶の淹れ方等の実習を行う。これらの学びを通して日本茶アドバイザーとして必要な知識を身につけ、茶文化の発展と普及に寄与する人材の育成を目指す。		
授業の到達目標	1. 日本茶アドバイザーの意義、概要、役割を理解する 2. 茶に関する知識と理解を深める		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション(日本茶アドバイザーの説明)		山崎
第2回	歴史(日本茶、鹿児島茶の歴史を学ぶ)		松崎
第3回	茶の利用(茶を使った料理や活用法について学ぶ)		山崎
第4回	茶業のあらまし(茶の生産、消費、流通等を学ぶ)		田中
第5回	茶の栽培(種類別栽培・方法を学ぶ)		田中
第6回	茶の製造(製造方法を学ぶ)		田中
第7回	茶の化学(化学成分、品質等を学ぶ)		安藤
第8回	茶の健康科学(効能、効果等を学ぶ)		住澤
第9回	茶の品質検査と鑑定(官能検査法を学ぶ)		中禮
第10回	茶の品質検査と鑑定(鑑定技術を学ぶ)		中禮
第11回	インストラクション技術(服装、話し方、接客)		有馬恵子
第12回	インストラクション技術(日本茶アドバイザーとして必要な項目)		中禮
第13回	インストラクション技術(日本茶アドバイザーとしての実技)		中禮
第14回	インストラクション技術(茶の淹れ方)		中禮
第15回	インストラクション技術(茶の鑑定の実際)		中禮
事前・事後学習	事前学習:テキストに目を通す 事後学習:日常生活の中で、お茶の葉の種類、色や香り、味等を確認する		
課題に対するフィードバックの方法	課題が課された場合は、担当者が個別に指導を行う。		
質問・相談方法	基本的には、授業の前後で質問・相談に対応する。その他、オフィスアワーで対応する場合もある。		
オフィスアワー	集中講義開講期間 8:40~16:20 (各講義室)		
テキスト	「日本茶アドバイザー講座Ⅰ、Ⅱ」NPO法人日本茶インストラクター協会 (協会による実習費に含まれるため、テキスト代として単独販売は行わない)		
参考文献等	「シリーズ《食品の科学》茶の科学」村松敬一郎編、朝倉書店		
成績評価基準	日本茶アドバイザーの意義、概要、役割を理解し、茶に関する知識と理解を深めること。		
成績評価の方法	定期試験60分(60%)と実技テスト(40%)で評価する。		
GPA基準			
備考	他専攻開放科目 夏季休暇集中講義		

科目名	教職概論		
担当者	山元 有一		
授業形式	講義	科目ナンバー	37
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択:栄養士 必修:栄養教諭免許		
授業の概要	教員を社会的、歴史的、法的、倫理的に学ぶことを通して、教職を目指す者として知識面や人格面で今後何が必要であるのかを、自分自身を吟味しながら深めていく内容を提供する。		
授業の到達目標	現代における教員の活動は多岐にわたり、しかも極めて重要である。本講義では、教職の意義、教員の役割、教員の資質について考え、学生自らが教員としての適性を吟味し、また深める機会とする。		
授業計画			担当者
第1回	なぜ家庭でなく学校、親でなく教員なのか？—学校と教員の存在意義		山元
第2回	教職の職業的特徴と使命—教育の専門家にして全体的人間としての教員		山元
第3回	自分自身を知ること—「子どもは教員の鏡」		山元
第4回	現代の社会と教育の動き—『教育要領』、『指導要領』からの読解と教員に求められる事柄		山元
第5回	栄養教諭の職務内容と求められる資質		山元
第6回	幼稚園や小学校における教諭の職務内容と求められる資質		山元
第7回	学校内での連携—教員間の連携、養護教諭や栄養教諭との連携(学校等のチーム化)		山元
第8回	小幼連携、小中連携、小保連携、地域との連携—学校等のチーム化(その2)		山元
第9回	子どもの理解を深め、教育力を上げるにはどうするか？—職員研修、生涯に渡る学習の必要性		山元
第10回	教育法規①—教育基本法		山元
第11回	教育法規②—学校教育法、学校教育法施行規則等		山元
第12回	服務規律・守秘義務について		山元
第13回	教育観・教師観の歴史的変遷と現代		山元
第14回	どんな子どもを育てたいか、どんなクラスを作りたいか？		山元
第15回	自分自身に即した教師像を求めて—教育の目的と教員の資質		山元
事前・事後学習	各講義のの終わりに次回の内容についての事前学習について触れる。また、事後学習については講義中に参考図書等の紹介で示すほか、オフィスアワー等で関連事項や発展的内容について伝えるつもりでいる。		
課題に対するフィードバックの方法	各講義や定期試験の事後学習支援の一環として、オフィスアワーを利用して個別に対応する。		
質問・相談方法	講義の終了後に来談学生に対してオフィスアワーの対応時間を調整する。		
オフィスアワー	水曜日、木曜日を除く15:00～17:00(西館4階406号室)。要事前連絡(連絡方法は初回の講義で伝える)。		
テキスト	『幼稚園教育要領』、『小学校学習指導要領』(文部科学省編)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	レポートが授業の到達目標を満たしていること。		
成績評価の方法	最終レポート(100%)		
GPA基準			
備考			

科目名	情報機器演習		
担当者	渡邊 光浩		
授業形式	演習	科目ナンバー	38
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択:栄養士 必修:栄養教諭免許		
授業の概要	コンピュータなどICT(情報通信技術)機器によるインターネット利用が広く普及している。さらに、モバイル機器やタブレットで写真を撮ったり、音楽や映像を楽しんだり、情報メディアも多様化している。このような現在において、コンピュータやその他のICT機器操作の基礎を身につけ、情報セキュリティに注意しながら、教育現場でもICT機器を活用できる人を育てる。		
授業の到達目標	1.コンピュータとネットワークの仕組みを知る 2.セキュリティに配慮した電子情報の利用法を身につける 3.代表的なアプリケーションの利用法を身につける		
授業計画		担当者	
第1回	コンピュータの基本的な操作、電子ファイルの扱い	渡邊	
第2回	情報セキュリティ、パスワードの管理、コンピュータウイルス	渡邊	
第3回	電子メールの仕組みとマナー、大学ウェブメールの紹介	渡邊	
第4回	電子情報の処理、Moodleの紹介、USBメモリの扱い	渡邊	
第5回	コンピュータの構造と動作、オペレーティングシステム	渡邊	
第6回	ブラウザを使って情報を検索しよう	渡邊	
第7回	Wordを使って文書を作ろう	渡邊	
第8回	Excelを使って表を作ろう	渡邊	
第9回	PowerPointを使ってスライドを作ろう	渡邊	
第10回	実物投影機を使ってみよう	渡邊	
第11回	タブレットPCを使ってみよう	渡邊	
第12回	PowerPointを使って教材を作ろう	渡邊	
第13回	最終課題(ICTを活用して教えるプランを立てよう)	渡邊	
第14回	最終課題(ICTを活用して教えるプランを立てよう)	渡邊	
第15回	最終課題(ICTを活用して教えよう)、まとめ	渡邊	
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> 各回の内容について、必要に応じて事前に調べておく。 理解や操作の習得が十分でなかった場合、受講者相互で教え合ったり、教員へ質問したりする。 最終課題のために総復習をする。 		
課題に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> 毎回のレポートについてのフィードバックは、次の時間に全体の場で行う。個別に対応が必要な場合、UNIVERSAL PASSPORTで連絡をしたり、オフィスアワーを利用したりする。 		
質問・相談方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業の前後やオフィスアワー、UNIVERSAL PASSPORTの連絡機能で対応する。 		
オフィスアワー	火曜日・水曜日 16:25～17:55 研究室(西館417号室)		
テキスト	特になし		
参考文献等	『30時間でマスター Office2016』 実教出版編修部 実教出版 2016年 1000円 ISBN978-4-407-34018-1 『学校教育と情報機器』 堀田博史・森田健宏 ミネルヴァ書房 2018年 2200円 ISBN978-4-623-081081-3		
成績評価基準	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータとネットワークの仕組みを知ること セキュリティに配慮した電子情報や代表的なアプリケーションの利用法を身につけること 		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 毎回のレポート(50%)と最終課題レポート(50%)で総合的に判断する。 		
GPA基準			
備考	<ul style="list-style-type: none"> レポートは、UNIVERSAL PASSPORT の課題提出を用いて提出すること 		

科目名	教育原理		
担当者	山元 有一		
授業形式	講義	科目ナンバー	39
配当年次	1	科目群	関連科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養教諭免許		
授業の概要	まず「教育とは何か？」を様々な観点から考え、ついで教育史から現代の教育の動向の必然性や課題を探る。同時に、過去の教育(学)者からもこの問いに向かうことになる。これらを通して、教育の理念、目的について学ぶ。		
授業の到達目標	教育の基本的な考え方と目的について個人や集団・社会を視野に収めながら、教育史や教育思想に沿って教育と教育施設の理解を深めることができる。		
授業計画			担当者
第1回	教育と個々人—成長の援助と覚醒としての教育		山元
第2回	教育と地域・社会—有意義な社会の再生産としての教育		山元
第3回	教育と文化あるいは異文化—文化の伝承と増殖としての教育		山元
第4回	児童中心主義の理念—その誕生の経緯と内容、課題		山元
第5回	近代家族の成立と学校—公教育制度の成立と世代の明確化		山元
第6回	ソクラテス・ルソー・フレーベル—産婆術、消極教育、「子どもから」		山元
第7回	ペスタロッチの「生活が陶冶する」—生活を前提とした合科教授の考え方		山元
第8回	デューと「民主主義と教育」—現代日本の学校の理念と歴史		山元
第9回	現代教育の課題(その1)—少子化、遊び集団・学習集団の縮小化		山元
第10回	現代の教育課題(その2)—社会問題としてのいじめ(ネット化も含めて)		山元
第11回	現代の教育課題(その3)—家庭問題としての虐待(歴史的事例も含めて)		山元
第12回	子どもと教育目標としての自立・自律—物語等に見る成長課題としての自立		山元
第13回	子供の成長と教育計画—意図的教育と非意図的教育		山元
第14回	子どもの成長と教員の人格—「なるべきものになっていること」		山元
第15回	将来的にあるべき教育と学校の姿—国際化(社会化)と個性化		山元
事前・事後学習	各講義の終わりに次回の内容についての事前学習について触れる。また、事後学習については講義中に参考図書等の紹介で示すほか、オフィスアワー等で関連事項や発展的内容について伝えるつもりである。		
課題に対するフィードバックの方法	各講義や定期試験の事後学習支援の一環として、オフィスアワーを利用して個別に対応する。		
質問・相談方法	講義の終了後に来談学生に対してオフィスアワーの対応時間を調整する。		
オフィスアワー	水曜日、木曜日を除く15:00～17:00(西館4階406号室)。要事前連絡(連絡方法は初回の講義で伝える)。		
テキスト	特に使用しない		
参考文献等	『経験と教育』ジョン・デューイ 講談社「学術文庫、『学校と社会』 ジョン・デューイ 岩波文庫、そのほか、授業計画に挙げられている教育学者の著作(文庫で入手可能)。		
成績評価基準	定期試験が上記の「授業の到達目標」を満たしていること。		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
GPA基準			
備考			

科目名	教育制度論		
担当者	池田 哲之		
授業形式	講義	科目ナンバー	40
配当年次	1	科目群	関連科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養教諭免許		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公教育の位相は時代・社会とともに変化しうるという事実を、戦前戦後のわが国統治構造および公教育関係法令との対比において検証する。 ・立憲主義理念に依拠した現代公教育の規範的特質を抽出するとともに、時事的教育問題を適宜取上げ、今日の公教育に求められる機能・役割を考察する。 		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近代公教育成立の社会背景を知り、その基本的枠組みについて理解している。 ・現行日本国憲法下の公教育制度の特質を、関係主要法令に基づき説明することができる。 ・公教育が直面する諸課題を認識し、課題解決に資する方策提示への視点がえられている。 		
授業計画			担当者
第1回	公教育の成立－諸外国の事例－		池田
第2回	わが国公教育の創出－明治前期の学校教育－		池田
第3回	教育勅語体制－戦前日本の公教育像－		池田
第4回	日本国憲法と教育基本法		池田
第5回	改正教育基本法(1)－改正の社会的・政治的背景－		池田
第6回	改正教育基本法(2)－その特徴と課題－		池田
第7回	学校制度の基本－学校教育法を軸に－		池田
第8回	教員養成および教員研修制度－教育職員免許法・教育公務員特例法を軸に－		池田
第9回	初等中等教育行政と教育委員会制度－地教行法を軸に－		池田
第10回	教育政策の決定過程－政党政治と文科省－		池田
第11回	学校と地域社会－近年の動静と連携制度－		池田
第12回	学校事故・事件の実相		池田
第13回	学校危機管理への視座－関連法制および取組の実際－		池田
第14回	現代公教育の課題(1)－「特別の教科」道徳の教授法・伝統日本文化教育私論－		池田
第15回	現代公教育の課題(2)－主権者教育の方向性－		池田
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの授業予定箇所を読み込み、不明部分は資料等を検索し調べておくこと。 ・授業中・後に提示された課題研究に取り組むこと。 		
課題に対するフィードバックの方法	課題にたいする参考答案例の配布・解説をとおり、知識・理解の整理を図る。		
質問・相談方法	授業時間の前後またはオフィスアワーにおいて受付ける。		
オフィスアワー	原則として月曜16:30～17:30(研究室414)		
テキスト	『教育の本質と教師の学び』池田哲之ほか著 学文社 2019年 (ISBN 978-4-7620-2852-6)		
参考文献等	<ul style="list-style-type: none"> ・『教育から見る日本の社会と歴史』八千代出版 2010年 ・『日本人のしつけは衰退したか』講談社 2008年 		
成績評価基準	公教育の本質を的確に理解し、今日の学校教育をめぐる諸課題解決の方策を提示することができる。		
成績評価の方法	定期試験(90%)、受講意欲・態度等(10%)。なお再試は1回にかぎり実施する。		
GPA基準			
備考	単位互換開放科目 上記記載の各内容は、受講生数・受講生の理解度により変更となる場合があります。学生証不携帯による出席確認未了者は欠席扱いとします。		

科目名	公衆衛生学 I		
担当者	内匠 正太		
授業形式	講義	科目ナンバー	41
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士、栄養教諭免許		
授業の概要	個人に対する医学のみでは疾病の予防、治療に限界がある。公衆衛生学は人間を集団とみなし、社会的側面から介入することで人間の健康を維持する学問である。本講では、私たちの身の回りの環境や環境汚染が、人々にどのような健康影響を及ぼすのかを簡単に概説し、これらの健康影響から人々の生活をまもるために、日本ではどのような社会保障制度や仕組みが整えられているのかを理解し、人々が健康な社会生活をおくる為に必要な知識を身につけさせる。		
授業の到達目標	1. 公衆衛生学が身近な問題であることを認識できるようになる 2. 医療の視点から見た公衆衛生学の知識を身につける		
授業計画			担当者
第1回	公衆衛生総論	内匠	
第2回	環境と健康	内匠	
第3回	感染症	内匠	
第4回	予防と健康管理	内匠	
第5回	成人保険	内匠	
第6回	物理的要因と健康	内匠	
第7回	学校保健	内匠	
第8回	国際保健	内匠	
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	・テキスト及び配布資料による復習 ・身の回りの健康維持の取り組みについて調べてみる		
課題に対するフィードバックの方法	課題に対して、必要に応じて個別に対応を行う。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。		
オフィスアワー	水曜日 15:00～17:00 研究室(本館505号室)		
テキスト	『公衆衛生学 第六版』 中村信也 同文書院 2018年 2700円(税込み) (ISBN978-4-8103-1479-3)		
参考文献等	赤澤宏平 他監修「公衆衛生学がみえる」メディックメディア		
成績評価基準	公衆衛生学に関する基礎的な知識を身につけたものは合格とする。		
成績評価の方法	定期試験(70%)、小テスト・受講態度(30%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	解剖生理学Ⅱ		
担当者	竹中 正巳		
授業形式	講義	科目ナンバー	42
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭		
授業の概要	講義は器官相互の位置関係も重視し、人体構造が立体的にとらえられるようにする。疾病と関連させて人体の構造と機能を解説することにより、日常生活に役立つ内容にする。また、全身の諸組織・諸臓器の機能とその役割についても十分に解説する。		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人体構造の仕組みと働きを理解する。 ・器官相互の有機的関連を考え、その根底にある人体の原理を知る。 ・人体の構造と機能を多面的にとらえられるようになる。 		
授業計画			担当者
第1回	細胞・組織・外皮・中枢神経・末梢神経の構造と機能		竹中
第2回	消化吸収(消化管の構造と機能)		竹中
第3回	消化吸収(栄養素の消化吸収のしくみ)		竹中
第4回	消化吸収(膵臓、肝臓、胆嚢の構造と機能)		竹中
第5回	呼吸器の構造と機能		竹中
第6回	心臓・血管(心臓、動脈、静脈の形態と機能)		竹中
第7回	血管・リンパ管(血液の組成と機能、血圧とその調節、リンパ管の構造と機能)		竹中
第8回	泌尿器(腎臓の構造と機能、尿、排泄路の構造と機能)		竹中
第9回	自律神経と内分泌(視床下部、下垂体、甲状腺、上皮小体、膵臓の各ホルモンの作用と分泌調節)		竹中
第10回	内分泌(副腎、性腺の各ホルモンの作用と分泌調節)		竹中
第11回	骨格・関節の構造と機能		竹中
第12回	筋肉の構造と機能		竹中
第13回	感覚器(眼・耳・舌・鼻の構造と機能)		竹中
第14回	生殖器(男女生殖器、精巣・卵巣の構造と機能)、人体の発生(受精と胎児の発生)		竹中
第15回	ヒトの成長と老化		竹中
事前・事後学習	事前学習:テキストをよく読んで講義に臨むこと 事後学習:講義後はテキストの各章末にあるゼミナール問題を解いて、理解度を確かめること		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、受講者の求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応する。		
オフィスアワー	木曜日 12:10~12:50 研究室(本館502号室)		
テキスト	系統看護学講座1 解剖生理学 坂井建雄・岡田隆夫 医学書院 2018年 3,800円(税抜き)(ISBN 978-4-260-03171-4) 看護師国家試験 解剖生理学クリアブックー第2版ー 日本生理学会教育委員会編 医学書院 2018年 2,000円(税抜き)(ISBN 978-4-260-02442-6)		
参考文献等	「カラー人体解剖学ー構造と機能:マクロからマイクロまで」井上貴央監訳 西村書店 2003年 7,800円(税抜き)(ISBN 978-4-890-13305-5)		
成績評価基準	到達目標を踏まえて、解剖生理学の概要が理解できたと確認できた場合、合格とする。		
成績評価の方法	毎授業ごとの小テストの結果を合算して評価する。		
GPA基準			
備考			

科目名	栄養生化学Ⅱ		
担当者	住澤 知之		
授業形式	講義	科目ナンバー	43
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭		
授業の概要	<p>私たちが健康的に生きていけるのは、体内で代謝が、滞りなく、正しく行われているからである。そこで、三大栄養素が体内でどのように代謝されるのかについて解説する。また、私たちの体内で日々行われている遺伝情報の活用や生体の恒常性維持の仕組みのすばらしさについても説明する。さらに、栄養士として働くために必須である食物アレルギーの理解のため、免疫と生体防御の基礎やアレルギーについても解説する。「栄養生化学Ⅰ」の単位を修得しておくことが望ましい。</p>		
授業の到達目標	<p>1. 三大栄養素の代謝と遺伝情報の流れについて説明できる 2. ホルモンによる恒常性の維持とアレルギーについて説明できる</p>		
授業計画			担当者
第1回	解糖系	住澤	
第2回	クエン酸回路	住澤	
第3回	糖新生と血糖調節	住澤	
第4回	血糖調節とグリコーゲン代謝	住澤	
第5回	グリコーゲン代謝とグルコース以外の糖の代謝	住澤	
第6回	体内における脂質の輸送とリポタンパク質	住澤	
第7回	脂肪酸の生合成	住澤	
第8回	脂肪酸の酸化(β酸化)、コレステロール合成	住澤	
第9回	アミノ基転移反応、酸化的脱アミノ反応、尿素回路	住澤	
第10回	脱炭酸反応、アミノ酸由来の生体物質	住澤	
第11回	複製、修復、転写	住澤	
第12回	タンパク質生合成(翻訳)、免疫と生体防御	住澤	
第13回	免疫グロブリン、アレルギー	住澤	
第14回	内分泌系の概略と制御機構	住澤	
第15回	主なホルモン	住澤	
事前・事後学習	<p>事前学習・・・前期に学んだ関連する内容について復習を行っておくこと。 事後学習・・・各回のプリントを見直して理解し、栄養士実力認定試験レベルの問題が解けるようにしておくこと。</p>		
課題に対するフィードバックの方法	<p>各回の授業終了時に行う問題について、その都度、個別ないしはグループごとに指導することにより、フィードバックを行う。</p>		
質問・相談方法	<p>授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。</p>		
オフィスアワー	<p>火曜日 16:30～18:00 研究室(本館501号室)</p>		
テキスト	<p>毎回プリントを配布するため、テキストは使用しない。</p>		
参考文献等	<p>ヴォート「基礎生化学」第5版 東京化学同人 イラストレイテッドハーパー「生化学」第29版 丸善出版</p>		
成績評価基準	<p>三大栄養素の代謝、遺伝情報の流れ、ホルモンによる恒常性の維持及びアレルギーについて説明できたものは合格とする。</p>		
成績評価の方法	<p>期末試験(100%)のみで評価する。</p>		
GPA基準			
備考	<p>他学科開放科目</p>		

科目名	食品学各論		
担当者	安達 真一		
授業形式	講義	科目ナンバー	44
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士、栄養教諭、フードスペシャリスト		
授業の概要	食品には、様々な性質を持つ物質が含まれており、食品に含まれる物質の性質を良く理解することで、その食品に適した調理方法や保存方法を選択することができる。本講では、各食品群の代表的な素材について、食品に含まれる化学成分の特徴、鮮度保持、貯蔵方法などを食品の栄養的価値と関連付けて解説し、食品素材への理解を深めることを目的とする。また、様々な食品に含まれる機能性成分が、どの様なメカニズムにより人体に作用するかについても概説する。		
授業の到達目標	1. 食品の成分特性、生理的機能について理解する 2. 食品の加工時における成分の変化について理解する 3. 食品の貯蔵法、加工法について理解する		
授業計画			担当者
第1回	食品の分類、食料の需給	安達	
第2回	植物性食品－穀類	安達	
第3回	いも類、甘味料	安達	
第4回	豆類、種実類	安達	
第5回	野菜類	安達	
第6回	果実類	安達	
第7回	きのこ類、藻類	安達	
第8回	動物性食品－魚介類	安達	
第9回	肉類	安達	
第10回	卵類	安達	
第11回	乳類	安達	
第12回	各種食品－食用油脂、菓子類	安達	
第13回	嗜好飲料、酒類	安達	
第14回	調味料および香辛料類	安達	
第15回	調味加工食品類、保健機能食品と健康用食品等	安達	
事前・事後学習	授業で小テストを実施するので、その内容について予習復習を行う。		
課題に対するフィードバックの方法	課題に対して、必要に応じて個別に対応を行う。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。		
オフィスアワー	水曜日 15:00～17:00 研究室(本館505号室)		
テキスト	『健康・栄養科学シリーズ 食べ物と健康 食品の科学』太田英明ら 南江堂 2018年 2800円(税抜き) (ISBN 978-4-524-25158-2)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	食品の持つ性質や加工特性に関する基礎的な知識を身につけたものは合格とする。		
成績評価の方法	定期試験(70%)、小テスト・受講態度(30%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	食品衛生学実験		
担当者	村山 恵美子		
授業形式	実験	科目ナンバー	45
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士、栄養教諭		
授業の概要	最近、食中毒の増加や、ウイルスによる新たな感染症の出現、モラルの欠如による違法販売等の様々な問題が生じている。この実験では、微生物実験と化学実験を通じて、衛生に関する基本的な問題点を認識する。微生物実験では、身の回りの至るところに微生物が存在することを認識し消毒・滅菌の意義を理解させる。化学実験では、食品や水、環境等に関する衛生上の問題点を認識し、安全な食生活とは何かを理解させる。		
授業の到達目標	1. 消毒・滅菌の意義を理解し、衛生観念を高める 2. 衛生上の問題点を認識する 3. 安全な食生活とは何かを理解する		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション(実験の説明、次回の準備、実験計画)		村山
第2回	手指の汚染度検査、空中落下菌・浮遊菌の測定		村山
第3回	手指の汚染度検査、空中落下菌・浮遊菌の測定		村山
第4回	細菌の形態観察(細菌を染色後、顕微鏡で観察する)		村山
第5回	食品の衛生検査(各種条件での菌数の違いを確認する)		村山
第6回	発酵乳、乳酸菌飲料中の乳酸菌数測定による成分規格		村山
第7回	食中毒菌の検査(黄色ぶどう球菌、サルモネラ属菌の検出)		村山
第8回	耐熱性・紫外線抵抗性試験(菌の耐熱性や紫外線抵抗)		村山
第9回	保存料(ソルビン酸)の抗菌力試験、薬剤感受性試験		村山
第10回	保存料(ソルビン酸)の定量、重金属(スズ)の抽出		村山
第11回	重金属(スズ)の検出(缶詰中のスズ溶出量を測定する)		村山
第12回	食品の腐敗・変質試験(揮発性塩基窒素、ヒスタミンの検出)		村山
第13回	食品中の添加物検査(発色剤、漂白剤を検出する)		村山
第14回	水質試験(日常使用している水道水の水質検査を行う)		村山
第15回	環境衛生試験(風速 感覚温度 空気汚染度 照度 騒音)		村山
事前・事後学習	・実験書に目を通し、実験内容を理解する ・実験の前にすべき内容を確認し、準備する ・実験結果を観察し、レポートとして提出する		
課題に対するフィードバックの方法	レポートや課題に対して、必要に応じて個別に対応を行う。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。		
オフィスアワー	水曜日 15:00~17:00 研究室(本館505号室)		
テキスト	『食品環境実験50』 藤田修三 医歯薬出版 1999年 2,400円(税抜き) (ISBN-10: 4263703774)		
参考文献等	配布プリント		
成績評価基準	授業毎の実験を行い、その結果を適切にまとめることができたものは合格とする。		
成績評価の方法	受講態度(60%) レポートの提出状況・内容(40%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

科目名	栄養学総論		
担当者	住澤 知之		
授業形式	講義	科目ナンバー	46
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許		
授業の概要	人間にとって、生命を維持するために欠かすことのできないのが、バランスよく栄養素を摂取することである。そこで、正しい『食』についての理解を深め、健康的な生活を送るための的確な栄養指導を行うために、人間が生命や健康を維持するために欠かすことができない栄養素を、バランスよく、適切な量摂取するという点について、主な栄養素の消化・吸収、生理的な機能及び栄養評価の方法等を通して説明する。「栄養生化学Ⅰ」の単位を修得しておくことが望ましい。		
授業の到達目標	1. 適切な栄養素の摂取により、自らが正しい食生活を実践できる 2. 健康に生きていくための、的確な食教育ができる		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション(栄養とは?)		住澤
第2回	糖質とその消化・吸収		住澤
第3回	血糖とその調節、糖質のエネルギー源としての利用		住澤
第4回	脂質とその消化・吸収		住澤
第5回	脂質の栄養、たんぱく質とその消化・吸収		住澤
第6回	たんぱく質の栄養1(窒素出納と生物学的評価法など)		住澤
第7回	たんぱく質の栄養2(化学的評価法など)		住澤
第8回	ビタミン1(ビタミンとは・ビタミンA)		住澤
第9回	ビタミン2(ビタミンD・ビタミンE・ビタミンK)		住澤
第10回	ビタミン3(ビタミンB群①)		住澤
第11回	ビタミン4(ビタミンB群②・ビタミンC)		住澤
第12回	無機質(ミネラル)1(無機質とは・カルシウム・リン)		住澤
第13回	無機質(ミネラル)2(その他の主要無機質・鉄)		住澤
第14回	無機質(ミネラル)3(鉄以外の微量無機質)、水・電解質の代謝		住澤
第15回	エネルギー代謝、摂食行動、食物繊維		住澤
事前・事後学習	事前学習・・・前期に学んだ関連する内容について復習を行っておくこと。 事後学習・・・各回のプリントを見直して理解し、栄養士実力認定試験レベルの問題が解けるようにしておくこと。		
課題に対するフィードバックの方法	各回の授業終了時に行う問題について、その都度、個別ないしはグループごとに指導することにより、フィードバックを行う。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。		
オフィスアワー	火曜日 16:30~18:00 研究室(本館501号室)		
テキスト	毎回プリントを配布するため、テキストは使用しない。		
参考文献等	「日本人の食事摂取基準2015年版」 第一出版 健康・栄養科学シリーズ「基礎栄養学」 改訂第5版 南江堂		
成績評価基準	生きていく上で必要な栄養素の適切な摂取により健康的な生活を送るための、栄養学的な基本となる考え方を理解できたものは合格とする。		
成績評価の方法	期末試験(100%)のみで評価する。		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	応用栄養学		
担当者	寺師 睦美		
授業形式	講義	科目ナンバー	47
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許		
授業の概要	人の各ライフステージにおける心身の成長発育の特性および変化と、運動や生活環境における健康の保持増進に必要な栄養管理の考え方を講義する。各ライフステージでの栄養評価法、疾患発症の特徴や基礎知識、生活習慣との関連について説明する。		
授業の到達目標	1. 各ライフステージの特性、心身と生理機能の変化を理解する。 2. 運動や環境等に対応する適切な栄養管理の考え方を修得する。		
授業計画			担当者
第1回	栄養マネジメントの基礎		寺師
第2回	ライフステージと栄養(食事摂取基準)		寺師
第3回	妊娠期の栄養管理(特性と栄養ケア、疾患と生活習慣)		寺師
第4回	授乳期の栄養管理(特性と栄養ケア、問題点、母乳栄養)		寺師
第5回	新生児期の栄養管理(特性と栄養ケア、問題点、離乳)		寺師
第6回	幼児期の栄養管理(特性と栄養ケア、問題点、保育所給食)		寺師
第7回	学童期の栄養管理(特性と栄養ケア、問題点、学校給食)		寺師
第8回	思春期の栄養管理(特性と栄養ケア、疾患と生活習慣)		寺師
第9回	成人期の栄養管理(特性と栄養ケア、疾患と生活習慣)		寺師
第10回	更年期の栄養管理(特性と栄養ケア、疾患と生活習慣)		寺師
第11回	高齢期の栄養管理(特性と栄養ケア、疾患と生活習慣)		寺師
第12回	高齢期の栄養管理(特性と栄養ケア、摂食機能)、小テスト		寺師
第13回	運動と栄養(運動と代謝、栄養ケア)		寺師
第14回	環境と栄養(環境変化と代謝、栄養ケア)		寺師
第15回	総括、課題発表		寺師
事前・事後学習	事前学習:講義範囲を予習する。 事後学習:応用栄養学実習と関連付けてまとめる。		
課題に対するフィードバックの方法	講義内で課題のポイントを説明する。Moodleを活用する。個別に対応する。		
質問・相談方法	講義の後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	金曜日 16:30~18:00 研究室(西館313号室)		
テキスト	『応用栄養学第10版ライフステージからみた人間栄養学』森基子・玉川和子他著 医歯薬出版株式会社 2015年 2700円(税抜き) (ISBN 978-4-263-70641-1)		
参考文献等	『日本人の食事摂取基準(2015年度)』菱田明・佐々木敏監修 第一出版 2014年 2700円(税抜き) (ISBN 978-4-8041-1312-8)		
成績評価基準	各ライフステージの特徴、適切な栄養基準に応じた栄養管理、運動や環境における健康の保持増進に必要な栄養管理の考え方、生活習慣との関連について理解できる。		
成績評価の方法	小テスト(10%)、課題発表(10%)、定期試験60分(80%)で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	応用栄養学実習		
担当者	寺師 睦美		
授業形式	実習	科目ナンバー	48
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許		
授業の概要	人の各ライフステージにおいて、食事摂取基準に基づいた栄養管理の考え方、献立作成と調理、食教育、健康増進及び疾病の発症予防に関する栄養管理方法を講義する。実習前に実習方法を説明し、結果の検討・考察・評価、レポート作成など栄養管理を行う方法を講義する。		
授業の到達目標	1. 各ライフステージの栄養基準に基づく献立作成と、適切な食品の選択及び調理方法を習得することを目的とする。 2. 実践的な栄養管理と食教育を行うことができるようになる。		
授業計画			担当者
第1回	応用栄養学実習の意義と目的		寺師
第2回	乳児期栄養(特性と問題点、献立作成・調理の注意点)		寺師
第3回	離乳期栄養(調乳実習)		寺師
第4回	幼児期栄養(特性と問題点、献立作成・調理の注意点)		寺師
第5回	幼児期栄養(保育所給食実習)		寺師
第6回	幼児期栄養(保育所食教育の基本的な考え方、媒体作り)		寺師
第7回	青年期栄養(特性と問題点、献立作成・調理の注意、媒体作り)		寺師
第8回	青年期栄養(学校給食実習)		寺師
第9回	成人期栄養(特性と問題点、献立作成・調理の注意点)		寺師
第10回	高齢期栄養(特性と問題点、献立作成・調理の注意点)		寺師
第11回	高齢期栄養(高齢者施設給食嚥下食実習)		寺師
第12回	高齢期栄養(高齢者施設行事食バイキング実習)		寺師
第13回	食教育の意義と内容(指導案・媒体作り)		寺師
第14回	食教育(発表と評価)		寺師
第15回	総括		寺師
事前・事後学習	事前学習:授業範囲を予習する。グループで課題に取り組む。 事後学習:実習内容をまとめて、レポートを作成する。		
課題に対するフィードバックの方法	講義内で課題のポイントを説明する。Moodleを活用する。 個別に対応する。		
質問・相談方法	講義・実習の後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	水曜日 16:30~18:00 研究室(西館313号室)		
テキスト	『応用栄養学実習第2版』柳沢幸江・板垣裕他編 建帛社 2016年 2300円(税別) (ISBN 978-4-7679-0586-0) 『給食施設のための献立作成マニュアル第9版』赤羽正之他著 医歯薬出版株式会社 2016年 2600円(税別) (ISBN 978-4-263-70659-6)		
参考文献等	『一品料理500選治療食への展開』宗像伸子編著 医歯薬出版株式会社 2016年 5800円(税別) (ISBN 978-4-263-70650-3) 『食品成分表』香川芳子監修 女子栄養大学出版部 2019年 1400円(税別) (ISBN 978-4-7895-1019-6)		
成績評価基準	各ライフステージの特徴と栄養基準に応じた栄養管理の考え方、適切な食品の選択と調理方法の工夫を理解できる。		
成績評価の方法	レポート作成(30%)、献立作成(10%)、課題演習(10%)、定期試験60分(50%)で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考			

科目名	臨床栄養学総論		
担当者	改元 香		
授業形式	講義	科目ナンバー	49
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許		
授業の概要	臨床の現場での確かな栄養管理を実施するために、栄養学的な診断、および治療の具体的な仕組みや方法を学び、臨床栄養学の基礎を講義する。また、臨床栄養学の応用である臨床栄養学各論につながる科目である。		
授業の到達目標	1. 栄養アセスメントの流れを理解し、臨床的意義を知る 2. 栄養アセスメントにより栄養状態を評価・判断することができる 3. 栄養法の種類を知り、目的に応じた方法を選択することができる		
授業計画			担当者
第1回	臨床栄養学の基礎(意義・目的、疾患と栄養、福祉・介護)		改元
第2回	傷病者の栄養アセスメント(意義と目的)		改元
第3回	傷病者の栄養アセスメント(臨床診査)		改元
第4回	傷病者の栄養アセスメント(身体計測)		改元
第5回	傷病者の栄養アセスメント(臨床検査)		改元
第6回	傷病者の栄養アセスメント(食事調査、栄養必要量の算定)		改元
第7回	傷病者の栄養アセスメント(栄養必要量の算定)		改元
第8回	栄養管理(病院での栄養管理の流れ)		改元
第9回	栄養管理(評価、目標設定、計画)		改元
第10回	栄養管理(栄養管理計画書作成)		改元
第11回	栄養教育計画(個別教育、集団教育、栄養食事指導料)		改元
第12回	栄養管理記録(POSにおける記録、SOAPの書き方)		改元
第13回	疾患治療の種類および方法と特徴		改元
第14回	栄養法(栄養補給法の種類、経口栄養補給法)		改元
第15回	栄養法(経腸栄養補給法、経静脈栄養補給法)		改元
事前・事後学習	事前学習・・・テキストを読み、わからない語句を事前に調べておく 事後学習・・・テキストを読み直し、より詳しく知りたいところを調べ、理解できなかったところは質問する		
課題に対するフィードバックの方法	課題(定期試験を含む)を課した場合は、評価に対する改善点を個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後、およびオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	金曜日 13:00～15:00 研究室(本館 504号室)		
テキスト	『Visual栄養学テキストシリーズ 臨床栄養学 I 総論』津田謹輔・伏木亨・本田佳子監修 株式会社中山書店 2016年 2,700円(税抜) (ISBN978-4-521-74282-3)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	臨床の現場での確かな栄養管理を実施するための基礎知識を身につけたものは合格とする。		
成績評価の方法	定期試験の成績(95%)、受講態度(5%)で成績を評価する。		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	栄養指導論Ⅱ		
担当者	改元 香		
授業形式	講義	科目ナンバー	50
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許		
授業の概要	<p>栄養指導論Ⅰで学んだ基礎知識・技法をもとに、ライフステージ・ライフスタイル別の生活習慣の実態と問題点を把握し、対象者の状況に応じた具体的な栄養指導の手法について講義する。栄養指導の目的を達成するために、健康増進につながる望ましい食習慣の確立や、適切な食事療法の実践などによるQOL(生活の質)の向上を目指して、食行動変容の実現を促す方法を講義する。また、望ましい食生活を実践するための食事計画の立案を通して、食に関する自己管理能力を育成する方法を講義する。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者に対して計画的に問題を解決することができる 2. 対象者に応じた栄養教育を媒体を使用して実施することができる 3. 行動変容の評価ができ、改善点を見出すことができる 		
授業計画			担当者
第1回	栄養指導に必要な基礎知識(食事摂取基準等)		改元
第2回	妊娠・授乳期の栄養指導		改元
第3回	乳児期の栄養指導		改元
第4回	幼児期の栄養指導		改元
第5回	学童期および思春期の栄養指導		改元
第6回	成人期の栄養指導		改元
第7回	高齢期、傷病者および障がい者の栄養指導		改元
第8回	スポーツ選手に対する栄養指導		改元
第9回	糖尿病療養指導のための食品交換表の使い方(糖尿病の食事療法等)		改元
第10回	糖尿病療養指導のための食品交換表の使い方(表1~6、調味料について)		改元
第11回	糖尿病療養指導のための食品交換表の使い方(確認演習)		改元
第12回	糖尿病療養指導のための食品交換表の使い方(まとめ)		改元
第13回	腎臓病食品交換表の基礎		改元
第14回	エネルギー、たんぱく質、脂質、食塩制限の栄養指導		改元
第15回	栄養指導関連の諸施策 食生活指針/休養指針/運動指針		改元
事前・事後学習	事前学習・・・テキストを読み、わからない語句を事前に調べておく 事後学習・・・理解できなかったところは質問し、課された課題は必ず取り組む		
課題に対するフィードバックの方法	課題(定期試験を含む)を課した場合は、評価に対する改善点を個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後、およびオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	金曜日 13:00~15:00 研究室(本館 504号室)		
テキスト	『エスカパーシク 栄養指導論 第二版』古畑公・田中弘之編著 同文書院 2011年 1,905円(税抜) (ISBN978-4-8103-1460-1) 『日本人の食事摂取基準(2015年版)』菱田明・佐々木敏監修 第一出版株式会社 2014年 2,700円(税抜) (ISBN978-4-8041-1312-8) 『糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版』一般社団法人日本糖尿病学会編著 株式会社文光堂 2013年 900円(税抜) (ISBN978-4-8306-6046-7) 『腎臓病食品交換表 第9版-治療食の基準-』黒川清監修 医歯薬出版株式会社 2016年 1,500円(税抜) (ISBN978-4-263-70674-9)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	対象者の状況に応じた栄養指導の知識や技法の理解、および習得が達成されたものは合格とする。		
成績評価の方法	定期試験の成績(95%)、受講態度(5%)で成績を評価する。		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	公衆栄養学		
担当者	改元 香		
授業形式	講義	科目ナンバー	51
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	複数
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許		
授業の概要	集団の健康問題が栄養管理上どのような因子に基づくのか、そしてその問題解決に栄養はどうあるべきなのかについて学ぶ。わが国の栄養摂取の変遷と国民の健康と栄養状態の関連性について学び、これからの公衆栄養活動について講義する。		
授業の到達目標	1. 公衆栄養学の概念を理解し、説明できる 2. わが国の栄養政策を理解し、説明できる 3. 栄養疫学を理解し、図表が示していることを説明できる		
授業計画		担当者	
第1回	公衆栄養学の概念(公衆栄養の意義と目的)	改元	
第2回	公衆栄養活動(公衆栄養活動とその歴史)	改元	
第3回	わが国の健康/栄養問題の現状と課題(環境と健康の変化)	改元	
第4回	わが国の健康/栄養問題の現状と課題(食生活の変化)	改元	
第5回	栄養政策(地域保健法、健康増進法、食育基本法)	改元	
第6回	栄養政策(管理栄養士、栄養士養成制度)	改元	
第7回	栄養政策(国民健康・栄養調査)	改元	
第8回	栄養政策(健康日本21、食生活指針、食事バランスガイド、他)	改元	
第9回	栄養政策(諸外国の健康・栄養政策)	改元	
第10回	栄養疫学(諸外国の健康・栄養政策)	改元	
第11回	栄養疫学(食事調査法の種類)	改元	
第12回	日本人の食事摂取基準	改元	
第13回	公衆栄養マネジメント(マネジメントサイクル)	改元	
第14回	公衆栄養マネジメント(公衆栄養プログラム)	改元	
第15回	公衆栄養マネジメント(公衆栄養プログラムの展開)	改元	
事前・事後学習	事前学習・・・テキストを読み、わからない語句を事前に調べておく 事後学習・・・理解できなかったところは質問する		
課題に対するフィードバックの方法	課題(定期試験を含む)を課した場合は、評価に対する改善点を個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後、およびオフィスアワー等に対応する。		
オフィスアワー	金曜日 13:00～15:00 研究室(本館 504号室)		
テキスト	『エスカパーシク 公衆栄養学概論 2018/2019』古畑公・田中弘之編著 同文書院 2012年 1,905円(税抜) (ISBN978-4-8103-1478-6)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	集団の健康問題を把握し、問題解決に栄養はどうあるべきなのか理解することができたものは合格とする。		
成績評価の方法	定期試験の成績(95%)、受講態度(5%)で成績を評価する。		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	給食管理		
担当者	千葉 しのぶ		
授業形式	講義	科目ナンバー	52
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許		
授業の概要	給食の概念および意義を説明し、栄養・食事管理に関する基礎的知識を講義する。更に特定給食施設で給食を運営するために必要な献立計画・献立作成、調理技術・衛生管理・発注・在庫管理・給食施設の経営管理等に関する基礎的知識を習得させることを目的とする。		
授業の到達目標	1、給食の意義および給食管理の概要について理解できる 2、給食運営に必要な大量調理、衛生管理について理解できる 3、次年度の給食管理実習の運営計画が概ね立案できる		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション(授業の進め方、給食管理の概要)	千葉	
第2回	栄養士の職務と給食管理	千葉	
第3回	特定給食施設の定義と目的	千葉	
第4回	大量調理施設衛生管理マニュアル	千葉	
第5回	食中毒の特徴・症状・予防策	千葉	
第6回	大量調理のポイントと生産管理	千葉	
第7回	発注と在庫管理	千葉	
第8回	献立計画と調味の標準化	千葉	
第9回	給食施設の経営管理(会計)	千葉	
第10回	給食施設の経営管理(人事)	千葉	
第11回	学校における給食管理	千葉	
第12回	保育所・高齢者福祉施設・病院における給食管理	千葉	
第13回	栄養評価・まとめと確認(第2回から第7回までの授業)	千葉	
第14回	まとめと確認(第8回から第12回までの授業)	千葉	
第15回	給食管理実習の運営管理計画	千葉	
事前・事後学習	・教科書を使った予習が必要。予習プリントを配布するので、事前学習を行う。授業ではその日の学習内容について小テストを実施するので、必ず復習を行うこと。 ・2年生の給食管理実習 I およびIVにおける大量調理を喫食し、授業の予備知識を得る		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合は求めに応じ個別に対応し、次回授業時に全員に解説する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	木曜日12:00～15:00 研究室(南館 104号室)		
テキスト	『栄養士・管理栄養士のためのなぜどうして?⑥給食経営管理論』医療情報化学研究所 メディックメディア 2018年 1500円(税抜き)(978-4-89632-729-8) 七訂食品成分表2018 香川明夫監修 女子栄養大学 2018年 1400円(税抜き)(978-4-7895-1018-9)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	給食の意義目的や特徴、給食運営に必要な大量調理・衛生管理について理解でき、次年度の給食管理実習の運営計画が概ね立案できること。		
成績評価の方法	定期試験(100%)		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	調理学実習 I		
担当者	山崎 歌織		
授業形式	実習	科目ナンバー	53
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養士・栄養教諭免許・フードスペシャリスト		
授業の概要	食生活を健康に営むために、科学的・合理的な調理法や調理技術を学ばせる。内容は、日本料理、西洋料理、中国料理を中心にそれぞれの料理様式の特徴を学び実習を実施することでより理解を深めさせる。また、郷土料理や行事食を体験し日本の食文化を継承する意義について学ばせる。さらに、健康で楽しく適切な食生活のあり方について、常に季節を意識し一汁三菜を基本とした日常食の献立立案と実践力を育成する。		
授業の到達目標	1. 調理学実習の心得を意識して実習に臨むことができる 2. 基本的な調理の知識・技術を身につけて調理ができる 3. 献立を立案しバランスを考えた食事を提供できる		
授業計画		担当者	
第1回	調理学実習の心得と実習実施のための諸注意と基本調理の確認		山崎
第2回	日本料理の特徴と調理①(親子丼、鮭のホイル焼き他)		山崎
第3回	日本料理の特徴と調理②(しめじご飯、天ぷら他)		山崎
第4回	西洋料理の特徴と調理①(コンソメ、魚のムニエル他)		山崎
第5回	西洋料理の特徴と調理②(えんどうのポターージュ、豚のカツレツ他)		山崎
第6回	中間まとめ(これまでの復習・確認)		山崎
第7回	中国料理の特徴と調理①(エビのチリソース煮他)		山崎
第8回	中国料理の特徴と調理②(五目焼きそば、水餃子他)		山崎
第9回	西洋料理の特徴と調理③(クリスマス料理)		山崎
第10回	日本料理の特徴と調理③(正月料理)		山崎
第11回	魚食普及と魚料理講習会(魚の卸し方と調理)		山崎
第12回	野菜切り試験(野菜の皮むき、切り方の確認)		山崎
第13回	実技・定期試験		山崎
第14回			
第15回			
事前・事後学習	事前学習:毎時間の事前資料を基に、料理レシピをフローチャート化する 事後学習:毎時間ごとに学習した内容をレポートにまとめ提出する 日々調理に携わり、食材の切り方等に慣れ技術の向上に努める		
課題に対するフィードバックの方法	提出された課題やレポートに対し、評価基準に従い評価し早めに学生に返却する。質問事項がある場合は、個別に回答する。		
質問・相談方法	実習終了時やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	水曜日 15:00~17:00 研究室(西館 308号室)		
テキスト	『NEW調理と理論』山崎清子ほか 同文書院 2011年 2,600円 (ISBN978-4-8103-1395-6) 『食品成分表』香川明夫監修 女子栄養大学出版部 2019年 1,400円 (ISBN978-4-7895-1018-9) その他、実習レシピは毎時間配布する。		
参考文献等	『調理学の基本』中嶋加代子編著 同文書院 2007年 2,400円 (ISBN978-4-8103-1482-3) 『原色食品図鑑』菅原、井上編集 建帛社 1974年 2,900円 (ISBN978-4-7679-6120-0)		
成績評価基準	実習・課題レポートを全て提出し、受講態度や実技試験により、合格点以上の者を合格とする。		
成績評価の方法	実習・課題レポート65% 受講態度20% 実技・定期試験15% 以上により到達目標を達成しているか総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	教育効果向上のため、2コマ(180分)×12回で実施する。		

科目名	教育心理学		
担当者	宮里 新之介		
授業形式	講義	科目ナンバー	54
配当年次	1	科目群	専門科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修: 栄養教諭免許・ピアヘルパー 選択: 栄養士		
授業の概要	人がどのように発達するのか、どのように適応するのか、どのように学習するのかといったメカニズムに関する基礎的な心理学の用語及び代表的な理論について説明する。また、その知識を基に学習や人間関係における適応の支援について考える力を育成する。		
授業の到達目標	1. 学習、適応、発達(知能、社会性、道徳性)に関する基礎的な概念を理解し、説明できる 2. 実証的なデータに基づき考えることができる 3. 学んだ理論と教育活動を関連させて考えることができる		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション / 教育心理学とは何か		宮里
第2回	発達とは何か		宮里
第3回	知能の発達について		宮里
第4回	社会性の発達について		宮里
第5回	道徳性の発達について		宮里
第6回	動機づけと学習		宮里
第7回	代表的な学習理論		宮里
第8回	個人差の理解		宮里
第9回	個人差への対応と特別支援教育		宮里
第10回	適応とカウンセリング		宮里
第11回	学力と教育評価		宮里
第12回	個に応じた学習指導		宮里
第13回	主体的学びの授業		宮里
第14回	人間関係の理解①(学習集団)		宮里
第15回	人間関係の理解②(教師-生徒関係)		宮里
事前・事後学習	事前学習・・・意味のわからない用語は辞書等で調べておくこと。 事後学習・・・前授業の理解度を測るためにミニテストを行うことがあるので、復習を行って授業に臨むこと。		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合(定期試験を含む) 求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	木曜日 10:35～12:05 研究室(本館312号室)		
テキスト	特になし		
参考文献等	『教師教育テキストシリーズ 教育心理学』 杉江修治 学文社 2007年 1800円(税別) (ISBN978-4-7620-1654-7)		
成績評価基準	学習、適応、発達(知能、社会性、道徳性)に関する基礎的な概念を理解し、実証的なデータに基づき考えることができること。		
成績評価の方法	定期試験(80%)、講義時の受講態度及びミニテスト(20%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考	他学科開放科目		

科目名	特別支援教育		
担当者	谷川 知士		
授業形式	講義	科目ナンバー	55
配当年次	1	科目群	関連科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養教諭免許		
授業の概要	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性および心身の発達を理解する		
授業の到達目標	通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により、特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、いきる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上または生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、保護者や教員及び関係機関や地域と連携しながら、組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。		
授業計画			担当者
第1回	インクルージブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解する		谷川
第2回	発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とするこどもについて理解する		谷川
第3回	視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、難病等のこどもについて理解する		谷川
第4回	特別の支援を必要とするそれぞれのこどもについて、心身の発達を理解する		谷川
第5回	特別の支援を必要とするそれぞれのこどもについて、心理的特性や学習過程を理解する		谷川
第6回	特別の支援を必要とするそれぞれのこどもについて、学習上の困難について理解する		谷川
第7回	特別の支援を必要とするそれぞれのこどもについて、生活上の困難について理解する		谷川
第8回	「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置付けと内容を理解する		谷川
第9回	特別支援教育に関する教育課程の枠組みを理解する		谷川
第10回	個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解する		谷川
第11回	特別支援教育コーディネーターの役割を理解する		谷川
第12回	関係機関や地域及び家庭との連携について、支援体制の構築と必要性を理解する		谷川
第13回	障害はないが、特別の教育的ニーズのあるこどもの対応について理解する		谷川
第14回	母国語や言語障害等の問題により、特別の教育的ニーズのあるこどもへの支援について理解する		谷川
第15回	貧困、家庭環境等の問題により特別の教育的ニーズのあるこどもへの支援について理解する		谷川
事前・事後学習	事前学習・・・教科書の指定されたページまでを熟読し、分からない用語は辞書等で調べておくこと。 事後学習・・・毎回の小まとめ用紙を半期(7回)終了後に持ち帰らせ、振り返りの時間を持たせ、最終日には全まとめを持ち帰らせて定期試験に臨む。		
課題に対するフィードバックの方法	授業終了時に毎回提出する授業のまとめ用紙に課題等の回答を促し、次回の授業で回答する。		
質問・相談方法	授業中での質問時間を設定する。また気軽に質問し易いように、毎回提出する授業のまとめ用紙に質問事項を自由に記入させ、コメントを添えて次回の授業始めに返却する。		
オフィスアワー	第1・第3水曜日 14:40～17:55 谷川研究室(西館316号室)		
テキスト	「教員を目指す人の特別支援教育テキスト」京都教育大学附属教育実践センター監修 相澤雅文 編集 クリエイツかもがわ 1,200円(税別) ISBN 978-4-8634-2115-8		
参考文献等	発達障害のある子へのサポート事例集 上野一彦 他著 ナツメ社、事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助 庄司一子 監修 ナカニシヤ出版		
成績評価基準	到達目標に掲げた項目を理解すること。		
成績評価の方法	授業への参加態度(20%)と期末試験(80%)で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	単位互換[KRICE]提供科目		

科目名	教育の方法・技術		
担当者	平野 拓朗		
授業形式	講義	科目ナンバー	56
配当年次	1	科目群	関連科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養教諭免許		
授業の概要	「食に関する指導」の教育方法の観点から、学校教育における栄養教諭の役割と「食に関する指導」の目標・内容について理解する。また、「食に関する指導」の実践的展開(学習指導案の作成や 情報機器・教材を効果的に活用した授業構成)に向けた栄養教諭としての指導力・実践力を身に付ける。		
授業の到達目標	1. 栄養教諭の役割及び「食に関する指導」の目標・内容,学習評価を理解する 2.「食に関する指導」の学習指導案を作成し、情報機器・教材を効果的に活用した模擬授業を行う 3. 栄養教諭としての専門的な指導力・実践力を身に付ける		
授業計画			担当者
第1回	教育方法の基礎的理論		平野
第2回	主体的・対話的で深い学びを実現する「食に関する指導」		平野
第3回	「食に関する指導」の全体計画、学習評価		平野
第4回	「食に関する指導」と子ども・教師・教材		平野
第5回	「食に関する指導」の授業技術、情報機器の効果的な活用の仕方		平野
第6回	「食に関する指導」の学習指導案の作成		平野
第7回	「食に関する指導」の実践的展開1(情報機器・教材を効果的に活用した模擬授業)		平野
第8回	「食に関する指導」の実践的展開2(模擬授業についてのまとめ)		平野
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・参考図書を読む ・学習指導案の計画・作成の準備 ・模擬授業の準備 		
課題に対するフィードバックの方法	必要に応じて個別に対応を行う。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応する。		
オフィスアワー	土曜日 16:10～16:25(講義室)		
テキスト	食に関する指導の手引きー第1次改訂版ー(平成22年3月、文部科学省) 小学校学習指導要領(平成29年3月公示 文部科学省) 中学校学習指導要領(平成29年3月公示 文部科学省)		
参考文献等	授業中に適宜配布		
成績評価基準	到達目標に掲げた項目を理解すること。		
成績評価の方法	受講態度(60%) 毎時間のレポート等の提出状況(40%)によって評価		
GPA基準			
備考			

科目名	生徒指導		
担当者	松元 理恵子		
授業形式	講義	科目ナンバー	57
配当年次	1	科目群	関連科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修:栄養教諭免許		
授業の概要	「子どもの生きる力を育てる」という観点より、一人ひとりの子どもが自分の持ち味、個性をいかせる生徒指導の教育的意義と課題について説明する。そして、豊かな自己実現をはかることを支援するために学校内外で組織的に生徒指導をすすめていける必要な知識と実践力について学ぶ。		
授業の到達目標	1.人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指した教育活動であると理解する2. 学習指導と同様に重要な教育活動であることを理解し、実践するための流れを説明できる3. 教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける		
授業計画			担当者
第1回	生徒指導の意義と特質(生徒指導とは何かを学ぶ)		松元
第2回	学校内外の組織体制(校務分掌、チーム学校と運営及び関係法令を学ぶ)		松元
第3回	生徒指導の機能について(生徒指導の目標、集団指導及び個別指導を学ぶ)		松元
第4回	道徳教育・特別活動における生徒指導の意義と重要性(生活習慣の確立と規範意識)		松元
第5回	子どもの発達プロセス		松元
第6回	「いじめ」の理解と対応について		松元
第7回	特別な支援、配慮が必要な児童へのかかわりについて		松元
第8回	栄養教諭の生徒指導へのかかわりについて		松元
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	事前学習…次の授業でとりあげるテーマについて、授業で配布するレジュメをもとに予習をする 事後学習…レジュメを見ながら復習を行い、授業で配布した資料も参考にしながら自分なりにノートをまとめる		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した際に質問について受け付け、授業内でのフィードバック及び求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	火曜日・木曜日 12:05～12:55 研究室(西館305号室)		
テキスト	特になし		
参考文献等	『はじめて学ぶ生徒指導・進路指導』 広岡義之編 ミネルヴァ書房 2016年 2,200円(税抜) (ISBN 9784623075607)		
成績評価基準	生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養について理解すること。		
成績評価の方法	定期試験(70%)、講義で出した課題(レポート等)の提出状況(30%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考			

2 年 次

專 門 科 目

食 物 栄 養 学 専 攻

科目名	公衆衛生学Ⅱ		
担当者	郡山 千早		
授業形式	講義	科目ナンバー	101
配当年次	2	科目群	専門科目 [社会生活と健康]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	公衆衛生学は、人々の健康の保持、増進と疾病や障害を予防し、健康な状態で生活できることに貢献する学問である。そのためには、国民の生活、健康状況の様々な実態把握が必要不可欠である。公衆衛生学Ⅱでは、実態把握に必要な知識やそれに基づく社会保障や医療制度についても理解することを目標に講義を行う。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会生活において健康増進の大切さを理解する 2. 現代社会の実態や問題点を理解する 3. 健康増進への取組みが行われている組織・活動を理解する 		
授業計画			担当者
第1回	保健統計の概要、人口静態統計、人口動態統計		郡山
第2回	生命表、疾病統計		郡山
第3回	疫学概念、疫学の指標とバイアス		郡山
第4回	疫学 研究デザイン；記述疫学、分析疫学、介入研究		郡山
第5回	疫学 スクリーニング、根拠に基づく医療		郡山
第6回	疫学研究と倫理		郡山
第7回	社会保障と行政		郡山
第8回	医療制度		郡山
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	配布資料を事前に読んでおくこと 授業最後に課題を提示するので調べること		
課題に対するフィードバックの方法	授業内で解説する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する		
オフィスアワー	金曜日 16：10～16：20（講義室）		
テキスト	テキストは指定しません 必要に応じてプリントを配布します		
参考文献等	『国民衛生の動向』 厚生労働統計協会 2019年		
成績評価基準	試験及びレポート等で、社会生活における健康増進や現代社会の実態や問題点を6割以上理解できたと確認できた場合を合格とする。		
成績評価の方法	定期試験（80％） レポート提出など（20％）		
GPA基準			
備考			

科目名	社会福祉概論		
担当者	谷川 知士		
授業形式	講義	科目ナンバー	102
配当年次	2	科目群	専門科目 [社会生活と健康]
開講期	後期	卒業の選択・必修	必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	<p>栄養士は食から健康を支援する大切な役割があり、超高齢社会においては福祉サービスとして重要な位置づけがされている。特に福祉施設における栄養士の重要性は増してきており、就職先としても病院関係だけでなく、保育所や認定こども園、障がい者支援施設での需要も高まっている。栄養士を目指す学生は社会福祉に関する各種の法律や制度を理解して、社会福祉に関する基礎知識を身に付け、福祉施設の役割や連携のあり方を学ぶ必要がある。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の歴史的背景と意義及び法体系について理解する 2. 社会保障制度の目的と原則について理解する 3. 社会福祉援助技術の目的と役割について理解する 4. 福祉施設における栄養士の役割や他職種との連携について理解する 		
授業計画		担当者	
第1回	社会福祉の意義と概念について学ぶ	谷川	
第2回	社会福祉の歴史と背景について学ぶ	谷川	
第3回	現代社会における社会福祉の制度と法体系について学ぶ	谷川	
第4回	貧困問題と生活保護について学ぶ	谷川	
第5回	高齢者福祉とサービス体制について学ぶ	谷川	
第6回	介護保険制度とサービス体系について学ぶ	谷川	
第7回	障がい児・者の福祉サービス体系について学ぶ	谷川	
第8回	障害者総合支援法の概要について学ぶ	谷川	
第9回	児童家庭福祉と少子化対策について学ぶ	谷川	
第10回	年金・医療保険制度について学ぶ	谷川	
第11回	精神保健福祉法と発達障害者支援法について学ぶ	谷川	
第12回	社会福祉援助技術における対人援助技術について学ぶ	谷川	
第13回	個別援助技術と集団援助技術について学ぶ	谷川	
第14回	社会福祉施設の職員と栄養士の連携及びチームワークについて学ぶ	谷川	
第15回	社会福祉の動向と今後の展望について考察する	谷川	
事前・事後学習	<p>教科書の指定されたページまでを熟読し、分からない用語は辞書等で調べておく 毎回の小まとめ用紙を半期（7回）終了後に持ち帰らせ、振り返りの時間を持たせ、最終日には全まとめを持ち帰らせて定期試験に臨む</p>		
課題に対するフィードバックの方法	<p>授業終了時に毎回提出する授業のまとめ用紙に課題等の回答を促し、次回の授業で回答する。</p>		
質問・相談方法	<p>授業中での質問時間を設定する。また気軽に質問し易いように、毎回提出する授業のまとめ用紙に質問事項を自由に記入させ、コメントを添えて次回の授業始めに返却する。</p>		
オフィスアワー	<p>第1・第3水曜日 14:40～17:55 谷川研究室（西館316号室）</p>		
テキスト	<p>『社会福祉』（新版）片山義弘編著 北大路書房 2018年 1,700円（税別） ISBN 978-4-7628-2837-9</p>		
参考文献等	<p>特になし</p>		
成績評価基準	<p>到達目標に掲げた項目を理解すること。</p>		
成績評価の方法	<p>授業への参加態度（30%）と期末試験（70%）で総合的に評価する。</p>		
GPA基準			
備考			

科目名	解剖生理学実験		
担当者	竹中 正巳		
授業形式	実験	科目ナンバー	103
配当年次	2	科目群	専門科目 [人体の構造と機能]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	自らの身体機能の計測等を通し、循環器系、感覚器系、骨格系、筋肉系、神経系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系の構造や機能についての理解を深める実験・実習を行う。人体の正常な構造と機能に関する知識を実験を通して体得する。		
授業の到達目標	1. 循環器、感覚器、骨格、筋肉、神経、呼吸器の理解 2. 構造と機能の関連に関する理解		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション		竹中
第2回	循環に関する実験Ⅰ（血圧とその調節、運動機能検査）		竹中
第3回	循環に関する実験Ⅱ（心電図、運動機能検査）		竹中
第4回	感覚に関する実験Ⅰ（味覚）		竹中
第5回	感覚に関する実験Ⅱ（錯視）		竹中
第6回	骨格に関する実習Ⅰ（人体構造の立体的位置関係の把握）		竹中
第7回	骨格に関する実習Ⅱ（人体構造の立体的位置関係の把握）		竹中
第8回	歯に関する実習Ⅰ（乳歯、永久歯の形態の観察）		竹中
第9回	歯に関する実習Ⅱ（永久歯列と無歯顎）		竹中
第10回	体温に関する実験（身体各部の温度、体温とその調節機構）		竹中
第11回	神経疲労に関する実験（フリッカー試験、疲労とは、視環境）		竹中
第12回	呼吸に関する実験（スパイロメーターを用いた実験、肺機能検査）		竹中
第13回	組織標本の観察		竹中
第14回			
第15回			
事前・事後学習	実験の手順を記したプリント、参考書をよく読んで実験に臨む 実験後は、得られたデータをもとに考察を深め、レポートを作成する		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、受講者の求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	木曜日 12:10~12:50 研究室（本館502号室）		
テキスト	テキストは特になし。実験の手順を記したプリントを配布する。		
参考文献等	『系統看護学講座1 解剖生理学』 坂井建雄・岡田隆夫 医学書院 2018年 3,800円（税抜き） （ISBN：978-4-260-03171-4）		
成績評価基準	到達目標を踏まえて、解剖生理学の概要が理解できたと確認できた場合、合格とする。		
成績評価の方法	実験ごとに提出するレポート（70%）、筆記試験（30%）		
GPA基準			
備考	※教育効果向上のため、2コマ（180分）×13回で実施する		

科目名	運動生理学		
担当者	大村 一光		
授業形式	講義	科目ナンバー	104
配当年次	2	科目群	専門科目 [人体の構造と機能]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	<p>身体のさまざまな生命現象のメカニズムを研究する学問に生理学があるが、なかでも運動・スポーツによって、身体の諸器官、機能がどのような働きを示し、それらがどのように変化するのかを明らかにする学問を運動生理学と呼ぶ。本講義では、ウォーキング、ジョギングなど身近な運動を通して運動による人体生理機序の理解をはかる。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体各種機能の理解を深める 2. 運動に伴う機能の変化を理解する 3. 指導現場への応用ができるようにする 		
授業計画			担当者
第1回	運動と身体組成(体脂肪率、除脂肪体重)		大村
第2回	運動と筋肉(骨格筋)		大村
第3回	運動とエネルギー(無酸素運動の定義と運動効果)		大村
第4回	運動とエネルギー(有酸素運動の定義と運動効果)		大村
第5回	運動と呼吸(最大酸素摂取量と運動による変化)		大村
第6回	運動と循環(運動による循環系への適応 スポーツ心臓と毛細血管)		大村
第7回	運動と神経(運動と技能の上達, 神経系の役割)		大村
第8回	運動と骨(骨粗しょう症, 運動の効果)		大村
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	<p>これまでの様々なボランティア活動等の整理を行う 現場での実習として2年間で2回の活動を行い、支援力の認識を行う</p>		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、必要に応じて個別に対応する		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーなどで対応する		
オフィスアワー	水曜日～金曜日 12:10～12:55 研究室(体育館101号室)		
テキスト	特になし(授業中に自作資料を配布する)		
参考文献等	特になし(関連する項目についてWEBなどを利用して学習すること)		
成績評価基準	人体各種機能の理解を深め、運動に伴う各機能の変化を理解できること		
成績評価の方法	定期試験(70%)、受講態度(30%)		
GPA基準			
備考			

科目名	病態生化学		
担当者	住澤 知之		
授業形式	講義	科目ナンバー	105
配当年次	2	科目群	専門科目 [人体の構造と機能]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	選択必修 (☆1単位) : 栄養士選択 必修 (☆1単位) : 栄養教諭		
授業の概要	体内での代謝異常、遺伝病、免疫の働きとその破たんによる疾患、種々ホルモンの働きによる恒常性の維持について、具体的な疾患と関連付けながら説明する。栄養士に必要な基礎知識として、疾患の成り立ち、病態、診断、治療の基本的な考え方をよく理解して、栄養士実力認定試験に備えるとともに、管理栄養士への動機づけとなることを望む。		
授業の到達目標	1. 疾病の成因・病態等について説明できる 2. 生体における恒常性維持の仕組みについて説明できる		
授業計画			担当者
第1回	血糖値の維持と糖尿病		住澤
第2回	脂質の代謝と脂質代謝異常症		住澤
第3回	アミノ酸の代謝とアミノ酸代謝異常症		住澤
第4回	ヌクレオチドの代謝と痛風、内分泌系		住澤
第5回	生活習慣病と遺伝的背景		住澤
第6回	生体防御のしくみと自己免疫疾患		住澤
第7回	血圧の調節と高血圧、腎疾患		住澤
第8回	肝機能の検査、血液検査、尿検査		住澤
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	関連する1年次に学んだ内容について復習を行っておく 栄養士実力認定試験で過去に出題された「人体の構造と機能」の領域の関連問題を見直して、それらが解けるようにしておく		
課題に対するフィードバックの方法	各回の授業の途中で行う問題について、その都度、個別ないしはグループごとに指導することにより、フィードバックを行う。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。		
オフィスアワー	火曜日 16:30~18:00 研究室 (本館501号室)		
テキスト	毎回プリントを配布するため、テキストは使用しない。		
参考文献等	『病気が見える』シリーズ 特に、『Vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第5版』 森野 勝太郎他多数監修 メディックメディア 2019年 3,400円 (税抜き) (ISBN978-4-89632-766-3) 『疾病と病態生理改訂第4版』 市田 公美、辻 勉、秋葉 聡編集 南江堂 2016年 6,200円 (税抜き) (ISBN978-4-524-40327-1) 『2019年版 栄養士実力認定試験過去問題集』 全国栄養士養成施設協会 編 建帛社		
成績評価基準	栄養士、特に病院で働く際に必要とされる基礎知識として、生体における恒常性の維持の仕組み及び疾患の成り立ち、病態等の基本的な考え方を理解し、栄養士実力認定試験への対応が十分にできたものは合格とする。		
成績評価の方法	期末試験(100%)のみで評価する。		
GPA基準			
備考	学内他学科・他専攻開放科目 受講者が3名に満たない場合には開講しない。また、栄養士実力認定試験の受験予定者に限る。 生化学等の基礎に基づくより発展的な内容であるため、「栄養生化学II」と「生化学実験A」の単位を修得していることが望ましい。		

科目名	生化学実験 A		
担当者	住澤 知之		
授業形式	実験	科目ナンバー	106
配当年次	2	科目群	専門科目 [人体の構造と機能]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	選択必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	<p>「生化学実験A」では、「給食管理実習Ⅲ」において病院を希望しているもの、就職先に病院（給食受託会社を含む）を考えているもの、将来管理栄養士資格まで取得したいと考えているもの、4年制の管理栄養士養成課程の大学等への編入を考えているものを対象として考えている。そこで、実験を通して1年次の「栄養生化学Ⅰ」、「栄養生化学Ⅱ」及び「栄養学総論」で学んだことの再確認をさせるとともに、実験結果の臨床的考察を通して1年次の栄養生化学の理解を深めさせ、後期の「病態生化学」への橋渡しをする。</p>		
授業の到達目標	<p>1. 1年次に学んだことを、実験を通して確認、理解できる 2. 実験の結果を科学的に解釈し、考察できる</p>		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション及び濃度、検量線と次回の実験についての説明		住澤
第2回	糖質に関する実験(1)： 血糖（グルコース）の定量とその臨床的意義		住澤
第3回	糖質に関する実験(2)： 還元糖の定量とデンプンの検出による糖質の構造の理解		住澤
第4回	タンパク質の検出と定量(1)： アミノ酸及びタンパク質の紫外線吸収スペクトル		住澤
第5回	タンパク質の検出と定量(2)： Lowry法によるタンパク質の定量		住澤
第6回	透析とは？(1)： 透析によるタンパク質溶液からのグルコースの分離		住澤
第7回	透析とは？(2)： 透析の臨床的意義と腎機能について		住澤
第8回	酵素に関する実験(1)： 消化酵素の基質特異性		住澤
第9回	酵素に関する実験(2)： 消化酵素のpH依存性		住澤
第10回	核酸に関する実験(1)： コメからのDNAの抽出		住澤
第11回	核酸に関する実験(2)： DNAの定量と純度検定及びPCR法による増幅		住澤
第12回	核酸に関する実験(3)： DNAの電気泳動		住澤
第13回	核酸に関する実験(4)： 犯人は誰だ？科捜研の女ごっこ(制限酵素とは)		住澤
第14回	脂質に関する実験(1)： 飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸の性質		住澤
第15回	脂質に関する実験(2)： コレステロールの定量とその臨床的意義		住澤
事前・事後学習	<p>次回の実験の説明を基に、関連する1年次に学んだ内容について復習を行っておく 毎授業後にはレポートを作成し、提出すること その際に不明な点や理解が不十分な点について調べること</p>		
課題に対するフィードバックの方法	レポート作成時に、質問があれば個別に指導を行うほか、レポート返却時に、授業内で全体に対して、レポートの講評と要点の解説を行う。		
質問・相談方法	実験中や実験終了時に対応するほか、オフィスアワー等に対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。		
オフィスアワー	火曜日 16:30～18:00 研究室（本館501号室）		
テキスト	毎回プリントを配布するため、テキストは使用しない。		
参考文献等	<p>『はじめてみよう生化学実験』 山本 克博 編著 三共出版 2010年 2,200円（税抜き） (ISBN978-4782705551) 『栄養生理学・生化学実験(栄養科学シリーズNEXT)』 加藤秀夫・木戸康博・桑波田雅士／編 講談社サイエンティフィック 2012年 2,800円（税抜き） (ISBN978-4-06-155349-1) 『イラスト 栄養生化学実験』 相原 英孝、竹中 晃子、田村 明、長谷川 昇 著 東京教学社 2019年 1,800円（税抜き） (ISBN978-4808260194) 『管理栄養士のための栄養生化学実験ハンドブック』 岡本光弘 編 帝塚山大学出版会 2013年 1,500円（税抜き） (ISBN978-4925247207)</p>		
成績評価基準	各回の実験の目的に沿って結果を解釈し、それが1年次に学んだこととどのように関連していたのかを理解して考察できたものは合格とする。		
成績評価の方法	実験レポートの提出状況及び内容（60%） すべての実験終了後に実施する、行った実験内容の理解度を問う期末試験（40%）		
GPA基準			
備考	<p>受講者が10名に満たない場合には開講しない。 「栄養生化学Ⅰ」、「栄養生化学Ⅱ」及び「栄養学総論」の単位を修得していることが望ましい。</p>		

科目名	生化学実験B		
担当者	住澤 知之		
授業形式	実験	科目ナンバー	107
配当年次	2	科目群	専門科目 [人体の構造と機能]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	選択必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	「生化学実験B」では、就職先として病院（給食委託会社を含む）を考えていないものを対象として考えている。そこで、実験を通して1年次の「栄養生化学Ⅰ」で学んだ単糖類、デンプン、アミノ酸、脂肪酸の性質や特徴、「栄養学総論」で学んだ三大栄養素の消化についての理解を深めさせ、栄養士として必要な基礎知識を身に付けさせる。		
授業の到達目標	1. 1年次に学んだことを、実験を通して確認、理解できる 2. 実験の結果を科学的に解釈し、考察できる		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション及び濃度と次回の実験についての説明		住澤
第2回	糖質に関する実験(1)： 酵素の基質特異性を用いたグルコースの検出		住澤
第3回	糖質に関する実験(2)： 糖の還元性を利用した糖質の検出		住澤
第4回	糖質の消化： ヨウ素反応によるデンプンの検出と唾液アミラーゼによるデンプンの加水分解		住澤
第5回	タンパク質とアミノ酸： アミノ酸及びタンパク質の紫外線吸収による検出		住澤
第6回	タンパク質の消化： トリプシンによるカゼインの加水分解		住澤
第7回	密室の謎を解け！(1)： Lowry法によるタンパク質の検出及び透析についての説明と次回準備		住澤
第8回	密室の謎を解け！(2)： 透析後のタンパク質、デンプン、還元糖、アミノ酸の検出		住澤
第9回	タンパク質、デンプンの消化と透析： タンパク質、デンプン、還元糖、アミノ酸の検出		住澤
第10回	脂質に関する実験： 飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸の性質		住澤
第11回	核酸に関する実験(1)： バナナからのDNAの抽出とその定量及び純度検定		住澤
第12回	核酸に関する実験(2)： DNAのPCR法による増幅と電気泳動		住澤
第13回	核酸に関する実験(3)： 犯人は誰だ？科捜研の女ごっこ(制限酵素とは)		住澤
第14回	消化酵素の基質特異性： トリプシンと唾液アミラーゼによるタンパク質の消化		住澤
第15回	消化酵素のpH依存性： トリプシンとペプシンによるタンパク質の消化		住澤
事前・事後学習	次回の実験の説明を基に、関連する1年次に学んだ内容について復習を行っておく 毎授業後にはレポートを作成し、提出すること その際に不明な点や理解が不十分な点について調べる		
課題に対するフィードバックの方法	レポート作成時に、質問があれば個別に指導を行うほか、レポート返却時に、授業内で全体に対して、レポートの講評と要点の解説を行う。		
質問・相談方法	実験中や実験終了時に対応するほか、オフィスアワー等に対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。		
オフィスアワー	火曜日 16:30～18:00 研究室(本館501号室)		
テキスト	毎回プリントを配布するため、テキストは使用しない。		
参考文献等	『はじめてみよう生化学実験』 山本 克博 編著 三共出版 2010年 2,200円(税抜き) (ISBN978-4782705551) 『栄養生理学・生化学実験(栄養科学シリーズNEXT)』 加藤秀夫・木戸康博・桑波田雅士/編 講談社サイエンティフィック 2012年 2,800円(税抜き) (ISBN978-4-06-155349-1) 『イラスト 栄養生化学実験』 相原 英孝、竹中 晃子、田村 明、長谷川 昇 著 東京化学社 2019年 1,800円(税抜き) (ISBN978-4808260194)		
成績評価基準	各回の実験の目的に沿って結果を解釈し、それが1年次に学んだこととどのように関連していたのかを理解して考察できたものは合格とする。		
成績評価の方法	実験レポートの提出状況及び内容(60%) すべての実験終了後に実施する、行った実験内容の理解度を問う期末試験(40%)		
GPA基準			
備考	受講者が10名に満たない場合には開講しない。 「栄養生化学Ⅰ」と「栄養学総論」の単位を修得し、「栄養生化学Ⅱ」を履修していることが望ましい。		

科目名	臨床栄養学各論		
担当者	寺師 睦美		
授業形式	講義	科目ナンバー	108
配当年次	2	科目群	専門科目 [栄養と健康]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	傷病者の病態や栄養状態について、その特徴と関連、適切な栄養管理や疾病発症予防の考え方を講義する。チーム医療における治療の基本的知識や手法、疾病の再発や重症化予防に繋がる栄養管理の方法を説明する。		
授業の到達目標	1. 各疾患の定義、病因や症状、治療、栄養食事療法の考え方を理解する。 2. 臨床の基本的な専門用語や治療の実際を学び、理解できるようになる。		
授業計画		担当者	
第1回	臨床栄養学の基礎	寺師	
第2回	傷病者の栄養アセスメント、栄養補給法	寺師	
第3回	生活習慣病概説(肥満、メタボリックシンドローム)	寺師	
第4回	代謝性疾患の栄養療法Ⅰ(糖尿病、脂質異常症)	寺師	
第5回	代謝性疾患の栄養療法Ⅱ(高尿酸血症、痛風、内分泌疾患)	寺師	
第6回	消化器疾患の栄養療法Ⅰ(食道逆流症、消化性潰瘍)	寺師	
第7回	消化器疾患の栄養療法Ⅱ(炎症性腸疾患、下痢、便秘)、小テスト	寺師	
第8回	腎・尿路疾患の栄養療法Ⅰ(糸球体腎炎、ネフローゼ症候群)	寺師	
第9回	腎・尿路疾患の栄養療法Ⅱ(慢性腎臓病、腎不全、人口透析)	寺師	
第10回	循環器疾患の栄養療法(高血圧症、動脈硬化、脳卒中)	寺師	
第11回	血液系疾患、歯・筋骨格疾患の栄養療法	寺師	
第12回	がん、呼吸器疾患の栄養療法	寺師	
第13回	術前・術後の栄養管理、クリティカルケアの栄養療法	寺師	
第14回	栄養障害、摂食障害の栄養療法	寺師	
第15回	総括、課題発表	寺師	
事前・事後学習	解剖生理学や関連科目を復習する 臨床栄養学実習と関連付けてまとめる		
課題に対するフィードバックの方法	講義内で課題のポイントを説明する。 個別に対応する。		
質問・相談方法	講義・実習の後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	金曜日 14:40~16:10 研究室(西館313号室)		
テキスト	『Visual栄養学テキストシリーズ 臨床栄養学Ⅱ各論』 津田謹輔、伏木 亨、本田佳子 監修 中山書店 2016年 2700円(税抜き) (ISBN:978-4-521-74283-0)		
参考文献等	『エッセンシャル臨床栄養学第8版』 佐藤和人・本間健・小松龍史編 医歯薬出版株式会社 2016年 3700円(税抜き) (ISBN 978-4-263-70671-8) 『糖尿病食事療法のための食品交換表』 日本糖尿病協会編著 文光堂 2013年 900円(税抜き) (ISBN 978-4-8306-6046-7)		
成績評価基準	各疾患の病態の特徴や治療方法、基本的な栄養管理の考え方、臨床の専門用語を理解できる。治療に応じた栄養管理や生活習慣との関連について、説明できる。		
成績評価の方法	課題レポート(10%)、小テスト(10%)、定期試験60分(80%)で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考			

科目名	臨床栄養学実習		
担当者	寺師 睦美		
授業形式	実習	科目ナンバー	109
配当年次	2	科目群	専門科目 [栄養と健康]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	各疾患の病態や栄養状態に対応する治療食を提供するために必要な食事計画を立て、献立作成と調理方法の実践的な知識と技術を習得することを目的とする。実習前に実習方法を説明し、結果の検討・考察・評価、レポート作成など栄養管理を行う方法を講義する。		
授業の到達目標	1. 各疾患の治療食の基本的な考え方、献立作成と調理方法を理解する。 2. 各疾患に応じた治療食を調理し、比較・評価することができるようになる。		
授業計画		担当者	
第1回	臨床栄養学実習の基礎(食事計画の作成：常食)	寺師	
第2回	常食(食事計画作成)	寺師	
第3回	易消化食(栄養管理の基本、食事計画作成)	寺師	
第4回	易消化食(実習：適切な食品選択と調理法の理解)	寺師	
第5回	エネルギーコントロール食(栄養管理の基本、糖尿病食品交換表の理解)	寺師	
第6回	エネルギーコントロール食(糖尿病食品交換表を用いた食事計画作成)	寺師	
第7回	エネルギーコントロール食(実習：適切な食品の選択と調理法の理解)	寺師	
第8回	食塩制限食(栄養管理の基本、食事計画作成)	寺師	
第9回	食塩制限食(実習：適切な食品の選択と調理法の理解)	寺師	
第10回	たんぱく質コントロール食(栄養管理の基本、腎臓病食品交換表)	寺師	
第11回	たんぱく質コントロール食(実習：適切な食品の選択と調理法の理解)	寺師	
第12回	脂質コントロール食(栄養管理の基本、食事計画作成)	寺師	
第13回	脂質コントロール食(実習：適切な食品の選択と調理法の理解)	寺師	
第14回	口腔障害・摂食・嚥下障害食(栄養管理の基本)	寺師	
第15回	総括	寺師	
事前・事後学習	授業範囲を予習する。グループで課題に取り組む 実習内容をまとめて、レポートを作成する		
課題に対するフィードバックの方法	講義内で課題のポイントを説明する。 個別に対応する。		
質問・相談方法	講義・実習の後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	金曜日 14：40～16：10 研究室(西館313号室)		
テキスト	『臨床栄養学実習書』 玉川和子他編著 医歯薬出版株式会社 2015年 2700円(税抜き) (ISBN 978-4-263-70640-4) 『糖尿病食事療法のための食品交換表』 日本糖尿病協会 文光堂 2013年 900円(税抜き) (ISBN 978-4-8306-6046-7) 『腎臓病食品交換表』 黒川清監修 医歯薬出版株式会社 2016年 1500円(税抜き) (ISBN 978-4-263-70674-9)		
参考文献等	『一品料理500選治療食への展開』 宗像伸子編著 医歯薬出版株式会社 2016年 5800円(税抜き) (ISBN 978-4-263-70650-3) 『食品成分表』 香川芳子監修 女子栄養大学出版部 2019年 1400円(税抜き) (ISBN 978-4-7895-1019-6)		
成績評価基準	各疾患に応じた基本的な栄養管理の考え方と、献立作成や調理方法を理解できること。 課題やレポート作成から、学外実習に関連した実践的な手法を習得できること。		
成績評価の方法	レポート作成(40%)、献立作成(10%)、定期試験60分(50%)で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考			

科目名	栄養指導実習Ⅰ		
担当者	改元 香		
授業形式	実習	科目ナンバー	110
配当年次	2	科目群	専門科目 [栄養の指導]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	栄養指導論Ⅰ・Ⅱで得られた知識や技術を土台にして、健康・栄養状態、食行動、食習慣の評価・判定に基づき、栄養教育および栄養指導の指導案を作成し、教育することを実習する。		
授業の到達目標	1. 個人の栄養状態、健康状態を把握することができる 2. 栄養アセスメントを実施できる 3. 指導案を作成し、栄養教育・指導を実施できる		
授業計画		担当者	
第1回	栄養教育・栄養指導の基礎知識（食事摂取基準）	改元	
第2回	栄養教育・栄養指導の基礎知識（食品構成表の作成）	改元	
第3回	栄養教育・栄養指導の基礎知識（献立作成の基本）	改元	
第4回	栄養教育・栄養指導の基礎知識（献立作成ソフトの使い方）	改元	
第5回	実態把握の方法（栄養・食事調査、生活調査）	改元	
第6回	実態把握の方法（嗜好調査・残食調査、統計処理）	改元	
第7回	実態把握の方法（身体活動状況調査）	改元	
第8回	栄養教育指導案および指導媒体の作成	改元	
第9回	医学的検査法（SOAPの書き方）	改元	
第10回	食品交換表を利用した栄養指導、献立作成	改元	
第11回	献立作成ソフトを利用した献立作成と展開	改元	
第12回	個人および集団を対象とした栄養教育、カウンセリング	改元	
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	栄養指導論Ⅰ・Ⅱで習得した関連項目をテキストなどで確認し、実習に備える 実習で返却、演習したプリントを確実に理解する		
課題に対するフィードバックの方法	課題（定期試験を含む）を課した場合は、評価に対する改善点を個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後、およびオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	金曜日 13:00~14:00 研究室（本館 504号室）		
テキスト	『イラスト栄養教育・栄養指導論 第5版』 城田 知子他 東京教学社 2019年 2,200円(税抜) (ISBN978-4-8082-6063-7) 『日本人の食事摂取基準（2015年版）』 菱田明・佐々木敏監修 第一出版株式会社 2014年 2,700円(税抜) (ISBN978-4-8041-1312-8) 『糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版』 一般社団法人日本糖尿病学会編著 株式会社文光堂 2013年 900円(税抜) (ISBN978-4-8306-6046-7) 『腎臓病食品交換表 第9版-治療食の基準-』 黒川清監修 医歯薬出版株式会社 2016年 1,500円(税抜) (ISBN978-4-263-70674-9)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	対象者の実態把握から問題点を抽出し、栄養指導の指導案を作成し、それに沿った栄養指導を実施できたものは合格とする。		
成績評価の方法	定期試験の成績（50%）、実習取組状況（50%）で成績を評価する。		
GPA基準			
備考	※教育効果向上のため、2コマ（180分）×12回で実施する		

科目名	栄養指導実習Ⅱ		
担当者	改元 香		
授業形式	実習	科目ナンバー	111
配当年次	2	科目群	専門科目 [栄養の指導]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	栄養指導論Ⅰ・Ⅱおよび栄養指導実習Ⅰで得た知識や技術を土台にして、具体的な対象者に対する栄養アセスメントを実施し、指導する方法を学ぶ。また、食行動の変容に導く理論と技術について実習する。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者に対して計画的に問題を解決することができる 2. 対象者に応じた栄養教育を媒体を使用して実施することができる 3. 行動変容の評価ができ、改善点を見出すことができる 		
授業計画		担当者	
第1回	栄養教育法（プレゼンテーションのための指導案作成）	改元	
第2回	栄養教育法（プレゼンテーションのための媒体作成）	改元	
第3回	栄養教育法（プレゼンテーションの実施）	改元	
第4回	個人を対象とした栄養教育（肥満）	改元	
第5回	個人を対象とした栄養教育（糖尿病）	改元	
第6回	個人を対象とした栄養教育（腎臓病）	改元	
第7回	集団を対象とした栄養教育（指導案作成）	改元	
第8回	集団を対象とした栄養教育（指導媒体作成）	改元	
第9回	カウンセリングの栄養教育への応用	改元	
第10回	ロールプレイによるカウンセリング実習	改元	
第11回	症例別栄養指導（症例に基づいた評価）	改元	
第12回	症例別栄養指導（症例に基づいた判定）	改元	
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	栄養指導論Ⅰ・Ⅱで習得した関連項目をテキストなどで確認し、実習に備える 実習で返却、演習したプリントを確実に理解する		
課題に対するフィードバックの方法	課題（定期試験を含む）を課した場合は、評価に対する改善点を個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後、およびオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	金曜日 13:00～14:00 研究室（本館 504号室）		
テキスト	『イラスト栄養教育・栄養指導論 第5版』 城田 知子他 東京教学社 2019年 2,200円(税抜) (ISBN978-4-8082-6063-7) 『日本人の食事摂取基準（2015年版）』 菱田明・佐々木敏監修 第一出版株式会社 2014年 2,700円(税抜) (ISBN978-4-8041-1312-8) 『糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版』 一般社団法人日本糖尿病学会編著 株式会社文光堂 2013年 900円(税抜) (ISBN978-4-8306-6046-7) 『腎臓病食品交換表 第9版-治療食の基準-』 黒川清監修 医歯薬出版株式会社 2016年 1,500円(税抜) (ISBN978-4-263-70674-9)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	栄養カウンセリングの技法を取り入れた個人指導、および指導媒体を使用した集団指導を実施することができたものを合格とする。		
成績評価の方法	定期試験（レポート）の評価（50%）、実習取組状況（50%）で成績を評価する。		
GPA基準			
備考	※教育効果向上のため、2コマ（180分）×12回で実施する		

科目名	給食実務演習Ⅰ		
担当者	千葉 しのぶ		
授業形式	演習	科目ナンバー	112
配当年次	2	科目群	専門科目 [給食の運営]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	給食運営の計画から実施に至るまでをP D C Aサイクルを辿りながら、研究的、積極的かつ円滑に評価出来るよう指導する。また衛生管理報告会を通し衛生管理の重要性を認識し実践に生かせるよう実施する。		
授業の到達目標	1. 給食管理における運営に関するP D C Aサイクルを理解し、適切な評価・改善ができる 2. 衛生管理の重要性を認識し実践できる 3. 給食運営における栄養教育の計画ができる		
授業計画		担当者	
第1回	献立計画	千葉	
第2回	試作計画・準備	千葉	
第3回	実施献立表の評価 衛生管理報告会	千葉	
第4回	衛生管理計画 衛生管理報告会	千葉	
第5回	衛生管理計画の評価 衛生管理報告会	千葉	
第6回	食材料管理	千葉	
第7回	食材料管理の評価	千葉	
第8回	生産管理計画	千葉	
第9回	生産管理計画の評価 衛生管理報告会	千葉	
第10回	会計・労務計画の評価	千葉	
第11回	帳票等事務管理	千葉	
第12回	栄養教育（食教育パネル作成・一言アドバイス作成） 衛生管理報告会	千葉	
第13回	栄養教育（献立説明原稿作成） 衛生管理報告会	千葉	
第14回	実習後報告会の運営計画	千葉	
第15回	実施後報告会の実施・評価	千葉	
事前・事後学習	事前に課題に取り組む（施策計画、衛生管理計画等） 給食管理実習Ⅰの記録の記入		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合求めに応じ個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	木曜日 10：00～12：00 研究室（南館104号室）		
テキスト	『大量調理～品質管理と調理の実際～』 殿塚婦美子 学建書院 2016年 2700円（税抜き）（I S B N：978-4-7624-1872-3）		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	給食管理における運営に関するP D C Aサイクルおよび衛生管理の重要性を認識し実践できること。給食運営における栄養教育の計画ができること。		
成績評価の方法	定期試験（100%）		
GPA基準			
備考			

科目名	給食実務演習 II		
担当者	千葉 しのぶ		
授業形式	演習	科目ナンバー	113
配当年次	2	科目群	専門科目 [給食の運営]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	複数
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	給食運営の計画から実施に至るまでをP D C Aサイクルを辿りながら、研究的、積極的かつ円滑に評価出来るよう指導する。また衛生管理報告会を通し衛生管理の重要性を認識し実践に生かせるよう実施する。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各特定給食施設の給食管理における運営に関するP D C Aサイクルを理解し、適切な評価・改善ができる。 2. 衛生管理の重要性を認識し実践でできる。 3. 各特定給食施設の給食運営における栄養教育の計画・改善・評価ができる。 		
授業計画		担当者	
第1回	献立計画	千葉	
第2回	試作計画・準備	千葉	
第3回	実施献立表の評価	千葉	
第4回	衛生管理計画	千葉	
第5回	衛生管理計画の評価	千葉	
第6回	食材料管理	千葉	
第7回	食材料管理の評価	千葉	
第8回	生産管理計画	千葉	
第9回	生産管理計画の評価	千葉	
第10回	会計・労務計画の評価	千葉	
第11回	帳票等事務管理	千葉	
第12回	栄養教育（食教育パネル作成・一言アドバイス作成）	千葉	
第13回	栄養教育（献立説明原稿作成）	千葉	
第14回	実習後報告会の運営計画	千葉	
第15回	実施後報告会の実施・評価	千葉	
事前・事後学習	<p>事前に課題に取り組む（施策計画、衛生管理計画等） 実習記録の記入・作成の実施</p>		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合求めに応じ個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	木曜日 10:00~12:00 研究室（南館104号室）		
テキスト	『大量調理～品質管理と調理の実際～』 殿塚婦美子 学建書院 2016年 2700円（税抜き）（I S B N : 978-4-7624-1872-3）		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	各特定給食施設の給食管理における運営に関するP D C Aサイクルおよび衛生管理の重要性を認識し実践できること。 各特定給食施設の給食運営における栄養教育の計画・実践ができること。		
成績評価の方法	定期試験（100%）		
GPA基準			
備考			

科目名	給食管理実習Ⅰ		
担当者	千葉 しのぶ		
授業形式	実習	科目ナンバー	114
配当年次	2	科目群	専門科目〔給食の運営〕
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	学生を対象とした給食の提供（大量調理）を行い、給食運営の計画策定・実践・評価方法・大量調理技術を習得し、特定給食施設の栄養士業務を習得させることを目的とする。18～29歳の女性、身体活動レベルⅡを対象とした献立作成、試作、食材料管理、作業管理、衛生管理、大量調理実習、評価活動などを班活動で実施させる。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 給食の栄養計画・献立作成・調理計画・衛生管理計画を作成できる 2. 大量調理の方法、衛生管理の実際等について理解し食事サービスや喫食時の栄養教育を実践し評価ができる。 3. 食材料管理、労務管理、会計管理の給食管理の実際について理解できる。 		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション（実習の概要・衛生管理等）	千葉	
第2回	献立作成	千葉	
第3回	試作・検討	千葉	
第4回	食材料管理、作業管理	千葉	
第5回	衛生管理実習	千葉	
第6回	実習ミーティング（工程・衛生管理等）	千葉	
第7回	大量調理実習	千葉	
第8回	実習反省会・帳票整理	千葉	
第9回	献立作成	千葉	
第10回	試作・検討	千葉	
第11回	食材料管理、作業管理	千葉	
第12回	衛生管理実習	千葉	
第13回	実習ミーティング（工程・衛生管理等）	千葉	
第14回	大量調理実習	千葉	
第15回	実習反省会・帳票整理	千葉	
事前・事後学習	事前に課題（献立作成・作業役割表等作成）に取り組む 実習記録の記入・作成		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合は求めに応じ個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	木曜日 10：00～12：00 研究室（南館104号室）		
テキスト	『大量調理～品質管理と調理の実際～』 殿塚婦美子 学建書院 2016年 2700円（税抜き）（ISBN：978-4-7624-1872-3）		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	2回の本番実習とそれに伴うミーティング・反省会は必ず出席する必要がある。給食の栄養計画・献立作成・調理計画・衛生管理計画を作成でき、大量調理の方法、衛生管理の実際等について理解し食事サービスや喫食時の栄養教育を実践し評価ができること、また食材料管理、労務管理、会計管理の給食管理の実際について理解できること。		
成績評価の方法	受講態度（50％）提出物（50％）		
GPA基準			
備考			

科目名	給食管理実習Ⅱ・Ⅲ指導		
担当者	寺師 睦美、改元 香、千葉 しのぶ		
授業形式	演習	科目ナンバー	115
配当年次	2	科目群	専門科目〔給食の運営〕
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	オムニバス
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	6月・8月に実施される給食管理実習Ⅱ・Ⅲを履修するに当たって、必要な知識・技能・態度を養う。何を学びたいか具体的な目的・目標を持ち、実習に当たっての抱負と課題を明確にする。また、実習施設での実習内容を予め把握し、予習や予備練習を行う場とする。具体的には、実習施設から提示された課題（献立作成、試作、食育指導案、教材作成等）について取り組む。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の意義・目的を理解し、相応しい態度で実習に臨む。 2. 献立作成能力、調理技術等基礎的な技能を身に付ける。 3. 実習の成果を今後の進路に生かすことができる。 		
授業計画			担当者
第1回	給食管理実習Ⅱ事前オリエンテーション（事前訪問等）	千葉	
第2回	実習の目的と内容（保育所）「抱負と課題」の作成	千葉	
第3回	実習の目的と内容（高齢者施設等）「抱負と課題」の作成	千葉	
第4回	実習の目的と内容（学校給食施設）「抱負と課題」の作成	千葉	
第5回	卒業生による各給食施設の栄養士の業務及び実習心得	千葉	
第6回	給食管理実習心得及び実習先の課題	千葉	
第7回	給食管理実習Ⅱ体験発表	千葉	
第8回	給食管理実習Ⅲの意義と目的、心得と注意点の説明	寺師	
第9回	実習関係書類の内容説明、「抱負と課題」作成指導	寺師	
第10回	実習先（病院）の特徴と栄養士業務の理解Ⅰ（献立作成）	寺師	
第11回	実習先（病院）の特徴と栄養士業務の理解Ⅱ（栄養指導）	改元	
第12回	施設別課題演習Ⅰ（献立作成）	寺師	
第13回	施設別課題演習Ⅱ（栄養指導作成）	改元	
第14回	施設別課題演習Ⅲ（資料作成）	改元	
第15回	総括	千葉・寺師・改元	
事前・事後学習	実習施設の概要や特徴を調べる。実習施設の課題に取り組む 実習内容をまとめて、学外実習交流会にて1年生を指導する		
課題に対するフィードバックの方法	ユニバを活用する。 課題の質問事項や改善点は、個別に対応する。		
質問・相談方法	講義の後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	寺師：月曜日 17：00～18：00 研究室（西館313号室） 改元：金曜日 13：00～15：00 研究室（本館504号室） 千葉：木曜日 10：00～12：00 研究室（南館104号室）		
テキスト	給食管理実習（学外）記録		
参考文献等	『大量調理～品質管理と調理の実際～』 殿塚婦美子 学建書院 2016年 2700円（税抜き）（ISBN：978-4-7624-1872-3） 『給食マネジメント実習』 齋藤貴美子 学建書院 2018年 2300円（税抜き）（ISBN：978-4-7624-3-858-5） 『糖尿病食事療法のための食品交換表』 日本糖尿病協会編著 文光堂 2013年 900円（税抜き）（ISBN：978-4-8306-6046-7） 『腎臓病食品交換表』 黒川清監修 医歯薬出版株式会社 2016年 1500円（税抜き）（ISBN：978-4-263-70674-9）		
成績評価基準	実習施設の概要を把握し、目的を理解し課題に取り組む。 実習内容をまとめて自己評価し、伝えることができる。		
成績評価の方法	課題提出状況（70%）、発表等（20%）、受講態度（10%）による総合評価		
GPA基準			
備考			

科目名	給食管理実習 II		
担当者	千葉 しのぶ		
授業形式	実習	科目ナンバー	116
配当年次	2	科目群	専門科目 [給食の運営]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	学外実習先で給食運営に必要な食事の計画や調理を含めた給食サービス提供の基本的業務を現職の栄養士のもと経験させ、栄養士として具備すべき知識・技能・態度および考え方を習得させる。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各特定給食施設の給食の運営について理解できる。 2. 各特定給食施設の栄養士の役割について理解できる。 3. 給食サービス提供に関する専門的スキルを身に付ける。 		
授業計画		担当者	
第1回	施設・業務の概要と特徴	実習先担当者	
第2回	給与栄養目標量の算定・食品構成表の作成	実習先担当者	
第3回	献立作成	実習先担当者	
第4回	残食調査の実施、喫食アンケート作成	実習先担当者	
第5回	残食調査報告・喫食アンケートの実施及び報告	実習先担当者	
第6回	施設設備管理	実習先担当者	
第7回	調理機器類の種類と保守管理、食器の選定	実習先担当者	
第8回	食材料管理	実習先担当者	
第9回	作業管理（食数管理・人員配置）	実習先担当者	
第10回	作業管理（料理業務）	実習先担当者	
第11回	作業管理（配膳・供与）	実習先担当者	
第12回	作業管理（食器洗浄等）	実習先担当者	
第13回	衛生管理・危機管理	実習先担当者	
第14回	事務管理	実習先担当者	
第15回	食に関する指導	実習先担当者	
事前・事後学習	<p>実習先に提出する「実習にあたっての抱負と課題」を作成する</p> <p>実習先の給食運営に関する情報を収集する。</p> <p>実習先から課された課題に取り組む。</p>		
課題に対するフィードバックの方法	課題等への個別の質問について対応する。		
質問・相談方法	オフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	木曜日 12:00～15:00 研究室（南館104号室）		
テキスト	給食管理実習（学外）記録		
参考文献等	『大量調理～品質管理と調理の実際～』 殿塚婦美子 学建書院 2016年 2700円（税抜き） (978-4-7624-1872-3)		
成績評価基準	各特定給食施設の給食、各特定給食施設の栄養士の役割、給食サービス提供に関する専門的スキルを身に付けること。		
成績評価の方法	学外実習先の評価（70%）実習記録（30%）		
GPA基準			
備考	COC関連 科目		

科目名	給食管理実習Ⅲ		
担当者	寺師 睦美・改元 香		
授業形式	実習	科目ナンバー	117
配当年次	2	科目群	専門科目〔給食の運営〕
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	複数
免許・資格情報	選択必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	<p>学外実習先で給食運営に必要な、食事の計画や調理を含めた給食サービス提供の基本的な業務を現職の栄養士のもとで経験し、栄養士として具備すべき知識、技能、態度および考え方を給食管理実習Ⅱを踏まえて、より実践的なスキルを学ぶために実習する。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各給食施設の給食について理解できる。 2. 各給食施設の栄養士の役割について理解できる。 3. 給食サービス提供に関する専門的スキルを身につける。 		
授業計画			担当者
第1回	施設、業務の概要と特徴		実務先担当者
第2回	給与栄養目標量の算定、食品構成表の作成		実務先担当者
第3回	献立作成		実務先担当者
第4回	残食調査の実施、喫食アンケート作成		実務先担当者
第5回	残食調査の実施、喫食アンケート実施および報告		実務先担当者
第6回	残食調査の実施、喫食アンケート実施および報告		実務先担当者
第7回	調理機器類の種類と保守管理、食器の選定		実務先担当者
第8回	食材料管理（発注、検収、保管）		実務先担当者
第9回	作業管理（食数管理、人数配置、事務管理）		実務先担当者
第10回	作業管理（調理業務）		実務先担当者
第11回	作業管理（配膳、供与）		実務先担当者
第12回	作業管理（食器洗浄）		実務先担当者
第13回	衛生管理、危機管理		実務先担当者
第14回	病態や栄養状態に対応する栄養管理		実務先担当者
第15回	食に関する指導		実務先担当者
事前・事後学習	<p>実習先施設の概要や特徴を調べ、課題に取り組む 「実習にあたっての抱負と課題」について考えをまとめる 実習内容を実習記録にまとめて提出する</p>		
課題に対するフィードバックの方法	Moodleを活用する。 個別に対応する。		
質問・相談方法	実習前後やオフィスアワー等に対応する。		
オフィスアワー	<p>寺師：金曜日 13：00～14：30 研究室（西館313号室） 改元：金曜日 13：00～15：00 研究室（本館504号室）</p>		
テキスト	給食管理実習（学外）記録		
参考文献等	<p>『Visual栄養学テキストシリーズ 臨床栄養学Ⅱ各論』 津田謹輔、伏木 亨、本田佳子 監修 中山書店 2016年 2700円（税抜き） ISBN：978-4-521-74283-0 『糖尿病食事療法のための食品交換表』 日本糖尿病協会編著 文光堂 2013年 900円（税抜き）（ISBN 978-4-8306-6046-7） 『腎臓病食品交換表』 黒川清監修 医歯薬出版株式会社 2016年 1500円（税抜き） （ISBN 978-4-263-70674-9）</p>		
成績評価基準	実習施設の概要を把握し、目的を理解し課題に取り組み、実習に臨むことができる。 栄養士業務について、実践的且つ専門的スキルを身につける。		
成績評価の方法	学外実習先の評価（60%）および実習記録等（40%）による総合評価		
GPA基準			
備考	COC関連 科目		

科目名	給食管理実習Ⅳ		
担当者	千葉 しのぶ		
授業形式	実習	科目ナンバー	118
配当年次	2	科目群	専門科目 [給食の運営]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	<p>学生を対象とした給食の提供（大量調理）の実施で給食運営の計画策定・実践・評価方法・大量調理技術を習得させ特定給食施設の栄養士業務を身に付けさせる事を目的とする。各特定給食施設での給食を想定した献立作成、試作、食材料管理、作業管理、衛生管理、大量調理実習、評価活動などを班活動で実施させる。</p>		
授業の到達目標	<p>1. 各特定給食施設の給食の栄養計画・献立作成・調理計画・衛生管理計画を作成できる。 2. 食材料管理、労務管理、会計管理の給食管理の実際について理解できる。 3. 各特定給食施設の給食運営における栄養教育について実践できる。</p>		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション（実習の概要・衛生管理等）	千葉	
第2回	献立作成	千葉	
第3回	試作・検討	千葉	
第4回	食材料管理、作業管理	千葉	
第5回	衛生管理実習	千葉	
第6回	実習ミーティング（工程・衛生管理等）	千葉	
第7回	大量調理実習	千葉	
第8回	実習反省会・帳票整理	千葉	
第9回	献立作成	千葉	
第10回	試作・検討	千葉	
第11回	食材料管理、作業管理	千葉	
第12回	衛生管理実習	千葉	
第13回	実習ミーティング（工程・衛生管理等）	千葉	
第14回	大量調理実習	千葉	
第15回	実習反省会・帳票整理	千葉	
事前・事後学習	事前に課題（献立作成・作業役割表等作成）に取り組む 実習記録の記入・作成		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合は求めに応じ個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	木曜日 10:00～12:00 研究室（南館104号室）		
テキスト	『大量調理～品質管理と調理の実際～』 殿塚婦美子 学建書院 2016年 2700円（税抜き） (978-4-7624-1872-3)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	2回の本番実習とそれに伴うミーティング・反省会は必ず出席する必要あり。各特定給食施設の給食の栄養計画・献立作成・調理計画・衛生管理計画を作成でき、大量調理の方法、衛生管理の実際等について理解し食事サービスや喫食時の栄養教育を実践し評価ができること、また食材料管理、労務管理、会計管理の給食管理の実際について理解できること。		
成績評価の方法	受講態度（50%）提出物（50%）		
GPA基準			
備考			

科目名	調理学実習 II		
担当者	山崎 歌織		
授業形式	実習	科目ナンバー	119
配当年次	2	科目群	専門科目 [給食の運営]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭・フードスペシャリスト		
授業の概要	健康増進を根底におき食材の栄養特性を知り、それをいかす調理技術を基礎から応用へ進めながら、合理的かつ安心安全で栄養学的に望ましい食事作りができる力を養うようにする。同時に、旬の食材や地域の特性をいかし、食文化について理解を深め、郷土料理や行事食を体験し日本の食文化を継承する意義について学ばせる。内容は、日本料理、西洋料理、中国料理を中心にそれぞれの料理様式の特徴を学ぶことで、様々な料理を組み合わせた献立作成の参考にさせる。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食材に関する基礎的知識を身につけ食品を扱うことができる 2. 調理学実習の心得を意識し、段取りを考えた調理ができる 3. 地域や旬の食材を活用した食事作りができる 		
授業計画			担当者
第1回	調理学実習の心得 基本的な調理操作理論の確認		山崎
第2回	日本料理の特徴と調理①（春の献立：鯉の炊き込み飯他）		山崎
第3回	日本料理の特徴と調理②（郷土料理：酒寿司他）		山崎
第4回	西洋料理の特徴と調理①（ポタージュ、衣揚げ他）		山崎
第5回	西洋料理の特徴と調理②（ハンバーグステーキ他）		山崎
第6回	日本料理の特徴と調理③（郷土料理：豚骨煮他）		山崎
第7回	中間まとめ（これまでの復習・確認）		山崎
第8回	中国料理の特徴と調理①（酸辣湯、ビーフン他）		山崎
第9回	中国料理の特徴と調理②（八宝菜、鶏粥他）		山崎
第10回	日本料理の特徴と調理④（行楽弁当）		山崎
第11回	日本料理の特徴と調理⑤（夏の献立：冷やし素麺他）		山崎
第12回	冷凍食品について 講演および講習会		山崎
第13回	実技試験		山崎
第14回			
第15回			
事前・事後学習	<p>毎時間の事前資料を基に、料理レシピをフローチャート化する</p> <p>毎時間ごとに学習した内容をレポートにまとめ提出する</p> <p>日々調理に携わり、技術の向上に努める</p>		
課題に対するフィードバックの方法	提出された課題やレポートに対し、評価基準に従い評価し早めに学生に返却する。質問事項がある場合は、個別に回答する。		
質問・相談方法	実習終了時やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	水曜日 15:00～17:00 研究室（西館308号室）		
テキスト	<p>『NEW調理と理論』 山崎清子ほか 同文書院 2011年 2,600円（税抜き）（ISBN：978-4-8103-1395-6）</p> <p>『食品成分表』 香川明夫監修 女子栄養大学出版社 2019年 1,400円（税抜き）（ISBN：978-4-7895-1018-9）</p> <p>その他、実習レシピは毎時間配布する。</p>		
参考文献等	<p>『調理学の基本』 中嶋加代子編著 同文書院 2019年</p> <p>『原色食品図鑑』 菅原、井上編集 建帛社 1974年 2,900円（税抜き）（ISBN：978-4-7679-6120-0）</p>		
成績評価基準	実習・課題レポートを全て提出し、調理学の知識や調理の段取りや要点を習得したと認められた者を合格とする。		
成績評価の方法	実習・課題レポート（65%） 受講態度（20%） 実技・定期試験（15%） 以上により到達目標を達成しているか総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	※教育効果向上のため、2コマ（180分）×13回で実施する		

科目名	調理学実習Ⅲ		
担当者	今給黎 菊代		
授業形式	実習	科目ナンバー	120
配当年次	2	科目群	専門科目 [給食の運営]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養士・栄養教諭		
授業の概要	食はいのちに繋がるものである考えを基本とし、調理を科学的、文化的に捉える。また、楽しい食卓作りのために伝統的な日本料理、郷土料理の価値を再認識し、異なる国の食文化の様式、マナー等を理解して総合的に調理を行う。そして、最終的には現場において、栄養士が行う調理の専門性を発揮し幅広い料理の提供ができる栄養士として、社会で充分通用するスキルを身に着けることを目的とする。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食材に関する基礎的知識を身につけ食品を扱うことができる 2. 調理の基本動作と技術、実習の心得を身につける 3. 日本料理を中心に異なる国の食文化や調理法を理解し調理する 		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション（実習の心得）		今給黎
第2回	日本料理(お盆料理：かいのこ汁、がね 他)		今給黎
第3回	西洋料理(鯖の洋風煮、グリーンサラダ、ヴィシソワーズ 他)		今給黎
第4回	日本料理(秋の献立：銀杏入り菊飯、鮭の香り焼き、吹き寄せ煮 他)		今給黎
第5回	中国料理 (? 嚙肉、炸春捲、涼拌蕃子 他)		今給黎
第6回	日本料理(行楽弁当：秋刀魚の柚子庵焼、秋野菜の炊き合わせ 他)		今給黎
第7回	西洋料理 (豚肉とトマトの重ね焼き、南瓜のクリーム煮、ジュリアンスープ 他)		今給黎
第8回	西洋料理(クリスマスメニュー：鶏肉のココナッツミルク煮、ロワイヤルスープ 他)		今給黎
第9回	日本料理(正月献立：鶏肉の炊焼、錦玉子、菊花蕪、雑煮 他)		今給黎
第10回	西洋料理 (白身魚のマヨネーズグラタン、パンプキンサラダ 他)		今給黎
第11回	中国料理(中華ちまき、棒棒鶏、炸釀茄子 他)		今給黎
第12回	日本料理 (桃の節句：押しずし、鯛の道明寺蒸し 他)		今給黎
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	事前にレシピをフローチャート化し手順、器具、食器等を想定する 各料理について考察しレポートにまとめ提出する ・日々調理に携わり、技術の向上に努める		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合は求めに応じ個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応する。		
オフィスアワー	木曜日 8:30~8:50 実習室 (南202号室) 金曜日 8:30~8:50 実習室 (南202号室)		
テキスト	『NEW調理と理論』 山崎・島田・渋川ほか 同文書院 2600円 (ISBN-13: 978-4810313956) 調理学実習レシピ (毎時間配布)		
参考文献等	『食品成分表』 香川芳子監修 女子栄養大学出版部 『調理のためのベーシックデータ』 松本伸子監修 女子栄養大学出版部		
成績評価基準	食材に関する基礎的な知識及び調理の基本動作と技術を習得し、評価において6割以上の得点を合格とする。		
成績評価の方法	受講態度 (40%) 実習・課題レポート (30%) 実技試験 (30%)		
GPA基準			
備考	※教育効果向上のため、2コマ (180分) ×12回で実施する		

科目名	食品評価・鑑別実験		
担当者	安達 真一		
授業形式	実験	科目ナンバー	121
配当年次	2	科目群	専門科目〔関連科目〕
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	選択：栄養士 必修：フードスペシャリスト		
授業の概要	現在、社会には多種多様な食品が溢れているが、品質や安全性を理解するためには、科学的、物理的、生物的に評価、鑑別する技術を持って対応することが必要である。本講では、食品学各論等で学んだ知識を、実験を通して体験させると共に、比較的簡易な鑑別法や高度な分析法によって、身近な食品の品質を評価する技術を実験によって習得させることを目的とする。		
授業の到達目標	1. 食品の品質評価技術について理解する 2. 食品成分と評価の関係について理解する		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション	安達	
第2回	食品中の有機酸の定量	安達	
第3回	食塩の定量	安達	
第4回	カルシウムの定量	安達	
第5回	液体試料中のビタミンCの定量	安達	
第6回	個体試料中のビタミンCの定量	安達	
第7回	灰分中のミネラル分離	安達	
第8回	鉄分の定量	安達	
第9回	還元糖の定量	安達	
第10回	グルテンの分離, マンニットの抽出	安達	
第11回	アミノカルボニル反応, 香気成分の合成	安達	
第12回	フラボノイド系色素, アントシアニン系色素の呈色反応	安達	
第13回	ポリフェノールの測定	安達	
第14回			
第15回			
事前・事後学習	実験書に目を通し、実験内容を理解し、必要な準備を行う。 実験に関連する課題と実験レポートを翌週の実験開始までに提出する。		
課題に対するフィードバックの方法	レポートや課題に対して、必要に応じて個別に対応を行う。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。		
オフィスアワー	月曜日、水曜日 13:00～14:30 研究室（本館503号室）		
テキスト	授業で配布する資料		
参考文献等	『食品学総論実験』 江角彰彦著 同文書院 2007年 2592円（税込み）（ISBN-10: 481031345X）		
成績評価基準	授業毎の実験を行い、その結果を適切にまとめることができたものは合格とする。		
成績評価の方法	受講態度（60%）、レポートの提出状況・内容（40%）で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考	*教育効果を向上させるため、1回の授業を2コマ（180分）で実施する。		

科目名	食品加工学実習		
担当者	安達 真一		
授業形式	実習	科目ナンバー	122
配当年次	2	科目群	専門科目 [関連科目]
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	選択必修(☆1単位)：栄養士 選択必修(☆1単位)：栄養教諭 必修：フードスペシャリスト		
授業の概要	食生活における加工食品の占める比率は、近年著しく増加している。また、食品の加工により、消費の拡大を促すことが期待されることから、地域活性化や商品開発の分野においても着目されている。本実習では食品学各論等の講義をふまえて、食品成分とその変化、食材の物性や栄養価、食品の保蔵性や安全性などを理解しながら加工技術を習得させ、広く食糧資源の確保と有効利用に役立てることを目標としている。		
授業の到達目標	加工品を実習毎に1～2種類製造する。		
授業計画		担当者	
第1回	概要説明、ふくれ菓子、キャベツのレモン漬け		安達
第2回	南瓜饅頭、大福		安達
第3回	味噌、木綿豆腐		安達
第4回	大学いも、いきなり団子		安達
第5回	あくまき、いこもち		安達
第6回	ミルクフレンチ、ピーナッツクリーム		安達
第7回	梅漬け、ラッキョウの甘酢漬け、黒糖羊羹		安達
第8回	昆布の佃煮、ところてん、しそ漬け込み		安達
第9回	手打ちうどん、豚味噌、石けん		安達
第10回	ソフトビスケット、ヨーグルト、マーマレード		安達
第11回	加工食品の試作・検討		安達
第12回	加工食品の作成・発表		安達
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	加工食品の開発に関する情報収集を行う。 実習に関連する課題と実習レポートを翌週の实習開始までに提出する。		
課題に対するフィードバックの方法	レポートや課題に対して、必要に応じて個別に対応を行う。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。		
オフィスアワー	火曜日 14:00～18:00 研究室(本館505号室)		
テキスト	授業で配布する資料		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	授業毎の加工品を製造し、課題レポートを提出したものは合格とする。		
成績評価の方法	受講態度(10%) レポート(60%) グループワーク(30%)で総合的に判定する。		
GPA基準			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・教育効果を向上させるため、1回の授業を2コマ(180分)で実施する。 ・加工原料は収穫時期が変動するものがあるため、予定表は実習開始日に配布する ・COC関連科目 		

科目名	食料経済		
担当者	田代 正一		
授業形式	講義	科目ナンバー	123
配当年次	2	科目群	専門科目 [関連科目]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	選択必修 (☆1単位) : 栄養士 選択必修 (☆1単位) : 栄養教諭 必修 : フードスペシャリスト		
授業の概要	<p>戦後わが国では国民の食生活に大きな変化が起こった。なかでも主食である米の消費量の減少、畜産物や油脂類の消費の増加が目立っている。ところが畜産物生産に不可欠な家畜飼料や食用油の原料となる油糧種子のほとんどは海外からの輸入に頼っている。そのため、わが国ではカロリーベースの食料自給率が急速に低下してきた。また、国民の食生活では外食や中食が普及し、食の外部化が進んでいる。その結果、それを支える外食産業や中食産業、食品の加工業や流通業の経済規模が拡大する反面、食品の素材を生産する農業の経済規模が縮小している。このような食料の生産と消費をめぐる経済関係について概説する。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食生活の変化と食料自給率の低下要因について理解する 2. 日本の食料貿易の現状と特徴について理解する 3. 日本の食料生産の現状と農業政策の展開について理解する 		
授業計画		担当者	
第1回	食生活の変化と食料自給率の低下	田代	
第2回	マクロ経済から見た農業・食料関連産業	田代	
第3回	食の外部化の進展、生産と消費の乖離	田代	
第4回	食料貿易の現状	田代	
第5回	農家と農業法人	田代	
第6回	アメリカにおける食料生産事情	田代	
第7回	遺伝子組み換え食品について	田代	
第8回	有機農業と有機食品	田代	
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	<p>テキストによる事前予習 配布プリントによる事後復習</p>		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応する。		
オフィスアワー	火曜日 12:05~12:35 講義室 (本館404号室)		
テキスト	授業中に配布するプリント		
参考文献等	『フードシステムの経済学 第6版』 時子山ひろみ他 医歯薬出版 2019年 2700円 (ISBN:978-4-263-70740-1)		
成績評価基準	<ol style="list-style-type: none"> ①食生活の変化と食料自給率の低下要因について理解できたか ②日本の食料貿易の現状と特徴について理解できたか ③日本の食料生産の現状と農業政策の展開について理解できたか 以上を判断して評価する。 		
成績評価の方法	ミニレポート (20%) 期末レポート (80%)		
GPA基準			
備考			

科目名	消費経済論		
担当者	田代 正一		
授業形式	講義	科目ナンバー	124
配当年次	2	科目群	専門科目〔関連科目〕
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	選択：栄養士 必修：フードスペシャリスト		
授業の概要	国民の食生活パターンの変化は、わが国の経済発展によってもたらされたものであるが、同時に家庭の食生活行動様式の変化によるものでもある。加えて、食材供給における輸入の増大、食品流通における加工段階の拡大および外食産業の急展開が後押ししたのもである。そのような食生活の変化を促すとともに支えてもきた食品加工業、食品流通業、外食産業などの現状と課題について概説する。とりわけ、食品のマーケティング、卸売・小売の仕組み、食品流通におけるスーパーマーケットやコンビニエンス・ストアの役割などに注目する。食品消費をめぐる安全性確保や環境問題についても言及する。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本における食生活の変化とその要因について理解する 2. 食料品の卸売および小売の流通過程について理解する 3. 食の外部化を支えるフードビジネスの現状と課題を理解する 		
授業計画		担当者	
第1回	食市場の変化(1)	田代	
第2回	食市場の変化(2)	田代	
第3回	食品の流通(1)	田代	
第4回	食品の流通(2)	田代	
第5回	外食・中食産業のマーチャンダイジング	田代	
第6回	主要食品の流通	田代	
第7回	フードマーケティング	田代	
第8回	食料消費の課題	田代	
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	テキストによる事前予習 配布プリントによる事後復習		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に対応する。		
オフィスアワー	火曜日 12:05~12:35 講義室(本館404号室)		
テキスト	『三訂 食品の消費と流通』 日本フードスペシャリスト協会編 建帛社 2016年 1900円 (ISBN: 4767905389)		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本における食生活の変化とその要因について理解できたか。 2. 食料品の卸売および小売の流通過程について理解できたか。 3. 食の外部化を支えるフードビジネスの現状と課題を理解できたか。 以上を評価の基準とする。 		
成績評価の方法	ミニレポート(20%) 期末レポート(80%)		
GPA基準			
備考			

科目名	フードスペシャリスト論		
担当者	安達 真一		
授業形式	講義	科目ナンバー	125
配当年次	2	科目群	専門科目〔関連科目〕
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択：栄養士 必修：フードスペシャリスト		
授業の概要	<p>フードスペシャリストとは、食品の開発、流通、小売り、外食の分野において、食品の品質判定、広報、食品知識の普及、販売促進、コーディネート、食育活動を目的とする消費者サイドに立った食の専門職である。この講義では、フードスペシャリストの意義とその概要、その役割を理解することを目的とする。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. フードスペシャリストの意義、概要、役割を理解する 2. フードスペシャリストの業務に必要な知識を習得する 		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション（フードスペシャリスト試験の説明）	安達	
第2回	フードスペシャリストとは（概念、業務、活躍、責務等）	安達	
第3回	現代日本の食生活（戦後から現代までの食生活の変化）	安達	
第4回	現代日本の食生活（食料自給率、環境と食関係を学ぶ）	安達	
第5回	食品産業の役割（製造業、小売業、外食産業）	安達	
第6回	食情報と消費者保護（食情報の実態、消費者保護制度）	安達	
第7回	食品表示（品質規格を学ぶ）	安達	
第8回	食品表示（食品表示法による表示）	安達	
第9回	食品表示（健康や栄養に関する表示）	安達	
第10回	人類と食物（食に関する歴史と技術史を学ぶ）	安達	
第11回	世界の食（食作法や禁忌、世界各地の食事情を知る）	安達	
第12回	日本の食（日本食物史を学ぶ）	安達	
第13回	食品の鑑別検査法（官能評価、化学的・物理的評価法）	安達	
第14回	食品の鑑別検査法（個別食品の鑑別法を学ぶ）	安達	
第15回	フードスペシャリスト資格認定試験対策	安達	
事前・事後学習	<p>前もってテキストに目を通す。 資格認定試験に備えて過去問題を調べ、不明な点は質問する。</p>		
課題に対するフィードバックの方法	<p>単元ごとに出す問題については、授業中解説を行う。</p>		
質問・相談方法	<p>授業の前後やオフィスアワー等に対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。</p>		
オフィスアワー	<p>火曜日 14:00～18:00 研究室（本館505号室）</p>		
テキスト	<p>『四訂フードスペシャリスト論第4版』（公社）フードスペシャリスト協会編、建帛社、2018、2,000円(税別) (ISBN978-4-7679-0604-1)</p>		
参考文献等	<p>『フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集』1,200円(税別)、『三訂食品の官能評価・鑑別演習』2,200円(税別)、『三訂食品の安全性第2版』2,100円(税別)、『食品表示』1,500円(税別)、いずれも（公社）フードスペシャリスト協会編、建帛社</p>		
成績評価基準	<p>フードスペシャリストの意義、概要、役割を理解し、業務に必要な知識を習得すること。</p>		
成績評価の方法	<p>期末試験（100%）</p>		
GPA基準			
備考	<p>学内他学科・他専攻科目</p>		

科目名	フードコーディネート論		
担当者	芝 香織		
授業形式	講義	科目ナンバー	126
配当年次	2	科目群	専門科目〔関連科目〕
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択：栄養士 必修：フードスペシャリスト		
授業の概要	「フードコーディネート」とは、食に関する様々な場において要求する相手が満足できる状態を演出することである。その各食シーンで必要とされるフードコーディネートの基本的理念を把握し、食企画やテーブルコーディネートの演習を通し実践力を身につける。又、近年は「食の命」への感謝の念が喪失しつつある為、食の知識や技術に加えて、人の心に内在する食に対する充足感を満たすための心理的、文化的側面についての教養や感性の必要性を学習する。		
授業の到達目標	1. フードコーディネートの基本理念の習得 2. 食に対する心理的・文化的側面についての教養・感性を磨く 3. 食企画の手法、実践とテーブルコーディネートの基礎知識を習得		
授業計画			担当者
第1回	フードコーディネートの基本理念		芝
第2回	おいしさの本質		芝
第3回	食事の文化とその課題①(日本食の歴史)		芝
第4回	食事の文化とその課題②(行事食、郷土料理)		芝
第5回	食事の文化とその課題③(外国の食事)		芝
第6回	テーブルウェアと食卓の演出		芝
第7回	食卓のサービスとマナー		芝
第8回	食空間のコーディネート		芝
第9回	フードサービスマネジメント①(マネジメントの基本)		芝
第10回	フードサービスマネジメント②(店舗経営について)		芝
第11回	メニュープランニング		芝
第12回	食企画のコーディネート①(食企画の流れ)		芝
第13回	食企画のコーディネート②(食企画に必要な基礎スキル)		芝
第14回	食企画のコーディネート③(食企画の実践現場)		芝
第15回	総括		芝
事前・事後学習	教科書に目を通し、内容の把握を行う 理解できなかった内容を質問や文献、辞書等で調べる		
課題に対するフィードバックの方法	求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業前後、オフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	水曜日 14:00~14:35 非常勤講師室(本館104号室)		
テキスト	『フードコーディネート論』 日本フードスペシャリスト協会編 建帛社 1,900円 (ISBN:978-4-7679-0440-5) 『たのしい!おいしい!テーブル・カラー・コーディネート』 日本色研事業株式会社 440円 (ISBN-13:978-4901355254)		
参考文献等	『日本食物史』 江原絢子著 吉川弘文館 4000円(税抜き) (ISBN:9784642080231) 『私の鹿児島料理』 今村知子著 柴田書店 (ISBN-13:978-4388058167)		
成績評価基準	フードコーディネーターの基礎的知識を習得できたと確認でき、評価において6割以上の得点を合格とする。		
成績評価の方法	受講態度(60%) 定期試験(40%)		
GPA基準			
備考			

科目名	フードコーディネート演習		
担当者	寺地 貴子		
授業形式	演習	科目ナンバー	127
配当年次	2	科目群	専門科目 [関連科目]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	選択：栄養士 必修：フードスペシャリスト		
授業の概要	フードコーディネート論の基礎知識を基に、実践現場における食企画の基本的な流れと、企画を実践するために必要不可欠な基礎スキルの習得を目指す。		
授業の到達目標	1. 食企画の実践 2. テーブルコーディネートの実践		
授業計画			担当者
第1回	フランス料理の初歩的な郷土料理の調理実習		寺地
第2回	西洋の食材の扱い方・栄養学・盛り付けなどの演出・コーディネート		寺地
第3回	パーティスタイルのおもてなし・演出・コーディネート		寺地
第4回	フィンガーフードと大皿盛りの料理の調理実習と盛り付け		寺地
第5回	フランス料理を取り入れたカフェメニューの調理実習		寺地
第6回	カフェメニューの盛り付け・演出などのコーディネート		寺地
第7回	フランス料理のコース料理の調理実習（前菜・メイン料理・デザート）		寺地
第8回	真空調理などの特別な調理技術・フレンチの調理法・マナーの知識の習得		寺地
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	授業前に教科書に目を通し、内容把握を行う 授業後は、理解できなかった内容を質問や文献、辞書等で調べ、過去問題を解く		
課題に対するフィードバックの方法	求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業後、または指導教員を通じて個別に対応する。		
オフィスアワー	水曜日 14:30~14:40 講義室（南館201・本館309号室）		
テキスト	特になし		
参考文献等	フードコーディネート論 日本フードスペシャリスト協会編 建帛社		
成績評価基準	実習態度を基準に、レポートを提出してもらい、フードコーディネートについて理解し、評価において6割以上の得点を合格とする。		
成績評価の方法	受講態度（25%） 定期試験（75%）		
GPA基準			
備考			

科目名	くらしとお茶B		
担当者	山崎歌織、田中敏弘、中禮雅治、松崎康弘、住澤知之、安藤、有馬恵子		
授業形式	講義	科目ナンバー	128
配当年次	2	科目群	専門科目〔関連科目〕
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	複数
免許・資格情報	選択：栄養士 選択必修：日本茶アドバイザー		
授業の概要	<p>茶は2千年以上にわたり、人類に好まれてきた歴史のある飲み物である。多くの研究により、茶の効能・効果が明らかになり、健康飲料として認知される一方、茶の淹れ方や文化を知らない人も増えている。この授業では、茶の歴史や栽培法、機能性、性質や利用法に関する講義や、品質検査・鑑定法、お茶の淹れ方等の実習を行う。これらの学びを通して日本茶アドバイザーとして必要な知識を身につけ、茶文化の発展と普及に寄与する人材の育成を育成する。</p>		
授業の到達目標	<p>1. 日本茶アドバイザーの意義、概要、役割を理解できるようになる 2. 茶に関する知識と理解を深める</p>		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション（日本茶アドバイザーの説明）		山崎
第2回	歴史（日本茶、鹿児島茶の歴史を学ぶ）		松崎
第3回	茶の利用（茶を使った料理や活用法について学ぶ）		山崎
第4回	茶業のあらまし（茶の生産、消費、流通等を学ぶ）		田中
第5回	茶の栽培（種類別栽培・方法を学ぶ）		田中
第6回	茶の製造（製造方法を学ぶ）		田中
第7回	茶の化学（化学成分、品質等を学ぶ）		安藤
第8回	茶の健康科学（効能、効果等を学ぶ）		住澤
第9回	茶の品質検査と鑑定（官能検査法を学ぶ）		中禮
第10回	茶の品質検査と鑑定（鑑定技術を学ぶ）		中禮
第11回	インストラクション技術（服装、話し方、接客）		有馬
第12回	インストラクション技術（日本茶アドバイザーとして必要な項目）		中禮
第13回	インストラクション技術（日本茶アドバイザーとしての実技）		中禮
第14回	インストラクション技術（茶の淹れ方）		中禮
第15回	インストラクション技術（茶の鑑定の実際）		中禮
事前・事後学習	<p>授業前にテキストを読んでおく 日常生活の中で、お茶の葉の種類、色や香り、味等を確認する</p>		
課題に対するフィードバックの方法	課題が課された場合は、担当者が個別に指導を行う。		
質問・相談方法	基本的には、授業の前後で質問・相談に対応する。その他、オフィスアワーで対応する場合もある。		
オフィスアワー	集中講義開講期間 8：40～16：20（各講義室）		
テキスト	『日本茶アドバイザー講座Ⅰ、Ⅱ』NPO法人日本茶インストラクター協会（協会による実習費に含まれるため、テキスト代として単独販売は行わない）		
参考文献等	『シリーズ《食品の科学》茶の科学』村松敬一郎編、朝倉書店		
成績評価基準	日本茶アドバイザーの意義、概要、役割を理解し、茶に関する知識と理解が深められた者を合格とする。		
成績評価の方法	定期試験60分（70%）と実技テスト（30%）で総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	夏季休暇集中講義		

科目名	教育相談		
担当者	宮里 新之介		
授業形式	講義	科目ナンバー	129
配当年次	2	科目群	専門科目 [関連科目]
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	選択：栄養士 必修：栄養教諭・ピアヘルパー		
授業の概要	<p>カウンセリングと教育相談の理解を深め、様々な問題を抱えた児童・生徒や保護者への支援、多職種（スクールカウンセラーなど）との連携について説明する。また、学習の理解を深められるよう、仮想事例を用いて具体的な支援の方向性を見出すグループワークを実施し、その解説を行う。</p>		
授業の到達目標	<p>1. 学校現場での児童・生徒の適応上の問題について理解する 2. カウンセリングの基本的知識と技能を習得し、児童生徒及び保護者への対応について考えることができる</p>		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション／教育相談とは		宮里
第2回	カウンセリングと教育相談		宮里
第3回	スクールカウンセラーの役割		宮里
第4回	学級経営と教育相談①（小学校）		宮里
第5回	学級経営と教育相談②（中学校）		宮里
第6回	児童生徒の逸脱・問題行動と教育相談		宮里
第7回	不登校と教育相談		宮里
第8回	いじめ問題と教育相談		宮里
第9回	非行と教育相談		宮里
第10回	特別支援教育と教育相談		宮里
第11回	保護者への援助		宮里
第12回	学校における教育相談システム		宮里
第13回	地域諸機関との連携		宮里
第14回	教育相談と教師の研修		宮里
第15回	総括		宮里
事前・事後学習	<p>意味のわからない用語は辞書等で調べておくこと 前授業の理解度を測るためのミニテストを実施する場合がありますので、復習をして授業に臨む</p>		
課題に対するフィードバックの方法	<p>課題を課した場合（定期試験を含む）求めに応じて個別に対応する。</p>		
質問・相談方法	<p>授業の前後やオフィスアワー、また毎授業で実施する質問・感想記入シートへの回答で対応する。</p>		
オフィスアワー	<p>木曜日 10：35～12：05 研究室（本館312号室）</p>		
テキスト	<p>特になし</p>		
参考文献等	<p>『教師教育テキストシリーズ⑭ 教育相談』 広木克行（編著） 学文社 2008年 1800円（税抜別）（ISBN978-4-7620-1664-6）</p>		
成績評価基準	<p>児童・生徒の適応上の問題についての理解、及びカウンセリングの基本的知識と技能を習得し、児童生徒及び保護者への対応について考えることができること。</p>		
成績評価の方法	<p>学期末の定期試験（80％）、講義時の受講態度及びミニテスト（20％）で総合的に判定する。</p>		
GPA基準			
備考	<p>他学科開放科目</p>		

科目名	教育課程		
担当者	横峯 孝昭		
授業形式	講義	科目ナンバー	130
配当年次	2	科目群	栄養教諭関連科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	—
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養教諭		
授業の概要	学習指導要領の総則を読み解き、体験していた小学校の教育課程が学習指導要領、法令に従って作られていることを学ぶ。さらに、例外的な教育課程等についても理解を深め幅広い教育課程について学ぶ。		
授業の到達目標	1. 学習指導要領の総則を読み解くことにより、小学校の教育課程について理解する。 2. その基本的な考え方について理解しする。		
授業計画		担当者	
第1回	オリエンテーション（教育課程とは）	横峯	
第2回	教育課程と学習指導要領（学習指導要領の歴史）	横峯	
第3回	教育課程の基準と法令	横峯	
第4回	小学校教育の基本と教育課程の役割	横峯	
第5回	教育課程編成における共通的事項	横峯	
第6回	授業時数及び指導計画の作成	横峯	
第7回	教育課程の実施と学習評価	横峯	
第8回	学校運営上の両異事項（総則第5：カリキュラムマネジメント）と本講義の総括	横峯	
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	学習指導要領の全文、解説書を一字一句読み解くことはしないため、一度は目を通しておく 講義を行ったところが、学習指導要領のどの部分の内容であったかの確認とそれに基づく解説書の内容の確認		
課題に対するフィードバックの方法	課題を課した場合（定期試験を含む）求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	講義の前後、オフィスアワーで対応する。		
オフィスアワー	月曜日 16:30～18:00 研究室（西館401号）		
テキスト	小学校学習指導要領（平成29年3月公示 文部科学省） 小学校学習指導要領解説 総則編（平成29年6月 文部科学省）		
参考文献等	授業中に適宜資料を配布する。		
成績評価基準	教育課程の基準となる法令について理解し、学習指導要領総則に書かれているの内容について理解すること。		
成績評価の方法	定期試験（100%）		
GPA基準			
備考			

科目名	道徳教育の指導法		
担当者	村若 修		
授業形式	講義	科目ナンバー	131
配当年次	2	科目群	栄養教諭関連科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	—
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養教諭		
授業の概要	<p>栄養教諭として小学校・中学校で行われる道徳教育や「特別の教科道徳」の理論と実際についてについて学習する。なお、本授業では受講者にグループでの協働的な学びを求める。自分の考えを他者に伝え、他者の考えを受容的に受け止め、思考を深めてほしい。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「道徳とは何か」について説明することができる。 2. 道徳教育および道徳科の目標と内容を理解している。 3. 道徳科の授業を構想することができる。 		
授業計画		担当者	
第1回	道徳教育に関する自分自身の体験の振り返りと本授業への動機づけ	村若	
第2回	道徳とは何か？	村若	
第3回	学校における道徳教育のしくみ	村若	
第4回	道徳科の授業を構想する①—授業方法—	村若	
第5回	道徳科の授業を構想する②—教材—	村若	
第6回	道徳科の授業を構想する③—評価—	村若	
第7回	構想した授業案を発表する	村若	
第8回	まとめとレポート作成	村若	
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	<p>道徳科の授業を構想するにあたっての事前準備を求める 道徳科の授業を構想するにあたっての事後の振り返りを求める</p>		
課題に対するフィードバックの方法	<p>ミニツペーパーや課題については、提出した次の授業で要点に触れ、フィードバックする。個別にコメントすることもある。</p>		
質問・相談方法	<p>次のいずれかの方法による。(1) 授業時のミニツペーパーに質問事項を記入する。(2) 授業後に質問をする。(3) オフィスアワーを利用する。</p>		
オフィスアワー	火曜日15:00～17:00 研究室 (西館410号室)		
テキスト	小学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編 (平成29年6月 文部科学省)		
参考文献等	授業中に適宜資料を配布する		
成績評価基準	到達目標が十分に達成されること		
成績評価の方法	定期試験 (80%)、小レポート (20%)		
GPA基準			
備考			

科目名	総合的な学習の時間の指導法		
担当者	松崎 康弘		
授業形式	講義	科目ナンバー	132
配当年次	2	科目群	栄養教諭関連科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	—
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養教諭		
授業の概要	前半は学習指導要領の読み込みや実践事例の分析を通して、総合的な学習の時間の目標・内容・評価等について理解を深める。後半は指導計画の作成・討論・振り返りをとおして、総合的な学習の時間の単元を構成する力を高める。		
授業の到達目標	総合的な学習の時間において、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成及び具体的な指導の仕方並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。		
授業計画			担当者
第1回	イントロダクション（本授業の目的についての説明、小学校等の実践の振り返り）		松崎
第2回	総合的な学習の時間の目標と意義		松崎
第3回	総合的な学習の時間を踏まえたカリキュラム・マネジメント		松崎
第4回	総合的な学習の時間の目標・内容・実践事例（1）（横断的・総合的な課題）		松崎
第5回	総合的な学習の時間の目標・内容・実践事例（2）（地域や学校の特色に応じた）		松崎
第6回	総合的な学習の時間の目標・内容・実践事例（3）（児童の興味・関心に基づく）		松崎
第7回	総合的な学習の時間における体験活動の意義		松崎
第8回	総合的な学習の時間におけるICTの活用		松崎
第9回	総合的な学習の時間における施設等の活用		松崎
第10回	探究的な学習の過程		松崎
第11回	総合的な学習の時間の評価		松崎
第12回	総合的な学習の時間の年間指導計画の事例		松崎
第13回	総合的な学習の時間の単元計画の作成		松崎
第14回	単元計画の発表と討論		松崎
第15回	これからの総合的な学習の時間の在り方		松崎
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・指導要領解説の指定部分を読んでおく ・食育等に関する文献を図書館で探す ・定期試験に向けて総復習を行う 		
課題に対するフィードバックの方法	求めに応じて個別に対応する。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。		
オフィスアワー	月曜日 14:30～16:20 研究室（西館411号室）		
テキスト	小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編（平成29年6月 文部科学省）		
参考文献等	特になし		
成績評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の目標や内容を理解している。 ・指導計画作成、実践のための基礎的な能力を有している。 		
成績評価の方法	定期試験（100%）		
GPA基準			
備考			

科目名	特別活動の指導法		
担当者	山元 有一		
授業形式	講義	科目ナンバー	133
配当年次	2	科目群	栄養教諭関連科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	—
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養教諭		
授業の概要	何より小学校における特別活動の内容、その目的を概略し、特に学級活動について具体的な授業実践について考えていく。		
授業の到達目標	特別活動は「なすことによって学ぶ」を前提としており、学級や学校の生活作りの共同作業を通して、より個人的でより社会的な成長を促進するものである。特に求められているのは、コミュニケーションの力、社会への積極的な関与の意思、生涯にわたる子どもの自己実現の意欲である。そのためには学生自身がそうした者にあらかじめなっていないなければならない。本講義では以上のことを、指導の在り方や方法を含めた特別活動の具体的な内容に沿って進めていく。		
授業計画			担当者
第1回	特別活動の意義、目的—学校における生活作りとしての特活		山元
第2回	特別活動の内容—小中の学習指導要領を用いて		山元
第3回	学級活動（話し合い活動、係活動）		山元
第4回	学級活動（図書館、食育）—教員のチーム化も踏まえて		山元
第5回	児童会活動、クラブ活動、学校行事		山元
第6回	特別活動と他の教科との関連性—特別教科道徳との関連性を踏まえて		山元
第7回	特別活動の具体的な指導法（学級活動）—合意形成はいかにして可能か？		山元
第8回	特別活動の具体的な指導法—食育との関係で		山元
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	2年前期に栄養教育実習を済ませているので、実習での当別活動に係る経験や知識を振り返っておく 各講義の終わりに次回の内容についての事前学習について触れる 講義中に参考図書等の紹介で示すほか、オフィスアワー等で関連事項や発展的内容について伝える		
課題に対するフィードバックの方法	各講義や定期試験の事後学習支援の一環として、オフィスアワーを利用して個別に対応する。		
質問・相談方法	講義の終了後に来談学生に対してオフィスアワーの対応時間を調整する。		
オフィスアワー	水曜日、木曜日を除く15：00～17：00（西館4階406号室）。要事前連絡（連絡方法は初回の講義で伝える）。		
テキスト	小学校学習指導要領解説 特別活動編（平成29年6月 文部科学省）		
参考文献等	講義中、参考資料としてプリントを配布する。		
成績評価基準	提出されたレポートが「授業の到達目標」を満たしていること。		
成績評価の方法	最終レポート（100%） 講義期間中に小学校での栄養教育実習があるので、それを踏まえること		
GPA基準			
備考			

科目名	栄養教育実習指導		
担当者	山崎 歌織		
授業形式	講義	科目ナンバー	134
配当年次	2	科目群	栄養教諭関連科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	—
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養教諭		
授業の概要	<p>栄養教育実習の意義・目的を理解し、教育実習生としての心得を確認させる。そして、栄養教育実習の目標を達成し得るための準備を行うよう指導する。また、栄養教諭としての自覚や心構えを養い、児童生徒の実態について理解を深め、食に関する適切な指導ができる実践的能力を培うことを目的とする。同時に栄養教諭としての資質能力を高めることを目標とする。栄養教育実習後には、実習で得たことや反省を記録としてまとめ、教諭になるための目標や課題を明確にさせる。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教育実習の意義・目的を理解する 2. 食に関する学習指導案および関係資料を作成する 3. 児童生徒に対し食教育を実践する能力を身につける 		
授業計画			担当者
第1回	栄養教育実習事前オリエンテーション		山崎
第2回	学校教育における栄養教育実習の位置づけ・実習の流れ		山崎
第3回	実習記録等の記録方法および提出について		山崎
第4回	栄養教育実習の心得		山崎
第5回	学習指導案の作成(実態把握・計画)		山崎
第6回	学習指導案の作成(展開・評価)		山崎
第7回	「食に関する指導」(個別・集団指導、教材作成)		山崎
第8回	栄養教育実習を振り返り課題や反省をまとめ、今後にいかすために共有する		山崎
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
事前・事後学習	事前準備を十分に行い提出物の期限を守るようにする 事後には資料の整理や記録のまとめを行う		
課題に対するフィードバックの方法	提出された課題やレポートに対し、評価後は返却する。質問事項や相談等がある場合は、個別に対応する。		
質問・相談方法	授業終了時やオフィスアワー等に対応する。		
オフィスアワー	水曜日 15:00～17:00 研究室(西館308号室)		
テキスト	特になし、適宜資料を配布する。		
参考文献等	『食に関する指導の手引』 文部科学省 東山書房 2008年 1,200円 (ISBN978-4-8278-1453-8) 『かんたんCD-ROMですぐできるあなたの学習指導案!』 鹿児島県学校栄養士協議会 鹿児島県『栄養教諭論 理論と実際』 金田雅代 建帛社		
成績評価基準	実習参加に必要な課題や提出物は全て提出し、授業への積極的な参加等により、合格点以上の者を合格とする。		
成績評価の方法	課題等提出物(70%) 受講態度(30%) 教諭になる為の資質が備わっているかも含め総合的に評価する。		
GPA基準			
備考			

科目名	栄養教育実習		
担当者	山崎 歌織		
授業形式	実習	科目ナンバー	135
配当年次	2	科目群	栄養教諭関連科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	—
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養教諭		
授業の概要	栄養教育実習の意義・目的を理解し、栄養教諭の職務や学校での役割等について主に鹿児島県内の小・中学校において理解を深めさせる。また、児童生徒の実態について理解した上で、栄養教諭としての児童生徒への指導方法を学ばせる。		
授業の到達目標	1. 栄養教諭の職務を理解し体験する 2. 児童生徒に対する指導の実際を学び実践する 3. 学校教諭として責任ある教育活動を営む実践力を養う		
授業計画		担当者	
第1回	教師としての心構え、教員の服務規律等の指導講話	実習先担当者	
第2回	学校経営・学校校務分掌・教育計画	実習先担当者	
第3回	学級担任と学級経営、学級指導	実習先担当者	
第4回	「食に関する指導」の年間計画の説明	実習先担当者	
第5回	給食時間における放送 配膳 後片付け指導の参観補助	実習先担当者	
第6回	食に関する指導等 各教科の参観	実習先担当者	
第7回	食に関する指導等 学級活動等の参観	実習先担当者	
第8回	児童生徒への個別的な相談に対する指導の参観補助	実習先担当者	
第9回	食に関する指導の家庭・地域との連携・調整の参観補助	実習先担当者	
第10回	食に関する指導等 教科・学級活動等の教材研究	実習先担当者	
第11回	学習指導案の作成（実態把握・計画）の実際	実習先担当者	
第12回	学習指導案の作成（展開・評価）の実際	実習先担当者	
第13回	食に関する指導（教科）の実施	実習先担当者	
第14回	食に関する指導（学級活動）の実施	実習先担当者	
第15回	食に関する指導に対する指導・評価	実習先担当者	
事前・事後学習	課題を行い実習校で十分に学習できるように事前準備を怠らない 資料の整理やまとめを行い実習記録等の提出をする		
課題に対するフィードバックの方法	提出された課題やレポートを確認し、不備がある場合は再提出を行い、実習校での学習が充実したものになるよう進める。		
質問・相談方法	メールやオフィスアワー等に対応する。		
オフィスアワー	水曜日 15:00～17:00 研究室（西館308号室）		
テキスト	『食に関する指導の手引』 文部科学省 東山書房 2008年 1,200円（ISBN978-4-8278-1453-8）		
参考文献等	かんたんCD-ROM ですぐできる あなたの学習指導案！ 鹿児島県学校栄養士協議会		
成績評価基準	実習校の評価を基に、到達目標が達成できたと判断された者を合格とする。		
成績評価の方法	実習校の評価を基に「栄養教育実習事前事後指導」の成果を含めて総合的（100％）に行う		
GPA基準			
備考	COC関連科目		

科目名	教職実践演習（栄養教諭）		
担当者	山崎 歌織、千葉 しのぶ		
授業形式	演習	科目ナンバー	136
配当年次	2	科目群	栄養教諭関連科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	—
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報	必修：栄養教諭		
授業の概要	<p>これまでに履修した授業、学外研修及び給食管理実習、栄養教育実習等を有機的に関連付けて学び、栄養教諭として必要な資質能力を高めることを目的とする。そのために食農教育についての知識を深め、農業などの生産に関わることで苦労や喜びを体験し、栄養教諭としての専門性を高めさせる。鹿児島市内の栄養教諭ほか現場教諭、管理職経験者から指導を受け社会性や対人関係能力など教育者としての人間性を身につけさせる。さらに、模擬授業や活動発表を通して教育指導力を向上させる。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 履修カルテを基に自らの課題と目標を明確にする 教諭の使命感や責任感を自覚し栄養教諭の資質向上を目指す 社会性や対人関係能力を身につけ、教育指導力を向上させる 		
授業計画			担当者
第1回	オリエンテーション及び「履修カルテ」を用いた学修の振り返り		山崎・千葉
第2回	地域に根差した食育活動についての講義、第1回食育教室の計画・準備		山崎・千葉
第3回	第1回食育教室の開催「食育絵本読み聞かせ」「農作物を用いた調理実習①」		山崎・千葉
第4回	第2回および第3回食育教室の計画・準備		山崎・千葉
第5回	第2回食育教室の開催「農作物を用いた調理実習②」		山崎・千葉
第6回	味噌を使用した菓子レシピの開発		山崎・千葉
第7回	紫苑祭「味噌を使用した菓子の試食提供」および「食育絵本読み聞かせ」		山崎・千葉
第8回	第3回食育教室の開催「農作物を用いた調理実習③」		山崎・千葉
第9回	「霧島・食の文化祭」における第4回食育教室の計画・準備		山崎・千葉
第10回	「霧島・食の文化祭」における第4回食育教室の開催「食育ワークショップ」「食育絵本読み聞かせ」「活動発表」「味噌料理の展示・試食」（霧島市）		山崎・千葉
第11回	「霧島・食の文化祭」の運営参画（霧島市）		山崎・千葉
第12回	現職栄養教諭の授業参観及び講話		栄養教諭の外部講師
第13回	教師の魅力や教科の指導力についての講義		松崎
第14回	使命・責任・教育的愛情等に関する管理職経験者の講話		外部講師
第15回	2年間の学習により得た事や社会で発揮すべき栄養士・栄養教諭の仕事についての個人発表		山崎・千葉
事前・事後学習	調査や準備を行った上で演習に参加する 演習の振り返りやまとめを行い、レポートを提出する		
課題に対するフィードバックの方法	オフィスアワーの時間に個別に対応する		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーの時間で対応する		
オフィスアワー	山崎：水曜日 15:00～17:00 研究室（西館308号室） 児玉：水曜日 15:00～18:00 研究室（南館104号室）		
テキスト	『食に関する指導の手引』 文部科学省 東山書房 2008年 1,200円（ISBN978-4-8278-1453-8）		
参考文献等	かんたんCD-ROMですぐできる あなたの学習指導案！鹿児島県学校栄養士協議会 鹿児島県		
成績評価基準	栄養教諭としての資質向上や社会性、対人関係能力を身につけ、教育指導力が向上されたかを判断し、合格点以上の者を合格とする。		
成績評価の方法	受講態度（40%）、提出物（40%）、討論等への参加状況（20%）により、総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	COC関連科目		